



## 第57回 日本植物生理学会年会

会 期：2016年3月18日(金)～20日(日)

会 場：岩手大学上田キャンパス

〒020-8550 岩手県盛岡市上田3-18-8

懇親会：ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング

〒020-0033 岩手県盛岡市盛岡駅前北通2番27号

<http://www.metro-morioka.co.jp/>

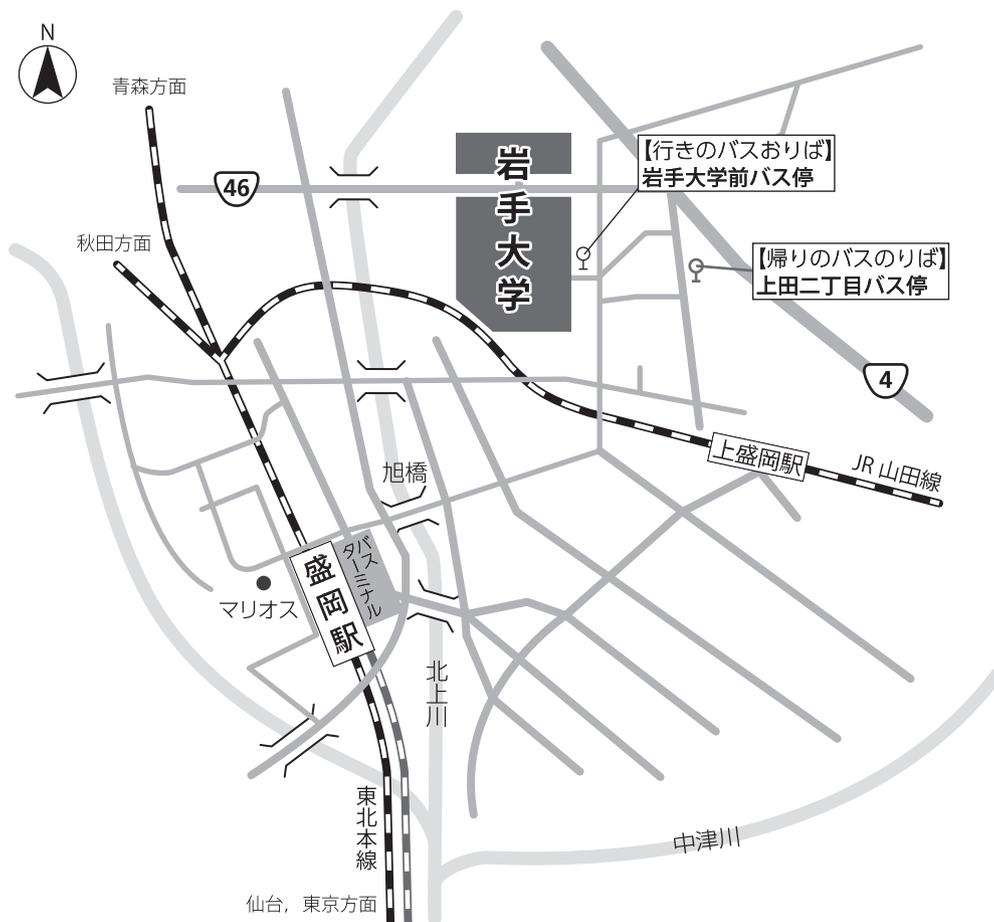
共 催：岩手大学

- |                             |                              |               |
|-----------------------------|------------------------------|---------------|
| 1. 参加登録受付                   | 11. 年会中の連絡方法                 | ・ 日程表         |
| 2. 昼食案内                     | 12. ポスターセッション(1日目)における飲み物の提供 | ・ シンポジウム      |
| 3. クローク                     | 13. 懇親会                      | ・ データベース講習会   |
| 4. 保育室                      | 14. 年会特別企画<br>「高校生生物研究発表会」   | ・ 学会賞授賞式・受賞講演 |
| 5. 発表される方へ                  | 15. ランチョンセミナー                | ・ 関連集会        |
| 6. アプリケーションでの要旨集の<br>閲覧について | 16. 関連集会                     | ・ ランチョンセミナー   |
| 7. 無線LAN サービスについて           | 17. データベース講習会                | ・ 一般講演(口頭)    |
| 8. 座長の方へ                    | 18. 学会関連委員会                  | ・ 一般講演(ポスター)  |
| 9. 特許                       | 19. 授賞式・受賞講演                 | ・ 座長リスト       |
| 10. 禁止事項                    |                              |               |

### 第57回日本植物生理学会年会委員会

委員長	上村松生
副委員長	西谷和彦
総 務	Abidur Rahman 河村幸男
会 計	河村幸男
懇親会・ミキサー プログラム委員	鈴木健策 和田雅人 牧野 周(委員長) 安藤杉尋 石田宏幸 伊藤幸博 小島創一 経塚淳子 鈴木雄二 高橋英樹 高橋秀幸 鳥山欽哉 早川俊彦 日出間純 増口 潔 山口信次郎 横山隆亮
シンポジウム・ データベース講習会 ランチョンセミナー	西原昌宏 佐々木伸大 高木宏樹 Abidur Rahman
関連集会	齋藤靖史 林 秀洋
高校生発表 展示・広告	渡辺正夫 日出間純 伊藤幸博 高木浩一 上村松生 西谷和彦
会 場	Abidur Rahman 齋藤靖史 下野裕之 林 秀洋 佐々木伸大 高木宏樹
保育室	河村幸男 村井麻理

# 会場までの主要交通機関



## 空港から盛岡駅まで

### 成田空港から

- 成田空港 ▶ 東京駅 成田エクスプレス (約1時間)
- 東京駅 ▶ 盛岡駅 東北新幹線はやぶさ (約2時間10分)
- 東京駅 ▶ 盛岡駅 東北新幹線やまびこ (約3時間)

### 仙台空港から

- 仙台空港 ▶ 仙台駅 仙台空港アクセス鉄道 (約25分)
- 仙台駅 ▶ 盛岡駅 東北新幹線はやぶさ (約40分)
- 仙台駅 ▶ 盛岡駅 東北新幹線やまびこ (約1時間)

### 花巻空港から

- 花巻空港 ▶ 盛岡駅 高速バス (約50分)  
※花巻空港までは、国内線のみ利用可能です
- 伊丹空港(大阪) ▶ 花巻空港 JAL (約1時間30分)
- 新千歳空港(札幌) ▶ 花巻空港 JAL (約1時間)

## 盛岡駅から岩手大学まで

### バス利用 [盛岡駅前バスターミナル11番のりば]

(約20分)

- 岩手県交通バス上田線  
乗車「松園バスターミナル行き」▶下車「岩手大学前」
- 岩手県交通バス駅桜台団地線  
乗車「桜台団地行き」▶下車「岩手大学前」

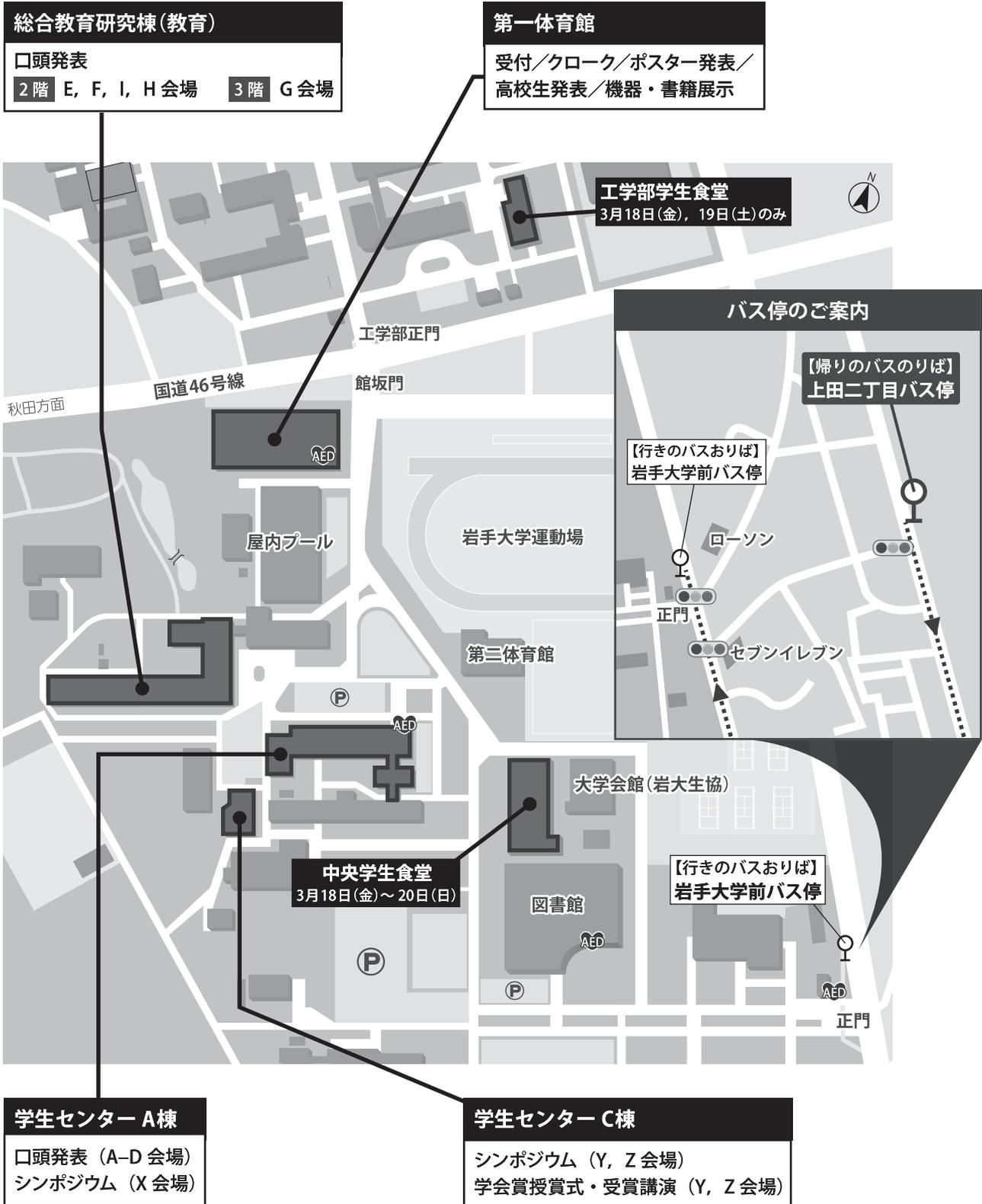
### タクシー利用

- 盛岡駅から約2km (約10分)

### 徒歩

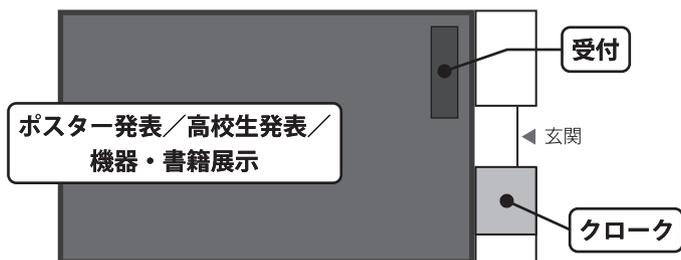
- 盛岡駅から (約25分)

# 構内案内図

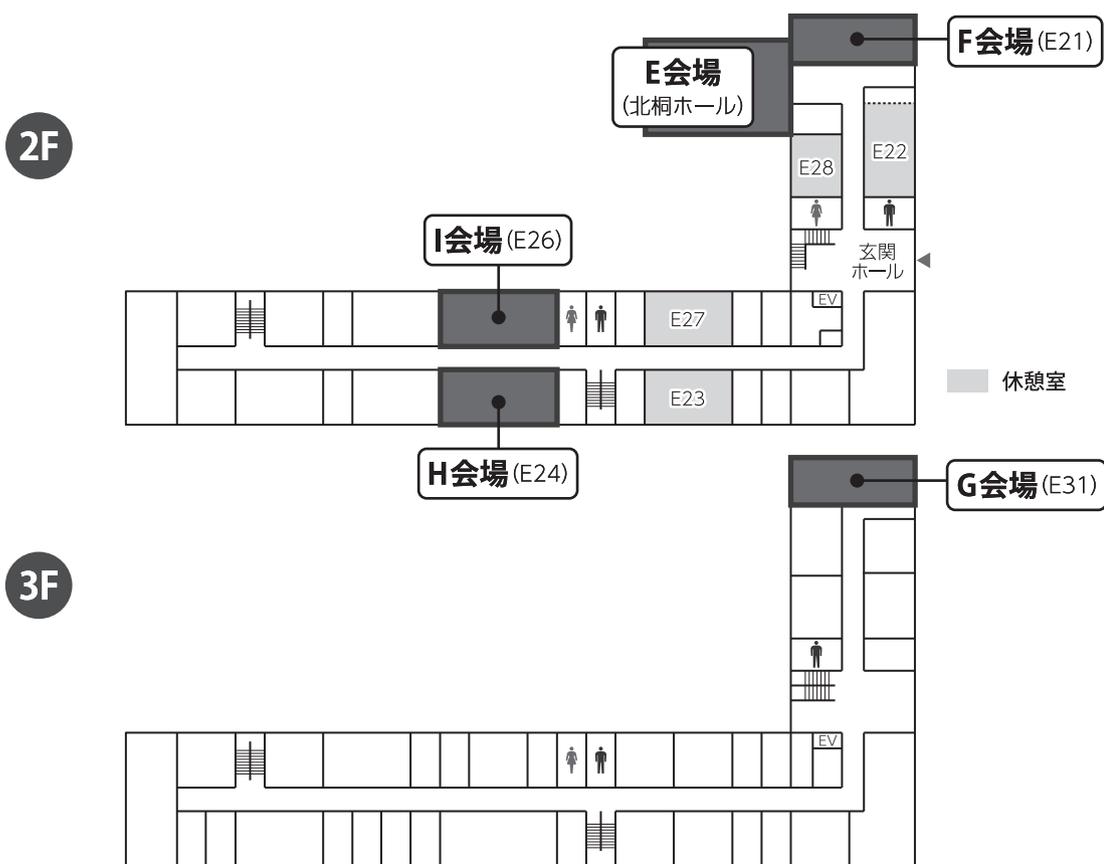


# 会場案内図

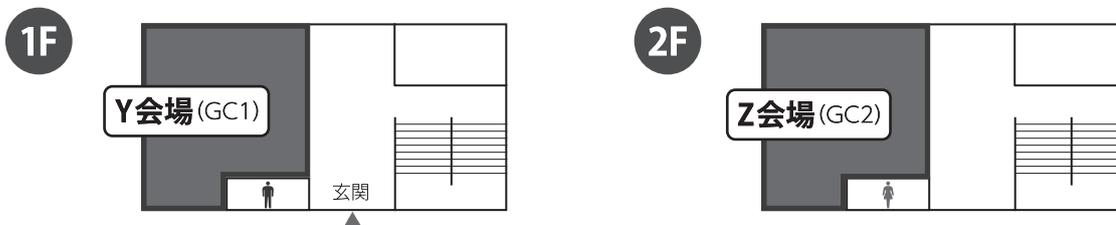
## 第一体育館



## 総合教育研究棟(教育)

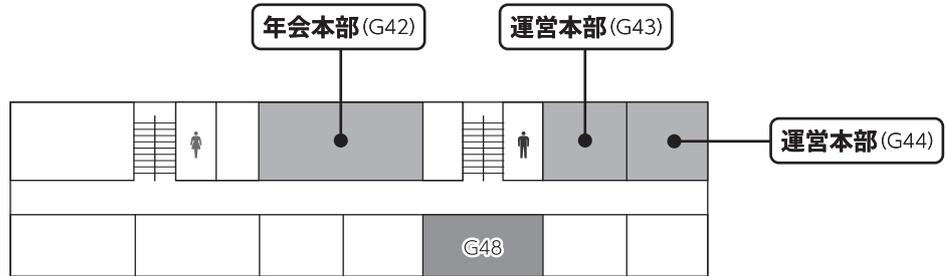


## 学生センターC棟

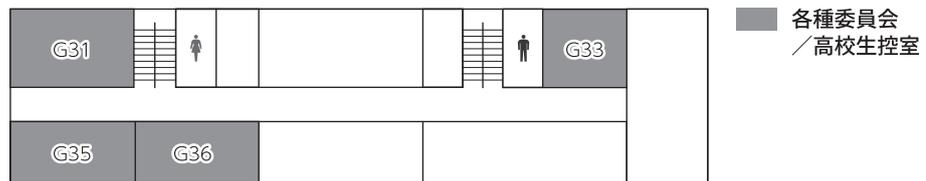


# 学生センター A棟

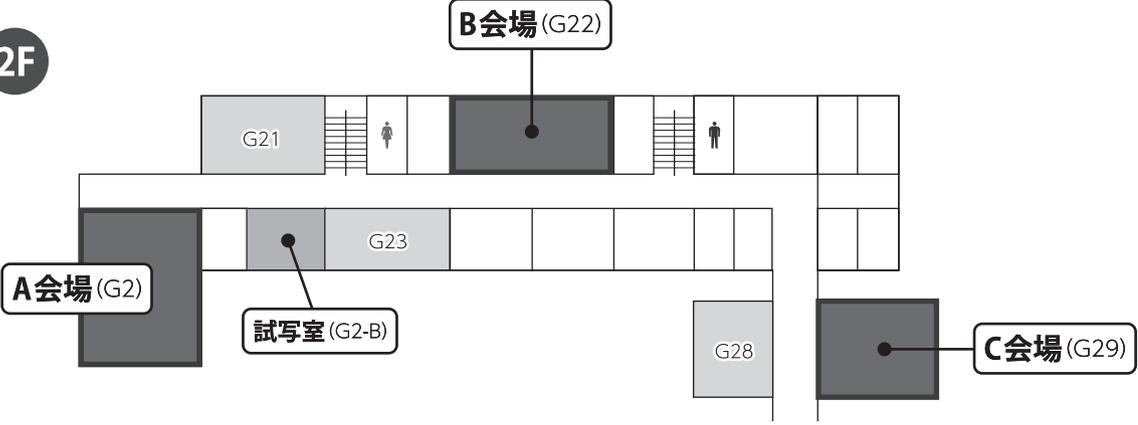
4F



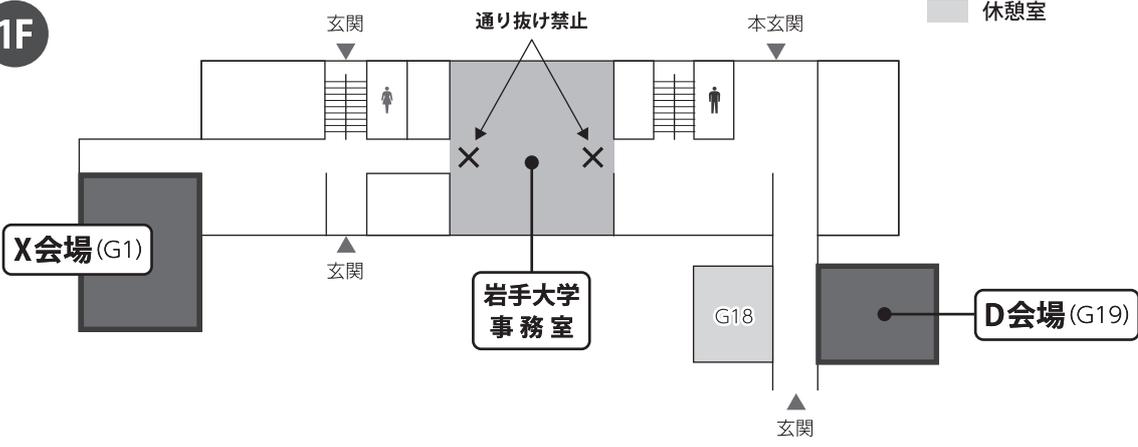
3F



2F



1F



## 1. 参加登録受付

- 1) 3月18日（金）午前8時30分より，第一体育館にて行います。一般講演が始まる午前9時30分ごろは混雑が予想されますので，18日午前すぐの時間帯に発表予定の方は，早めに受付を済ませてください。
- 2) 予約参加登録済みの方は，「予約参加受付」で参加受付を行って下さい。
- 3) 参加申込みをしていない方（参加費を納入していない方）は，「当日参加受付」で参加手続きをして下さい。当日参加の参加費等は，次の通りです。なお，事前に参加費を払い込まれていない方については，オンライン登録の有無に関わらず当日参加費を申し受けます。

---

当日年会参加費（講演要旨集代金を含む）	
通常会員	11,000円(不課税)
学生会員	7,000円(不課税)
非会員	13,000円(税込)
懇親会費	
通常会員	9,000円(税込)
学生会員	7,500円(税込)
非会員	9,000円(税込)
講演要旨集のみ	5,000円(税込)

---

- 4) 会場内では，常時名札を着用して下さい。年会委員会では随時，名札の確認を行います。
- 5) 盛岡市 MICE プログラム登録ホテルに宿泊の方は，MICE 申請書を受付で受け取り，記入の上，受付にある申請書 BOX に必ずお入れください。盛岡市による MICE 開催支援制度による支援を受けるために必須ですので，ご協力ください。
- 6) 会員・非会員を問わず，大学の学部生と中学校・高等学校の教員・生徒は無料で参加できます。「当日参加受付」にて身分証明書を提示し，名札を受け取って下さい。無料参加者には要旨集は配布されませんが，プログラムが印刷された学会通信を先着100名に配布します。

## 2. 昼食案内

大学内の食堂は，4月入学予定者への対応などにより，昼食に使用できるスペースが限られる予定です。あらかじめご承知おきください。また，大学周辺に昼食が取れる場所も限られています。

事前にお申いただきましたお弁当は11:00～13:30の間に学生センターA棟1階入口メインエントランス付近で参加証に印刷された引換券と交換いたします。

## 3. クローク

クロークは第一体育館に設けます。開設時間帯は以下の通りです。夜間の保管はできませんので，必ずその日のうちに荷物をお引取り下さい。また，貴重品の入ったお荷物はお預かりできません。

1日目 3月18日（金） 8:30～19:00

2日目 3月19日（土） 8:30～18:30

3日目 3月20日（日） 8:30～16:00

## 4. 保育室

開催期間中の3月18日（金）～20日（日），乳幼児同伴者のための保育室を開設します。保育室は，岩手大学構内に設けます。

事前予約制となっています。詳細は年会ウェブサイトでご確認ください。

## 5. 発表される方へ

日本植物生理学会国際委員会より、年会の国際化を促すため口頭発表・ポスター発表とも、図表は英語で作るよう提言がされています。本盛岡年会の発表については、下記の指針にそって図表を作成していただきますようお願いいたします。なお、図表の作成に当たっては、「色盲の人にもわかるバリアフリープレゼンテーション法」のサイト <http://www.nig.ac.jp/color/> もご参照ください。

- ①口頭発表で映写するスライドの使用言語は英語とする。最後に簡潔な英語のまとめのスライドを用意する。口頭発表は英語で行うことも可とする。
- ②ポスターの言語も基本的には英語とする。ただし、日本語の演題名と要約をつける。

### 1) 一般発表をされる方へ

#### ①発表者の資格について

定款第7条(3)に、年会の研究発表者は本会会員に限ると定められています。発表者が本会の非会員である場合は発表前に入会手続きをお取り下さい。

#### ②発表の形態について

一般発表の形態（ポスター発表か口頭発表か）については、申し込み時のご希望に添えるように年会委員会で決定しています。「どちらでも可」とした場合には、すべてポスター発表としました。発表形態をプログラムでご確認のうえ、準備をお進め下さい。

#### ③ポスター発表について

ポスター展示用パネルは、幅90 cm×高さ210 cm（床まで）のサイズです。幅90 cm未満、高さ120 cm前後のポスターをご準備ください。ポスター貼り付けのためのピンは年会側で用意します。

##### ポスターの掲示・撤去

- ・前半の部で発表される方（演題番号の頭にPFが付いている方）は、1日目の9時から12時30分までに掲示し、2日目の9時から10時までに撤去してください。それ以降に残ったポスターについては、年会委員会で撤去させていただきます。
- ・後半の部で発表される方（演題番号の頭にPLが付いている方）は、2日目の13時から16時までに掲示してください。撤去は、3日目の16時までをお願いします。それ以降に残ったポスターについては、年会委員会で撤去させていただきます。

##### 質疑応答

- ・前半の部のポスターの発表者は、1日目の16:30～19:00に、演題番号 ①奇数 ②偶数 の順番でそれぞれ1時間ずつ、
  - ・後半の部のポスターの発表者は、3日目の12:30～15:00に、演題番号 ①奇数 ②偶数 の順番でそれぞれ1時間ずつ、
- それぞれのポスターの前にて質疑応答を行ってください。ポスター発表に関する質疑応答終了後に残った30分間は自由討議の時間とします。

#### ④口頭発表について

##### 口頭発表についての注意事項：

- ・口頭発表は質疑応答を含めて15分を予定しています。時間に沿った進行のため、12分の発表と2分30秒の質疑応答をお願いいたします。
- ・発表に先立って、パソコンからの投影をご自身で設定して頂き、その確認を試写室において作動確認も合わせて行ってください。試写室は発表会場となる学生センターA棟2階G2-B演習室に設けます。
- ・発表には液晶プロジェクターのみが使用できます。液晶プロジェクターの解像度は、1024×768（アスペクト比率4:3）です。お使いのパソコンとプロジェクターのアスペクト比が異なる場合には、画面が引

き伸ばされる可能性がありますので、パソコンの解像度は1024×768に設定してください。

- ・年会委員会では発表用のパソコンは用意できませんので、発表者は各自でご用意ください。また、機器の操作に補助が必要な場合は、演者ご自身で補助者を手配してください。
- ・発表される方は、前演者が発表を終了するまでに入力切替器にパソコンを接続し、必ずファイルを開いておいてください。
- ・入力切替器への接続は、演台に用意してあるケーブルを使用し、挿し終えた状態で外部モニター出力に切り替えてください。Mac など特殊な接続アダプターにおいてはPC 本体と変換アダプターの再接続で認識する場合があります。
- ・接続はミニ D-sub15 ピン外部出力コネクタを介して行いますので、Mac 等、特殊な接続アダプターが必要な場合は、各自でご持参願います。HDMI 接続は出来ませんので接続に必要な変換アダプターはご持参ください。
- ・終了時には、必ず次の演者用にコネクタを外してもとの位置へ戻しておいてください。

## 2) シンポジウム講演者の方へ

シンポジウムでの講演は、講演時間の長さが異なる以外、一般講演の口頭発表と同様に行われます。その他の必要な事項についてはシンポジウムのオーガナイザーにご確認願います。

## 6. アプリケーションでの要旨集の閲覧について

前回年會に引き続き、年會要旨集の携帯端末用アプリケーションを配布いたします。アプリケーションは iOS 版と Android 版があり、対応するスマートフォンやタブレット等で要旨集が閲覧できるようになります。利用される方は App Store ならびに Google Play からダウンロードしてください。ダウンロードは3月11日(金)以降に可能となる予定です。アプリケーションの閲覧の際には、上記日程以降に送信予定のメールに記載の Password をご利用ください。要旨の閲覧は年會参加者のみ可能です。

## 7. 無線 LAN サービスについて

会期中は会場利用できる無線 LAN 接続情報を全員に無料で提供します。ただし、アクセス数には制限があります。また、場所によってはつながりにくいことがありますので、ご了承ください。事前参加登録をされた方に郵送される葉書に無線 LAN 接続情報が記載されますのでそれをご利用ください。当日参加の方にも受け付けの際に無線 LAN 接続情報をお渡しします。

## 8. 座長の方へ

座長を担当くださる方は、担当時間の15分前に会場にお集まり下さい。担当される方々で、分担を決めていただきたくお願いいたします。年會以前にご相談のうえ、分担を決めていただいても結構ですが、当日、開始前には必ず集合してご確認ください。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 9. 特許

以前は、当年會において発表された内容について日本植物生理学会が発表証明書を発行してきました。しかし、平成22年3月の「発明の新規性喪失の例外規定の適用を受けるための出願人の手引き」の改定により、現在では当該証明書が必要となる場合はないものと考えられています。(詳しくは、[http://www.jpo.go.jp/shiryoku/kijun/kijun2/pdf/reigai/30jo\\_qa\\_shu.pdf#page=9](http://www.jpo.go.jp/shiryoku/kijun/kijun2/pdf/reigai/30jo_qa_shu.pdf#page=9)を参照してください。)したがって、当年會においては日本植物生理学会による発表証明書の発行は行わないことといたします。ご承知おきくださいますようお願いいたします。

## 10. 禁止事項

発表内容に関して、カメラ、ビデオ、携帯電話による撮影、もしくは講演音声の録音等を、発表者に無断で行うことを厳に禁止します。

## 11. 年会中の連絡方法

・年会本部への連絡の方法

3月17日（年会前日）午後～20日（年会3日目）の年会本部へのご連絡やお問い合わせは、e-mail (jspp2016@nacoss.com) にてお願いします。

・年会参加者への連絡方法

年会参加者等への伝言は、年会受付付近の「伝言板」に掲示します。会場内での呼び出し等はいりません。なお、「伝言板」は年会参加者相互の連絡用に開放しますので、自由にご利用下さい。

## 12. ポスターセッション（1日目）における飲み物の提供

本年会では、例年1日目夕方に実施されていたミキサーは行いません。それに代わるものとして、1日目夕方に開催されるポスターセッションで、参加証に印刷された引換券と交換に、数量限定で飲み物を先着順に提供します（700～800本程度の予定で、年会ウェブサイトでもお知らせします）。

## 13. 懇親会

年会2日目の3月19日（土）19：00から、ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング 4階 メトロポリタンルーム（盛岡駅から徒歩2分）で懇親会を開催します。ぜひご参加ください。

ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング

〒020-0033 岩手県盛岡市盛岡駅前北通2番27号 TEL: 019-625-1211

<http://www.metro-morioka.co.jp/morioka/access1.html>

岩手大学構内からホテルメトロポリタン盛岡ニューウイングまでシャトルバスを運行する予定です。ご利用下さい。

## 14. 年会特別企画「高校生生物研究発表会」

次代を担う高校生の皆さんに植物科学や生命科学全般により一層の興味と関心をもってもらうことを目標に、恒例となった「高校生生物研究発表会」を、本年会でも特別企画として開催します。ぜひ本企画に積極的に参加し、議論して下さるようお願いいたします。本企画は、初めての試みとして、東北大学・飛翔型「科学者の卵養成講座」（グローバルサイエンスキャンパス委託事業）との共催で開催し、これまで以上に広範な高校から参加・発表を見込んでおります。また、優れた研究発表は、優秀賞等として表彰いたします。今年度は、発表と表彰式の間の時間を「情報交換会」として、大学教員・研究者・大学院生などと、研究教育について討論できる場を新たに設定し、研究教育の発展に寄与することを計画しています。この情報交換会、表彰式への参加も併せてお願いします。なお、高校生ポスター発表の要旨集は別冊子として配付します。

日 時：年会3日目 3月20日（日） 9:30～15:30

会 場：上田キャンパス 第1体育館（発表）、総合教育研究棟（教育系）北桐ホール（情報交換会・表彰式）

主 催：第57回日本植物生理学会年会委員会

9:30～10:00 ポスター受付・掲出

10:00～10:10 開会式

10:30～11:45 奇数番号ポスター発表コアタイム（ポスター説明・質疑応答）

11:45～13:00 偶数番号ポスター発表コアタイム（ポスター説明・質疑応答）

- 13:00 ~ 13:30 ポスター撤収  
13:30 ~ 15:00 情報交換会 (大学教員・研究者・院生との研究教育の相談・討論)  
15:00 ~ 15:30 表彰式・閉会式

## 15. ランチョンセミナー

### ◆PCP特別企画

「アクセプトされる論文を書くには? ~ 学術論文の執筆と論文出版の基礎 ~」

日 時: 年会1日目 3月18日 (金) 12:40 ~ 13:30 (スケジュールの詳細は p.50 をご覧ください.)

会 場: Y会場

内 容: PCP のインパクトファクターは現在 4.931 (Plant Science 分野では世界で 200 誌中 15 位) で、質の高いジャーナルとして国際的に認知されています。今年のランチョンセミナーでは、PCP エディターの観点から「アクセプトされる論文の書き方」について解説します。

1. 科学論文の書き方: Liliana Costa (PCP Managing Editor)
2. わかりやすい図表作成のコツ: 同上
3. カバーレター・レスポンスレターの重要性: 榊原均先生 (名古屋大/理化学研究所)
4. 海外エディターへの質問コーナー: Alain Goossens 先生 (ベルギー・Ghent University), Hongwei Guo 先生 (中国・Peking University), Uta Paszkowski 先生 (イギリス・University of Cambridge)

※登壇エディターは変更の可能性あり

※先着 150 名様までにお弁当とお茶をご用意しています。事前申し込みは不要です。

### ◆GMO特別企画

「新植物育種技術の最近の動向」

日 時: 年会2日目 3月19日 (土) 12:10 ~ 13:00 (スケジュールの詳細は p.51 をご覧ください)

会 場: Y会場

内 容: ここ数年、ゲノム編集に代表される新植物育種技術が基礎および実用の両面で脚光を浴びています。こうした技術はこれまでの遺伝子組換え技術との線引きが難しいことがしばしばあり、各国でもその規制への対応が異なります。育種技術とありますが、実際には基礎研究にも多く使われそのプロダクトの扱いは規制の面からも注意が必要です。このセミナーでは農林水産省の鈴木富男様より、こうした技術の国内外の動向と研究者が気をつけるべき点について情報提供をおこなっていただきます。

※先着 150 名様までにお弁当とお茶をご用意しています。事前申し込みは不要です。

### ◆男女共同参画キャリアパスセミナー (ランチョンセミナー)

「仕事と家庭の両立を目指す会員のパネルディスカッション Part2」

日 時: 年会3日目 3月20日 (日) 12:10 ~ 13:00 (スケジュールの詳細は p.52 をご覧ください)

会 場: Y会場

内 容: 昨年度好評だった「男性会員によるパネルディスカッション」に続く企画です。今回は「異業種で働くパートナーをもつ会員」4 名をお招きして、仕事と家庭を両立していく上での問題点や工夫についてパネルディスカッションを行います。

※先着 100 名様までにお弁当とお茶をご用意しています。事前申し込みは不要です。

## 16. 関連集会

### ◆第18回植物オルガネラワークショップ

「雨ニモマケズ 風ニモマケズ 雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ 植物オルガネラの環境適応戦略」

日 時：年会前日 3月17日（木） 13:30～18:40（スケジュールの詳細は p.47 をご覧ください）

会 場：岩手大学総合教育研究棟（生命系）1階 7番講義室

<http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/introduction/map.html>

内 容：本ワークショップでは、植物オルガネラ研究に関する最前線の話題を提供いたします。参加は無料です。また、ワークショップ後に予定していますミキサーの参加費は4,000円（学生3,500円予定）で、当日会場にて徴収します。ワークショップおよびミキサーへの参加希望者は3月7日（月）までに次のホームページよりお申し込み下さい。当日参加も歓迎します。

<http://sfns.u-shizuoka-ken.ac.jp/pctech/workshop>

世話人（50音順）：

小保方潤一，加藤裕介，河野重行，楠見健介，小林裕和，西村芳樹，林秀洋，林田信明，宮沢 豊

連絡先：楠見健介（九州大学）[kusumi.k.239@m.kyushu-u.ac.jp](mailto:kusumi.k.239@m.kyushu-u.ac.jp)

林 秀洋（東北農業研究センター）[hdhrhys@affrc.go.jp](mailto:hdhrhys@affrc.go.jp)

### ◆第1回光合成細菌ワークショップ

日 時：年会前日 3月17日（木） 16:00～18:30（スケジュールの詳細は p.48 をご覧下さい）

会 場：岩手大学総合教育研究棟（生命系）スペースC

内 容：光合成細菌は、植物等と比べてシンプルで始原的な光合成器官を持つことから、生化学、分子生物学、構造生物学、生物物理学、生物有機化学、環境微生物学といった幅広い分野で研究対象とされています。本ワークショップでは、様々な分野で活躍する研究者を演者として招き、最新の研究内容を議論します。参加は無料です。ワークショップ終了後には、親睦会も企画しております（予算：4,500円程度、19:20予定）。専門外の方も含め、多くの方々のご参加をお待ちしております。

世話人（50音順）：浅井智広，塚谷祐介，原田二郎

連絡先：原田二郎（久留米大学）E-mail: [jiro\\_harada@med.kurume-u.ac.jp](mailto:jiro_harada@med.kurume-u.ac.jp)

塚谷祐介（東京工業大学）E-mail: [tsukatani@elsi.jp](mailto:tsukatani@elsi.jp)

浅井智広（立命館大学）E-mail: [cazai@fc.ritsumeit.ac.jp](mailto:cazai@fc.ritsumeit.ac.jp)

備 考：ワークショップおよび親睦会へのご参加希望の方は、3月9日（水）までに世話人にメールにてご連絡下さい。ワークショップのみ、当日参加も受け付けております。

### ◆植物生理若手の会2016

「研究者としてどう生きるか—企業とアカデミア—」

日 時：年会1日目 3月18日（金） 19:15～20:45（スケジュールの詳細は p.49 をご覧下さい）

会 場：A会場

内 容：「博士課程に進みたいけれど将来が不安だ」「留学はするべき？」「競争的資金をどうやって獲得していこう」などなど、若手研究者・学生の多くは、自らの研究人生を考える上でそれぞれ悩みを抱えているのではないのでしょうか。若手の会では、企業とアカデミアの異なる研究環境でご活躍されている若手研究者お二人にこれまでの研究人生を中心に語っていただきます。

土井秀高さんは東京大学理学系研究科で修士号取得後、味の素株式会社バイオ・ファイン事業プロセス開発研究所に所属され、研究開発に携わりながら同大学院での学位取得に向けた研究も進められています。市橋泰範さんは東京大学理学系研究科で学位取得後、カリフォルニア大学デービス校

で4年間ポストドクをされた後、2年前から理研 CSRS 植物免疫研究グループ所属となりました。来年度からは「さきがけ研究者」として植物-microbiota に関する先端的な研究に従事されます。

若手のお二人の例を題材に議論することで、みなさんが自らの興味に即した研究人生の設計を具体的に思い描き、その実現のためのヒントを得られる良い機会となることを願っています。今回の若手の会は、みなさんも対話に加われる参加型形式での開催を試みます。

参加申込は不要ですのでお気軽にご参加ください。ご希望の方にはお弁当を注文いたします。また講演会終了後には参加者同士の交流を深めるための懇親会を行います。お弁当、懇親会参加を希望される方はメール (jsyppmeeting@yahoo.co.jp) にてご連絡をお願いします。

幹事：熊倉直祐（理研・CSRS）

近藤侑貴（東京大学・理）

門田康弘（理研・CSRS）

## 17. データベース講習会

日時：年会2日目 3月19日（土） 13:00～16:00（スケジュールの詳細は p.45 をご覧ください）

会場：Z会場

内容：今回は以下の植物オミックス情報データベースについて紹介します。PCP データベース特集号も併せてご覧ください。

1. Plant-PrAS：タンパク質の物理化学的、構造的性質、翻訳後修飾注釈と植物種間における比較  
黒谷篤之<sup>1</sup>、トクマコフアレクサンダー<sup>2</sup>、山田 豊<sup>1</sup>、黒田 裕<sup>3</sup>、篠崎一雄<sup>1</sup>、櫻井哲也<sup>1,4</sup>（<sup>1</sup>理研 CSRS, <sup>2</sup>神戸大・自然, <sup>3</sup>東京農工大・工, <sup>4</sup>高知大学・複合）

2. TENOR：12種類のストレス・植物ホルモン処理条件下におけるイネのトランスクリプトームデータベース

川原善浩<sup>1</sup>、大野陽子<sup>1</sup>、脇本泰暢<sup>1,2</sup>、緒方 洵<sup>1</sup>、金森裕之<sup>1</sup>、佐々木晴美<sup>1</sup>、森 聡美<sup>1</sup>、松本 隆<sup>1</sup>、伊藤 剛<sup>1</sup>（<sup>1</sup>生物研・農業生物先端ゲノム研究センター, <sup>2</sup>ビッツ(株)）

3. 変異体データベース 'TOMATOMA' のアップデート：果実代謝情報の公開  
星川 健、有泉 亨、江面 浩（筑波大・生命環境）

4. OryzaGenome とその将来への展望

大柳一<sup>1,2,9</sup>、シエントン マシユー<sup>1</sup>、江端俊伸<sup>3</sup>、山崎由紀子<sup>4,8</sup>、藤田雅丈<sup>1</sup>、望月孝子<sup>5</sup>、Huang Xuehui<sup>6</sup>、Gong Hao<sup>6</sup>、神沼英里<sup>5,8</sup>、中村保一<sup>5,8</sup>、豊田 敦<sup>7</sup>、藤山秋佐夫<sup>7,8</sup>、Feng Qi<sup>6</sup>、Wang Zi-Xuan<sup>1,6</sup>、Han Bin<sup>6</sup>、倉田のり<sup>1,8</sup>（<sup>1</sup>国立遺伝学研究所 植物遺伝研究室, <sup>2</sup>明治大学農学部生命科学科バイオインフォマティクス研究室, <sup>3</sup>株式会社ダイナコム, <sup>4</sup>国立遺伝学研究所 系統情報研究室, <sup>5</sup>国立遺伝学研究所 大量遺伝情報研究室, <sup>6</sup>National Center for Gene Research, Chinese Academy of Sciences, Shanghai, PRC, <sup>7</sup>国立遺伝学研究所 比較ゲノム解析研究室, <sup>8</sup>総合研究大学院大学生命科学研究科遺伝学専攻, <sup>9</sup>Computational Bioscience Research Center, King Abdullah University of Science and Technology, Thuwal 23955-6900, Kingdom of Saudi Arabia）

共催：科研費・新学術領域研究「ゲノム・遺伝子相関：新しい遺伝学分野の創成」

世話人：小林正明（明治大・農）

工藤 徹（明治大・農）

矢野健太郎（明治大・農）

E-mail: kyano@isc.meiji.ac.jp

## 18. 学会関連委員会

3月17日（木）	年会前日		
13:30-15:00	[学生センター A棟3階 G31]	PCP編集委員会	
15:00-18:00	[学生センター A棟3階 G31]	PCP編集実行委員会	
16:00-18:00	[学生センター A棟3階 G35]	広報委員会	
17:00-18:00	[学生センター A棟3階 G36]	学会賞選考委員会	
3月18日（金）	年会1日目		
12:00-13:00	[学生センター A棟3階 G31]	GMO対応WG	
18:30-21:30	[学生センター C棟1階 GC1]	代議員会	
3月19日（土）	年会2日目		
12:00-13:00	[学生センター A棟3階 G31]	広報委員・サイエンスアドバイザー懇談会	
12:00-13:00	[学生センター A棟3階 G35]	男女共同参画委員会	
3月20日（日）	年会3日目		
12:00-13:30	[学生センター A棟4階 G48]	国際委員会	
16:00-17:30	[学生センター A棟4階 G48]	年会引継会	

## 19. 授賞式・受賞講演

年会2日目 3月19日（土） 16:15～18:00 Y会場

（Y会場が満席になった場合は、Z会場で授賞式および受賞講演を同時中継します）

（スケジュールの詳細は p.46 をご覧ください）

# Time<sup>+</sup>table 2016 / 03 / 18 (Fri) 第1日目

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
<b>A</b>		栄養成長					栄養成長					植物生理若手の会 (19:15-20:45)
<b>B</b>		発生/成長					発生/成長					
<b>C</b>		細胞壁					細胞壁					
<b>D</b>		光捕集系・光合成色素					光化学系					
<b>E</b>		環境応答/非生物ストレス応答 (乾燥・水分・浸透圧・他)					環境応答/非生物ストレス応答 (乾燥・水分・浸透圧・他)					
<b>F</b>		一次代謝 (窒素・炭素)					一次代謝 (炭素・糖質・脂質)					
<b>G</b>												
<b>H</b>		転写・転写後制御					植物微生物相互作用 (免疫1)					
<b>I</b>		オルガネラ/細胞骨格								PCP特別企画 (ランチョンセミナー) アクセプトされる論文を書くには? ～学術論文の執筆と論文出版の基礎～ Increase your chance of success: how to write and publish a scientific paper (12:40-13:30)		
<b>X</b>		シンポジウム S01 Abscisic acid signaling: Beyond the discovery of PYR/PYL/RCAR					シンポジウム S04 Harnessing Catalytic and Regulatory Diversity of Plant Metabolism					
<b>Y</b>		シンポジウム S02 Multifaceted functions of plant-soil microbe symbioses and the molecular mechanisms					シンポジウム S05 Challenge to the outdoor environment by the experimental plant physiology					代議員会 (18:30-21:30)
<b>Z</b>		シンポジウム S03 A variety of negative brakes on information encoded in nuclei					シンポジウム S06 "Metabolic Biochemistry" meets "Cell Biology"					
<b>第1 体育館</b>		ポスター掲出 (前半)					ポスター発表 (前半)			質疑応答 (奇数番号) (偶数番号)		
<b>その他</b>												

# Time table 2016 / 03 / 19 (Sat) 第2日目

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
<b>A</b>	植物ホルモン / シグナル伝達物質				植物ホルモン / シグナル伝達物質							
<b>B</b>	光受容体 / 光応答				光応答 / 時計							
<b>C</b>	生体膜 / イオン・物質輸送				生体膜 / イオン・物質輸送							
<b>D</b>	光合成・呼吸の環境応答				電子伝達系・炭酸同化							
<b>E</b>	環境応答 / 非生物ストレス応答 (温度)				環境応答 / 非生物ストレス応答 (酸化・レドックス制御・光)							
<b>F</b>	二次代謝				一次代謝 (糖質・脂質・補酵素)							
<b>G</b>	システム生物学											
<b>H</b>	植物・病原体相互作用 (免疫2)				植物微生物相互作用 (免疫3・共生)							
<b>I</b>	オルガネラ / 細胞骨格				転写・転写後制御							
<b>X</b>	シンポジウム S07 Multi-angle views of plant pluripotent stem cells				シンポジウム S10 Learning the Functions of the Plant Cell Wall							
<b>Y</b>	シンポジウム S08 ROS, Ca <sup>2+</sup> and plant sensory systems				GMO 特別企画 「新植物育種技術の最近の動向」 (12:10-13:00)				学会賞授賞式・ 受賞講演 (16:15-18:00)			
<b>Z</b>	シンポジウム S09 Ethylene on plant growth and development: from signaling to physiological responses				データベース講習会				学会賞授賞式・ 受賞講演 (中継先 16:15-18:00)			
<b>第1体育館</b>	ポスター撤去 (前半)				ポスター掲出 (後半)							
<b>その他</b>											懇親会 ホテルメトロポリタン 盛岡ニューウイング 19:00-	

Time<sup>+</sup> table 2016 / 03 / 20 (Sun) 第3日目

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
<b>A</b>	植物ホルモン / シグナル伝達物質										
<b>B</b>											
<b>C</b>	膜交通										
<b>D</b>	電子伝達系・炭酸同化										
<b>E</b>	環境応答 / 非生物ストレス応答 (イオン・塩・金属)						高校生発表 情報交換会 (13:30-15:00) 表彰式・閉会式 (15:00-15:30)				
<b>F</b>	新技術開発										
<b>G</b>	エピジェネティック制御										
<b>H</b>	植物微生物相互作用 (免疫4)										
<b>I</b>	オルガネラ / 細胞骨格 / 細胞周期・分裂										
<b>X</b>	シンポジウム S11 光合成生物の多様な呼吸の世界 ～O <sub>2</sub> 利用戦略をとらえる～										
<b>Y</b>	シンポジウム S12 Evolution and diversity of glucosinolate/myrosinase systems				男女共同参画キャリアパスセミナー (ランチョンセミナー) [仕事と家庭の両立を目指す会員のパネルディスカッション Part2] (12:10-13:00)						
<b>Z</b>											
<b>第1 体育館</b>	ポスター発表 (後半)				質疑応答 (奇数番号) (偶数番号)		ポスター撤去 (後半)				
	高校生発表 (ポスター説明・質疑応答)										
<b>その他</b>											

3月18日(金) 9:30 ~ 12:30 X会場

Abscisic acid signaling: Beyond the discovery of PYR/PYL/RCAR

Organizers Shintaro Munemasa (Okayama Univ.)  
Noriyuki Nishimura (NIAS)

---

09:30 Opening Remarks  
Shintaro Munemasa<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Okayama Univ.)

● Chairperson: Shintaro Munemasa

---

09:35 S01-1 A complex ABA signaling network mediated by PP2Cs  
Noriyuki Nishimura<sup>1</sup>, James Moresco<sup>2</sup>, Nobutaka Mitsuda<sup>3</sup>, Patricia Tu<sup>2</sup>, Hideki Nishimura<sup>4</sup>, Yuki Hayashi<sup>5</sup>, Tomoko Irida<sup>1</sup>, Takashi Hirayama<sup>4</sup>, Toshinori Kinoshita<sup>5</sup>, Julian Schroeder<sup>6</sup>, John Yates<sup>2</sup>, Kouji Satoh<sup>1</sup> (<sup>1</sup>IRB, NIAS, <sup>2</sup>TSRI, <sup>3</sup>AIST, <sup>4</sup>IPSR, Okayama Univ., <sup>5</sup>Grad. Sch. Sci., Nagoya Univ., <sup>6</sup>UCSD)

---

10:00 S01-2 Investigations of abscisic acid responses using genetically-encoded fluorescent reporters  
Rainer Waadt<sup>1</sup>, Karin Schumacher<sup>1</sup> (<sup>1</sup>University of Heidelberg, Centre for Organismal Studies, Plant Developmental Biology)

---

10:25 S01-3 Screening of ABA-responsive SnRK2 substrates using a phosphoproteomic approach  
Taishi Umezawa<sup>1,2</sup>, Yoshimasa Honda<sup>1</sup>, Naoyuki Sugiyama<sup>3</sup>, Anderson Jeffrey<sup>4</sup>, Peck Scott<sup>5</sup>, Daisuke Takezawa<sup>6</sup>, Yoichi Sakata<sup>7</sup>, Kazuo Shinozaki<sup>8</sup> (<sup>1</sup>BASE, Tokyo Univ. Agric. Tech., <sup>2</sup>PRESTO, JST, <sup>3</sup>Dep. Pharmac., Kyoto Univ., <sup>4</sup>Dep. Bot., Oregon State Univ., <sup>5</sup>Dep. Biochem., Univ. Missouri, <sup>6</sup>Dep. Sci., Saitama Univ., <sup>7</sup>Dep. Biosci., Tokyo Agric. Univ., <sup>8</sup>RIKEN CSRS)

---

10:50 Coffee break

● Chairperson: Noriyuki Nishimura

---

11:00 S01-4 Insights into the evolution of ABA signaling in plants from the study of bryophytes  
Yoichi Sakata<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Dept. Biosci, Tokyo Univ. Agric.)

---

11:25 S01-5 Ca<sup>2+</sup> signaling specificity mechanisms in guard cell ABA signal transduction  
Shintaro Munemasa<sup>1</sup>, Benjamin Brandt<sup>2</sup>, Yoshiyuki Murata<sup>1</sup>, Julian Schroeder<sup>2</sup> (<sup>1</sup>Okayama Univ., <sup>2</sup>UC San Diego)

---

11:50 S01-6 Toward the understanding of ABA transport within plants  
Mitsunori Seo<sup>1</sup> (<sup>1</sup>RIKEN Center for Sustainable Resource Science)

---

12:15 Discussion

3月18日(金) 9:30 ~ 12:30 Y会場

Multifaceted functions of plant-soil microbe symbioses and the molecular mechanisms

Organizer Yoshihiro Kobae (NARO)

---

09:30 Opening remarks

● Chairperson: Yoshihiro Kobae

---

09:35 S02-1 Rhizosphere Communication in Fungal Symbioses of Cereals  
Uta Paszkowski<sup>1</sup> (<sup>1</sup>University of Cambridge)

---

10:00 S02-2 Importance of cooperative relations between endosymbiotic microorganisms and legumes  
Haruko Imaizumi-Anraku<sup>1</sup> (<sup>1</sup>NIAS)

● Chairperson: Akifumi Sugiyama

---

10:25 S02-3 Genetic mechanism underlying rhizobial invasion system in *Lotus japonicus*  
Takuya Suzaki<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Graduate School of Life and Environmental Sciences, University of Tsukuba)

---

10:50 S02-4 How do host plants establish secure symbioses with microbial partners?  
Tomomi Nakagawa<sup>1</sup> (<sup>1</sup>NIBB/Nagoya Univ.)

● Chairperson: Tomomi Nakagawa

---

11:15 S02-5 Assessment of soybean rhizosphere microbiome in various fields and their possible effects on soybean growth  
Akifumi Sugiyama<sup>1</sup> (<sup>1</sup>RISH, Kyoto University)

---

11:40 S02-6 Phosphate dependent plant growth promotion by the root endophyte *Colletotrichum tofieldiae*  
Kei Hiruma<sup>1,2</sup>, Nina Gerlach<sup>3</sup>, Soledad Sacristan<sup>4</sup>, Ryohei Nakano<sup>2</sup>, Yukari Oida<sup>1</sup>,  
Stephane Hacquard<sup>2</sup>, Barbara Kracher<sup>2</sup>, Marcel Bucher<sup>3</sup>, Yusuke Saijo<sup>1,6</sup>, Richard  
O'Connell<sup>5</sup>, Paul Schulze-Lefert<sup>2</sup> (<sup>1</sup>NAIST, <sup>2</sup>Max Planck institute for Plant breeding  
research, <sup>3</sup>University of Cologne, <sup>4</sup>CBGP, <sup>5</sup>INRA-AgroParisTech, <sup>6</sup>PRESTO, JST)

---

12:05 S02-7 Phosphate inhibition in arbuscular mycorrhizal symbiosis  
Yoshihiro Kobae<sup>1</sup> (<sup>1</sup>NARO)

---

12:25 Discussion

3月18日(金) 9:30 ~ 12:30 Z会場

A variety of negative brakes on information encoded in nuclei

Organizers Yuichiro Watanabe (Grad. Sch. Art. Sci., Univ. Tokyo)  
Misato Ohtani (Grad. Sch. Biol. Sci., NAIST)

09:30

Welcome Address

Yuichiro Watanabe<sup>1</sup> (1Gra. Sch. Art. Sci., Univ. Tokyo)

● Chairperson: Yuichiro Watanabe

09:35

S03-1

Control of chromatin structure by long non-coding RNA

M. Jordan Rowley<sup>1</sup>, Gudrun Boehmdorfer<sup>1</sup>, Yongyou Zhu<sup>1</sup>, Andrzej Wierzbicki<sup>1</sup>

(<sup>1</sup>University of Michigan, Department of Molecular, Cellular and Developmental Biology)

10:10

S03-2

An *cly1* epiallele affects the expression of floret closing (cleistogamy) in barley

Takao Komatsuda<sup>1</sup> (<sup>1</sup>National Institute of Agrobiological Sciences)

10:35

S03-3

Feedback of RNA metabolism quality to gene expression in plant cells; crosstalk between pre-mRNA splicing and transcriptional regulation?

Misato Ohtani<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Biol. Sci., NAIST, <sup>2</sup>RIKEN, CSRS)

● Chairperson: Misato Ohtani

11:00

S03-4

NTR1 is Required for Transcription Elongation Checkpoints at Alternative Exons in *Arabidopsis thaliana*

Jakub Dolata<sup>1</sup>, Yanwu Guo<sup>2</sup>, Agnieszka Kolowerzo<sup>3,4</sup>, Dariusz Smolinski<sup>3,4</sup>, Grzegorz Brzyzek<sup>2</sup>, Szymon Swiezewski<sup>2</sup>, Artur Jarmolowski<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Department of Gene Expression, Institute of Molecular Biology and Biotechnology, Adam Mickiewicz University, Poznan, Poland, <sup>2</sup>Department of Protein Biosynthesis, Institute of Biochemistry and Biophysics, Polish Academy of Sciences, Warsaw, Poland, <sup>3</sup>Department of Cell Biology, Faculty of Biology and Environment Protection, Nicolaus Copernicus University, Torun, Poland, <sup>4</sup>Centre for Modern Interdisciplinary Technologies, Nicolaus Copernicus University, Torun, Poland)

11:35

S03-5

Communication between nucleus and cytoplasm through RNA-interacting factors

Yuichiro Watanabe<sup>1</sup>, Takahiro Hamada<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Art. Sci., Univ. Tokyo)

12:00

S03-6

Nuclear Movement and Shape Are Controlled by Nuclear Membrane Myosin XI-i

Kentaro Tamura<sup>1</sup>, Ikuko Hara-Nishimura<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Sci., Kyoto Univ.)

12:25

Closing Remarks

Misato Ohtani<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Biol. Sci., NAIST)

3月18日(金) 13:45 ~ 16:45 X会場

## Harnessing Catalytic and Regulatory Diversity of Plant Metabolism

Organizers Hiroshi Maeda (Univ Wisconsin-Madison)  
Kazuki Saito (Chiba Univ./RIKEN CSRS)

● Chairperson: Hiroshi Maeda

---

13:45		Opening Remarks
13:50	S04-1	Evolutionary diversification of oxygenases in steroidal saponin biosynthesis in plants <u>Masaharu Mizutani</u> <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Grad. Sch. Agri. Sci, Kobe Univ.)
14:15	S04-2	Structure, function and diversity of plant glycosyltransferases <u>Keiko Yonekura-Sakakibara</u> <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> RIKEN CSRS)
14:40	S04-3	Metabolomics-assisted functional genomics on plant phenolic secondary metabolism <u>Takayuki Tohge</u> <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Max Planck Institute of Molecular Plant Physiology)
15:10		Break

● Chairperson: Kazuki Saito

---

15:20	S04-4	Diversified evolution of secondary metabolites throughout tandemly duplicated genes in Arabidopsis <u>Kosuke Hanada</u> <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Kyushu Institute of Technology Frontier Research Academy for Young Researchers)
15:45	S04-5	Evolutionary diversification of the tyrosine biosynthetic pathways in different plant lineages <u>Hiroshi Maeda</u> <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Univ. Wisconsin-Madison)
16:10	S04-6	Engineering Plant Specialized Metabolism: Can We Break the Multiple Feedback Loops? <u>Alain Goossens</u> <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> VIB, Plant Systems Biology, Ghent University)
16:40		Closing Remarks

千葉大学戦略的重点研究プログラム「ファイトケミカル植物分子科学」

3月18日(金) 13:45 ~ 16:45 Y会場

Challenge to the outdoor environment by the experimental plant physiology

Organizers Tetsuro Mimura (Dept. Biol., Grad.Sch.Sci., Kobe Univ.)  
Hiroshi Kudoh (Center Eco.Res., Kyoto Univ.)  
Atsushi J. Nagano (Fac. Agri., Ryukoku Univ.)  
Hideyuki Takahashi (Grad.Sch., Life Sci., Tohoku Univ.)

● Chairperson: Hideyuki Takahashi

13:45		Opening remarks
13:50	S05-1	Molecular phenology: Plant seasonality captured by gene expression <u>Hiroshi Kudoh</u> <sup>1</sup> (Center for Ecological Research, Kyoto University)
14:10	S05-2	The First Step to Understanding Light-Responses <i>in natura</i> . <u>Akira Nagatani</u> <sup>1</sup> , Ryota Otsuki <sup>1</sup> , Yuko Sakurai <sup>1</sup> , Nobuyoshi Mochizuki <sup>1</sup> , Tomomi Suzuki <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Dept. Bot., Grad. School Sci., Kyoto Univ.)
14:30	S05-3	(AoB lecture) ABA and polycomb mediated photoperiodic and temperature control of annual growth cycle in perennial plants <u>Rishi Bhalerao</u> <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> Dept. Forest Genet. Plant Physiol., Swed. Univ. Agri. Sci., Sweden, <sup>2</sup> KSU, Saudi Arabia)
15:00		Break
● Chairperson: Tetsuro Mimura		
15:05	S05-4	Chemical defense systems in Brassicaceae plants <u>Ikuko Hara-Nishimura</u> <sup>1</sup> , Kenji Yamada <sup>1</sup> , Makoto Shirakawa <sup>1,2</sup> , Thomas Ryohei Nakano <sup>3</sup> , Haruko Ueda <sup>1</sup> , Tomoo Shimada <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Grad. Sch. Sci., Univ. Kyoto, <sup>2</sup> Dept. Botany, Univ. British Columbia, <sup>3</sup> Dept.Plant Microbe Interact., Max Planck Inst. Plant Breed. Res.)
15:25	S05-5	Exploring implications of genome function in complex environments using model and non-model plants <u>Christina Richards</u> <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> University of South Florida, Integrative Biology)
15:55	S05-6	An Approach to Understand How the Process of Plant Cold Acclimation Proceeds in Nature Yoko Tominaga <sup>1</sup> , Hayato Hiraki <sup>1</sup> , Hiroyuki Imai <sup>2</sup> , Maki Kanaya <sup>1</sup> , Yukio Kawamura <sup>1,2</sup> , <u>Matsuo Uemura</u> <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> Cryobiofrontier Res. Ctr., Iwate Univ., <sup>2</sup> United Grad. Sch. Agr. Sci., Iwate Univ.)
16:15	S05-7	Novel challenges raised by field transcriptomics <u>Atsushi J. Nagano</u> <sup>1,2,3</sup> ( <sup>1</sup> Fac. Agr., Ryukoku Univ., <sup>2</sup> JST CREST, <sup>3</sup> Cent. Ecol., Kyoto Univ.)
16:35		Discussion

3月18日(金) 13:45 ~ 16:45 Z会場

“Metabolic Biochemistry” meets “Cell Biology”

Organizers Takahiro Hamada (Univ. of Tokyo)  
Nobukazu Shitan (Kobe Pharm. Univ.)

13:45		Opening remarks <u>Takahiro Hamada</u> <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Univ. of Tokyo)
● Chairperson: Nobukazu Shitan		
13:47	S06-1	Microtubules mediate cytoplasmic metabolisms in Arabidopsis <u>Takahiro Hamada</u> <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Grad. Sch. of Arts and Sci., Univ. of Tokyo)
14:03	S06-2	Natural rubber biosynthetic machinery on rubber particles in <i>Hevea brasiliensis</i> <u>Seiji Takahashi</u> <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Graduate School of Engineering, Tohoku University)
14:21	S06-3	Flavonoid accumulation in Arabidopsis seeds affected by GFS9-mediated membrane trafficking <u>Takuji Ichino</u> <sup>1,2</sup> , <u>Kentaro Fuji</u> <sup>2</sup> , <u>Haruko Ueda</u> <sup>2</sup> , <u>Hideyuki Takahashi</u> <sup>2</sup> , <u>Yasuko Koumoto</u> <sup>2</sup> , <u>Junpei Takagi</u> <sup>2</sup> , <u>Kentaro Tamura</u> <sup>2</sup> , <u>Ryosuke Sasaki</u> <sup>3</sup> , <u>Koh Aoki</u> <sup>3</sup> , <u>Karin Schumacher</u> <sup>1</sup> , <u>Tomoo Shimada</u> <sup>2</sup> , <u>Ikuko Hara-Nishimura</u> <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> Centre for Organismal Studies, Univ. of Heidelberg, <sup>2</sup> Grad. Sch. Sci., Kyoto Univ., <sup>3</sup> Kazusa DNA Research Institute)
14:39	S06-4	Lipid bulk transport involved in pigment secretion — Shikonin secretion as a model system — <u>Kazufumi Yazaki</u> <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> RISH, Kyoto University)
14:57	S06-5	Dynamic Aspects of plant mitochondria and their genome <u>Kenta Katayama</u> <sup>1</sup> , <u>Narumi Kawai</u> <sup>1</sup> , <u>Akihiro Yamashita</u> <sup>1</sup> , <u>Yuta Watari</u> <sup>1</sup> , <u>Nobuhiro Tsutsumi</u> <sup>1</sup> , <u>Shin-ichi Arimura</u> <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> Graduate School of Agricultural and Life Sciences, The University of Tokyo, <sup>2</sup> PRESTO, JST)
● Chairperson: Takahiro Hamada		
15:15	S06-6	Cellular dynamics of lysine derived alkaloids in plants <u>Mami Yamazaki</u> <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Grad. Sch. Pharm. Sci., Chiba Univ.)
15:33	S06-7	Dynamics of peroxisomes and oil bodies based on imaging approach: Molecular players, mechanisms, and roles in metabolisms <u>Shoji Mano</u> <sup>1,2</sup> , <u>Kazusato Oikawa</u> <sup>3</sup> , <u>Shino Goto-Yamada</u> <sup>4</sup> , <u>Michitaro Shibata</u> <sup>5</sup> , <u>Songkui Cui</u> <sup>5</sup> , <u>Makoto Hayashi</u> <sup>6</sup> , <u>Mikio Nishimura</u> <sup>7</sup> ( <sup>1</sup> Dept. Evol. Biol. Biodivers., Natl. Inst. Basic Biol., <sup>2</sup> Dept. Basic Biol., Grad. Univ. Advanced Studies, <sup>3</sup> Dept. Appl. Biol. Chem. Niigata Univ., <sup>4</sup> Dept. Bot., Grad. Sch. Sci., Kyoto Univ., <sup>5</sup> CSRS, RIKEN, <sup>6</sup> Dept. Biosci., Nagahama Inst. Biosci. Technol., <sup>7</sup> Dept. Cell Biol., Natl. Inst. Basic Biol.)
15:51	S06-8	Clarification of metabolite dynamics in a cell <u>Akira Oikawa</u> <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> Fac. Agr., Yamagata Univ., <sup>2</sup> CSRS, RIKEN)
16:09	S06-9	Adaptation of metabolism in autophagy-defective plants during environmental stresses <u>Kohki Yoshimoto</u> <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> INRA Versailles)
16:27	S06-10	Intracellular movement of monolignol glucoside via membrane transport <u>Nobukazu Shitan</u> <sup>1</sup> , <u>Taku Tsuyama</u> <sup>2</sup> , <u>Keiji Takabe</u> <sup>2</sup> , <u>Kazufumi Yazaki</u> <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> Kobe Pharm. Univ., <sup>2</sup> Grad. Sch. of Agric., Kyoto Univ., <sup>3</sup> RISH, Kyoto Univ.)
16:43		Closing remarks <u>Nobukazu Shitan</u> <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Kobe Pharm. Univ.)

3月19日(土) 9:00 ~ 12:00 X会場

Multi-angle views of plant pluripotent stem cells

Organizers Naoyuki Uchida (Nagoya Univ. WPI-ITbM)  
Yoshihisa Oda (National Inst. Genetics)

---

09:00 Opening remarks  
Naoyuki Uchida<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Nagoya Univ. WPI-ITbM)

● Chairperson: Yoshihisa Oda

---

09:05 S07-1 A framework for cell layer-specific stem cell maintenance in the shoot apical meristem  
Yuka Kimura<sup>1,2</sup>, Masao Tasaka<sup>3</sup>, Keiko Torii<sup>1,4,5</sup>, Naoyuki Uchida<sup>1</sup> (<sup>1</sup>WPI-ITbM, Nagoya Univ., <sup>2</sup>Grad. Sch. Sci., Nagoya Univ., <sup>3</sup>NAIST, <sup>4</sup>Univ. Washington, <sup>5</sup>HHMI)

---

09:25 S07-2 A molecular mechanism for AGAMOUS-mediated termination of floral meristem.  
Nobutoshi Yamaguchi<sup>1</sup>, Toshiro Ito<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Nara Institute of Science and Technology)

---

09:50 S07-3 Maintenance of genome integrity in root stem cells under DNA stress  
Naoki Takahashi<sup>1</sup>, Keisuke Fujimoto<sup>1</sup>, Masaaki Umeda<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>Graduate School of Biological Sciences, Nara Institute of Science and Technology, <sup>2</sup>JST, CREST)

---

10:15 S07-4 Chemically induced multi-directional differentiation via vascular stem cells  
Yuki Kondo<sup>1</sup>, Alif Meem Nurani<sup>1</sup>, Masato Saito<sup>1</sup>, Hiroo Fukuda<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Department of Biological Sciences, Graduate School of Science, The University of Tokyo)

● Chairperson: Naoyuki Uchida

---

10:40 S07-5 Epigenetic control of plant regeneration and stem cell formation  
Momoko Ikeuchi<sup>1</sup>, Akira Iwase<sup>1</sup>, Keiko Sugimoto<sup>1</sup> (<sup>1</sup>RIKEN CSRS)

---

11:05 S07-6 Conserved mechanism for secondary meristem formation in land plants  
Kimitsune Ishizaki<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Science, Kobe Univ.)

---

11:30 S07-7 Roles of microtubule cytoskeleton during asymmetric cell division  
Gohta Goshima<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Nagoya Univ)

---

11:55 Closing remarks  
Yoshihisa Oda<sup>1</sup> (<sup>1</sup>National Inst. Genetics)

3月19日(土) 9:00 ~ 12:00 Y会場

ROS, Ca<sup>2+</sup> and plant sensory systemsOrganizers Kazuyuki Kuchitsu (Dept. Appl. Biol. Sci., Tokyo Univ. Sci.)  
Hidetoshi Iida (Dept. Biol., Tokyo Gakugei Univ.)

## ● Chairperson: Kazuyuki Kuchitsu

- 
- 09:00 Opening remarks from the editorial office of Plant and Cell Physiology  
Miki Matoba<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Oxford Univ. Press)
- 
- 09:02 Opening remarks from the managing editor of Plant and Cell Physiology  
Liliana Costa<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Oxford Univ. Press)
- 
- 09:04 Introduction  
Kazuyuki Kuchitsu<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Dept. Appl. Biol. Sci., Tokyo Univ. Sci.)
- 
- 09:10 S08-1 Ca<sup>2+</sup> channels and signaling in plants  
June M. Kwak<sup>1</sup> (<sup>1</sup>DGIST, Inst. Basic Sci.)
- 
- 09:40 S08-2 Mechanosensitive channels generating Ca<sup>2+</sup> signals  
Hidetoshi Iida<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Dept. Biol., Tokyo Gakugei Univ.)
- 
- 10:05 S08-3 Osmotic and ionic sensors  
Fang Yuan<sup>1</sup>, Zhonghao Jiang<sup>1,2</sup>, Yan Xue<sup>1</sup>, Yue Niu<sup>1</sup>, Yun Xiang<sup>1</sup>, Xiaomei Wu<sup>2</sup>, Lulu Liu<sup>1,2</sup>,  
James N. Siedow<sup>1</sup>, Zhen-Ming Pei<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Dept. Biol., Duke Univ., USA, <sup>2</sup>Cent. Plant  
Environmental Sensing, Hangzhou Normal Univ., China)
- 
- Chairperson: Hidetoshi Iida
- 
- 10:35 S08-4 Importance of Ca<sup>2+</sup> for the glutamate-enhanced hydrotropism in Arabidopsis roots  
Hideyuki Takahashi<sup>1</sup>, Satoru Iwata<sup>1</sup>, Nobuharu Fujii<sup>1</sup>, Akie Kobayashi<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Life  
Sci., Tohoku Univ.)
- 
- 11:00 S08-5 Regulation of plant development and stress responses by the ROS-Ca<sup>2+</sup> signaling network  
Kazuyuki Kuchitsu<sup>1,2</sup>, Kenji Hashimoto<sup>1</sup>, Hidetaka Kaya<sup>1</sup>, Nobutaka Kitahata<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>Dept.  
Appl. Biol. Sci., Tokyo Univ. of Science, <sup>2</sup>Imaging Frontier Center, Tokyo Univ. of Science)
- 
- 11:25 S08-6 Regulation of circadian oscillations of cytosolic-free calcium in *Arabidopsis thaliana*  
Alex Webb<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Univ. Cambridge, UK)
- 
- Chairperson: Kazuyuki Kuchitsu
- 
- 11:55 General discussion

3月19日(土) 9:00 ~ 12:00 Z会場

Ethylene on plant growth and development: from signaling to physiological responses

Organizers Abidur Rahman (Faculty of Agriculture, Iwate University)  
Tomotsugu Koyama (Suntory Foundation for Life Sciences)

● Chairperson: Abidur Rahman

---

09:00		Opening Remarks <u>Abidur Rahman</u> <sup>1</sup> (Faculty of Agriculture, Iwate University)
09:05	S09-1	Translational Regulation of Ethylene Signaling Wenyang Li <sup>1</sup> , Mengdi Ma <sup>1</sup> , <u>Hongwei Guo</u> <sup>1</sup> (Guo Lab, College of Life Sciences, Peking University)
09:45	S09-2	Roles of ethylene and transcription factors during leaf senescence <u>Tomotsugu Koyama</u> <sup>1</sup> (Suntory Foundation for Life Sciences)
10:15	S09-3	Discovery of the role of ethylene in the regulation of fruit set initiation in tomato ( <i>Solanum lycopersicum</i> ). <u>Tohru Ariizumi</u> <sup>1</sup> (The University of Tsukuba)
10:45	Break	
● Chairperson: Tomotsugu Koyama		
10:50	S09-4	Ethylene to GA relay regulates stem elongation in rice <u>Motoyuki Ashikari</u> <sup>1</sup> (Nagoya University)
11:20	S09-5	Phosphorylation-mediated Regulation of Ethylene Biosynthesis and Signaling in Tomato Fruit <u>Yusuke Kamiyoshihara</u> <sup>1</sup> (Coll. of Bioresource Sci., Nihon Univ.)
11:50		Free discussion and closing remarks

3月19日(土) 13:00 ~ 15:40 X会場

## Learning the Functions of the Plant Cell Wall

Organizers Shinjiro Yamaguchi (Grad. Sch. Life Sci., Tohoku Univ.)

13:00 Opening remarks

● Chairperson: Shinjiro Yamaguchi

13:05 S10-1 Maintenance of stem integrity induced by tissue incision  
Weerasak Pitaksaringkarn<sup>1</sup>, Keita Matsuoka<sup>3</sup>, Masashi Asahina<sup>3</sup>, Ryusuke Yokoyama<sup>2</sup>,  
Kazuhiko Nishitani<sup>2</sup>, Hiroaki Iwai<sup>1</sup>, Shinobu Satoh<sup>1</sup> (<sup>1</sup>University of Tsukuba, Faculty of  
Life and Environmental Sciences, <sup>2</sup>Tohoku University, Graduate School of Life Sciences,  
<sup>3</sup>Teikyo University, Department of Biosciences)

13:30 S10-2 Analysis of Arabidopsis attractant of plant parasitic nematode, *M. incognita*.  
Shinichiro Sawa<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Kumamoto University)

13:55 S10-3 Intimate plant-plant interactions between parasitic plants and their hosts  
Satoko Yoshida<sup>1</sup>, Songkui Cui<sup>1</sup>, Takanori Wakatake<sup>1,2</sup>, Thomas Spallek<sup>1</sup>, Yasunori  
Ichihashi<sup>1</sup>, Simon Saucet<sup>1</sup>, Ken Shirasu<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>RIKEN CSRS, <sup>2</sup>Grad. Sch. Sci, Univ. Tokyo)

● Chairperson: Shinichiro Sawa

14:20 S10-4 Molecular basis of the intracellular MAPK activation induced by perception of fungal chitin in  
Arabidopsis  
Tsutomu Kawasaki<sup>1</sup>, Koji Yamaguchi<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Dept. Adv. Biosci. Kindai Univ.)

14:45 S10-5 Auxin-mediated dual-step termination of floral stem cells  
Toshiro Ito<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Nara Inst. of Sci. and Tech., Singapore Temasek Life Sci. Lab.)

15:10 S10-6 Regulation of pollen tube guidance by secreted molecules.  
Masahiro Kanaoka<sup>1</sup>, Tetsuya Higashiyama<sup>1,2,3</sup> (<sup>1</sup>Grad. Sch. Sci., Nagoya Univ., <sup>2</sup>ERATO  
Higashiyama Live-Holonics Project, <sup>3</sup>ITbM, Nagoya Univ.)

15:35 Discussion

共 催

新学術領域「植物細胞壁機能」

3月20日(日) 9:00～11:50 X会場

光合成生物の多様な呼吸の世界～O<sub>2</sub>利用戦略をとらえる～

オーガナイザー 三宅 親弘 (神戸大学大学院)  
野口 航 (東京薬科大)

09:00

はじめに

三宅親弘<sup>1</sup> (1神戸大学大学院)

●座長：三宅 親弘

9:05

S11-1

裸子植物は被子植物よりもチラコイド膜における酸素依存電子伝達の能力が高い  
津山孝人<sup>1</sup>, Radka Vladkova<sup>2</sup> (1九州大学農学部, 2Bulgarian Acad. Sci.)

9:30

S11-2

光合成している葉におけるミトコンドリア呼吸の役割  
野口航<sup>1</sup>, 渡辺千尋<sup>2</sup> (1東京薬科大学生命科学部, 2東京大学大学院理学系研究科)

9:55

S11-3

C<sub>4</sub>光合成における葉緑体NDH複合体の役割  
宗景ゆり<sup>1</sup> (1関西学院大・理工学)

10:20

休憩

●座長：野口 航

10:25

S11-4

光呼吸がもたらす光化学系I酸化メカニズム—光合成電子伝達鎖の酸化還元状態はエレクトロンシンクにおけるATP消費速度により制御される—  
高木大輔<sup>1</sup>, 橋口真貴<sup>1</sup>, 牧野周<sup>2</sup>, 三宅親弘<sup>1</sup> (1神戸大学農学研究科植物栄養学研究室, 2東北大学農学研究科植物栄養生理学研究室)

10:50

S11-5

Rubiscoと光呼吸  
鈴木雄二<sup>1</sup>, 牧野周<sup>1</sup> (1東北大学大学院農学研究科)

11:15

S11-6

シアノバクテリアと藻類における呼吸と光合成の相互作用  
園池公毅<sup>1</sup>, 三角将洋<sup>1</sup>, 鈴木健太<sup>1</sup>, 小川敬子<sup>1</sup>加藤浩<sup>2</sup>, 鞆達也<sup>3</sup> (1早稲田大教育・総合科学, 2三重大生命科学研究支援センター, 3東京理科大学理学部)

11:40

おわりに

野口航<sup>1</sup> (1東京薬科大)

CREST 研究領域

“環境変動に対する植物の頑健性の解明と応用に向けた基盤技術の創出”

3月20日(日) 9:00 ~ 12:00 Y会場

Evolution and diversity of glucosinolate/myrosinase systems

Organizers Ryohei Thomas Nakano (MPI for Plant Breeding Res.)  
Makoto Shirakawa (Univ. British Columbia)

● Chairperson: Ryohei Thomas Nakano

09:00 Opening remarks

09:10 S12-1 Regulatory mechanisms of glucosinolate biosynthesis  
Masami Yokota Hirai<sup>1</sup> (<sup>1</sup>RIKEN CSRS)

09:45 S12-2 Co-option of *FAMA*, the Master Regulator for the Development of Myrosin Cells and Guard Cells  
Makoto Shirakawa<sup>1</sup> (<sup>1</sup>The University of British Columbia)

● Chairperson: Makoto Shirakawa

10:20 S12-3 ER bodies and indole glucosinolates: a functional coordination through a transcriptional network  
Ryohei Thomas Nakano<sup>1,2</sup>, Paul Schulze-Lefert<sup>1,2</sup>, Ikuko Hara-Nishimura<sup>3</sup>, Pawel Bednarek<sup>4</sup> (<sup>1</sup>Dept. of Plant Microbe Interactions, Max Planck Institute for Plant Breeding Research, Germany, <sup>2</sup>Cluster of Excellence on Plant Science (CEPLAS), Germany, <sup>3</sup>Dept. of Botany, Graduate School of Science, Kyoto University, Japan, <sup>4</sup>Institute of Bioorganic Chemistry, Polish Academy of Sciences, Poland)

10:55 S12-4 Function of indole glucosinolates in the immunity of model Brassicaceae plant species.  
Mariola Pislewska-Bednarek<sup>1</sup>, Paul Schulze-Lefert<sup>2</sup>, Pawel Bednarek<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Institute of Bioorganic Chemistry PAS, Poznan, <sup>2</sup>Max Planck Institute for Plant Breeding Research, Cologne)

11:30 Discussions

● Chairperson: Ryohei Thomas Nakano

11:50 Closing remarks



3月19日(土) 13:00～16:00 Z会場

## データベース講習会

オーガナイザー 矢野 健太郎 (明治大・バイオインフォマティクス)  
 工藤 徹 (明治大・バイオインフォマティクス)  
 小林 正明 (明治大・バイオインフォマティクス)

## ● 座長：矢野 健太郎

13:00 D01-1 はじめに

矢野健太郎<sup>1</sup> (1明治大・農・バイオインフォマティクス)

## ● 座長：工藤 徹

13:05 D01-2 Plant-PrAS：タンパク質の物理化学的、構造的性質、翻訳後修飾注釈と植物種間における比較

黒谷篤之<sup>1</sup>, トクマコフアレクサンダー<sup>2</sup>, 山田豊<sup>1</sup>, 黒田裕<sup>3</sup>, 篠崎一雄<sup>1</sup>, 櫻井哲也<sup>1,4</sup>  
 (1理研CSRS, 2神戸大・自然, 3東京農工大・工, 4高知大学・複合)

13:45 D01-3 TENOR：12種類のストレス・植物ホルモン処理条件下におけるイネのトランスクリプトームデータベース

川原善造<sup>1</sup>, 大野陽子<sup>1</sup>, 脇本泰暢<sup>2</sup>, 緒方洵<sup>1</sup>, 金森裕之<sup>1</sup>, 佐々木晴美<sup>1</sup>, 森聡美<sup>1</sup>,  
 松本隆<sup>1</sup>, 伊藤剛<sup>1</sup> (1生物研・農業生物先端ゲノム研究センター, 2ピッツ(株))

14:25 休憩

## ● 座長：小林 正明

14:35 D01-4 変異体データベース 'TOMATOMA' のアップデート：果実代謝情報の公開

星川健<sup>1</sup>, 有泉亨<sup>1</sup>, 江面浩<sup>1</sup> (1筑波大学)

15:15 D01-5 OryzaGenome and its Future Perspectives

大柳一<sup>1,2,8</sup>, Matthew Shenton<sup>1</sup>, 江端俊伸<sup>3</sup>, 山崎由紀子<sup>4,8</sup>, 藤田雅丈<sup>1</sup>, 望月孝子<sup>5</sup>,  
 Xuehui Huang<sup>6</sup>, Hao Gong<sup>6</sup>, 神沼英里<sup>5,8</sup>, 中村保一<sup>5,8</sup>, 豊田敦<sup>7</sup>, 藤山秋佐夫<sup>7,8</sup>,  
 Qi Feng<sup>6</sup>, Zi-Xuan Wang<sup>1,6</sup>, Bin Han<sup>6</sup>, 倉田のり<sup>1,8</sup> (1国立遺伝学研究所 植物遺伝研究室,  
 2明治大学農学部生命学科バイオインフォマティクス研究室, 3株式会社ダイナコム,  
 4国立遺伝学研究所系統情報研究室, 5国立遺伝学研究所大量遺伝情報研究室,  
 6National Center for Gene Research, Chinese Academy of Sciences, Shanghai, PRC,  
 7国立遺伝学研究所比較ゲノム解析研究室, 8総合研究大学院大学生命科学研究科遺伝学専攻,  
 9Computational Bioscience Research Center, King Abdullah University of Science and Technology, Thuwal 23955-6900, Kingdom of Saudi Arabia)

## ● 座長：矢野 健太郎

15:55 総合討論

共 催

科研費・新学術領域研究「ゲノム・遺伝子相関：新しい遺伝学分野の創成」

3月19日(土) 16:15～18:00 Y, Z(中継)会場

日本植物生理学会授賞式  
学会賞・奨励賞・PCP論文賞

16:15	選考経過報告	各選考委員会委員長
16:30	賞状授与	会長

日本植物生理学会賞・受賞講演

16:40	A01	日本植物生理学会賞 「植物メタボロミクスの開発とゲノム機能科学研究への応用」 齊藤和季 <sup>1,2</sup> (1千葉大学大学院薬学研究院, 2理化学研究所環境資源科学研究センター)
17:00	A02	日本植物生理学会奨励賞 「植物の組織分化を制御する分子機構の研究」 伊藤(大橋)恭子 (東京大学大学院理学系研究科)
17:15	A03	日本植物生理学会奨励賞 「植物の生長・発生における脂質多様性 (Lipid Diversity) に関する研究」 中村友輝 (台湾 中央研究院植物及微生物学研究所)
17:30	A04	PCP論文賞 後藤(山田)志野 (京都大学大学院理学研究科) Shino Goto-Yamada, Shoji Mano, Chihiro Nakamori, Maki Kondo, Ryuichi Yamawaki, Akira Kato and Mikio Nishimura (2014) “Chaperone and Protease Functions of LON Protease 2 Modulate the Peroxisomal Transition and Degradation with Autophagy” ( <i>Plant Cell Physiology</i> . 55 (3), 482-496.)

3月17日(木) 13:30～18:40  
岩手大学総合教育研究棟(生命系)1階 7番講義室  
(<http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/introduction/map.html>)

### 第18回植物オルガネラワークショップ

「雨ニモマケズ 風ニモマケズ 雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ 植物オルガネラの環境適応戦略」

世話人(50音順): 小保方潤一, 加藤裕介, 河野重行, 楠見健介, 小林裕和,  
西村芳樹, 林 秀洋, 林田信明, 宮沢 豊

13:30	開会 世話人挨拶
セッション1: 膜機能とオルガネラ (13:35～15:20)	
13:35～14:10	研究の前に…そのGFPは大丈夫? 弱いGFP二量体化ニモマケル 液胞膜動態 瀬上紹嗣, 前島正義 (名古屋大学大学院生命農学研究科)
14:10～14:45	オートファジーによる光障害葉緑体の除去: 選択的クロロファジー 泉正範 (東北大学 学際科学フロンティア研究所)
14:45～15:20	光合成電子伝達の低温感受性が根の温度で大きく変わる 鈴木健策 (農研機構 東北農業研究センター)
15:20～15:35	休憩
セッション2: 葉緑体の環境応答 (15:35～17:20)	
15:35～16:10	植物の成長を制御する葉緑体型緊縮応答 増田真二 (東京工業大学 バイオ研究基盤支援総合センター)
16:10～16:45	葉緑体は光に応じてどのように細胞内を移動するのか? 孔三根 (九州大学動的構造生命科学研究センター)
16:45～17:20	低温応答性葉緑体タンパク質の機能・構造とその利用 稲葉丈人 (宮崎大学農学部)
17:20～17:30	休憩
17:30～18:30	特別講演 「凍結耐性機構に関わる細胞膜の組成, 構造, 機能の関わり」 上村松生 (岩手大学 寒冷バイオフィロンティア研究センター)
18:30	総合討論
18:40	閉会
19:00～	ミキサー ビアパブ ベアレン材木町店(地ビール醸造所直営パブ) <a href="http://www.baerenbier.com/pub/index.htm">http://www.baerenbier.com/pub/index.htm</a>

上記のワークショップを第57回日本植物生理学会年会のサテライトとして開催します。参加は無料です。また、ワークショップ後に予定しています。ミキサーの参加費は4,000円(学生3,500円予定)で、当日会場にて徴収します。ワークショップおよびミキサーへの参加希望者は3月7日(月)までに次のホームページよりお申し込み下さい。当日参加も歓迎します。 <http://sfns.u-shizuoka-ken.ac.jp/pctech/workshop>

連絡先: 林 秀洋 (東北農業研究センター) [hdrhys@affrc.go.jp](mailto:hdrhys@affrc.go.jp)  
楠見健介 (九州大学) [kusumi.k.239@m.kyushu-u.ac.jp](mailto:kusumi.k.239@m.kyushu-u.ac.jp)

2016年3月17日(木) 16:00～18:30  
岩手大学総合教育研究棟(生命系)スペースC

第1回光合成細菌ワークショップ

15:30～16:00	受付
16:00～16:05	開会・世話人代表挨拶(原田二郎)
16:05～16:35	「クロロフィル生合成研究を先導する光合成細菌 <i>Rhodobacter capsulatus</i> 」 藤田祐一 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 名古屋大学・大学院生命農学研究科)
16:35～17:05	「好熱性紅色細菌 <i>Thermochromatium tepidum</i> 由来光捕集1反応中心複合体における吸収特性および耐熱性制御の分子機構」 木村行宏 <sup>1</sup> , 由良優季 <sup>1</sup> , 永麗 <sup>1</sup> , 大野隆 <sup>1</sup> , 大友征宇 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 神戸大学・大学院農学研究科, <sup>2</sup> 茨城大学・理学部)
17:05～17:20	「紅色光合成細菌を用いた環境応答性センサータンパク質の研究」 清水隆之 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東京工業大学・大学院生命理工学研究科)
17:20～17:35	休憩
17:35～18:05	「酸素非発生型光合成細菌のエネルギー代謝制御機構」 新井博之 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学・大学院農学生命科学研究科応用生命工学専攻)
18:05～18:20	「海洋性光合成細菌 <i>Rhodovulum sulfidophilum</i> の細胞外核酸」 長尾信義 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 豊橋技術科学大学・大学院工学研究科)
18:20～18:30	総合討論
19:20～	親睦会

3月18日(金) 19:15～20:45 A会場

植物生理若手の会 2016 (第34回講演会)  
研究者としてどう生きるか～企業とアカデミア～

19:15～19:20

幹事挨拶

19:20～19:55

「植物学を学んだ学生のキャリアケーススタディ：  
一般企業就職(味の素株式会社の複数社員)の事例を中心に」  
土井秀高<sup>1</sup>(<sup>1</sup>味の素株式会社 アミノサイエンス事業本部)

19:55～20:30

「じぶんを科学する」  
市橋泰範<sup>1</sup>(<sup>1</sup>理化学研究所 環境資源科学研究センター)

20:30～20:45

総合討論

幹事：熊倉 直祐(理化学研究所 環境資源科学研究センター)  
近藤 侑貴(東京大学 理学部)  
門田 康弘(理化学研究所 環境資源科学研究センター)

E-mail: [jsyppmeeting@yahoo.co.jp](mailto:jsyppmeeting@yahoo.co.jp)

3月18日(金) 12:40～13:30 Y会場

PCP 特別企画

アクセプトされる論文を書くには?～学术论文の執筆と論文出版の基礎～  
Increase your chance of success: how to write and publish a scientific paper

PCP編集委員会主催・OUP協力

12:40	PCP編集長からのご挨拶 [日本語・英語] Welcome note from the Editor-in Chief [Japanese/English] 山谷知行 (東北大学) Tomoyuki Yamaya (Tohoku University)
12:42	科学論文の書き方 [英語] How to write a scientific paper [English] Liliana Costa (PCP Managing Editor)
12:50	わかりやすい図表作成のコツ [英語] Tips on figure preparation [English] Liliana Costa (PCP Managing Editor)
13:00	カバーレター・レスポンスレターの重要性 [日本語・英語] Importance of a good author cover/response letter [Japanese/English] 榊原均 (名古屋大学・理化学研究所) Hitoshi Sakakibara (Nagoya University, RIKEN CSRS)
13:10	海外エディターへの質問コーナー [英語] Ask the editors [English] Alain Goossens (Ghent University, Belgium), Hongwei Guo (Peking University, China)*, and Uta Paszkowski (University of Cambridge, United Kingdom)*  *登壇エディターは変更の可能性あり/TBC

※本セミナーはランチョンセミナーです。先着150名様までにお弁当とお茶をご用意しています。事前申し込みは不要です。

※ The first 150 attendees are served a lunchbox and a bottle of tea. No prior application required.

3月19日（土） 12:10～13:00 Y会場

GMO 特別企画  
「新植物育種技術の最近の動向」

世話人：小泉 望（大阪府立大学，日本植物生理学会 GMO 対応 WG 委員長）

12:10

世話人挨拶

12:15

「新植物育種技術の最近の動向」

鈴木富男（農林水産省農林水産技術会議事務局技術政策課技術安全室長）

12:50

質疑応答

※先着150名様までにお弁当とお茶をご用意しています。事前申し込みは不要です。

3月20日(日) 12:10～13:00 Y会場

男女共同参画キャリアパスセミナー(ランチョンセミナー)  
「仕事と家庭の両立を目指す会員のパネルディスカッション Part2」

進行：日本植物生理学会男女共同参画委員会

12:10

学会長挨拶  
西村いくこ 前会長

12:13

「男女共同参画学協会連絡会」幹事学会の活動報告(シンポジウム報告)ほか  
男女共同参画・前委員長 田中 寛  
同・新委員長 藤田祐一

12:20

仕事と家庭の両立を目指す会員のパネルディスカッション Part2  
パネリスト：水谷正治(神戸大学・准教授)  
関本(佐々木)結子(東工大・助教)  
浅井智広(立命館大学・助教)  
岩井雅子(東工大・研究員)

※先着100名様までにお弁当とお茶をご用意しています。事前申し込みは不要です。

## 一般講演（口頭）プログラム

● 第1日 3月18日(金) 午前(9:30-12:30)

時 間	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場
	栄養成長	発生/成長	細胞壁	光捕集系・光合成色素	環境応答/非生物ストレス応答 (乾燥・水分・浸透圧・他)
9:30	1aA01 アラビノガラクトタンパク質生合成における鍵酵素の同定と解析 小川(大西)真理, 川本剛, 松林嘉克 (名古屋大学大学院理学研究科)	1aB01 小穂の発生に多面的な異常を生じる変異体 <i>washidukami (wad)</i> の解析 杉山茂大 <sup>1</sup> , 田中若奈 <sup>1</sup> , 鳥羽大陽 <sup>2</sup> , 平野博之 <sup>1</sup> (東大・院理学系, <sup>2</sup> 基生研)	1aC01 二次細胞壁形成で発現する遺伝子の網羅的機能解析 遠藤暁詩 <sup>1</sup> , 橋本悟史 <sup>2</sup> , 稲田のりこ <sup>1</sup> , 齊藤千恵子 <sup>1</sup> , 福田裕穂 <sup>1</sup> (東京大・院・理, <sup>2</sup> 東北大・院・生命科学)	1aD01 ㊦ 高分解能のLHI-RC複合体の結晶構造 于蘆江 <sup>1</sup> , 菅倫寛 <sup>1</sup> , 大友征宇 <sup>2</sup> , 沈建仁 <sup>1</sup> (岡山大学大学院自然科学研究科, <sup>2</sup> 実城大学理学部)	1aE01 AtABC25過剰発現によるABAシグナルの促進と植物水利用効率の向上 黒森崇, 藤田美紀, 杉本絵理子, 篠崎一雄 (理研・CSRS)
9:45	1aA02 シロイヌナズナのサーモスベルミン応答におけるSAC51ファミリーの機能 蔡青青 <sup>1</sup> , 本瀬宏康, 高橋卓 (岡山大学・院・自然科学)	1aB02 イネ <i>floral organ number2</i> 変異を亢進する変異体の解析 鈴木千絵, 佐藤大輔, 田中若奈, 平野博之 (東大・院・理)	1aC02 道管において二次細胞壁パターンを協調的に制御するROP GTPaseシグナルの解析 長島慶宜 <sup>1,2</sup> , 福田裕穂 <sup>1</sup> , 小田祥久 <sup>2</sup> (東京大・院理, <sup>2</sup> 国立遺伝研・新分野)	1aD02 Spillover in intact megacomplexes composed of phycobilisome and both photosystems in cyanobacterial cells 植野嘉文 <sup>1</sup> , 藍川晋平 <sup>2</sup> , 近藤昭彦 <sup>2</sup> , 秋本誠志 <sup>1,3</sup> (神戸大・院理, <sup>2</sup> 神戸大・院工, <sup>3</sup> 神戸大・分子フォト)	1aE02 遺伝子ターゲットングを用いたゼニゴケABI3の機能解析 兼井雅和 <sup>1</sup> , 小松亮介 <sup>1</sup> , 小野大輔 <sup>1</sup> , 優羽萩原 <sup>2</sup> , 小松憲治 <sup>3</sup> , 竹澤大輔 <sup>2</sup> , 西浜竜一 <sup>3</sup> , 石崎公庸 <sup>4</sup> , 河内孝之 <sup>5</sup> , 太治輝昭 <sup>1</sup> , 林隆久 <sup>1</sup> , 坂田洋一 <sup>1</sup> (東京農大・バイオ, <sup>2</sup> 埼玉大・大学院理工学研究科, <sup>3</sup> 東京農大短大・生物生産, <sup>4</sup> 神戸大・院・理, <sup>5</sup> 京都大・院・生命科学)
10:00	1aA03 シロイヌナズナのサーモスベルミン欠損変異 <i>acl5</i> に対する新奇抑圧変異の解析 山本理衣, 本瀬宏康, 高橋卓 (岡山大学・院・自然科学)	1aB03 ライブイメージングで探る受精卵の極性化過程における細胞内動態 木全祐資 <sup>1</sup> , 栗原大輔 <sup>2</sup> , 佐藤良勝 <sup>3</sup> , 東山哲也 <sup>1,2,3</sup> , 植田美那子 <sup>1,3</sup> (名古屋大・院生命理学, <sup>2</sup> JST-ERATO・東山ライブホロニクス, <sup>3</sup> トランスフォーメティブ生命分子研究所)	1aC03 リグニン形成に関わる植物ペロキシダーゼを用いたリグニンモノマー脱水素重合 重藤潤, 堤祐司 (九州大学農学研究院)	1aD03 シアノバクテリアにおけるインゾレノイドの光合成生産の改良 清田浩史 <sup>1</sup> , 奥田裕紀子 <sup>1</sup> , 梅野大輔 <sup>2</sup> , 平井優美 <sup>3</sup> , 池内昌彦 <sup>4</sup> (東京大学・総合文化研究科・広域科学専攻, <sup>2</sup> 千葉大学・工学部, 共生応用科学科, <sup>3</sup> 理化学研究所・環境資源科学研究中心)	1aE03 ヒメツリガネゴケにおけるABI5オルソログ遺伝子の機能解析 藤崎健 <sup>1</sup> , 猿橋正史 <sup>2</sup> , 佐藤加菜 <sup>1</sup> , 大井将護 <sup>1</sup> , 太治輝昭 <sup>1</sup> , 林隆久 <sup>1</sup> , 坂田洋一 <sup>1</sup> (東京農大・院・バイオ, <sup>2</sup> 埼玉大・大学院・理工学研究科)
10:15	1aA04 イネの茎の伸長におけるフロリゲン機能の解析 吉田明希子 <sup>1,2</sup> , 榎原均 <sup>2</sup> , 経塚淳子 <sup>1</sup> (東北大学, <sup>2</sup> 理研)	1aB04 花粉管と胚珠の相互作用に関するシミュレーション解析 鈴木孝征 <sup>1,2</sup> , 水多陽子 <sup>2</sup> , 東山哲也 <sup>2,3,4</sup> (中部大・応用生物, <sup>2</sup> JST-ERATO 東山, <sup>3</sup> 名大・ITbM, <sup>4</sup> 名大院・理)	1aC04 リグニン生合成に関与する植物ペロキシダーゼの発現および局在解析 堤祐司 <sup>1</sup> , 大平香織 <sup>2</sup> , 重藤潤 <sup>1</sup> , 鎌田政彦 <sup>2</sup> (九州大学大学院農学研究科, <sup>2</sup> 九州大学大学院生物資源環境科学府)	1aD04 緑色硫黄細菌の自己会合型色素生合成で働くクロロフィリド <i>a</i> デマトキシルボニラーゼBciCの解析 原田二郎 <sup>1</sup> , 寺村美里 <sup>2</sup> , 溝口正 <sup>2</sup> , 山本健 <sup>1</sup> , 民秋均 <sup>1</sup> (久留米大・医, <sup>2</sup> 立命館大院・生命科学)	1aE04 ヒメツリガネゴケのABA・高浸透圧および低温応答に関わるRaf様キナーゼARKのリン酸化による制御 石崎優美子 <sup>1</sup> , 猿橋正史 <sup>1</sup> , 野口明孝 <sup>1</sup> , 萩原和哉 <sup>1</sup> , 坂田洋一 <sup>2</sup> , 梅澤泰史 <sup>3</sup> , 竹澤大輔 <sup>1</sup> (埼玉大学大学院理工学研究科, <sup>2</sup> 東京農大バイオサイエンス学科, <sup>3</sup> 東京農大生物システム応用化学府, <sup>4</sup> 埼玉大学理学部生体制御学科)
10:30	1aA05 気孔の発生における細胞極性の形成に異常をもたらす低分子化合物の解析 阪井裕美子 <sup>1</sup> , 菅野茂夫 <sup>2</sup> , 中川強 <sup>3</sup> , 西村いくこ, 嶋田知生 <sup>1</sup> (京大・院理, <sup>2</sup> 徳島大・農工商連携センター, <sup>3</sup> 鳥根大・総合科学研究支援センター)	1aB05 MADS-box 遺伝子はヒメツリガネゴケの受精に必要な2つの機能を持つ 越水静 <sup>1,2</sup> , 青野直樹 <sup>1</sup> , 佐々木(関本)結子 <sup>3</sup> , 下嶋美恵 <sup>4</sup> , 太田啓之 <sup>4</sup> , 重信秀治 <sup>2,5</sup> , 村田隆 <sup>1,2</sup> , 長谷部光泰 <sup>1,2</sup> (基生研・生物進化, <sup>2</sup> 総研大・生命科学, <sup>3</sup> 東工大・地球生命研究所, <sup>4</sup> 東工大・院生命理工学, <sup>5</sup> 基生研・生物機能情報分析室)	1aC05 異所的な道管細胞誘導系を用いた新規変異体の単離 平井理作 <sup>1</sup> , 竹中悠人 <sup>1</sup> , 坂本勇貴 <sup>2</sup> , 長谷川淳子 <sup>3</sup> , 松永幸大 <sup>1,2</sup> , 大谷美沙都 <sup>1,3</sup> , 出村拓 <sup>1,3</sup> (奈良先端大・院バイオサイエンス, <sup>2</sup> 東理大・院応用生物, <sup>3</sup> 理研・CSRS)	1aD05 緑色植物における光捕集系の進化 古川亮 <sup>1</sup> , 功刀基 <sup>1</sup> , 井原邦夫 <sup>2</sup> , 高林厚史 <sup>1,2</sup> , 田中歩 <sup>1,2</sup> (北海道大学 低温科学研究所, <sup>2</sup> JST-CREST, <sup>3</sup> 名古屋大学 遺伝子実験施設)	1aE05 アブジジンシグナル伝達経路を介した原形質連絡の制御 友井拓実 <sup>1</sup> , 北川宗典 <sup>2</sup> , 坂田洋一 <sup>3</sup> , 藤田知道 <sup>4</sup> (北大・院生命, <sup>2</sup> 理研・横浜, <sup>3</sup> 東農大・バイオ, <sup>4</sup> 北大・院理)
10:45	1aA06 葯の気孔の形成メカニズムとその機能解析 武田麻里, 阪井裕美子, 今井悠, 西村いくこ, 嶋田知生 (京大・院理学)	1aB06 シロイヌナズナの根の光屈性におけるオーキシン輸送・生合成・シグナル伝達の機能解析 木村太郎 <sup>1</sup> , 芳賀健 <sup>2</sup> , 志水-三田尾 佛 <sup>3</sup> , 竹林裕美子 <sup>4</sup> , 林謙一郎 <sup>5</sup> , Zhao Yunde <sup>6</sup> , 柿本辰男 <sup>7</sup> , 笠原博幸 <sup>4</sup> , 酒井達也 <sup>1</sup> (新潟大・院自然科学, <sup>2</sup> 日工大・共通教育, <sup>3</sup> 大阪大・理学・生命科学, <sup>4</sup> 理研・CSRS, <sup>5</sup> 岡山理科大・理・生物化学, <sup>6</sup> カリフォルニア大サンディエゴ校)	1aC06 GDP-マンノース合成におけるKONJACタンパク質の役割 小竹敏久 <sup>1,2</sup> , 佐分将太 <sup>1</sup> , 田島範明 <sup>1</sup> , Jenny Mortimer <sup>2,3</sup> , Lao Jcemeng <sup>2</sup> , 石川寿樹 <sup>1</sup> , Xiaolan Yu <sup>1</sup> , 山梨優貴子 <sup>1</sup> , 吉見圭夫 <sup>1</sup> , 川谷真紀 <sup>1</sup> , Paul Dupree <sup>2</sup> , 円谷陽一 <sup>1</sup> (埼玉大・院理工, <sup>2</sup> ケンブリッジ大・生化, <sup>3</sup> ジョイントバイオエナジー研究所)	1aD06 鉄硫黄クラスター合成に関わるSufBタンパク質は、クロロフィル合成やフィトクロームシグナリングにも関与しているか? Xueyun Hu <sup>1</sup> , Mike T. Page <sup>2</sup> , 田中歩 <sup>1,3</sup> , Matthew J. Terry <sup>2,4</sup> , 田中亮一 <sup>1,3</sup> (北海道大学低温科学研究所, <sup>2</sup> Centre Biol Sci, Uni. Southampton, <sup>3</sup> CREST/JST, <sup>4</sup> Inst. Life Sci, Uni. Southampton)	1aE06 シロイヌナズナ塩馴化後浸透圧耐性変異株の単離・解析 國武温 <sup>1</sup> , 有賀裕嗣 <sup>1</sup> , 井内聖 <sup>2</sup> , 小林正智 <sup>2</sup> , 坂田洋一 <sup>1</sup> , 林隆久 <sup>1</sup> , 太治輝昭 <sup>1</sup> (東京農大・バイオ, <sup>2</sup> 理研・BRC)

F会場	G会場	H会場	I会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
<p>一次代謝 (窒素・炭素)</p> <p><b>1aF01</b> シロイヌナズナ高親和性硝酸イオン輸送体遺伝子 <i>NRT2.1</i> の発現制御メカニズム 前田佳栄, 小西美穂子, 倉井友寛, 佐脇直哉, 杉本南, 柳澤修一 (東大・生物生産工学研究センター)</p> <p><b>1aF02</b> Lack of cytosolic glutamine synthetase1;2 reduced the availability of glutamine and sucrose for axillary bud outgrowth in the rice seedling. 大橋和租, 石山敬貴<sup>1</sup>, 草野都<sup>2,3</sup>, 福島敦史<sup>2</sup>, 小島創一<sup>1</sup>, 山谷知行<sup>1</sup>, 早川俊彦<sup>1</sup> (東北大・院農学, <sup>2</sup>筑波大・院生命, <sup>3</sup>理研・CSRS)</p> <p><b>1aF03</b> シロイヌナズナのサイトゾル型グルタミン合成酵素 GLN1;2 に依存的なアンモニウムの同化 小西範幸<sup>1,2</sup>, 石山敬貴<sup>1</sup>, 菅野圭一<sup>1</sup>, 山谷知行<sup>1</sup>, 小島創一<sup>1</sup> (東北大・院農学, <sup>2</sup>東北大・国際高等研究教育院)</p> <p><b>1aF04</b>  A serine/threonine/tyrosine protein kinase, OsACTPK1, mediates down-modulation of the high-affinity ammonium uptake by rice roots under high ammonium supply Marcel Pascal Beier, 石澤仁, 吉田喜紀, 小島創一, 早川俊彦 (東北大大学院農学研究科 植物細胞生化学分野)</p> <p><b>1aF05</b> グルタミン酸合成を制御するタンパク質複合体の解析 庭田章弘<sup>1</sup>, 高林厚史<sup>1,2</sup>, 田中歩<sup>1,2</sup> (北海道大学 低温科学研究所, <sup>2</sup>JST CREST)</p> <p><b>1aF06</b> 窒素再利用代謝としてのプリン分解の役割検証 高木紘<sup>1</sup>, 渡邊俊介<sup>1</sup>, 田中翔馬<sup>1</sup>, 島田裕士<sup>1</sup>, 坂本敦<sup>1</sup> (広島大・院理, <sup>2</sup>理研・CSRS)</p>		<p>転写・転写後制御</p> <p><b>1aH01</b> トランスボゾンによる配列特異的な抑制の進化 齋藤綾<sup>1,2</sup>, 高島和哉<sup>1</sup>, 伊藤佑<sup>1</sup>, 榎谷芳明<sup>1,2</sup>, 角谷徹仁<sup>1,2</sup> (国立遺伝学研究所総合遺伝研究系育種遺伝研究部門, <sup>2</sup>総合研究大学院大学生命科学研究所遺伝学専攻)</p> <p><b>1aH02</b> TARP タンパク質が関与する siRNA 合成経路の解析 塚田道雄<sup>1</sup>, 都筑正行<sup>1</sup>, 深尾陽一郎<sup>2</sup>, 栗原志志<sup>3</sup>, 松井南<sup>3</sup>, 元村一基<sup>4</sup>, 田村謙太郎<sup>5</sup>, 西村いくこ<sup>5</sup>, 渡邊雄一郎<sup>1</sup>, 濱田隆宏<sup>1</sup> (東京大・院・総合文化, <sup>2</sup>立命館大・生命, <sup>3</sup>理研・CSRS, <sup>4</sup>名古屋大・WPI-ITbM, <sup>5</sup>京都大・院・理)</p> <p><b>1aH03</b>  環境ストレス条件下での新規アンチセンス RNA の生成機構とその生理的な役割 松井章浩<sup>1</sup>, 飯田慶<sup>2</sup>, 田中真帆<sup>1</sup>, 眞鍋理一郎<sup>3</sup>, 山口勝司<sup>4</sup>, 水無佳代子<sup>1</sup>, 金鐘明<sup>1</sup>, 小林紀郎<sup>5</sup>, 重信秀治<sup>6</sup>, 篠崎一雄<sup>6</sup>, 豊田哲郎<sup>7</sup>, 関原明<sup>1,7,8</sup> (理研 CSRS, 植物ゲノム発現研究チーム, <sup>2</sup>京大, 医学研究科, 医学研究支援センター, <sup>3</sup>理研, CLST, <sup>4</sup>基生研, 生物機能解析センター, <sup>5</sup>理研, ACCC, <sup>6</sup>理研・CSRS, 機能開発研究グループ, <sup>7</sup>横浜市大, 木原生物学研究所, <sup>8</sup>科学技術振興機構 CREST)</p> <p><b>1aH04</b> ホウ素輸送体 NIP5;1 における最小 uORF を介したホウ素依存的なリボソーム停滞と共役した mRNA 分解機構に必須な配列の解析 田中真幸<sup>1</sup>, 反田直之<sup>1</sup>, 三輪京子<sup>2</sup>, 千葉由香子<sup>3,4</sup>, 尾之内均<sup>5</sup>, 内藤哲<sup>3,5</sup>, 藤原徹<sup>1</sup> (東大院・農, <sup>2</sup>北大院・地球環境, <sup>3</sup>北大院・生命, <sup>4</sup>北大院・理, <sup>5</sup>北大院・農)</p> <p><b>1aH05</b> 維管束形成を制御する LONESOME HIGHWAY 遺伝子の uORF ペプチドが介する翻訳制御機構 大角有里沙<sup>1</sup>, 木俣薫織<sup>1</sup>, 梅原俊一<sup>2</sup>, 戸田智美<sup>2</sup>, 遠洞弥生<sup>2</sup>, 蝦名織<sup>3</sup>, 内藤哲<sup>1,3</sup>, 尾之内均<sup>1</sup> (北海道大学・農学院, <sup>2</sup>北海道大学・農学部, <sup>3</sup>北海道大学・生命科学院)</p> <p><b>1aH06</b> リボソームアレストを引き起こす被子植物 uORF の探索 林憲哉<sup>1</sup>, 高橋広夫<sup>2</sup>, 内藤哲<sup>1,3</sup>, 尾之内均<sup>3</sup> (北大・院生命, <sup>2</sup>千葉大・園芸, <sup>3</sup>北大・院農)</p>	<p>オルガネラ/細胞骨格</p> <p><b>1aI01</b> 単細胞紅藻シゾンの概日時計応答に関わる細胞内シグナル伝達の解析 片野貴章<sup>1</sup>, 雪竹健太郎<sup>1</sup>, 恵良厚子<sup>2</sup>, 宮城島進也<sup>2</sup>, 藤井岳<sup>3</sup>, 今村壮輔<sup>3</sup>, 田中寛<sup>3</sup>, 華岡光正<sup>1</sup> (千葉大・院園芸・応用生命, <sup>2</sup>遺伝研, <sup>3</sup>東工大・資源研)</p> <p><b>1aI02</b> 単細胞紅藻シゾンの葉緑体光応答に関わる CmHIK の機能解析 小倉駿佑<sup>1</sup>, 安藤洗幸<sup>1</sup>, 佐藤大地<sup>1</sup>, 渡辺智<sup>2</sup>, 藤井岳<sup>3</sup>, 今村壮輔<sup>3</sup>, 田中寛<sup>3</sup>, 五十嵐雅之<sup>4</sup>, 内海龍太郎<sup>5</sup>, 華岡光正<sup>1</sup> (千葉大・院園芸・応用生命, <sup>2</sup>東京農大・バイオ, <sup>3</sup>東工大・資源研, <sup>4</sup>微化研, <sup>5</sup>近畿大・農・バイオ)</p> <p><b>1aI03</b> 単細胞紅藻シゾンにおける葉緑体から核への光情報伝達 大原ひかる<sup>1</sup>, 安藤洗幸<sup>1</sup>, 恵良厚子<sup>2</sup>, 宮城島進也<sup>2</sup>, 五十嵐雅之<sup>3</sup>, 内海龍太郎<sup>4</sup>, 田中寛<sup>5</sup>, 華岡光正<sup>1</sup> (千葉大・院園芸・応用生命, <sup>2</sup>遺伝研, <sup>3</sup>微化研, <sup>4</sup>近畿大・農・バイオ, <sup>5</sup>東工大・資源研)</p> <p><b>1aI04</b> プラスチドシグナル伝達における GUN1 の機能解析 望月伸悦<sup>1</sup>, 石崎公庸<sup>2</sup>, 西浜竜一<sup>3</sup>, 河内孝之<sup>3</sup>, 長谷あきら<sup>1</sup> (京大院・理, <sup>2</sup>神戸大院・理, <sup>3</sup>京大院・生命)</p> <p><b>1aI05</b> 根のプラスチドにおける RFC3 の機能とプラスチド翻訳の重要性 中田未友希<sup>1</sup>, 佐藤蘭子<sup>2</sup>, 若崎真由美<sup>2</sup>, 佐藤望<sup>3</sup>, 鹿内利治<sup>3</sup>, 豊岡公德<sup>2</sup>, 塚谷裕一<sup>4,5</sup>, 堀口吾朗<sup>1,6</sup> (立教大・理・生命理センター, <sup>2</sup>理研・CSRS, <sup>3</sup>京大・院・理, <sup>4</sup>東大・院・理, <sup>5</sup>岡崎統合バイオ・自然科学研究機構, <sup>6</sup>立教大・理・生命理)</p> <p><b>1aI06</b> 真核生物由来の因子による葉緑体核様体の進化的変遷 小林優介<sup>1</sup>, 田草川真理<sup>1,6</sup>, 原田尚実<sup>1</sup>, 深尾陽一郎<sup>2,7</sup>, 山岡尚平<sup>3</sup>, 河内孝之<sup>3</sup>, 堀孝一<sup>4</sup>, 太田啓之<sup>4,5</sup>, 鹿内利治<sup>1</sup>, 西村芳樹<sup>1</sup> (京大・院・理学, <sup>2</sup>植物グローバル・奈良先端大・院・生命, <sup>3</sup>東工大・生命理工学, <sup>4</sup>東工大・地球生命研究所, <sup>5</sup>山口大・院・医学, <sup>6</sup>立命館大・生命科学部)</p>	<p>シンポジウムの 01 Abscisic acid signaling: Beyond the discovery of PYR/PYL/RGAR (9:30-12:30)</p> <p>シンポジウムの 02 Multifaceted functions of plant-soil microbe symbioses and the molecular mechanisms (9:30-12:30)</p> <p>シンポジウムの 03 A variety of negative brakes on information encoded in nuclei (9:30-12:30)</p>	<p>9:30</p> <p>9:45</p> <p>10:00</p> <p>10:15</p> <p>10:30</p> <p>10:45</p>		

 = 発表の言語は英語

● 第1日 3月18日(金) 午前(9:30-12:30)

時 間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	栄養成長	発生/成長	細胞壁	光捕集系・光合成色素	環境応答/非生物ストレス応答 (乾燥・水分・浸透圧・他)
11:00	<p><b>1aA07</b> 幹細胞らしさを負に制御する遺伝子の解析 榎本 章<sup>2</sup>, 寺田志穂<sup>1</sup> (京大・院理・生物)</p>	<p><b>1aB07</b> 環境シグナルは in vitro 木部分化を制御する 山崎杏子, 近藤佑貴, 福田裕徳 (東京大学理学系研究科生物科学専攻生体制御研究室)</p>	<p><b>1aC07</b> シロイヌナズナのキシログルカン転移酵素・加水分解酵素ファミリータンパク質によるセルロース性多糖への糖転移反応 篠原直貴<sup>1</sup>, 砂川直輝<sup>2</sup>, 田村理<sup>3</sup>, 横山隆亮<sup>4</sup>, 五十嵐圭日子<sup>5</sup>, 上田実<sup>6</sup>, 西谷和彦<sup>1</sup> (1東北大学大学院・生命科学系研究科・植物細胞壁機能, 2東京大学大学院・農学生命科学研究科・生物材料科学, 3東北大学大学院・理学系研究科・化学)</p>	<p><b>1aD07</b> ㊦ Photosynthetic characteristics and chlorophyll-associated gene expression of variegated milky stripe fig (<i>Ficus microcarpa</i>) 施廷翰<sup>1</sup>, 黄盟元<sup>2</sup>, 林斯賢<sup>1</sup>, 楊棋明<sup>1</sup> (1Biodiversity Research Center, Academia Sinica, 2Department of Horticulture and Biotechnology, Chinese Culture University, Taiwan)</p>	<p><b>1aE07</b> Functional analysis of the acquired osmotolerance defective1, <i>aod1</i> mutant 笹生保孝<sup>1</sup>, 有賀裕剛<sup>1</sup>, 吉原亮平<sup>2</sup>, 野澤樹<sup>3</sup>, 長谷純宏<sup>2</sup>, 鳴海一成<sup>2</sup>, 井内聖<sup>1</sup>, 小林正智<sup>3</sup>, 坂田洋一<sup>1</sup>, 林隆久<sup>1</sup>, 太治輝昭<sup>1</sup> (1東京農大・バイオ, 2原子力機構・量子ビーム, 3理研・BRIC)</p>
11:15	<p><b>1aA08</b> 維管束細胞の分裂と分化に関わるLHWを制御する新規ネガティブフィードバック制御機構 伊藤(大橋)恭子<sup>1</sup>, 片山博文<sup>1</sup>, 岩本訓知<sup>1</sup>, 假屋唯香<sup>2</sup>, 浅川倫宏<sup>2</sup>, 菅敏幸<sup>2</sup>, 福田裕徳<sup>1</sup> (1東大・院・理, 2静岡県立大・薬)</p>	<p><b>1aB08</b> ㊦ A novel factor regulating phloem differentiation identified in <i>Arabidopsis</i> Aliif Meem Nurani, 近藤佑貴, 福田裕徳 (東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻生体制御研究室)</p>	<p><b>1aC08</b> シロイヌナズナのキシログルカン糖コシトランスフェラーゼとキシログルコシトランスフェラーゼの共発現ポプラ 海田るみ<sup>1</sup>, 坂本由理奈<sup>1</sup>, 勇達也<sup>1</sup>, 佐藤瑛梨奈<sup>1</sup>, 山崎稜太<sup>1</sup>, 馬場啓一<sup>2</sup>, 西尾伸也<sup>3</sup>, 西田幸次<sup>4</sup>, 太治輝明<sup>1</sup>, 坂田洋一<sup>1</sup>, 林隆久<sup>1</sup> (1東京農大・バイオサイエンス, 2京大・生, 3産研・生, 4京大・化研)</p>	<p><b>1aD08</b> クラミドモナスのクロロフィル分解酵素 SGR の機能解析 松田香織<sup>1</sup>, 下田洋輔<sup>1</sup>, 伊藤寿<sup>12</sup>, 田中歩<sup>12</sup> (1北大 低温研, 2JST CREST)</p>	<p><b>1aE08</b> シロイヌナズナにおけるフェアリー化合物 AHX および AOH の生理作用メカニズムの解明 岩本耕太郎<sup>1</sup>, 酒井晶子<sup>2</sup>, 深沢知加子<sup>3</sup>, 浅川倫宏<sup>3</sup>, 菅敏幸<sup>3</sup>, Jae-Hoon Choi<sup>1</sup>, 河岸洋和<sup>2,4,5</sup>, 本橋令子<sup>1</sup> (静岡大・院農学・共生バイオサイエンス, 静岡大・グリーン科学技術研究所, 静岡大・薬, 静岡大・院農学・応生, 静岡大・院創造)</p>
11:30	<p><b>1aA09</b> 表皮分化のマスター転写因子 ATML1 の活性を制御する分子機構の解析 高田忍, Nozomi Takada, 吉田彩香, 飯田浩行 (大阪大・理・生物)</p>	<p><b>1aB09</b> BES1 の維管束分化における機能 齋藤真人, 近藤佑貴, 福田裕徳 (東大・院・理)</p>	<p><b>1aC09</b> ポプラにおけるキシログルカンの機能 坂本由理奈<sup>1</sup>, 大平莉加<sup>1</sup>, 荒川諒平<sup>1</sup>, 永峰菜奈<sup>1</sup>, 田中啓介<sup>2</sup>, 亀山昭彦<sup>3</sup>, 矢追克郎<sup>4</sup>, 海田るみ<sup>1</sup>, 太治輝明<sup>1</sup>, 坂田洋一<sup>1</sup>, 林隆久<sup>1</sup> (1東京農大・バイオサイエンス, 2東京農大・生物資源ゲノム解析セ, 3産総研・創薬基盤, 4産総研・生物プロセス)</p>	<p><b>1aD09</b> 葉老化時における LHCII 分解への光化学系 II 小サブユニットの関与 上妻馨梨<sup>1,5</sup>, 伊藤寿<sup>2,5</sup>, 渡辺麻衣<sup>3,5</sup>, 池内昌彦<sup>4,5</sup>, 坂本亘<sup>4,5</sup>, 田中歩<sup>2,5</sup>, 草場信<sup>1,5</sup> (1広島大 理, 2北海道大 低温研, 3東大 総合文化, 4岡山大 植物研, 5CREST)</p>	<p><b>1aE09</b> 気生藻類 <i>Klebsormidium flaccidum</i> が陸上条件で形成する表面脂質層の解析 佐々木(関本)結子<sup>1</sup>, 近藤智<sup>2</sup>, 堀上久<sup>2,3</sup>, 小林厚子<sup>1</sup>, 信澤岳<sup>3</sup>, 下嶋美恵<sup>2</sup>, 太田啓之<sup>1,2,3</sup> (1東京工業大学 地球生命研究所, 2東京工業大学 生命理工学研究所, 3JST CREST)</p>
11:45	<p><b>1aA10</b> 初期器官発生における低分子量タンパク質の機能解析 哈斯其木格, 柿本辰男 (阪大・院・理)</p>	<p><b>1aB10</b> シトクロム P450 の変異株を用いたフェノーム解析 川出健介<sup>1,2,3</sup>, 李一夔<sup>3</sup>, 塚谷裕一<sup>1,4</sup>, 平井優美<sup>3</sup> (1岡崎統合バイオ, 2基生研, 3理研 CSRS, 4東大・院・理)</p>	<p><b>1aC10</b> 京野菜であるミズナとミズナに見られる葉形変異の QTL 解析 川勝弥一<sup>1</sup>, 中山北斗<sup>1,2,3</sup>, 上ノ山華織<sup>1</sup>, 五十嵐香理<sup>4</sup>, 八杉公基<sup>5</sup>, 工藤洋<sup>6</sup>, 永野博<sup>6,7,8</sup>, 矢野健太郎<sup>1</sup>, 久保中央<sup>1</sup>, 木村成介<sup>1</sup> (1京産大 総合生命, 2日本学術振興会, 3カリフォルニア大学, 4明治大 農, 5基生研, 6京大 生研, 7さきかけ, 8龍谷大 農, 9京府大 生命環境)</p>	<p><b>1aD10</b> 極低温顕微鏡を用いた緑化途上トウモロコシ生葉の光合成タンパク質構築過程の追跡 柴田穂, 千葉智史, 福村裕史 (東北大学理学研究科化学専攻有機物理化学研究室)</p>	<p><b>1aE10</b> ㊦ Identification of tissues responsible for MI21 and MI22/GNOM functions in hydrotropism and phototropism of <i>Arabidopsis</i> roots Lei Pang<sup>1</sup>, 小林啓恵<sup>1</sup>, 藤井伸治<sup>1</sup>, Tae-Woong Bae<sup>1</sup>, 宮沢豊<sup>2</sup>, Daniela Dietrich<sup>3</sup>, Malcolm J. Bennett<sup>4</sup>, 高橋秀幸<sup>1</sup> (1東北大・院・生命科学, 1山形大・理, 2Sch. Biosci., Univ. Nottingham)</p>
12:00	<p><b>1aA11</b> ゼニゴケ NIMA 関連キナーゼは仮根細胞の伸長方向を制御する 大谷健人<sup>1</sup>, 石崎公庸<sup>2</sup>, 西浜竜一<sup>3</sup>, 河内孝之<sup>3</sup>, 高橋卓<sup>1</sup>, 本瀬宏康<sup>1</sup> (1岡山大・院・自然科学, 2神戸大・院・理, 3京都大・院・生命科学)</p>	<p><b>1aB11</b> 京野菜であるミズナとミズナに見られる葉形変異の QTL 解析 川勝弥一<sup>1</sup>, 中山北斗<sup>1,2,3</sup>, 上ノ山華織<sup>1</sup>, 五十嵐香理<sup>4</sup>, 八杉公基<sup>5</sup>, 工藤洋<sup>6</sup>, 永野博<sup>6,7,8</sup>, 矢野健太郎<sup>1</sup>, 久保中央<sup>1</sup>, 木村成介<sup>1</sup> (1京産大 総合生命, 2日本学術振興会, 3カリフォルニア大学, 4明治大 農, 5基生研, 6京大 生研, 7さきかけ, 8龍谷大 農, 9京府大 生命環境)</p>	<p><b>1aC11</b> Grana-localized Proteins, RIQ1 and RIQ2, Optimize the Dynamics of Light Harvesting Complex II and Grana Stacking in <i>Arabidopsis</i> 横山諒<sup>1</sup>, 山本宏<sup>1</sup>, 近藤真紀<sup>2</sup>, 竹田恵美<sup>3</sup>, 伊福健太郎<sup>4</sup>, 深尾陽一朗<sup>5</sup>, 亀井保博<sup>2</sup>, 西村幹夫<sup>2</sup>, 鹿内利治<sup>1</sup> (1京大・院理学, 2基生研, 3大阪府立大・院理学, 4京大・院生命科学, 5立命館大・生命情報)</p>	<p><b>1aD11</b> 光化学系 II 複合体における Mn<sub>4</sub>CaO<sub>5</sub> クラスターの解離構造 清水恵理依<sup>1</sup>, 武田ゆり<sup>1</sup>, 川上惠典<sup>2</sup>, 神谷信夫<sup>1,2</sup> (1大阪市大・院理, 2大阪市大・複合先端)</p>	<p><b>1aE11</b> <i>eal1</i> エンハンサー変異体を用いた重力屈性の遺伝学的解析 森明子<sup>1</sup>, 豊田正嗣<sup>2</sup>, 目片美香<sup>3</sup>, 島田昌芳<sup>3</sup>, 倉田哲也<sup>4</sup>, 田坂昌生<sup>3</sup>, 森田(寺尾)美代<sup>1</sup> (1名古屋大学 生命農学研究所, 2ウィスコンシン大学 植物学教室, 3奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科, 4東北大学 大学院 生命科学研究所)</p>
12:15	<p><b>1aA12</b> ゼニゴケの形態形成に関わる活性酸素生成酵素 Rboh の機能解析 橋本研志<sup>1</sup>, 木村貴史<sup>1</sup>, 飯田涉<sup>1</sup>, 山田融<sup>1</sup>, 賀屋秀隆<sup>1</sup>, 北畑信隆<sup>1,2</sup>, 石崎公庸<sup>3</sup>, 西浜竜一<sup>4</sup>, 河内孝之<sup>4</sup>, 朽津和幸<sup>1,2</sup> (1東京理科大・院・理工・応用生物科学, 2東京理科大・イメージングフロンティアセンター, 3神戸大・院・理, 4京都大・院・生命)</p>	<p><b>1aB11</b> 京野菜であるミズナとミズナに見られる葉形変異の QTL 解析 川勝弥一<sup>1</sup>, 中山北斗<sup>1,2,3</sup>, 上ノ山華織<sup>1</sup>, 五十嵐香理<sup>4</sup>, 八杉公基<sup>5</sup>, 工藤洋<sup>6</sup>, 永野博<sup>6,7,8</sup>, 矢野健太郎<sup>1</sup>, 久保中央<sup>1</sup>, 木村成介<sup>1</sup> (1京産大 総合生命, 2日本学術振興会, 3カリフォルニア大学, 4明治大 農, 5基生研, 6京大 生研, 7さきかけ, 8龍谷大 農, 9京府大 生命環境)</p>	<p><b>1aC12</b> 光化学系 II 複合体における Mn<sub>4</sub>CaO<sub>5</sub> クラスターの解離構造 清水恵理依<sup>1</sup>, 武田ゆり<sup>1</sup>, 川上惠典<sup>2</sup>, 神谷信夫<sup>1,2</sup> (1大阪市大・院理, 2大阪市大・複合先端)</p>	<p><b>1aD12</b> 光化学系 II 複合体における Mn<sub>4</sub>CaO<sub>5</sub> クラスターの解離構造 清水恵理依<sup>1</sup>, 武田ゆり<sup>1</sup>, 川上惠典<sup>2</sup>, 神谷信夫<sup>1,2</sup> (1大阪市大・院理, 2大阪市大・複合先端)</p>	<p><b>1aE12</b> 逆遺伝学およびイメージングによるオジギソウ運動器の解析 真野弘明<sup>1</sup>, 豊田正嗣<sup>2,3</sup>, Simon Girey<sup>1</sup>, 長谷部光泰<sup>1,4</sup> (1基生研・生物進化, 2Dept. Bot., Univ. Wisconsin-Madison, 3JST・さきかけ, 4総研大・生命科学)</p>

F会場	G会場	H会場	I会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
<p>一次代謝 (窒素・炭素)</p> <p><b>1aF07</b> 異なる窒素栄養条件下においてオートファジーの欠損がイネの窒素利用と成長に与える影響の解析 横浜諒, 和田慎也, 菅野圭一, 小島創一, 山谷知行, 牧野周, 石田宏幸 (東北大・院農)</p> <p><b>1aF08</b> シロイヌナズナ由来3-ホスホグリセリン酸デヒドロゲナーゼの基質特異性に関する研究 岡村英治, 平井優美 (理化学研究所 環境資源科学研究所 センター 代謝システム研究チーム)</p> <p><b>1aF09</b> リン酸化プロテオミクスによる植物 C/N 栄養シグナル伝達ネットワークの解析 佐藤長緒<sup>1</sup>, 青山翔紀<sup>1</sup>, 野村有子<sup>2</sup>, 中神弘史<sup>2</sup>, 伊藤照悟<sup>3</sup>, 阿部光知<sup>1</sup>, 今泉貴登<sup>5</sup>, 山口淳二<sup>1</sup> (<sup>1</sup>北大院・理, <sup>2</sup>理研 CSRS, <sup>3</sup>京都大・院・理・植物, <sup>4</sup>東大院・理, <sup>5</sup>Dept. Biol., Univ. Washington)</p> <p><b>1aF10</b> 膜局在型ユビキチンリガーゼ ATL31は膜交通を制御することでC/N栄養ストレス適応に寄与する 長谷川陽子<sup>1</sup>, Thais Huaranca Reyes<sup>1</sup>, 植村知博<sup>2</sup>, 中野明彦<sup>3</sup>, 佐藤長緒<sup>1</sup>, 山口淳二<sup>1</sup> (<sup>1</sup>北大院・生命, <sup>2</sup>東大院・理・生物科学, <sup>3</sup>理研・光子工学)</p> <p><b>1aF11</b> 糖と窒素栄養シグナルに関与する核局在BTBタンパク質の機能解析 佐々木勇樹<sup>1</sup>, 安田盛貴<sup>1</sup>, 深尾陽一郎<sup>2</sup>, 柳澤修<sup>1,3</sup>, 佐藤長緒<sup>1</sup>, 山口淳二<sup>1</sup> (<sup>1</sup>北大院・生命, <sup>2</sup>立命館大・生命, <sup>3</sup>東大・生物生産工学研究センター)</p> <p><b>1aF12</b> 膜局在型ユビキチンリガーゼATL15による植物の糖応答制御 寺田早紀, 青山翔紀, 佐藤長緒, 山口淳二 (北大院・生命)</p>		<p>転写・転写後制御</p> <p><b>1aH07</b> 翻訳状態を決定する5'UTRの配列的特徴 山崎将太郎, 出村拓, 加藤晃 (奈良先端大・バイオ)</p> <p><b>1aH08</b> シロイヌナズナ CGSI mRNAの新生ヘアチドによる翻訳アレストにおけるリボソーム出口トンネルの役割 高松世大<sup>1</sup>, 大橋悠文<sup>2</sup>, 山下由衣<sup>1,2</sup>, 尾上典之<sup>1</sup>, 尾之内均<sup>2</sup>, 内藤哲<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>北大・院生命, <sup>2</sup>北大・院農)</p> <p><b>1aH09</b> Poly(A) length determination by AtCCR4 is critical for the robust regulation of circadian clock 鈴木悠也<sup>1</sup>, 南雲亜希子<sup>2</sup>, 平井優美<sup>3</sup>, McClung C. Robertson<sup>1</sup>, Pamela J. Green<sup>5</sup>, 山口淳二<sup>1,6</sup>, 千葉由佳子<sup>1,6,7</sup> (<sup>1</sup>北大院・生命, <sup>2</sup>北大・理, <sup>3</sup>理研 CSRS, <sup>4</sup>Dept. Biol. Sci., Dartmouth Coll., <sup>5</sup>Delaware Biotech. Inst., Univ. Delaware, <sup>6</sup>北大院・理, <sup>7</sup>JST さきがけ)</p>	<p>オルガネラ/細胞骨格</p> <p><b>1aI07</b> 核様体分配欠損を示すクラミドモナス葉緑体におけるゲノム不安定化 小田原真樹<sup>1,2</sup>, 小林優介<sup>1</sup>, 三角修己<sup>3</sup>, 西村芳樹<sup>1</sup> (<sup>1</sup>京大・院・植物, <sup>2</sup>立教大・理・生命, <sup>3</sup>山口大・院・医・応用分子)</p> <p><b>1aI08</b> ㊦ 片親遺伝はミトコンドリア核様体構造の積極的分解により制御される 西村芳樹<sup>1</sup>, 田草川真理<sup>1,2</sup>, 鹿内利治<sup>1</sup>, 東江昭夫<sup>3</sup> (<sup>1</sup>京大・院・理・植物分子遺伝, <sup>2</sup>山口大・院・医・応用分子生命科学, <sup>3</sup>千葉大・真菌医学研究センター)</p> <p><b>1aI09</b> シロイヌナズナ単離葉緑体におけるアクチン構築機構の解析 里斐卓, 森井真美, 高木慎吾 (大阪大・院・理)</p> <p><b>1aI10</b> シロイヌナズナの光障害条件下におけるオートファジーによる障害葉緑体の除去 泉正範<sup>1,2</sup>, 石田宏幸<sup>3</sup>, 中村咲耶<sup>2</sup>, 日出間純<sup>2</sup> (<sup>1</sup>東北大・学際研, <sup>2</sup>東北大院・生命科学, <sup>3</sup>東北大院・農)</p> <p><b>1aI11</b> 光障害を受けた葉緑体を選択的に除去するクロロファジーの特性について 中村咲耶<sup>1</sup>, 泉正範<sup>1,2</sup>, 石田宏幸<sup>3</sup>, 日出間純<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東北大・院・生命科学, <sup>2</sup>東北大・学際研, <sup>3</sup>東北大・院・農)</p> <p><b>1aI12</b> シロイヌナズナにおけるミトコンドリア外膜の突出構造とそれに由来する小胞の形成 山下晃弘<sup>1</sup>, 藤本優<sup>1</sup>, 片山健太<sup>1</sup>, 山岡尚平<sup>2</sup>, 堤伸浩<sup>1</sup>, 有村慎一<sup>1,3</sup> (<sup>1</sup>東大・院農, <sup>2</sup>京大・院生命科学, <sup>3</sup>JST・さきがけ)</p>	<p>シンポジウムの01 Abscisic acid signaling: Beyond the discovery of PYR/PYL/RCAR (9:30-12:30)</p>	<p>シンポジウムの02 Multifaceted functions of plant-soil microbe symbioses and the molecular mechanisms (9:30-12:30)</p>	<p>シンポジウムの03 A variety of negative brakes on information encoded in nuclei (9:30-12:30)</p>	<p>11:00</p> <p>11:15</p> <p>11:30</p> <p>11:45</p> <p>12:00</p> <p>12:15</p>

㊦ = 発表の言語は英語

● 第1日 3月18日(金) 午後(13:45-17:15)

時 間	A会場	B会場	C会場	D会場
	栄養成長	発生/成長	細胞壁	光化学系
13:45	<p><b>1pA01</b> 陽葉形成における細胞サイズと核内倍加の関係 星野里奈<sup>1</sup>, 吉田祐樹<sup>1</sup>, 塚谷裕一<sup>1,2</sup> (1東大・院理学, 2岡崎統合バイオ)</p>	<p><b>1pB01</b> ジャガイモ塊茎形成制御における TFL1ホモログの役割 田園健一郎<sup>1,2</sup>, 高橋賢多<sup>2</sup>, 齋藤亜美<sup>2</sup>, 張楨日<sup>2</sup>, 島本功<sup>2</sup> (1横浜市立大学 木原生物学研究所 植物遺伝資源, 2奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科)</p>	<p><b>1pC01</b> 好熱性シアノバクテリアにおける細胞凝集と細胞外セルロース蓄積に関わる新規遺伝子の同定 前田海成<sup>1</sup>, 奥田裕紀子<sup>1</sup>, 成川礼<sup>2</sup>, 緑川貴文<sup>1</sup>, 池内昌彦<sup>1</sup> (1東大・院総合文化, 2静大・理学部 生物科学)</p>	<p><b>1pD01</b> 緑藻クラミドモナスにおける D2タンパク質の Arg-294 への変異導入の影響 黒田洋詩<sup>1,2</sup>, 岡本真奈<sup>2</sup>, 高橋裕一郎<sup>1,2</sup> (1岡山大学大学院自然科学研究科, 2岡山大学理学部生物学科, 3JST-CREST)</p>
14:00	<p><b>1pA02</b> ㊦ Comparative Analysis of Patterning Gene Expression with Localized Cell Proliferation in <i>Juncus prismatocarpus</i> using a novel EdU Method Xiaofeng Yin<sup>1</sup>, 山口貴大<sup>2</sup>, 塚谷裕一<sup>1,2</sup> (1東大大学院理学部生物科学専攻, 2ACEL, 3岡崎統合バイオサイエンスセンター)</p>	<p><b>1pB02</b> ストレス誘導性NAC型転写因子SNAC-Asはアブシジン酸(ABA)による葉の老化を制御する 高崎寛則<sup>1,2</sup>, 圓山恭之進<sup>3</sup>, 高橋史憲<sup>2</sup>, 藤田美紀<sup>2</sup>, 吉田拓也<sup>1</sup>, 中島一雄<sup>3</sup>, 明賀史純<sup>2</sup>, 豊岡公徳<sup>2</sup>, 篠崎和子<sup>1</sup>, 篠崎一雄<sup>2</sup> (1東大・院農生命科学, 2理研・環境資源科学研究所, 3国際農研・生物資源利用)</p>	<p><b>1pC02</b> 細胞壁健全性感知におけるヘクチアンストランドの役割の解析 米田新<sup>1</sup>, 片桐大輔<sup>2</sup>, 細川陽一郎<sup>2</sup>, 出村拓<sup>1</sup> (1奈良先端大・バイオ, 2奈良先端大・物質創成)</p>	<p><b>1pD02</b> 光化学系IIのD1タンパク質上の Asp-61 のアミノ酸置換による酸素発生活性への影響の解析 上田和世<sup>1</sup>, 黒田洋詩<sup>1,2</sup>, 兒玉なつ美<sup>1,2</sup>, 葉子野康浩<sup>3</sup>, 高橋裕一郎<sup>1,2</sup> (1岡山大学大学院自然科学研究科, 2JST-CREST, 3兵庫県立大学大学院生命理学研究科)</p>
14:15	<p><b>1pA03</b> <i>rpl4d as2</i> における葉の背軸化は異常な <i>rpl4</i> 転写産物の蓄積と RING finger タンパク質遺伝子 <i>SZK2</i> および NAC 転写因子遺伝子 <i>SZK1</i> の発現上昇を必要とする 堀口吾朗<sup>1,2</sup>, 井上幹人<sup>1</sup>, 増田英典<sup>1</sup>, 中田未友希<sup>2</sup>, 高原正裕<sup>1</sup>, 塚谷裕一<sup>1,2</sup> (1立教大・理・生命, 2立教大・理・生命センター, 3東大・院・理, 4岡崎統合バイオ)</p>	<p><b>1pB03</b> 種子の糊粉層の形成・維持に関わるシロイヌナズナの TRG2A タンパク質の解析 赤堀一貴<sup>1</sup>, 杉山礼央<sup>1</sup>, 内田悠稀<sup>1</sup>, 吉野幸則<sup>1</sup>, 佐藤道夫<sup>1</sup>, 豊岡公徳<sup>2</sup>, 川上直人<sup>1</sup> (1明大・農, 2理研・CSRS)</p>	<p><b>1pC03</b> シロイヌナズナ葉肉細胞プロトプラストの細胞壁再構築のイメージング解析 九鬼寛明<sup>1</sup>, 松垣匠<sup>2</sup>, 横山隆亮<sup>1</sup>, 馳澤盛一郎<sup>2</sup>, 西谷和彦<sup>1</sup> (1東北大・院生命科学, 2東京大・院新領域創成科学)</p>	<p><b>1pD03</b> 光化学系IIにおけるチロシン Y<sub>2</sub> 及び Y<sub>6</sub> の異なる機能の起源 中村健, 野口巧 (名古屋大・理)</p>
14:30	<p><b>1pA04</b> シロイヌナズナの葉器官成長における細胞間移行転写因子 ZNI の機能解析 倉田哲也<sup>1,2</sup>, 佐野亮輔<sup>2</sup>, 出村拓<sup>2</sup>, 西谷和彦<sup>1</sup> (1東北大・院生命科学, 2奈良先端大・バイオ)</p>	<p><b>1pB04</b> 海生種子植物アマモにおけるアブシジン酸とジベレリン関連遺伝子の解析 坪俊介, 塩田隆 (横浜市大・院・生命ナノ)</p>	<p><b>1pC04</b> 葉表皮細胞における細胞壁湾曲のモデル解析 松垣匠<sup>1</sup>, 朽名夏磨<sup>1,2</sup>, 秋田佳恵<sup>1</sup>, 今村寿子<sup>2</sup>, 吉村賢二<sup>4</sup>, 馳澤盛一郎<sup>1</sup>, 三浦岳<sup>2</sup> (1東京大・院・新領域, 2九州大・院・医学, 3エルビクセル株式会社, 4大阪市立総合医療センター)</p>	<p><b>1pD04</b> 光化学系IIの部位特異的変異導入による反応中心クロロフィルの電子構造の解明 長尾遼, 山口元気, 三富達矢, 野口巧 (名古屋大・院・理)</p>
14:45	<p><b>1pA05</b> イネの葉の発生分化における <i>OsWOX4</i> の多面的な機能 安居佑季子<sup>1</sup>, 大森良弘<sup>1,2</sup>, 平野博之<sup>1</sup> (1東大・院・理, 2東大・院・農生科)</p>	<p><b>1pB05</b> 種子サイズおよびバイオマスを倍増させる突然変異遺伝子の同定 内藤健<sup>1</sup>, 平野久美<sup>2</sup>, Buppa Chaitieng<sup>3</sup>, 加賀秋人<sup>1,2</sup>, 友岡憲彦<sup>1</sup> (1生物研・遺伝資源センター, 2東京農大・国際農業開発, 3ウボンラチャタニ大・院・農学)</p>	<p><b>1pC05</b> nst二重変異体を用いた細胞壁形成を制御する新規転写因子の探索と解析 坂本真吾, 光田展隆 (産総研 生物プロセス)</p>	<p><b>1pD05</b> PsbZ サブユニット欠損に伴う光化学系II複合体の機能変化とそのX線結晶構造解析 北下友理<sup>1</sup>, 上田耕平<sup>1</sup>, 川上恵典<sup>2</sup>, 野地智康<sup>2</sup>, 梅名泰史<sup>3</sup>, 岩井雅子<sup>4</sup>, 池内昌彦<sup>5</sup>, 沈建仁<sup>3</sup>, 神谷信夫<sup>1,2</sup> (1大阪市大・院理, 2大阪市大・複合先端, 3岡大・院自然科学, 4東工大・院生命理工, 5東大・院総合文化)</p>
15:00	<p><b>1pA06</b> コクサキ型葉序形成の数理的解析とオーキシン極性輸送再編モデルへの対応付け 米倉崇晃, 杉山宗隆 (東京大学大学院 理学系研究科 附属植物園)</p>	<p><b>1pB06</b> リボソーム生合成関連タンパク質NuGAP1/APUM24の糖応答における機能解析 前川修音, 石田哲也, 柳澤修一 (東京大学 生物生産工学研究センター)</p>	<p><b>1pC06</b> シロイヌナズナの根冠最外層脱離は細胞壁ペクチンの修飾によって制御されている 前田和輝<sup>1</sup>, 國枝正<sup>2</sup>, 上田晴子<sup>1</sup>, 嶋田知生<sup>1</sup>, 西村いくこ<sup>1</sup> (1京大・院理, 2プリティッシュコロロンビア大学)</p>	<p><b>1pD06</b> アンモニアが結合したMnクラスターを用いたプロトン ENDOR法による基質水分子の位置に関する研究 長嶋宏樹, 三野広幸 (名古屋大学大学院理学研究科)</p>
15:15	<p><b>1pA07</b> 異形葉性を示す <i>Rorippa aquatica</i> の二つの地域系統を用いたトランスクリプトーム解析 中山北斗<sup>1,2,3</sup>, 坂本智昭<sup>1,4</sup>, 市橋泰範<sup>5</sup>, 藤江学<sup>6</sup>, 倉田哲也<sup>4,7</sup>, Neelima Sinha<sup>8</sup>, 木村成介<sup>1</sup> (1京産大・総合生命, 2カリフォルニア大デービス校, 3日本学術振興会, 4奈良先・バイオ, 5理研・横浜, 6沖縄科学技術大学院大学・シーケンシングセクション, 7東北大・院・生命)</p>	<p><b>1pB07</b> LATE MERISTEM IDENTITY2 は種子表面のクチクラ形成と種子保存性を制御する 大島良美<sup>1</sup>, 鳴海貴子<sup>2</sup>, 金子康子<sup>3</sup>, 石川寿樹<sup>4</sup>, 川合真紀<sup>4</sup>, 高木俊<sup>1,5</sup>, 光田展隆<sup>1</sup> (1産総研・生物プロセス, 2香川大・農, 3埼玉大・教育, 4埼玉大・院・理工学, 5埼玉大・環境科学)</p>	<p><b>1pC07</b> E3ユビキチンリガーゼ FLY1 および FLY2 はシロイヌナズナ種皮ムシレージ多糖修飾において冗長的に機能する 國枝正, George Haughn (プリティッシュコロロンビア大・植物)</p>	<p><b>1pD07</b> 光化学系I複合体の光阻害におけるアセンブリー因子の効果 渡辺麻衣<sup>1,2</sup>, 松村雅子<sup>1</sup>, 吉野宏明<sup>1</sup>, 奥田裕紀子<sup>1,2</sup>, 池内昌彦<sup>1,2</sup> (1東大・院・総合文化, 2JST-CREST)</p>

E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
環境応答/非生物ストレス応答 (乾燥・水分・浸透圧・他)	一次代謝 (炭素・糖質・脂質)		植物微生物相互作用 (免疫1)					
1pE01 微細藻類においてトリアシルグリセロール合成を制御するTORキナーゼ 今村壮輔 <sup>1,2</sup> , 河瀬泰子 <sup>1</sup> , 小林一幾 <sup>1</sup> , 曾根後之 <sup>1</sup> , 恵良厚子 <sup>2,3</sup> , 宮城島進也 <sup>2,3</sup> , 下嶋美恵 <sup>4</sup> , 太田啓之 <sup>2,4,5</sup> , 田中寛 <sup>1,2</sup> (東工大・資源研, <sup>2</sup> CREST・JST, <sup>3</sup> 遺伝研・細胞遺伝, <sup>4</sup> 東工大・生命理工, <sup>5</sup> 東工大・地球生命)	1pF01 シアノバクテリア中心代謝のトランスオミクス解析 松田史生, 植林希代加, 日浅夏希, 吉川勝徳, 清水浩 (大阪大学大学院情報科学研究科)		1pH01 ㊦ 植物免疫反応場は, 拮抗関係にあるサリチル酸およびジャスモン酸経路が空間的に異なる部位で活性化することで形成される 別役重之 <sup>1</sup> , 加藤新平 <sup>2</sup> , 竹林裕美子 <sup>3</sup> , 榊原均 <sup>4</sup> , 福田裕徳 <sup>4</sup> (JST さきがけ/ 東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻生体制御研究室, <sup>2</sup> 信州大学農学部, <sup>3</sup> 理研 CSRS, <sup>4</sup> 東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻生体制御研究室)		シンポジウムの04 Harnessing Catalytic and Regulatory Diversity of Plant Metabolism (13:45 – 16:45)	シンポジウムの05 Challenge to the outdoor environment by the experimental plant physiology (13:45 – 16:45)	シンポジウムの06 “Metabolic Biochemistry” meets “Cell Biology” (13:45 – 16:45)	13:45
1pE02 単細胞紅藻 <i>Cyanidioschyzon merolae</i> のトリアシルグリセロール蓄積におけるグリセロール-3-リン酸シルトランスフェラーゼの機能解析 平澤英里 <sup>1</sup> , 田中寛 <sup>1,2</sup> , 今村壮輔 <sup>1,2</sup> (東工大・資源研, <sup>2</sup> CREST・JST)	1pF02 紅藻シアニジオシオンにおける従属栄養培養による生理的变化の解析 森山崇 <sup>1,2</sup> , 佐藤直樹 <sup>1,2</sup> (東工大・院総合文化, JST・CREST)		1pH02 Analysis of reciprocal regulation between salicylate- and abscisic acid-mediated transcription by NPR1 and SnRK2 吉村亮 <sup>1</sup> , 野元美佳 <sup>1</sup> , 梅澤泰史 <sup>2</sup> , 塚越啓央 <sup>1,3</sup> , 多田安臣 <sup>4</sup> (名大・院・生命理工, <sup>2</sup> 農工大・院・BASE, <sup>3</sup> JST さきがけ, <sup>4</sup> 名大・遺伝子)					14:00
1pE03 ㊦ Molecular and functional analyses of transcription factor involved in response to nitrogen stress Ji Min Shin <sup>1</sup> , Chuan-Ming Yeh <sup>1</sup> , 光田展隆 <sup>1,2</sup> , 高木優 <sup>1,2</sup> (埼玉大・理工学研究科, <sup>2</sup> 産総研・生物プロセス)	1pF03 <sup>13</sup> Cを用いた細胞内脂質分子種代謝の研究 佐藤直樹 <sup>1,2</sup> , 柴崎翔太 <sup>1</sup> , 岡咲洋三 <sup>3</sup> , 斉藤和季 <sup>3,4</sup> (東京大学大学院総合文化研究科, <sup>2</sup> JST・CREST, <sup>3</sup> 理化学研究所環境資源科学研究センター, <sup>4</sup> 千葉大学大学院薬学研究院)		1pH03 ㊦ Identification of SA-signaling inhibitors and their target protein in Arabidopsis 崔勝媛 <sup>1</sup> , 石濱伸明 <sup>1</sup> , 能年義輝 <sup>2</sup> , Ivana Saska <sup>1</sup> , 野村有子 <sup>1</sup> , 中神弘史 <sup>1</sup> , 近藤恭光 <sup>1</sup> , 長田裕之 <sup>1</sup> , 白須賢 <sup>1</sup> (理研・CSRS, <sup>2</sup> 岡山大・院・環境生命科学)					14:15
1pE04 リン欠乏条件下で生育させたシロイヌナズナに蓄積する新しい脂質に関する研究 岡咲洋三 <sup>1,2</sup> , 高野耕司 <sup>1</sup> , 斉藤和季 <sup>1,3</sup> (理研・CSRS, <sup>2</sup> 横浜市立大学本原生物学研究所, <sup>3</sup> 千葉大・院薬)	1pF04 紅藻 <i>Cyanidioschyzon merolae</i> における単離葉緑体を用いた脂質合成系の解析 毛利奈津美 <sup>1,2</sup> , 森山崇 <sup>1,2</sup> , 豊島正和 <sup>1,2</sup> , 佐藤直樹 <sup>1,2</sup> (東大・院・総合文化, JST・CREST)		1pH04 ㊦ Identification and characterization of a revertant of the <i>dde2/ein2/pad4/sid2</i> -quadruple mutant, which exhibits resistance to <i>Pseudomonas syringae</i> pv. <i>tomato</i> DC3000 AvrRpt2 浅井秀太 <sup>1</sup> , Jingni Wu <sup>1</sup> , 津田賢一 <sup>2</sup> , 白須賢 <sup>1</sup> (理研・横浜, <sup>2</sup> マックスプランク研究所)					14:30
1pE05 膜交通阻害剤が気孔の環境応答に及ぼす影響 高橋將, 門田慧奈, 柁宜淳太郎, 射場厚 (九州大学 理 生物科学)	1pF05 緑藻クラミドモナス TAG accumulation regulator1 (TARI) は光独立栄養の窒素欠乏条件下で光合成の抑制と脂質・デンプン蓄積量の維持に関与する 新川はるか <sup>1</sup> , 梶川昌孝 <sup>1</sup> , 榎木裕理 <sup>1</sup> , 山野隆志 <sup>1</sup> , 兼崎友 <sup>2</sup> , 吉川博文 <sup>2</sup> , 福澤秀哉 <sup>1</sup> (京大・院生命科学, <sup>2</sup> 東京農大・NGRC)		1pH05 ㊦ 抵抗性タンパク質 Pit は, OsSPIKE1 を介した低分子量 G タンパク質 OsRac1 活性化により耐病性を制御する 王琮 <sup>1</sup> , 島本功 <sup>2</sup> , 河野洋治 <sup>1,2</sup> (中国科学院上海植物逆境生物学研究中心, <sup>2</sup> 奈良先端科学技術大学院大学)					14:45
1pE06 気孔閉鎖を司る陰イオンチャネル SLAC1 の CO <sub>2</sub> シグナル受容部位は膜貫通領域に存在する 山本慎子 <sup>1</sup> , 柁宜淳太郎 <sup>2</sup> , Cun Wang <sup>2</sup> , 磯貝泰弘 <sup>3</sup> , Julian Schroeder <sup>2</sup> , 射場厚 <sup>1</sup> (九州大院・理・生物, <sup>2</sup> Univ. California, San Diego, <sup>3</sup> 富山県立大・工・生物工)	1pF06 <i>Chlamydomonas reinhardtii</i> の TAG 合成酵素 DGAT2 と共発現する遺伝子の解析 岩井雅子 <sup>1,2</sup> , 浅見航太 <sup>1</sup> , 下嶋美恵 <sup>1</sup> , 大林武 <sup>2,3</sup> , 太田啓之 <sup>1,2</sup> (東京工業大学生命理工学研究科生体システム専攻, <sup>2</sup> JST・CREST, <sup>3</sup> 東北大学大学院情報科学研究科)		1pH06 ㊦ Small GTPase OsRac1-induced S-nitrosylation of GAPDH triggers disease resistance to rice blast fungus 小佐見謙一 <sup>1,2,3</sup> , Jing Su <sup>2,4</sup> , 河野洋司 <sup>1,2</sup> (中国科学院上海植物逆境生物学研究中心, <sup>2</sup> NAIST, <sup>3</sup> 阪大・蛋白研, <sup>4</sup> Guangdong Academy of Agricultural Sciences)					15:00
1pE07 フォスファチジルエタノールアミン合成酵素 PECT1 は気孔開閉応答に関与する 柁宜淳太郎 <sup>1</sup> , 岡部誠 <sup>1</sup> , 小野勇兵 <sup>1</sup> , 星野奈摘 <sup>2</sup> , 西田生郎 <sup>2</sup> , 射場厚 <sup>1</sup> (九州大院・理・生物, <sup>2</sup> 埼玉大・院理工)	1pF07 ナンノクロロプシス油脂の質的改変を目指した油脂合成系の解析 信澤岳 <sup>1,2</sup> , 堀孝一 <sup>1,2</sup> , 森宙史 <sup>1</sup> , 黒川顕 <sup>1,2,3</sup> , 太田啓之 <sup>1,2,3</sup> (東工大 生命理工, <sup>2</sup> JST・CREST, <sup>3</sup> 東工大 ELSI)		1pH07 ㊦ 植物免疫における膜局在型ユビキチンリガーゼ ATL31 のリン酸化とユビキチン化 安田盛貴 <sup>1</sup> , 長谷川陽子 <sup>1</sup> , 門田康弘 <sup>2</sup> , 佐藤長緒 <sup>1</sup> , 山口淳二 <sup>1</sup> (北大院・生命, <sup>2</sup> 理研・CSRS)					15:15

㊦ = 発表の言語は英語

● 第1日 3月18日(金) 午後(13:45-17:15)

時 間	A会場	B会場	C会場	D会場
	栄養成長	発生/成長	細胞壁	光化学系
15:30	<p>1pA08 ㊦</p> <p>Molecular Mechanisms that Determine Pericycle Cell Identity Ye Zhang<sup>1</sup>, Nobutaka Mitsuda<sup>2</sup>, Chuan-Ming Yeh<sup>2</sup>, Takeshi Yoshizumi<sup>3</sup>, Yoichi Kondo<sup>3</sup>, Masaru Ohme-Takagi<sup>2</sup>, Minami Matsui<sup>3</sup>, Tatsuo Kakimoto<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Department of Biology, Graduate School of Science, Osaka University, <sup>2</sup>National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, <sup>3</sup>Plant Science Center, RIKEN Yokohama Institute)</p>	<p>1pB08</p> <p>Exploring cell-layer specific roles of boron transporters in Arabidopsis roots 福田牧葉<sup>1</sup>, 下遠野明恵<sup>2</sup>, 反田直之<sup>1</sup>, 笠井光治<sup>1</sup>, 神谷岳洋<sup>1</sup>, 藤原徹<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京大・院農学生命科学, <sup>2</sup>東京大・院理学)</p>	<p>1pC08</p> <p>ホウ素欠乏に対する感受性が低下したシロイヌナズナ変異株の解析 廣口覚彦, 三輪京子 (北大院・環境)</p>	<p>1pD08</p> <p>フィロキノン合成系を破壊した <i>Thermosynechococcus elongatus</i> の系Iのフィロキノン再構成 吉野宏明<sup>1</sup>, 井上康則<sup>1</sup>, 池内昌彦<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東大・院・総合文化, <sup>2</sup>東京理・理工)</p>
15:45	<p>1pA09</p> <p>シロイヌナズナの <i>TOLS1/MAKR4</i> は側根形成の開始を制御する 郷達明, 横山碧, 上原健生, 豊倉浩一, 三村徹郎, 深城英弘 (神戸大・院・理)</p>			<p>1pD09</p> <p>ヒスチジンタグを利用した光化学系I複合体のアフィニティ精製 吉田香織<sup>1</sup>, 高橋裕一郎<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>岡山大学大学院自然科学研究科, <sup>2</sup>JST-CREST)</p>
16:00	<p>1pA10</p> <p>根における多層の皮層形成の分子機構の解析 豊倉浩一, 三村徹郎, 深城英弘 (神戸大・院・理)</p>			<p>1pD10</p> <p>光電変換デバイスのための光化学系Iと単層カーボンナノチューブ複合体形成 三井大輔<sup>1</sup>, 嶋田友一郎<sup>2</sup>, 細川西<sup>2</sup>, 野沢陽佑<sup>1</sup>, 伊藤雅浩<sup>1</sup>, 本間芳和<sup>1</sup>, 池平秀<sup>3</sup>, 宮地麻里子<sup>3</sup>, 山野井慶徳<sup>3</sup>, 西原寛<sup>3</sup>, 頼達也<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東京理科大学理学研究科物理学専攻, <sup>2</sup>東京理科大学工学部工業化学科, <sup>3</sup>東京大学大学院理学系研究科化学専攻)</p>
16:15	<p>1pA11 ㊦</p> <p>Haustorial hairs are the specialized root hairs that support parasitism in the facultative root parasitic plant, <i>Phtheirospermum japonicum</i> Songkui Cui<sup>1</sup>, Kiminory Toyooka<sup>1</sup>, Kei Hashimoto<sup>1</sup>, Takanori Wakatake<sup>1,2</sup>, Simon Saucet<sup>1</sup>, Ken Shirasu<sup>1,2</sup>, Satoko Yoshida<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Plant Immunity Research Group, CSRS, RIKEN, <sup>2</sup>Graduate School of Science, The University of Tokyo)</p>			<p>1pD11</p> <p>光合成電子伝達系の状態を評価するための秒時間域の遅延蛍光のモデル 勝又政和, 竹内彩乃, 小林祐子, 佐藤由紀子 (浜松ホトニクス株式会社)</p>
16:30				<p>1pD12</p> <p>遅延蛍光を用いたシロイヌナズナの新規葉緑体タンパク質の機能解析 本橋令子<sup>1</sup>, 酒井晶子<sup>1</sup>, 深沢知加子<sup>1</sup>, 明賀史純<sup>2</sup>, 篠崎一雄<sup>2</sup>, 竹内彩乃<sup>3</sup>, 勝又政和<sup>3</sup> (静岡大・院農, <sup>2</sup>理研・環境資源, <sup>3</sup>浜松ホトニクス (株))</p>
16:45				<p>1pD13</p> <p>遅延蛍光による非破壊的光合成評価の無菌培養シロイヌナズナへの活用 小林裕和<sup>1</sup>, Paweena Chuenwarin<sup>1</sup>, 島崎あづみ<sup>1</sup>, 清水正則<sup>2</sup>, 小林祐子<sup>3</sup>, 勝又政和<sup>3</sup> (静岡大, <sup>2</sup>常葉大, <sup>3</sup>浜松ホトニクス)</p>
17:00				

E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
<p>環境応答/非生物ストレス応答 (乾燥・水分・浸透圧・他)</p> <p><b>1pE08</b> 巨大気孔をもつ4倍体シロイヌナズナエコタイプMe-0は高い気孔コンダクタンスを示す 門田慧奈<sup>1</sup>, 荒木啓充<sup>2</sup>, 久原哲<sup>3</sup>, 石垣元氣<sup>3</sup>, 明石良<sup>3</sup>, 杉宜淳太郎<sup>3</sup>, 小嶋美紀子<sup>4</sup>, 榑原均<sup>4</sup>, 高橋将<sup>4</sup>, 橋本(杉本) 美海<sup>1</sup>, 後藤伸治<sup>5</sup>, 射場厚<sup>1</sup> (<sup>1</sup>九州大・理・生物科学, <sup>2</sup>九州大・農・生命機能科学, <sup>3</sup>宮崎大・農・畜産草地, <sup>4</sup>理研 CSRS, <sup>5</sup>理研 BRC・客員)</p> <p><b>1pE09</b> 酢酸から始まる植物の新規乾燥耐性ネットワーク 金鍾明<sup>1,2</sup>, 藤泰子<sup>3</sup>, 関原明<sup>1,2,4</sup> (理研・横浜・環境資源セ, <sup>2</sup>CREST JST, <sup>3</sup>東大・理・生, <sup>4</sup>横浜大院・木原生研)</p> <p><b>1pE10</b> 遺伝子集積法による乾燥ストレス耐性植物の生長促進制御 工藤まどか, 城所聡, 溝井順哉, 戸高大輔, 篠崎和子 (東大院・農学生命科学)</p> <p><b>1pE11</b> シロイヌナズナにおけるサブクラス I SnRK2の機能解析 相馬史空<sup>1</sup>, 最上惇郎<sup>1</sup>, 吉田拓也<sup>1</sup>, 阿部倉緑<sup>2</sup>, 高橋史憲<sup>2</sup>, 溝口昌秀<sup>2</sup>, 梅澤泰史<sup>2</sup>, 城所聡<sup>2</sup>, 溝井順哉<sup>2</sup>, 篠崎一雄<sup>2</sup>, 篠崎和子<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東大院・農学生命科学, <sup>2</sup>理研・環境資源科学研究セ)</p> <p><b>1pE12</b> 環境ストレス時の生長制御機構の解析 戸高大輔<sup>1</sup>, 趙宇<sup>1</sup>, 吉田拓也<sup>1,2</sup>, 工藤まどか<sup>1</sup>, Fernie Alisdair R.<sup>2</sup>, 篠崎一雄<sup>3</sup>, 篠崎和子<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東大院・農学生命科学, <sup>2</sup>マックスプランク研究所, <sup>3</sup>理研・環境資源科学研究セ)</p> <p><b>1pE13</b> 環境ストレス下におけるシロイヌナズナ <i>PIF4</i> 遺伝子の転写制御の解析 城所聡<sup>1</sup>, 文辰錫<sup>1</sup>, 有賀遥平<sup>1</sup>, 戸高大輔<sup>1</sup>, 伊草小百合<sup>1</sup>, 溝井順哉<sup>2</sup>, 篠崎一雄<sup>2</sup>, 篠崎和子<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東大院・農学生命科学, <sup>2</sup>理研・環境資源科学研究セ)</p> <p><b>1pE14</b> ダイズの環境ストレス応答に関与する bZIP 型転写因子 GmAREB2の機能解析 益田直輝<sup>1</sup>, 城所聡<sup>1</sup>, 小平憲祐<sup>1</sup>, 関田佐知子<sup>1</sup>, 月居佳史<sup>1</sup>, 藤田康成<sup>2,4</sup>, 溝井順哉<sup>2</sup>, 篠崎一雄<sup>2</sup>, 篠崎和子<sup>1</sup> (<sup>1</sup>東大院・農学生命科学, <sup>2</sup>理研・環境資源科学研究セ, <sup>3</sup>国際農研・生物資源利用, <sup>4</sup>筑波大院・生命環境)</p>	<p>一次代謝 (炭素・糖質・脂質)</p> <p><b>1pF08</b> 好熱性シアノバクテリアのSQDG合成欠損株を用いた酸性脂質の機能解析 遠藤嘉一郎<sup>1</sup>, 小林康一<sup>1</sup>, 和田元<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>東大・院・総合文化, <sup>2</sup>JST・CREST)</p> <p><b>1pF09</b> シロイヌナズナにおけるチラコイド膜酸性脂質の独自の役割と機能の重複 小林康一, 遠藤嘉一郎, 藤井祥, 和田元 (東大・院総合文化)</p> <p><b>1pF10</b> 暗所でのモノガラクトシルジアシलगリセロール合成は, シロイヌナズナの芽生えの黄化とその後の葉緑体の発達において重要な役割を担っている 藤井祥, 小林康一, 増田建, 和田元 (東大・院・総合文化)</p> <p><b>1pF11</b> 硫黄飢餓におけるクロレラの脂質とデンブンの蓄積動態 山崎誠和<sup>1,2</sup>, 鴻巣絵梨香<sup>1</sup>, 武田行平<sup>1</sup>, 竹下毅<sup>1</sup>, 平田愛子<sup>1</sup>, 大田修平<sup>1,2</sup>, 風間裕介<sup>3</sup>, 阿部知子<sup>3</sup>, 河野重行<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>東大・院・新領域・先端生命, <sup>2</sup>JST・CREST, <sup>3</sup>理研・仁科センター)</p> <p><b>1pF12</b> クロレラ6種8株の実験室培養系におけるデンブンとオイルの蓄積と屋外大量培養系への展開 竹下毅<sup>1</sup>, 大田修平<sup>1,2</sup>, 山崎誠和<sup>1,2</sup>, 河野重行<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>東大・院・新領域・先端生命, <sup>2</sup>JST・CREST)</p>		<p>植物微生物相互作用 (免疫1)</p> <p><b>1pH08</b> 浸透圧ストレスにより活性化されるAQUOSを介した新しい免疫システム有質資源, 香取拓<sup>1</sup>, 土松隆志<sup>2</sup>, Kochan Leon<sup>3</sup>, Hoekenga Owen<sup>3</sup>, A. Gore Michael<sup>3</sup>, 西條雄介<sup>4</sup>, Koornneef Maarten<sup>5</sup>, E. Parker Jane<sup>5</sup>, 小嶋美紀子<sup>6</sup>, 榑原均<sup>6</sup>, 井内聖<sup>7</sup>, 小林正智<sup>7</sup>, 坂田洋一<sup>1</sup>, 林隆久<sup>1</sup>, 太治輝昭<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Dept. of Bioscience, Tokyo Univ. of Agriculture, <sup>2</sup>Dept. of Life Science, Tokyo Univ., <sup>3</sup>USDA-ARS, <sup>4</sup>NAIST, <sup>5</sup>Max Planck Institute, <sup>6</sup>CSRS, RIKEN, <sup>7</sup>BRC, RIKEN)</p> <p><b>1pH09</b> ㊦ Evolutionary conservation and diversification of immune signaling networks in Brassicaceae Thomas M Winkelmuller, Shajahan Anver, 津田賢二 (Max Planck Institute for Plant Breeding Research)</p> <p><b>1pH10</b> ㊦ Volatile compounds emitted by the fungal phytopathogen <i>Alternaria alternata</i> promote plant growth and flowering through cytokinin action Marouane Baslam<sup>1,2,3</sup>, Ángela María Sánchez-López<sup>4</sup>, Nuria De Diego<sup>4</sup>, Francisco José Muñoz<sup>2</sup>, Abdellatif Bahaji<sup>5</sup>, Gozeder Almagro<sup>6</sup>, Adriana Ricarte-Bermejo<sup>6</sup>, Pablo García-Gómez<sup>6</sup>, Jun Li<sup>7</sup>, Jan F Humplik<sup>8</sup>, Ondrej Novak<sup>8</sup>, Spichal Lukáš<sup>8</sup>, Karel Dolezal<sup>8</sup>, Edurne Baroja-Fernández<sup>9</sup>, Javier Pozueta-Romero<sup>9</sup> (<sup>1</sup>新潟大学農学部応用生物化学科, <sup>2</sup>新潟大学自然科学, <sup>3</sup>Inst. AgroBiotech, Navarra, Spain, <sup>4</sup>Dpt. of Chem. Biol. and Gen., Centre of the Region Hana for Biotech. and Agri. Research, Faculty of Science, Palacky Univ., Olomouc, Czech Republic, <sup>5</sup>Lab. of Growth Regulators, Centre of the Region Hana for Biotech. and Agri. Research, Faculty of Science, Palacky Univ. and Institute of Experimental Botany ASCR, Olomouc, Czech Republic)</p>		<p>シンポジウムの04 Harnessing Catalytic and Regulatory Diversity of Plant Metabolism (13:45 – 16:45)</p>	<p>シンポジウムの05 Challenge to the outdoor environment by the experimental plant physiology (13:45 – 16:45)</p>	<p>シンポジウムの06 "Metabolic Biochemistry" meets "Cell Biology" (13:45 – 16:45)</p>	<p>15:30</p> <p>15:45</p> <p>16:00</p> <p>16:15</p> <p>16:30</p> <p>16:45</p> <p>17:00</p>

㊦ = 発表の言語は英語

●第2日 3月19日(土) 午前(9:00-12:15)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	植物ホルモン/ シグナル伝達物質	光受容体/光応答	生体膜/イオン・物質輸送	光合成・呼吸の環境応答	環境応答/非生物ストレス応答 (温度)
9:00	2aA01 車軸藻植物門クレブソルミデイウムにおける原始的なオーキシン応答の解析 大高きぬ香 <sup>1</sup> , 堀孝一 <sup>1,2</sup> , 太田啓之 <sup>1,2,3</sup> ( <sup>1</sup> 東工大・生体システム, <sup>2</sup> JST-CREST, <sup>3</sup> 東工大・ELSI)	2aB01 タイ類ゼニゴケにおけるフォトリピンキナーゼシグナリングのリン酸化プロテオーム解析 寺井三佳 <sup>1</sup> , 末次憲之 <sup>1</sup> , 小松愛乃 <sup>1</sup> , 西浜竜一 <sup>1</sup> , 四井いずみ <sup>1</sup> , 中神弘史 <sup>2</sup> , 河内孝之 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学 生命科学研究所 遺伝子特性学分野, <sup>2</sup> 理化学研究所 環境資源科学研究センター 植物プロテオミクス研究ユニット)	2aC01 シロイヌナズナCPKの脂質修飾による細胞内局在調節および輸送体活性調節の解析 齋藤俊也 <sup>1</sup> , 浜本晋 <sup>1</sup> , 内海俊彦 <sup>2</sup> , 守屋康子 <sup>2</sup> , 松浦愛子 <sup>3</sup> , 佐藤陽子 <sup>1</sup> , 野口寛人 <sup>1</sup> , 戸澤諒 <sup>4</sup> , 山内清司 <sup>4</sup> , 橋本研志 <sup>5</sup> , Jörg Kudla <sup>6</sup> , 魚住信之 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東北大・院工, <sup>2</sup> 山口大・院医, <sup>3</sup> 名古屋大・生命農学, <sup>4</sup> 愛媛大・プロテオサイエンスセンター, <sup>5</sup> ミュンスター大・植物生命工)	2aD01 Characterization of post-illumination transient O <sub>2</sub> -uptake in intact leaves of higher plants 堀仁美 <sup>1</sup> , 瀬島健裕 <sup>1</sup> , 嶋川銀河 <sup>1</sup> , 山本恵理子 <sup>1</sup> , 高木大輔 <sup>1</sup> , 深山浩 <sup>1</sup> , 鈴木雄二 <sup>2</sup> , 牧野周 <sup>2</sup> , 三宅親弘 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 神戸大・院農, <sup>2</sup> 東北大・院農)	2aE01 ヒメツリガネゴケの低温順化機構におけるSnRK2の役割 篠澤章久 <sup>1</sup> , 大竹亮子 <sup>1</sup> , 小松憲治 <sup>2</sup> , 田中高人 <sup>3</sup> , 竹澤大輔 <sup>4</sup> , 太田輝昭 <sup>1</sup> , 林隆久 <sup>1</sup> , 坂田洋一 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東京農業大・院・バイオ, <sup>2</sup> 東京農大・短・生物生産, <sup>3</sup> 東京農大・生物資源ゲノム解析センター, <sup>4</sup> 埼玉大学理工学研究科)
9:15	2aA02 苔類ゼニゴケにおける単一のオーキシン受容体遺伝子MpTIR1による多面的な生長調節の解析 鈴木秀政, 加藤大貴, 山岡高平, 西浜竜一, 河内孝之 (京大・院・生命科学)	2aB02 苔類ゼニゴケの青色光依存的背腹性決定における青色光受容体フォトリピン下流因子の探索 小松愛乃 <sup>1</sup> , 芦原悠紀子 <sup>1</sup> , 寺井三佳 <sup>1</sup> , 末次憲之 <sup>1</sup> , 西浜竜一 <sup>1</sup> , 石崎公庸 <sup>2</sup> , 河内孝之 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 京大・院・生命科学, <sup>2</sup> 神大・院・理学)	2aC02 ㊦ シロイヌナズナに耐塩性を付与するCNGCおよびABCトランスポーターの細胞内局在と機能 叶正斐 <sup>1</sup> , Aftab Ahmad <sup>2</sup> , 丹羽康夫 <sup>1</sup> , 林久由 <sup>1</sup> , 清水正則 <sup>2</sup> , 小林裕和 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 静岡県大, <sup>2</sup> 常葉大)	2aD02 光合成電子伝達反応の低CO <sub>2</sub> 応答の多様性: O <sub>2</sub> を使う者と使わざる者 嶋川銀河 <sup>1</sup> , 和田亜祐美 <sup>1</sup> , 釋啓一郎 <sup>2</sup> , 秋本誠志 <sup>2</sup> , 植野嘉文 <sup>2</sup> , 松田祐介 <sup>2</sup> , 中島健介 <sup>2</sup> , 高橋裕一郎 <sup>4</sup> , 三宅親弘 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 神戸大・院農, <sup>2</sup> 神戸大・院理, <sup>3</sup> 関西学院大・院理工, <sup>4</sup> 岡山大・院自然科学)	2aE02 温度依存的なカルシウムシグナリングと低温誘導性遺伝子の制御について 開勇人 <sup>1</sup> , 富永陽子 <sup>2</sup> , 上村松生 <sup>1,2</sup> , 河村幸男 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 岩手大・院・農, <sup>2</sup> 岩手大・農・寒冷バイオ)
9:30	2aA03 ㊦ Analysis of a global planar polarity acquisition process in plant leaf epidermis 名川信吾 <sup>1,2</sup> , Hongjiang Li <sup>2</sup> , Jian Liang <sup>2</sup> , Tongda Xu <sup>1,2</sup> , Zhenbiao Yang <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> Shanghai Center for Plant Stress Biology, CAS, <sup>2</sup> University of California, Riverside)	2aB03 ゼニゴケ細胞膜H <sup>+</sup> -ATPaseによるフォトリピンを介した葉緑体逃避反応の制御 藤井雄太 <sup>1,2</sup> , 木下俊則 <sup>3</sup> , 深尾陽一朗 <sup>1</sup> , 児玉豊 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 宇都宮大・バイオセンター, <sup>2</sup> 宇都宮大・院農, <sup>3</sup> 名古屋大・院理, <sup>4</sup> 立命館大・生命科学)	2aC03 イネ高親和型尿素輸送担体は低窒素栄養条件下でイネの生産性に関与する 藤田貴之 <sup>1</sup> , 佐々木和浩 <sup>2</sup> , 菅野圭一 <sup>1</sup> , 山谷知行 <sup>1</sup> , 小島創一 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東北大・院農学, <sup>2</sup> 東京大・院農学生命)	2aD03 光合成と呼吸: 藍藻における呼吸の光活性化機構の解明 小原綾夏, 嶋川銀河, 三宅親弘 (神戸大・院・農)	2aE03 MRIによる凍結様式可視化解析法の有効性: アメリカハナミズキ越冬花芽の再解析 三川雅也 <sup>1</sup> , 井出博之 <sup>3</sup> , 山崎秀幸 <sup>1</sup> , 村川裕基 <sup>2</sup> , 朽澤和幸 <sup>2</sup> , William Price <sup>4</sup> , 荒田洋治 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 農業生物資源研究所, <sup>2</sup> 東京理科大・理工, <sup>3</sup> 機能水研, <sup>4</sup> Univ West Sydney)
9:45	2aA04 AP2-GRAS複合体によるオーキシン-ブラシノステロイドシグナルクロストークの解析 平野恒 <sup>1</sup> , 安益公一郎 <sup>1</sup> , 吉田英樹 <sup>1</sup> , 川村真結子 <sup>1</sup> , 保浦徳昇 <sup>1</sup> , 古川久美子 <sup>1</sup> , 林誠 <sup>1</sup> , 佐藤(伊澤)かなな <sup>2</sup> , 北野英己 <sup>1</sup> , 上口(田中)美弥子 <sup>1</sup> , 松岡信 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 名大・生物機能研究センター, <sup>2</sup> 筑波大・生命環境)	2aB04 ゼニゴケにおけるフォトリピン細胞内局在解析 木村俊 <sup>1,2</sup> , 児玉豊 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 宇都宮大・バイオセンター, <sup>2</sup> 宇都宮大・院農)	2aC04 シロイヌナズナポリアミントランスポーター遺伝子変異体の環境ストレス応答 藤田美紀 <sup>1</sup> , 藤田泰成 <sup>2,3</sup> , 篠崎一雄 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 理研 環境資源科学研究センター, <sup>2</sup> 国際農研 生物資源・利用, <sup>3</sup> 筑波大・生命環境)	2aD04 ㊦ Synergistic Effects of Iron Superoxide Dismutase and Catalase on the Protection of Photosynthesis to Strong Light in <i>Synechococcus elongatus</i> PCC 7942 Pemporn Sac-Tang, Yoshitaka Nishiyama (Grad. Sch. Sci. Eng., Saitama Univ.)	2aE04 シロイヌナズナの温度適応における代謝変動と転写制御 速水葉月 <sup>1</sup> , 日恵野綾香 <sup>2</sup> , 草野都 <sup>3,4</sup> , 圓山恭之進 <sup>5</sup> , 樋口美栄子 <sup>3</sup> , 花田耕介 <sup>6</sup> , 松井南 <sup>3</sup> , 山本義治 <sup>1,2,7</sup> ( <sup>1</sup> 岐阜大学 応用生物科学研究科, <sup>2</sup> 岐阜大学 連合農学研究科, <sup>3</sup> 理化学研究所 CSRS, <sup>4</sup> 筑波大学 生命環境科学研究科, <sup>5</sup> 国際農林水産業研究センター (JIRCAS), <sup>6</sup> 九州工業大学 若手フロンティア研究アカデミー, <sup>7</sup> JST ALCA)
10:00	2aA05 GWASを用いてのオーキシン依存的な根の発生に関わる新規制御因子の探索 小倉岳彦, Christian Goeschl, Daniele Filhault, Wolfgang Busch (GMI)	2aB05 マイクロアレイ解析によるクリプトクロムを介した短期低温馴化制御機構の解析 今井裕之 <sup>1</sup> , 河村幸男 <sup>1,2</sup> , 長谷あきら <sup>3</sup> , 上村松生 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 岩手大・院・連合農学, <sup>2</sup> 岩手大・農・寒冷バイオ, <sup>3</sup> 京大・院・理)	2aC05 Contribution of PPI-hydrolyzing function of vacuolar H <sup>+</sup> -pyrophosphatase in vegetative growth of <i>Arabidopsis thaliana</i> 浅岡真理子 <sup>1</sup> , 瀬上紹嗣 <sup>1</sup> , Ali Ferjani <sup>2</sup> , 前島正義 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 名古屋大・生命農, <sup>2</sup> 東京学芸・教育・生命)	2aD05 赤潮藻類における光化学系IIの強光と高温ストレスに対する応答 桑原悠輔 <sup>1</sup> , 柴加田知幸 <sup>2</sup> , 西山佳孝 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 埼玉大・院・理工, <sup>2</sup> 瀬戸内海地区水産研)	2aE05 シロイヌナズナにおけるDREB1ファミリー遺伝子群の低温応答性転写制御メカニズムの解析 石川朋奈 <sup>1</sup> , 城所聡 <sup>1</sup> , 戸田智美 <sup>1</sup> , 溝井順哉 <sup>1</sup> , 篠崎一雄 <sup>2</sup> , 篠崎和子 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東大院・農学生命科学, <sup>2</sup> 理研・環境資源科学研究七)
10:15	2aA06 ㊦ 過酸化脂質由来のカルボニル種は側根形成のオーキシンシグナルを媒介する Md. Sanaullah Biswas <sup>1</sup> , 真野純一 <sup>2</sup> , 深城英弘 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 鳥取大・連合農学, <sup>2</sup> 山口大・総合科学セ, <sup>3</sup> 神戸大・院・理・生物)	2aB06 苔類ゼニゴケにおける転写因子PIFを介した赤色光シグナル伝達因子の分子機構 井上佳祐 <sup>1</sup> , 西浜竜一 <sup>1</sup> , 石崎公庸 <sup>2</sup> , 河内孝之 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 京大・院・生命, <sup>2</sup> 神戸大・院理)	2aC06 ラン藻と高等植物の葉緑体の亜硝酸イオン輸送体の基質親和性の解析 前田真二, 小保達男 (名古屋大・院生命農学)	2aD06 陰生と陽生の耐乾燥性のコケと地衣類で乾燥誘導される2種の過剰エネルギー散逸機構 伊藤繁 <sup>1</sup> , 山川壽伯 <sup>2</sup> , Ulrich Heber <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 名大・遺伝子, <sup>2</sup> 名大院・生命農, <sup>3</sup> ビュルツブルク大・生物)	2aE06 植物の高温ストレス応答の初期で働く転写因子HsfA1の活性制御機構の解析 太濱直彦 <sup>1</sup> , 草壁和也 <sup>1</sup> , 溝井順哉 <sup>1</sup> , 趙慧美 <sup>1</sup> , 城所聡 <sup>1</sup> , 小泉慎也 <sup>1</sup> , 高橋史憲 <sup>2</sup> , 石田哲也 <sup>3</sup> , 柳澤修一 <sup>3</sup> , 篠崎一雄 <sup>2</sup> , 篠崎和子 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東大院・農学生命科学, <sup>2</sup> 理研・環境資源科学研究七, <sup>3</sup> 東大・生物生産工学研究センター)

F会場	G会場	H会場	I会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
二次代謝	システム生物学	植物・病原体相互作用 (免疫2)	オルガネラ/細胞骨格	シンポジウムの07	シンポジウムの08	シンポジウムの09	
2aF01 ダイズ由来カロン還元酵素相同遺伝子群の網羅的機能解析 太豆田亮, 和氣駿之, 高橋征司, 中山亨 (東北大学工学研究科バイオ工学専攻応用生命化学講座中山研究室)	2aG01 シロイヌナズナの遺伝子共発現に寄与するゲノム特微量の探索 青木裕一 <sup>1</sup> , 大林武 <sup>1</sup> , 木下賢吾 <sup>1,2,3</sup> (東北大・院・情報科学, <sup>2</sup> 東北大・加齢研, <sup>3</sup> 東北大・ToMMo)	2aH01 病斑の褐変は抵抗性反応由来の酸化ストレスの緩和に関与する 林敏子 <sup>1</sup> , 藤田佳克 <sup>2</sup> , 芦澤武人 <sup>1</sup> , 鈴木彦彦 <sup>1</sup> , 長村吉晃 <sup>3</sup> , 早野由里子 <sup>1</sup> (農研機構・中央農業総合研究センター, <sup>2</sup> 日本大・生物資源科学, <sup>3</sup> 農業生物資源研)	2aI01 クラミドモナス鞭毛内酸化還元電位の可視化と定量 西牧優太 <sup>1</sup> , 杉浦一徳 <sup>1,2</sup> , 久堀徹 <sup>1,2</sup> , 若林憲一 <sup>1</sup> (東工大・資源研, <sup>2</sup> CREST, JST)	シンポジウムの07 Multi-angle views of plant pluripotent stem cells (9:00-12:00)	シンポジウムの08 ROS, Ca <sup>2+</sup> and plant sensory systems (9:00-12:00)	シンポジウムの09 Ethylene on plant growth and development: from signaling to physiological responses (9:00-12:00)	9:00
2aF02 青葉アルデヒドの生成に重要な役割を果たすヘキセナールイソメラーゼの同定 國嶋幹子, 山内靖雄, 水谷正治, 杉本幸裕 (神大・院農)	2aG02 ATTED-II共発現データのメタ解析による生物種特異的遺伝子共発現モジュールの探索 大林武 <sup>1</sup> , 青木裕一 <sup>1</sup> , 岡村容伸 <sup>1</sup> , 田高周 <sup>1</sup> , 木下賢吾 <sup>1,2,3</sup> (東北大・院・情報, <sup>2</sup> 東北大・加齢研, <sup>3</sup> 東北大・ToMMo)	2aH02 トマト黄化葉巻病ウイルス病原性因子βC1の細胞内局在と活性 鈴木崇紀 <sup>1,4</sup> , 笹部美知子 <sup>2</sup> , 町田千代子 <sup>2</sup> , 町田泰則 <sup>1</sup> (石原産業(株)・中央研究所, <sup>2</sup> 弘前大・農学生命, <sup>3</sup> 中部大・応用生物, <sup>4</sup> 名古屋大・院理)	2aI02 高浸透圧ストレスに応答したゼニゴケの表層微小管脱重合 高橋美之 <sup>1</sup> , 長尾直弥 <sup>1</sup> , 西浜竜一 <sup>2</sup> , 河内孝之 <sup>2</sup> , 橋本隆 <sup>1</sup> (奈良先端大・バイオサイエンス, <sup>2</sup> 京大・院・生命科学)				9:15
2aF03 ナス科植物ステロイドグリコアルカロイドのF環形成に関わる26位アミノ基転移酵素の機能解析 中安大 <sup>1</sup> , 梅基直行 <sup>2</sup> , 大山清 <sup>2,3</sup> , 宮地陽香 <sup>1</sup> , 渡辺文太 <sup>1</sup> , 村中俊哉 <sup>1</sup> , 斉藤和季 <sup>2,6</sup> , 杉本幸裕 <sup>1</sup> , 水谷正治 <sup>1</sup> (神戸大院・農, <sup>2</sup> 理研 CSRS, <sup>3</sup> 東工大・院・理工, <sup>4</sup> 京大・化研, <sup>5</sup> 大阪大院・工, <sup>6</sup> 千葉大院・薬)	2aG03 複数植物種の遺伝子発現ネットワークと知識情報を統合したWebデータベースPODC 寺島健 <sup>1</sup> , 工藤徹 <sup>1</sup> , 高野知之 <sup>1</sup> , 菅野真麻 <sup>1</sup> , 齋藤美沙 <sup>1</sup> , 松田典子 <sup>1</sup> , 浅野さとみ <sup>1</sup> , 佐々木陽平 <sup>1</sup> , 横山幸治 <sup>1</sup> , 小林正明 <sup>1</sup> , 大柳一 <sup>1,2</sup> , 矢野健太郎 <sup>1</sup> (明治大・農学部, <sup>2</sup> キング・アブドゥッラー-科学技術大)	2aH03 野生植物のRNA-Seqによるウイルス・ホスト相互作用の解明 神谷麻梨 <sup>1</sup> , 永野博 <sup>1,2,3</sup> , 本庄三恵 <sup>1</sup> , 工藤洋 <sup>1</sup> (京都大学生態学研究センター, <sup>2</sup> 龍谷大学農学部, <sup>3</sup> JST さきがけ)	2aI03 チューブリンリン酸化酵素 PHS1はMAPKを介さずにリン酸化活性を抑制する Duncan Coleman, 堀田崇, 橋本隆 (奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科)				9:30
2aF04 トマトにおけるステロイドグルコアルカロイド生成の転写制御 Chonprakun Thagun <sup>1</sup> , 今西俊介 <sup>2</sup> , 工藤徹 <sup>3</sup> , 中林亮 <sup>4</sup> , 大山清 <sup>5</sup> , 森哲哉 <sup>4</sup> , 河本晃一 <sup>6</sup> , 佐々木陽平 <sup>3</sup> , 中村雪乃 <sup>3</sup> , 野中聡子 <sup>6</sup> , 松倉千昭 <sup>6</sup> , 矢野健太郎 <sup>3</sup> , 江面浩 <sup>3</sup> , 斉藤和季 <sup>1,6</sup> , 橋本隆 <sup>1</sup> , 庄司翼 <sup>1</sup> (奈良先端大学・バイオサイエンス研究科, <sup>2</sup> 農研機構・野菜茶業研究所, <sup>3</sup> 明治大学・農学部, <sup>4</sup> 理化学研究所・資源環境科学研究所, <sup>5</sup> 東工大・理工学研究科, <sup>6</sup> 筑波大学・生命環境科学研究科)	2aG04 AtMetExpress: シロイヌナズナにおける代謝物プロファイリングデータベースの開発 福島敦史 <sup>1</sup> , 時松敏明 <sup>2</sup> , 西田孝三 <sup>3</sup> , Ramon Mejia <sup>1</sup> , 小林誠 <sup>1</sup> , 岡咲洋三 <sup>1</sup> , 中林亮 <sup>1</sup> , 山田豊 <sup>1</sup> , 櫻井哲也 <sup>1</sup> , 草野都 <sup>1</sup> , 有田正規 <sup>1,5</sup> , 斉藤和季 <sup>1,6</sup> (理研 CSRS, <sup>2</sup> ライフサイエンス統合データベースセンター, <sup>3</sup> 理研 QBiC, <sup>4</sup> 筑波大院・生命環境系, <sup>5</sup> 遺伝研, <sup>6</sup> 千葉大院・薬)	2aH04 害虫行動に影響する植物側因子の探索 安部洋 <sup>1</sup> , 下田武志 <sup>2</sup> , 瀬尾茂美 <sup>3</sup> , 澤田有司 <sup>1</sup> , 平井優美 <sup>1</sup> , 小林正智 <sup>1</sup> (理研バイオリソースセンター, <sup>2</sup> 中央農研, <sup>3</sup> 生物研, <sup>4</sup> 理研 CSRS)	2aI04 精製植物チューブリンを用いた微小管のin vitroダイナミクス解析 堀田崇 <sup>1</sup> , 内村誠一 <sup>2</sup> , 野口真大 <sup>1</sup> , 出村拓 <sup>1</sup> , 武藤悦子 <sup>2</sup> , 橋本隆 <sup>1</sup> (奈良先端大・バイオ, <sup>2</sup> 理研・BSI)				9:45
2aF05 ㊦ Functional analysis of amorpho-4,11-diene synthase homologs derived from artemisinin non-producing <i>Artemisia</i> species: the discovery of novel sesquiterpene synthases synthesizing koidzumiol and (+)-α-bisabolol Paskorn Muangphrom <sup>1</sup> , 關光 <sup>1</sup> , 西脇美香 <sup>2</sup> , 鈴木宗典 <sup>1,2</sup> , 三河良太 <sup>1</sup> , 小森彩 <sup>1,2</sup> , 福島エリオデット <sup>1</sup> , 村中俊哉 <sup>1</sup> (阪大院・工・生命先端, <sup>2</sup> 神戸天然物化学株式会社)	2aG05 ㊦ Prediction of unknown regulation in a metabolic pathway using omics time-series data シユタサ カンスポーン <sup>1</sup> , 澤田有司 <sup>1</sup> , 森原亜由子 <sup>1</sup> , 佐藤心郎 <sup>1</sup> , 尾之内均 <sup>2</sup> , 内藤哲 <sup>2,3</sup> , 平井優美 <sup>1</sup> (理研 CSRS, <sup>2</sup> 北大・院・農, <sup>3</sup> 北大・院・生命)	2aH05 An Analysis of Transport of Glucosinolates in Arabidopsis Leaves 中崎淳子, 山田健志, 河本恭子, 上田晴子, 西村いくこ, 嶋田知生 (京大・院理学)	2aI05 二次細胞壁パターンの獲得における新規微小管付随タンパク質の機能解析 杉山友希 <sup>1</sup> , 若崎真由美 <sup>2</sup> , 佐藤藤子 <sup>2</sup> , 豊岡公徳 <sup>2</sup> , 福田裕穂 <sup>1</sup> , 小田祥久 <sup>3</sup> (東大・院理・生物科学, <sup>2</sup> 理研・CSRS, <sup>3</sup> 国立遺伝研・新分野)				10:00
2aF06 フラノクマリンのタイプ特異的なパースニップ由来プレニル化酵素補遺伝子の機能解析 榎方涼介 <sup>1</sup> , Alexandre Olry <sup>2</sup> , Fazeelat Karamat <sup>3</sup> , Vincent Courdavaul <sup>4</sup> , 杉山暁史 <sup>1</sup> , 伊達慶明 <sup>1</sup> , Céilia Krieger <sup>2</sup> , Silie Prisca <sup>3</sup> , Nicolas Papon <sup>3</sup> , Jérémy Grosjean <sup>2</sup> , 矢崎一史 <sup>1</sup> , Frédéric Bourgaud <sup>2</sup> , Alain Hehn <sup>2</sup> (京大・生存研, <sup>2</sup> ロレーヌ大学, <sup>3</sup> トゥール大学)	2aG06 情報理論を用いたネットワーク解析によるトマト単為結果関連候補遺伝子の探索 草野都 <sup>1,2</sup> , 福島敦史 <sup>2</sup> , 有泉亨 <sup>1</sup> , 江面浩 <sup>1</sup> (筑波大学, <sup>2</sup> 理研 CSRS)	2aH06 ㊦ Direct and indirect defense against herbivores in rice Ivan Galis, Islam Sobhy, 三宅純司, 田邊公章, 北條優子, 新屋友規 (岡山大学 資源植物科学研究所)	2aI06 ヒメツリガネゴケにおける微小管生成複合体オグミンの植物特異的サブユニット AUG8の機能解析 日渡祐二 <sup>1</sup> , 清水祥登 <sup>1</sup> , 佐藤良勝 <sup>2</sup> , John Doonan <sup>3</sup> (宮城大・食産業, <sup>2</sup> 名古屋大・WPI-ITbM, <sup>3</sup> アベリストウイス大・国立植物フェノミクスセンター)				10:15

㊦ = 発表の言語は英語

● 第2日 3月19日(土) 午前(9:00-12:15)

時間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	植物ホルモン/ シグナル伝達物質	光受容体/光応答	生体膜/イオン・物質輸送	光合成・呼吸の環境応答	環境応答/非生物ストレス応答 (温度)
10:30	2aA07 ㊦ 根切除による側根再生はオーキシン信号伝達経路を介する Dongyang Xu <sup>1</sup> , 綿引雅昭 <sup>2</sup> (1)北大・生命科学, (2)北大・理)	2aB07 苔類ゼニゴケにおけるRaf型キナーゼが仲介する光合成信号伝達 西近童一 <sup>1</sup> , 小出絵里 <sup>1</sup> , 寺井三佳 <sup>1</sup> , 野村有子 <sup>2</sup> , 四井いずみ <sup>2</sup> , 末次憲之 <sup>1</sup> , 中神弘史 <sup>2</sup> , 河内孝之 <sup>1</sup> (1)京大・生命科学, (2)理研・環境資源科学研究センター)	2aC07 植物細胞リン酸輸送機構とその進化について 藤原ひとみ <sup>1</sup> , 坂山英俊 <sup>1</sup> , 大西美輪 <sup>1</sup> , 石崎公康 <sup>1</sup> , 豊倉浩一 <sup>1</sup> , 郷達明 <sup>1</sup> , 関本弘之 <sup>2</sup> , 西山智明 <sup>3</sup> , 池谷仁里 <sup>4</sup> , 菅野里美 <sup>5</sup> , 手塚あゆみ <sup>6</sup> , 永野惺 <sup>7</sup> , 小菅桂子 <sup>1</sup> , 深城英弘 <sup>1</sup> , 三村徹郎 <sup>1</sup> (1)神戸大・理, (2)日本女子大・理, (3)金沢大・学際科学実験センター, (4)兵庫県大・院・生命理学, (5)東京大・院・農, (6)龍谷大・農)	2aD07 南極陸生光合成生物の光障害リスクと適応戦略の多様性 小杉真貴子 <sup>1</sup> , 西村文乃 <sup>2</sup> , 井上武史 <sup>2</sup> , 黒沢剛夫 <sup>3</sup> , 川又明徳 <sup>4</sup> , 小池裕幸 <sup>5</sup> , 亀井保博 <sup>6</sup> , 伊村智 <sup>7</sup> , 工藤栄 <sup>8</sup> (1)中央大 理工学部 生命科学科, (2)総合研究大学院大学 複合科学研究科 極域科学専攻, (3)創価大 理工学部 環境共生工学科, (4)愛媛県総合科学博物館, (5)自然科学研究機構 基礎生物学研究所, (6)情報・システム研究機構 国立極地研究所)	2aE07 シロイヌナズナのストレス応答性転写因子DREB2Aの翻訳後調節におけるリン酸化の可能性 瀧井順哉 <sup>1</sup> , 秦峰 <sup>2</sup> , 城所聡 <sup>3</sup> , 篠崎一雄 <sup>4</sup> , 篠崎和子 <sup>5</sup> (1)東大院・農学生命科学, (2)国際農研・生物資源利用, (3)理研・環境資源科学研究セ)
10:45	2aA08 シロイヌナズナ切断花茎の組織癒合過程における組織特異的な遺伝子発現と植物ホルモンの解析 中野渡幸 <sup>1</sup> , 小倉健太郎 <sup>2</sup> , 伴瀬真麻 <sup>3</sup> , 松岡啓太 <sup>2</sup> , 湯本絵美 <sup>2</sup> , 横田孝雄 <sup>2</sup> , 山根久和 <sup>2</sup> , 佐藤忍 <sup>2</sup> , 朝比奈雅志 <sup>1,2</sup> (1)帝京大・院・理工, (2)帝京大・理工・バイオ, (3)筑波大・生命環境)	2aB08 シロイヌナズナ胚軸におけるフィトクロムを介した一次正光屈性の制御機構 芳賀健 <sup>1</sup> , 酒井達也 <sup>2</sup> (1)日本工業大学 共通教育系, (2)新潟大学 大学院理学部)	2aC08 アジサイ由来のアルミニウムストレスの無毒化に関与する液胞膜局在アクアポリンの構造と機能に関する研究 伊藤登明 <sup>1</sup> , 入江克雅 <sup>2</sup> , 亀川亜希子 <sup>2</sup> , 大嶋篤典 <sup>2</sup> , 藤吉好則 <sup>2</sup> , 吉田久美 <sup>1</sup> (1)名古屋大学 大学院情報科学研究科, (2)名古屋大学 細胞生理学センター)	2aD08 初期型光合成電子伝達の硫化水素依存的な制御に関与する転写因子の同定 清水隆之 <sup>1</sup> , 増田真二 <sup>2,3</sup> (1)東工大・院 生命理工, (2)東工大・バイオセンター, (3)東工大・地球生命研)	2aE08 細胞周期制御因子サイクリン依存性リン酸化酵素Aによるストレス応答制御への関与 川田慎也 <sup>1</sup> , Liang Bao <sup>1</sup> , 石橋浩浩 <sup>1</sup> , 巻口勇馬 <sup>1</sup> , 野田なつみ <sup>2</sup> , 日渡祐二 <sup>3</sup> , 石川雅樹 <sup>4,5</sup> , 鈴木優 <sup>6</sup> , 菅野純夫 <sup>7</sup> , 長谷部光泰 <sup>4,5</sup> , 藤田知道 <sup>4</sup> (1)北大・院 生命, (2)北大・院 理, (3)宮城大・食産業, (4)基生研・生物進化, (5)総研大・生命科学, (6)東大・院 新領域)
11:00	2aA09 シロイヌナズナ芽生えの胚軸間接ぎ木の細胞分裂を誘導する植物ホルモンの作用機構 松岡啓太 <sup>1</sup> , 菅原恵理 <sup>1</sup> , 田熊一貴 <sup>1</sup> , 佐藤忍 <sup>2</sup> , 朝比奈雅志 <sup>1</sup> (1)帝京大・理工・バイオ, (2)筑波大・生命)	2aB09 ホウライシダの光受容体フィロクトム3と相互作用するタンパク質の探索 木村泉美 <sup>1</sup> , 鐘ヶ江健 (首都大・院 理工・生命科学)	2aC09 ストレス下におけるシロイヌナズナER局在アクアポリンSIPsの生理機能 佐藤良介 <sup>1</sup> , 榊原理恵 <sup>1</sup> , 宮本恭輔 <sup>1</sup> , 前島正義 (名古屋大学 大学院 生命農学研究科 生物機能・機構科学専攻 細胞ダイナミクス研究室)	2aD09 リン欠乏下で誘導される呼吸鎖バイパス経路AOXの生理的役割の解析 愛知平達 <sup>1</sup> , 宮城敦子 <sup>2</sup> , 川合真紀 <sup>2</sup> , 野口航 <sup>2</sup> (1)東大・院 理, (2)埼玉大・院 理工, (3)東大・院 生命)	2aE09 シアノバクテリアの必須分子シャペロンCipB2は、そのパラログであるCipB1や大腸菌CipBとは顕著に異なる生化学的性質を示す 一杉祐太 <sup>1</sup> , 仲本進 (埼玉大学 大学院 理工学研究科 分子生物学コース)
11:15	2aA10 シロイヌナズナの葉の向背軸性確立におけるAS1・AS2-ETT経路を介したサイトカイニン生成制御の解析 小島晶子 <sup>1</sup> , 石橋奈々子 <sup>2</sup> , 香田佳那 <sup>1</sup> , 小嶋美紀子 <sup>3</sup> , 高橋広夫 <sup>4</sup> , 中川彩美 <sup>5</sup> , 榊原均 <sup>3,5</sup> , 町田泰則 <sup>6</sup> , 町田千代子 <sup>1</sup> (1)中部大・応用生物, (2)名大・理・生命理学, (3)理研・CSRS, (4)千葉大・園芸, (5)名大・院 生命農学)	2aB10 シロイヌナズナPIF3はphyBのN-末端延長配列に結合して暗回帰反応を阻害する 桂ひとみ <sup>1</sup> , 直原一徳 <sup>1</sup> , 松下智直 <sup>2</sup> , 吉原静恵 <sup>1</sup> , 河内孝之 <sup>2</sup> , 長谷あきら <sup>3</sup> , 徳富哲 <sup>1</sup> (1)大阪府大・院 理学系, (2)九大・院 農学, (3)京大・院 生命科学, (4)京大・院 理学)	2aC10 ホウ酸輸送体BOR1の5'-UTRによるホウ素依存的な翻訳抑制の植物体相原(尾島)いづみ <sup>1</sup> , 平井達也 <sup>1</sup> , 尾之内均 <sup>2</sup> , 内藤哲 <sup>2,3</sup> , 三輪京子 <sup>1</sup> (1)北大・院 環境, (2)北大・院 農, (3)北大・院 生命)	2aD10 ソテツの発熱機構におけるミトコンドリアの役割: 裸子植物と被子植物の相違について 稲葉靖子 <sup>1</sup> , 岡杏里砂 <sup>1,2</sup> , 前川春彦 <sup>2</sup> , 稲葉丈人 <sup>2</sup> (1)宮崎大・TT推進, (2)宮崎大・農)	2aE10 オートファジーはシロイヌナズナの花粉形成における高温障害を緩和する 東谷悠志 <sup>1</sup> , 泉正範 <sup>1,2</sup> , 邵麗華 <sup>1</sup> , 中村咲耶 <sup>1</sup> (1)東北大学 大学院 生命科学研究所, (2)東北大学 学際フロンティア研究所)
11:30	2aA11 地下部から長距離輸送された活性型サイトカイニンは地上部で機能する 大瀧麻未 <sup>1,2</sup> , 小嶋美紀子 <sup>3</sup> , 竹林裕美子 <sup>1</sup> , 木羽隆敏 <sup>1</sup> , 榊原均 <sup>1,2</sup> (1)理研 CSRS, (2)名大 産農科)	2aB11 phyCの短波長吸収特性は進化的に保存されている 吉原静恵 <sup>1</sup> , 石黒志保 <sup>1</sup> , 田中大樹 <sup>1</sup> , 大久保陽子 <sup>1</sup> , 加川貴俊 <sup>1</sup> , 西塚順子 <sup>1</sup> , 岡島公司 <sup>1,3</sup> , 徳富哲 <sup>1</sup> (1)大阪府大・院 理, (2)農業生物資源研, (3)慶應大・院 理工)		2aD11 非窒素固定性シアノバクテリアへの窒素固定能付与の試み 小谷弘哉 <sup>1</sup> , 辻本良真 <sup>1</sup> , 藤田祐一 (名大・院 生命農)	2aE11 シロイヌナズナ accession 間にみられる高温耐性のナチュラルバリエーション 中村浩太郎 <sup>1</sup> , 有賀裕剛 <sup>1</sup> , 井内聖 <sup>2</sup> , 小林正智 <sup>2</sup> , 坂田洋一 <sup>1</sup> , 林隆久 <sup>1</sup> , 太治輝昭 <sup>1</sup> (東京農大・バイオ, (2)理研・BRC)
11:45	2aA12 ストリゴラクトン生成におけるMAX1酵素の機能的多様性 米山香織 <sup>1</sup> , 森愛実 <sup>2</sup> , 謝肖男 <sup>1</sup> , 来生貴也 <sup>1</sup> , 大西利幸 <sup>1</sup> , 李偉強 <sup>3</sup> , 吉田聡子 <sup>3</sup> , 白須賢 <sup>4</sup> , 山口信次郎 <sup>5</sup> , 秋山康紀 <sup>2</sup> , 米山弘一 <sup>1</sup> , 野村崇人 <sup>1</sup> (1)宇都宮大・バイオ, (2)大阪府立大・院 生命環境, (3)東北大・院 生命科学, (4)静岡大・院 農, (5)理研・CSRS)	2aB12 光合成による細胞膜プロトンポンプのリン酸化における糖の関与 奥村蒼樹 <sup>1</sup> , 井上晋一郎 <sup>1</sup> , 桑田啓子 <sup>2</sup> , 木下俊則 <sup>3</sup> (1)名古屋大・院 理・生命理学, (2)名古屋大・WPI-ITbM)			2aE12 野外におけるイネの根のアクアポリン発現量の環境応答 - 根域温度に対する依存性 斎形恒男 <sup>1</sup> , 村井(羽田野)麻理 <sup>2</sup> , 林秀洋 <sup>3</sup> , 石川(櫻井)淳子 <sup>3</sup> , 福井真 <sup>4</sup> , 須長智洋 <sup>1</sup> (1)農業環境技術研究所, (2)農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター, (3)農業・食品産業技術総合研究機構 作物研究所, (4)早稲田大学)
12:00					2aE13 ハナスベリヒユ ( <i>Portulaca hybrid</i> ) の花弁展開期における背軸側表皮細胞の伸長とPlasma membrane H <sup>+</sup> -ATPase 遺伝子 ( <i>PhHAs</i> ) の発現に対する温度や光の影響は、花弁内の位置によって大きく異なる。 志田爽太 <sup>1</sup> , 中西史 <sup>2</sup> (1)東京学芸大学 大学院 理科教育, (2)東京学芸大学 理科教育)

F会場	G会場	H会場	I会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
二次代謝	システム生物学	植物・病原体相互作用 (免疫2)	オルガネラ/細胞骨格	シノポシタナス07 Multi-angle views of plant pluripotent stem cells (9:00-12:00)	シノポシタナス08 ROS, Ca <sup>2+</sup> and plant sensory systems (9:00-12:00)	シノポシタナス09 Ethylene on plant growth and development: from signaling to physiological responses (9:00-12:00)	
2aF07 ㊦ Flavonol 3-O-gal:2" -O-glucosyltransferase from petunia pollen Eva Knoch, Satoko Sugawara, Kazuki Saito, Keiko Yonekura-Sakakibara (RIKEN)	2aG07 ㊦ Comparative transcriptomics across selected plants from panax genus revealed cyp450s and GTs coding genes with potential role in triterpene saponin biosynthesis Amit Rai <sup>1</sup> , Hiroki Takahashi <sup>1</sup> , Michimi Nakamura <sup>1</sup> , Hideyuki Suzuki <sup>2</sup> , Mami Yamazaki <sup>1</sup> , Kazuki Saito <sup>1,3</sup> ( <sup>1</sup> Chiba University, <sup>2</sup> Kuzasa DNA Res. Inst, <sup>3</sup> RIKEN CSRS)	2aH07 線虫感染過程における CLAVATA シグナル伝達の関与 中上知 <sup>1</sup> , 江島千佳 <sup>1</sup> , Bui Thi Ngan <sup>1</sup> , 佐藤博 <sup>1</sup> , 田畑亮 <sup>2</sup> , 石田喬志 <sup>1</sup> , 澤進一郎 <sup>3</sup> (* <sup>1</sup> 熊大・院自然科学, <sup>2</sup> 基生研)	2aI07 NIMA関連キナーゼ6は表層微小管の切断と脱重合に関与する 高谷彰吾, 高橋卓, 本瀬宏康 (岡山大・院・自然科学)				10:30
2aF08 Chemically Assigning Marker Product Ions of Monoterpene Indole Alkaloids using Liquid Chromatography-Fourier Transform Ion Cyclotron Resonance-Tandem Mass Spectrometry 中林亮 <sup>1</sup> , 津川裕司 <sup>1</sup> , 北島満里子 <sup>2</sup> , 高山廣光 <sup>2</sup> , 齊藤和季 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 理研 CSRS, <sup>2</sup> 千葉大・院・薬)	2aG08 ㊦ Transcriptomic profile of variegated fig ( <i>Ficus microcarpa</i> cv. milky stripe) leaves 施廷駿 <sup>1</sup> , 黄盟元 <sup>2</sup> , 林斯賢 <sup>1</sup> , 楊棋明 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> Biodiversity Research Center, Academia Sinica, Taiwan, <sup>2</sup> Department of Horticulture and Biotechnology, Chinese Culture University, Taiwan)	2aH08 茎寄生植物ネナシカズラの宿主接統に関わる遺伝子群の探索 青木孝 <sup>1</sup> , 徳積亮歌 <sup>1</sup> , 清水皇稀 <sup>1</sup> , 横山隆亮 <sup>2</sup> , 西谷和彦 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 大阪府立大学生命環境科学研究科, <sup>2</sup> 東北大学大学院生命科学研究所)	2aI08 微小管上の逆行輸送を担うキネシンの発見 山田萌恵, 五島剛太 (名古屋大・理・生命)				10:45
2aF09 ㊦ ホソバルビナスにおけるアルカロイド生産品種特異的遺伝子の異種発現による機能解明 清水陽平 <sup>1</sup> , 大川結子 <sup>1</sup> , 解良康太 <sup>1</sup> , 戸松創 <sup>1</sup> , 鈴木秀幸 <sup>2</sup> , 山崎真巳 <sup>1</sup> , 齊藤和季 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 千葉大・院・薬, <sup>2</sup> かずさDNA研究所)	2aG09 高温誘導性プロモーターをデザインする 圓山恭之進 <sup>1</sup> , 小賀田拓也 <sup>1</sup> , 金森紀仁 <sup>1</sup> , 篠崎和子 <sup>2</sup> , 後藤新悟 <sup>2</sup> , 山本義治 <sup>4</sup> , 井内聖 <sup>5</sup> , 浦野薫 <sup>6</sup> , 櫻井哲也 <sup>6</sup> , 小嶋美紀子 <sup>6</sup> , 榑原均 <sup>6</sup> , 篠崎一雄 <sup>6</sup> ( <sup>1</sup> 国際農研・生物資源・利用, <sup>2</sup> 東大院・農学生命科学, <sup>3</sup> 農研機構・果樹研, <sup>4</sup> 岐阜大・応用生物, <sup>5</sup> 理研・BRC 実験植物, <sup>6</sup> 理研・環境資源科学セ)	2aH09 ㊦ Tissue specific transcriptome analysis at the interface between a parasitic plant and the host plant 若竹崇雅 <sup>1,2</sup> , 吉田聡子 <sup>2</sup> , 佐野亮輔 <sup>3</sup> , 倉田哲也 <sup>3,4</sup> , 出村拓 <sup>3</sup> , 白須賢 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 東大・院・理, <sup>2</sup> 理研 CSRS, <sup>3</sup> 奈良先端大・バイオ, <sup>4</sup> 東北大・院・生命科学)	2aI09 異なるミオシン XI の速度変化による植物サイズに及ぼす影響 段中瑞 <sup>1</sup> , 萩野奈々子 <sup>1</sup> , 原口武士 <sup>2</sup> , 塚谷裕一 <sup>3</sup> , 中野明彦 <sup>3,4</sup> , 伊藤光二 <sup>2</sup> , 富永基樹 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 早稲田大・教育, <sup>2</sup> 千葉大・院・理, <sup>3</sup> 東大・院・理, <sup>4</sup> 理研・光子工学研究領域)				11:00
2aF10 アブラナ科野菜スプラウトの代謝プロファイル 澤田有司 <sup>1</sup> , 諸岡譲 <sup>2</sup> , 佐藤心郎 <sup>1</sup> , 山田豊 <sup>1</sup> , 坂田あかね <sup>1</sup> , 平井優美 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 理研 環境資源科学研究センター, <sup>2</sup> 中原採種場)			2aI10 アクチン・ミオシン XI 依存的なストレーティング機構の役割 上田晴子 <sup>1</sup> , 岡本圭史 <sup>1</sup> , 嶋田知生 <sup>1</sup> , 田村謙太郎 <sup>1</sup> , 加藤壮英 <sup>2</sup> , 田坂昌生 <sup>2</sup> , 森田美代 <sup>3</sup> , 西村いくこ <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 京大・院理, <sup>2</sup> NAIST・バイオ, <sup>3</sup> 名大・農)				11:15
2aF11 シロイヌナズナの種子粒ベースにおける2倍体と同質4倍体とのメタボロミクス比較 塚谷裕一 <sup>1,2</sup> , 澤田有司 <sup>3</sup> , 李一蒙 <sup>3</sup> , 佐藤心郎 <sup>3</sup> , 川出健介 <sup>2,3,4</sup> , 平井優美 <sup>3</sup> ( <sup>1</sup> 東大大学院理学系研究科生物科学専攻, <sup>2</sup> 自然科学研究機構・岡崎統合バイオ, <sup>3</sup> 理研・環境資源科学研究センター, <sup>4</sup> 自然科学研究機構・基礎生物学研究所)			2aI11 スクロース水浸処理により誘導される気孔クラスターは孔辺細胞に特徴的な細胞内構造を有していた 秋田佳恵, 松垣匠, 馳澤盛一郎 (東京大・院・新領域)				11:30
2aF12 黒米遺伝子の誕生とイネ亜種への伝播 及川鉄男 <sup>1</sup> , 前田寛明 <sup>2</sup> , 小口太一 <sup>3</sup> , 山口琢也 <sup>2</sup> , 田部典子 <sup>2</sup> , 江花薫子 <sup>1</sup> , 矢野昌裕 <sup>4</sup> , 蛭谷武志 <sup>4</sup> , 井澤毅 <sup>1</sup> (生物研, <sup>2</sup> 富山農研, <sup>3</sup> 筑波大・遺伝子実験センター, <sup>4</sup> 農研機構・作物研)							11:45
							12:00

㊦ = 発表の言語は英語

● 第2日 3月19日(土) 午後(13:00-16:00)

時 間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	植物ホルモン/ シグナル伝達物質	光応答/時計	生体膜/イオン・物質輸送	電子伝達系・炭酸同化	環境応答/非生物ストレス応答 (酸化・レドックス制御・光)
13:00	2pA01 葉面積拡大促進因子BIL8はブラシノステロイドシグナル伝達を活性化させる 山上あゆみ <sup>1,4</sup> , 中田元基 <sup>1,2</sup> , 市川尚齊 <sup>1</sup> , 松井南 <sup>1</sup> , 藤岡昭三 <sup>1</sup> , 篠崎一雄 <sup>1</sup> , 久城哲夫 <sup>1</sup> , 浅見忠男 <sup>1,3,4</sup> , 中野雄司 <sup>1,4</sup> ( <sup>1</sup> 理研CSRS, <sup>2</sup> 明治大院・農芸化学, <sup>3</sup> 東大院・農生科, <sup>4</sup> JST-CREST)	2pB01 ㊦ Identification and characterization of UV-B-specific signaling responses in rice seedlings イドリスムハンマド, Lei Jiang, 飯野盛利 (大阪市立大 理学)	2pC01 シロイヌナズナ <i>fla2</i> 変異体の個体生育と炭酸同化産物動態のPETISによる解析 石井陽平 <sup>1,2</sup> , 鈴井伸郎 <sup>2</sup> , 尹永根 <sup>2</sup> , 河地有木 <sup>2</sup> , 石井里美 <sup>2</sup> , 栗田主輔 <sup>2</sup> , 島田浩章 <sup>1</sup> , 藤巻秀 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東京理科大学・基礎工学部, <sup>2</sup> 原子力機構・量子ビーム)	2pD01 Lhca6を介したNDHとPSIの超複合体形成はsubcomplex Bアセンブリの初期段階で起こる 加藤彦宣 <sup>1</sup> , 鹿内利治 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 京大院・理・植物分子遺伝, <sup>2</sup> CREST)	2pE01 酸化ストレス応答と鉄ホメオスタシスの制御に関与する葉緑体H <sub>2</sub> O <sub>2</sub> 応答性遺伝子の機能解析 森大輔 <sup>1</sup> , 野志昌弘 <sup>2</sup> , 岡本奏 <sup>1</sup> , 田茂井政宏 <sup>1,2</sup> , 高木優 <sup>1,4</sup> , 丸田隆典 <sup>3</sup> , 重岡成 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 近畿大院・農・バイオ, <sup>2</sup> 近畿大・農・バイオ, <sup>3</sup> 産総研・生物プロセス, <sup>4</sup> 埼玉大・環境科学, <sup>5</sup> 鳥根大・生資科・生命工)
13:15	2pA02 ブラシノステロイド情報伝達および植物生育関連因子BIL7の解析 宮地朋子 <sup>1,2</sup> , 市川尚齊 <sup>1</sup> , 松井南 <sup>1</sup> , 藤岡昭三 <sup>1</sup> , 篠崎一雄 <sup>1</sup> , 浅見忠男 <sup>1,3,4</sup> , 中野雄司 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 理研・CSRS, <sup>2</sup> 東大院・農生科・応生科, <sup>3</sup> JST-CREST)	2pB02 ㊦ シロイヌナズナにおけるCSN相互作用因子CPSF6の機能解析 張曉娟, 青山卓史, 柘植知彦 (京都大学化学研究所生体分子情報研究領域)	2pC02 環状スクレオチド感受性チャネルをコードするシロイヌナズナCNGC20遺伝子のミスセンスアレルは本葉生長や茎頂分裂組織の幹細胞機能に影響を与える 廣澤ひかる, 谷弘太, 上口智治 (名古屋大学生物機能開発利用研究センター)	2pD02 紅色細菌 <i>Rubrivivax gelatinosus</i> の循環的な光合成電子伝達経路において機能しうる新規な膜結合型多ヘムチトクロムc 永島賢治, André Verméglio <sup>2</sup> , 永島咲子, 井上和仁 <sup>1,3</sup> ( <sup>1</sup> 神奈川大学プロジェクト研究所・光合成水素生産研究所, <sup>2</sup> CEA Cadarache, <sup>3</sup> 神奈川大学理学部生物科学科)	2pE02 オルタナティブ光合成電子伝達系による光酸化的ストレス応答の制御機構 岡安嵩也, 丸田隆典, 澤嘉弘, 石川孝博 (鳥根大・生資科・生命工)
13:30	2pA03 植物成長促進化合物PPG及び新規カルス誘導化合物FPXのケミカルバイオロジー研究 田中翔太 <sup>1,2</sup> , 藤岡昭三 <sup>1</sup> , 久城哲夫 <sup>2</sup> , 長田裕之 <sup>1</sup> , 篠崎一雄 <sup>1</sup> , 浅見忠男 <sup>1,3,4</sup> , 中野雄司 <sup>1,4</sup> ( <sup>1</sup> 理研・CSRS, <sup>2</sup> 明治大院・農芸化学, <sup>3</sup> 東大院・農生科, <sup>4</sup> JST-CREST)	2pB03 転写因子FEによるCO依存的なFT転写活性化機構の解明 藤田未央, 渡辺綾子, 阿部光知 (東大・院・理)	2pC03 ポプラにおけるリン酸転流経路の季節変化 栗田悠子 <sup>1</sup> , 馬場啓一 <sup>2</sup> , 菅野里美 <sup>3</sup> , 杉田亮平 <sup>3</sup> , 廣瀬農 <sup>3</sup> , 大西美輪 <sup>1</sup> , 小菅桂子 <sup>1</sup> , 石崎公庸 <sup>1</sup> , 深城英弘 <sup>1</sup> , 田野井慶太郎 <sup>1</sup> , 金子康子 <sup>4</sup> , 中西友子 <sup>3</sup> , 三村徹郎 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 神戸大・院・理, <sup>2</sup> 京都大・生存研, <sup>3</sup> 東京大・院・農, <sup>4</sup> 埼玉大・教育)	2pD03 葉緑体の <i>m</i> 型チオレドキシンはカルビンサイクルの酵素の主要な調節因子として働く 植川友季, 本橋健 (京都産業大・総合生命)	2pE03 組織特異的な葉緑体の成熟機構におけるNADPバランス制御の関与 植田慎之介 <sup>1</sup> , 宮城敦子 <sup>2</sup> , 川合真紀 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 電通研・環境研, <sup>2</sup> 埼玉大・院・理工)
13:45	2pA04 環境光による根端領域でのBR合成酵素DWF4の発現制御について 坂口潤, 渡邊健一郎 (東京大学大学院総合文化研究科)	2pB04 苔類ゼニゴケにおいて遺伝的に保存されたGI-FKF-CDF経路は光周性成長相転換を決定する 永山啓太郎, 吉竹良彦, 久保田西, 西浜竜一, 山岡尚平, 河内孝之 (京大・院・生命科学)	2pC04 木本植物の心材形成時における栄養塩回収機構の解析 真鍋隆 <sup>1</sup> , 栗田悠子 <sup>1</sup> , 馬場啓一 <sup>2</sup> , 山本浩太郎 <sup>1</sup> , 高橋勝利 <sup>3</sup> , 大西美輪 <sup>1</sup> , 小菅桂子 <sup>1</sup> , 石崎公庸 <sup>1</sup> , 深城英弘 <sup>1</sup> , 三村徹郎 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 神戸大・院・理・生物, <sup>2</sup> 京都大・生存研, <sup>3</sup> 産総研・創薬基盤研究部門)	2pD04 葉緑体ATPaseによるH <sup>+</sup> 流出制御が及ぼす光化学系Iの酸化還元状態の解析 植川真貴 <sup>1</sup> , 高木大輔 <sup>1</sup> , 尼子克己 <sup>2,3</sup> , 深木英弘 <sup>1</sup> , 石崎公庸 <sup>1,4</sup> , 郷達明 <sup>1,4</sup> , 三宅親弘 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 神戸大・院・農学, <sup>2</sup> 神戸学院大・栄養学, <sup>3</sup> 仁愛大・健康栄養学, <sup>4</sup> 神戸大・院・生物学)	2pE04 <i>Anabaena</i> sp. PCC 7120のNADPH-thioredoxin reductase Cは抗酸化ストレス系に重要である 見原翔子 <sup>1</sup> , 吉田啓亮 <sup>1,2</sup> , 肥後明佳 <sup>1,2</sup> , 久堀徹 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 東工大・資源研, <sup>2</sup> JST-CREST)
14:00	2pA05 Biochemically gibberellin-dependent interactome between gibberellin receptors and DELLA proteins using a wheat cell-free system 宮崎隆子, 根本圭一郎, 澤崎達也 (愛媛大学 プロテオサイエンスセンター)	2pB05 苔類ゼニゴケの成長相制御因子BONOBOの日光・光質による発現制御 山岡尚平 <sup>1</sup> , 井上佳祐 <sup>1</sup> , 友金寛和 <sup>1</sup> , 西浜竜一 <sup>1</sup> , 山口勝司 <sup>2</sup> , 重信秀治 <sup>2</sup> , 石崎公庸 <sup>3</sup> , 大和勝幸 <sup>4</sup> , 河内孝之 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 京大・院・生命科学, <sup>2</sup> 基生研・機能解析セ, <sup>3</sup> 神戸大・院・理, <sup>4</sup> 近大・生命理工)	2pC05 生葉および落葉における放射性Cs濃度の樹種特異的な減衰について 吉原利一 <sup>1</sup> , 松村秀幸 <sup>1</sup> , 橋本慎之介, 小林卓也 (財)電力中央研究所環境科学研究所)	2pD05 グルタチオン施用によるバイオマス生産性の向上はCO <sub>2</sub> 固定回路で制限される 小川健一 <sup>1,2</sup> , 岩崎 (葉田野) 郁 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 岡山県農林水産総合センター生物科学研究所, <sup>2</sup> JST・CREST)	2pE05 シアノバクテリア <i>Synechocystis</i> sp. PCC 6803における転写因子Slh1961とチオレドキシンの相互作用解析 植川真貴 <sup>1</sup> , 門脇太朗 <sup>1</sup> , 新井宗仁 <sup>2</sup> , 久堀徹 <sup>2</sup> , 日原由香子 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 埼玉大院・理工, <sup>2</sup> 東大・総合文化・生命環境, <sup>3</sup> 東工大・資源研)
14:15	2pA06 浮イネの深水応答した節間伸長におけるエチレンとジベレリンの貢献 黒羽剛 <sup>1,2</sup> , 中森将彦 <sup>1</sup> , Rico Gamayo <sup>2</sup> , 永井啓祐 <sup>2</sup> , 北岡拓也 <sup>2</sup> , 南杏鶴 <sup>2</sup> , 森欣順 <sup>2</sup> , 柳澤修 <sup>3</sup> , 芦苺基行 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東北大・生命科学, <sup>2</sup> 名古屋大・生物機能開発利用研究センター, <sup>3</sup> 東京大・生物生産工学研究センター)	2pB06 概日リズムを長期化する低分子化合物のターゲットとして同定されたキナーゼの解析 水谷佳幸 <sup>1</sup> , 上原貴大 <sup>1</sup> , 山口潤一郎 <sup>1</sup> , 高尾早織 <sup>2</sup> , 瀧京美 <sup>1</sup> , 佐藤綾人 <sup>2</sup> , 桑田啓子 <sup>2</sup> , 伊丹健一郎 <sup>1,2</sup> , 木下俊則 <sup>1,2</sup> , 中道範人 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 名古屋大学大学院理学研究科, <sup>2</sup> 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所)	2pC06 イネ節に局在するOsSultr3;4は新葉や穀粒へのリンの優先的分配に関与する 竹本侑馬, 山直樹, 馬建鋒 (岡山大・資源植物科学研究所)	2pD06 針葉樹には光呼吸に必須な葉緑体型グルタミン合成酵素 (GS2) が存在しない 宮澤真二 <sup>1</sup> , 宮尾 (徳富) 光恵 <sup>2</sup> , 二村典宏 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 森林総合研究所, <sup>2</sup> 農業生物資源研究所)	2pE06 ROS応答性転写因子 <i>RFRT1</i> および <i>RFRT2</i> による根の成長制御機構の解明 牧宏優 <sup>1</sup> , 馬淵果穂 <sup>1</sup> , 板谷知健 <sup>2</sup> , 坂岡里実 <sup>3</sup> , 野元美佳 <sup>2</sup> , 鈴木孝征 <sup>4</sup> , 東山哲也 <sup>2,5,6</sup> , 多田安臣 <sup>7</sup> , 塚越啓央 <sup>3,7</sup> ( <sup>1</sup> 名古屋大・院・生命農学, <sup>2</sup> 名古屋大・院・生命理学, <sup>3</sup> JST さきがけ, <sup>4</sup> 中部大・応用生物学, <sup>5</sup> JST ERATO, 東山ライブホロニクス, <sup>6</sup> 名大・WPI-ITbM, <sup>7</sup> 名大・遺伝子実験施設)
14:30	2pA07 ジャスモン酸はCOI1非依存の経路でオーキシニンシグナリングを制御する。 石丸泰寛 <sup>1</sup> , 鈴木健史 <sup>1</sup> , Christian Meesters <sup>2</sup> , Erich Kombrink <sup>3</sup> , 知念拓実 <sup>3</sup> , 白井健郎 <sup>3</sup> , 高橋公咲 <sup>1</sup> , 松浦英幸 <sup>4</sup> , 深城英弘 <sup>5</sup> , 林謙一郎 <sup>6</sup> , 上田実 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東北大大学院, <sup>2</sup> Max Planck Institute for Plant Breeding Research, <sup>3</sup> 筑波大院生命環境, <sup>4</sup> 北大院農, <sup>5</sup> 神戸大院理, <sup>6</sup> 岡山理大理)	2pB07 概日リズムの周期長を変える化合物の作用機序の理解に向けた遺伝学的解析 瀧京美 <sup>1</sup> , 上原貴大 <sup>1</sup> , 山口潤一郎 <sup>1</sup> , 高尾早織 <sup>2</sup> , 笠原博幸 <sup>3</sup> , 伊丹健一郎 <sup>1,2</sup> , 木下俊則 <sup>1,2</sup> , 中道範人 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 名古屋大学大学院理学研究科 植物生理学研究室, <sup>2</sup> 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所, <sup>3</sup> 理化学研究所 環境資源科学研究センター)	2pC07 植物のストレス誘導性細胞死における細胞膜マイクロドメインの機能 石川春樹, 川合真紀 (埼玉大・院・理工)	2pD07 RCAプロモーターによるRBCS過剰発現イネの作製 眞野和久, 鈴木雄二, 牧野周 (東北大学大学院農学研究所)	2pE07 酸化シグナル因子である活性カルボニル種が植物プログラム細胞死を引き起こすしくみ Md. Sanaulah Biswas <sup>2</sup> , 真野純一 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 山口大学総合科学実験センターシステム生物学・RI分析施設, <sup>2</sup> 鳥取大学大学院連合農学研究科)

F会場	G会場	H会場	I会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
<p>一次代謝 (糖質・脂質・補酵素)</p> <p>2pF01 ラン藻 <i>Synechococcus elongatus</i> PCC 7942 における強光条件下で膜脂質の脱アシル化を促進するリパーゼの探索 高谷信之<sup>1,4</sup>, 加藤明宏<sup>1</sup>, 小島幸治<sup>1,4</sup>, 池田和貴<sup>1,4</sup>, 愛知真木子<sup>2,4</sup>, 前田真一<sup>1,4</sup>, 小俣達男<sup>1,4</sup> (<sup>1</sup>名大・院・生命農, <sup>2</sup>中部大・応用生物, <sup>3</sup>理研・IMS, <sup>4</sup>JST CREST)</p> <p>2pF02 アシル ACP 合成酵素の機能欠損はラン藻 <i>Synechocystis</i> PCC 6803株の低温応答を低下させる 氣多澄江<sup>1,4</sup>, 猿橋保乃佳<sup>1</sup>, 高谷信之<sup>2,4</sup>, 池田和貴<sup>1,4</sup>, 小島幸治<sup>1,4</sup>, 松本宇生<sup>1,4</sup>, 小俣達男<sup>2,4</sup>, 愛知真木子<sup>1,4</sup> (<sup>1</sup>中部大・応用生物, <sup>2</sup>名大院・生命農, <sup>3</sup>理研・IMS, <sup>4</sup>CREST)</p> <p>2pF03 受動拡散の促進によるラン藻 <i>Synechococcus elongatus</i> PCC7942の脂肪酸生産系の生産性の向上 加藤明宏<sup>1</sup>, 高谷信之<sup>1,4</sup>, 瀧瀬和秀<sup>1</sup>, 池田和貴<sup>2,4</sup>, 松浦美祥<sup>1</sup>, 小島幸治<sup>1,4</sup>, 愛知真木子<sup>3,4</sup>, 前田真一<sup>1,4</sup>, 小俣達男<sup>1,4</sup> (<sup>1</sup>名大・院・生命農, <sup>2</sup>理研・IMS・メタボローム, <sup>3</sup>中部大・応用生物, <sup>4</sup>JST CREST)</p> <p>2pF04 ラン藻 <i>Synechocystis</i> sp. PCC 6803株の遊離脂肪酸生産株におけるナイセリア属の脂肪酸輸送遺伝子 <i>mntE</i> の発現調節とその効果 小島幸治<sup>1,5</sup>, 松本宇生<sup>2,5</sup>, 加知直樹<sup>2</sup>, 氣多澄江<sup>2,5</sup>, 高谷信之<sup>1,5</sup>, 加藤明宏<sup>1</sup>, 中東憲治<sup>3,5</sup>, 池田和貴<sup>4,5</sup>, 小俣達男<sup>1,5</sup>, 愛知真木子<sup>2,5</sup> (<sup>1</sup>名大・院・生命農, <sup>2</sup>中部大・応用生物, <sup>3</sup>慶應大・先端研, <sup>4</sup>理研・IMS・メタボローム, <sup>5</sup>JST-CREST)</p> <p>2pF05 ㊦ Functional analysis of glycogen debranching enzymes in <i>Synechocystis</i> sp. PCC 6803 後藤光寛, 齋藤健太, 鈴木龍一郎, 鈴木英治 (秋田県立大・生物資源科学)</p> <p>2pF06 植物細胞のPPiホメオスタシス維持にはH<sup>+</sup>-PPaseとsoluble PPaseが協働的に働く 瀬上紹嗣<sup>1</sup>, 巴山貴晶<sup>1</sup>, Ali Ferjani<sup>2</sup>, 及川彰<sup>3</sup>, 齊藤和季<sup>3</sup>, 平井優美<sup>3</sup>, 前島正義<sup>1</sup> (<sup>1</sup>名古屋大・院生命農, <sup>2</sup>東京学芸大・自然科学系, <sup>3</sup>理研・CSRS)</p> <p>2pF07 リンドウにおけるゲンチオオリゴ糖代謝調節酵素GtGen3Aの解析 高橋秀行, 藤田晃平<sup>1</sup>, 竹田匠<sup>1</sup>, 金野尚武<sup>2</sup> (<sup>1</sup>(公財)若手生物学工学研究センター, <sup>2</sup>宇都宮大学)</p>		<p>植物微生物相互作用 (免疫3・共生)</p> <p>2pH01 ㊦ MARK1とMARK32のリン酸化制御 松井英謙<sup>1,2</sup>, 玄康洙<sup>1</sup>, 野村有子<sup>1</sup>, 中神弘史<sup>1</sup> (<sup>1</sup>理研 CSRS, <sup>2</sup>岡山大院環境生命)</p> <p>2pH02 ㊦ Chitin recognition system in the basal land plant <i>Marchantia polymorpha</i> 四井いずみ<sup>1</sup>, 松井英謙<sup>1</sup>, 野村有子<sup>1</sup>, 西浜竜一<sup>2</sup>, 河内孝之<sup>2</sup>, 中神弘史<sup>1</sup> (<sup>1</sup>理研 CSRS, <sup>2</sup>京大・院生命科学)</p> <p>2pH03 ㊦ MAPKKK5 regulates activation of MAP kinases after perception of fungal chitin in <i>Arabidopsis</i> 山口公志<sup>1</sup>, 山田健太<sup>1</sup>, 白川友美<sup>1</sup>, 峯彰<sup>2</sup>, 鳴坂真理<sup>3</sup>, 鳴坂義弘<sup>3</sup>, 市村和也<sup>4</sup>, 津田賢一<sup>2</sup>, 深溝慶<sup>1</sup>, 渋谷直人<sup>5</sup>, 川崎努<sup>1</sup> (<sup>1</sup>近畿大・農, <sup>2</sup>MPIZ, <sup>3</sup>岡山生科研・植物免疫G, <sup>4</sup>香川大・農, <sup>5</sup>明治大・農)</p> <p>2pH04 ㊦ PBL27はキチン応答におけるMAPKの活性化を制御するためにMAPKKK5をリン酸化する 山田健太<sup>1</sup>, 山口公志<sup>1</sup>, 白川友美<sup>1</sup>, 中神弘史<sup>2</sup>, 藤原正幸<sup>3</sup>, 市村和也<sup>4</sup>, 深溝慶<sup>1</sup>, 渋谷直人<sup>5</sup>, 川崎努<sup>1</sup> (<sup>1</sup>近畿大・農, <sup>2</sup>理研・CSRS, <sup>3</sup>慶応大・先端生命科学研究所, <sup>4</sup>香川大・農, <sup>5</sup>明治大・農)</p> <p>2pH05 キチン・共生シグナル分子によるカルシウムイオン振動誘導機構に関する解析 武田直也<sup>1</sup>, 宮田佳奈<sup>2</sup>, 西澤洋子<sup>3</sup>, 賀来華江<sup>2</sup>, 渋谷直人<sup>2</sup>, 中川知己<sup>4</sup>, 川口正代司<sup>1</sup> (<sup>1</sup>基生研・総研大, <sup>2</sup>明治大・院農学, <sup>3</sup>農業生物資源研究所, <sup>4</sup>名古屋大・院理学)</p> <p>2pH06 アーバスキュラー菌根菌 <i>Rhizophagus irregularis</i> におけるストリゴラクトン誘導性推定分泌タンパク質の同定と機能解析 都築周作<sup>1,2</sup>, 半田佳宏<sup>1</sup>, 武田直也<sup>1,2</sup>, 川口正代司<sup>1,2</sup> (<sup>1</sup>基生研・共生システム, <sup>2</sup>総研大・生命共生)</p> <p>2pH07 オーキシンおよびジベレリンはラン科植物シランの菌根共生の制御に関与する 三浦千裕<sup>1,2</sup>, 山本樹稀<sup>1</sup>, 大和政秀<sup>2</sup>, 山口勝司<sup>4</sup>, 長田翔太郎<sup>1</sup>, 大谷ユリア<sup>1</sup>, 浅尾久世<sup>4</sup>, 松本美和子<sup>4</sup>, 谷亀高広<sup>5</sup>, 重信秀治<sup>4</sup>, 上中弘典<sup>1</sup> (<sup>1</sup>鳥取大・農, <sup>2</sup>鳥取大・産学地域, <sup>3</sup>千葉大・教育, <sup>4</sup>基生研, <sup>5</sup>国立科博・筑波実験植物園)</p>	<p>転写・転写後制御</p> <p>2pI01 カルシウム依存性タンパク質リン酸化酵素NtCDPK1の自己リン酸化による機能制御の解析 伊藤岳<sup>1</sup>, 石田さらみ<sup>2</sup>, 高橋陽介<sup>1</sup> (<sup>1</sup>広島大・院理, <sup>2</sup>東京大・院理)</p> <p>2pI02 Discovery of a protein kinase family for tyrosine phosphorylation in plants 根本圭一郎<sup>1</sup>, 関原明<sup>2</sup>, 篠崎一雄<sup>2</sup>, 澤崎達也<sup>1</sup> (<sup>1</sup>愛媛大・PROS, <sup>2</sup>理研・CSRS)</p> <p>2pI03 シアノバクテリア <i>Synechocystis</i> sp. PCC 6803におけるRpaB/PsrR1システムによる光化学系I遺伝子の強光応答の二元的制御 永山竜太<sup>1</sup>, 門脇太郎<sup>1</sup>, Jens Georg<sup>2</sup>, Annegret Wilde<sup>2</sup>, Wolfgang Hess<sup>2</sup>, 日原由香子<sup>1</sup> (<sup>1</sup>埼玉大院・理工, <sup>2</sup>フライブルク大・生物)</p> <p>2pI04 シロイヌナズナCCR4-NOT複合体の構成因子の同定と機能解析 荒江星拓<sup>1</sup>, 鈴木悠也<sup>1</sup>, 千葉由佳子<sup>1,2,3</sup> (<sup>1</sup>北大院・生命, <sup>2</sup>北大院・理, <sup>3</sup>JST・さきがけ)</p> <p>2pI05 トマト果実における成熟開始モデルの再構築の必要性—RINは成熟開始に必要な 伊藤康博<sup>1</sup>, 横井彰子<sup>2</sup>, 遠藤真咲<sup>2</sup>, 三上雅史<sup>2,3</sup>, 小竹英一<sup>1</sup>, 中村宣貴<sup>1</sup>, 土岐精一<sup>2,3,4</sup> (<sup>1</sup>農研機構・食総研, <sup>2</sup>生物研, <sup>3</sup>横浜市大院・生命ナノ, <sup>4</sup>横浜市大・木原生研)</p> <p>2pI06 Correlation analysis between binding sites of several bZIP-type transcription factors and transcription in response to light exposures 栗原志夫, 蒔田由布子, 川島美香, 松井南 (理化学研究所 環境資源科学研究センター)</p> <p>2pI07 アサゴオ由来花弁特異的 <i>lnMYB1</i> プロモーターの作動機構の解明 東未希<sup>1</sup>, 森本玲奈<sup>1</sup>, 猫橋茉莉<sup>1</sup>, 森田裕輝<sup>2</sup>, 星野敦<sup>3,4</sup>, 飯田滋<sup>3</sup>, 大島良美<sup>3</sup>, 坂本真吾<sup>5</sup>, 光田展隆<sup>6</sup>, 高木優<sup>6,7</sup>, 後藤弘爾<sup>8</sup>, 白武勝裕<sup>1</sup> (<sup>1</sup>名大・院生命農, <sup>2</sup>名城大・農, <sup>3</sup>基生研, <sup>4</sup>総研大・生命科学, <sup>5</sup>静岡大・院生活健康, <sup>6</sup>産総研・生物プロセス, <sup>7</sup>埼玉大・理工学, <sup>8</sup>岡山生物研)</p>	シンポジウムの10 Learning the Functions of the Plant Cell Wall (13:00 - 15:45)		データベース講習会 (13:00 - 16:00)	13:00  13:15  13:30  13:45  14:00  14:15  14:30

㊦ = 発表の言語は英語

● 第2日 3月19日(土) 午後(13:00-16:00)

時 間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	植物ホルモン/ シグナル伝達物質	光応答/時計	生体膜/イオン・物質輸送	電子伝達系・炭酸同化	環境応答/非生物ストレス応答 (酸化・レドックス制御・光)
14:45	2pA08 ジャスモン酸シグナルを介した老化を負に制御する転写因子, EPL1の機能解析 鄭貴美 <sup>1</sup> , 中野年継 <sup>1</sup> , 光田展隆 <sup>1</sup> , 藤原すみれ <sup>1</sup> , 高木優 <sup>1,2</sup> , 鈴木馨 <sup>1</sup> (産総研・生物プロセス, <sup>2</sup> 埼玉大・環境科学)	2pB08 花卉運動突然変異体における時計遺伝子群の発現解析 瀧川祐貴 <sup>1</sup> , 小池杏奈 <sup>1</sup> , 三浦綾 <sup>2</sup> , 小内清 <sup>3</sup> , 石浦正寛 <sup>3</sup> , 沓名伸介 <sup>1</sup> (横市大・院生命ナノ, <sup>2</sup> 横市大・生命環境, <sup>3</sup> 名大・遺伝子)	2pC08 外向き整流性K <sup>+</sup> チャネルSPORK2はアメリカネムノキの就眠運動を制御する 及川貴也 <sup>1</sup> , 石丸泰寛 <sup>1</sup> , 宗正晋太郎 <sup>2</sup> , 村田芳行 <sup>2</sup> , 鸛山研人 <sup>1</sup> , 浜本晋 <sup>3</sup> , 魚住信之 <sup>3</sup> , 吉川信幸 <sup>1</sup> , 上田実 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東北大・院理, <sup>2</sup> 岡山大・院環境生命, <sup>3</sup> 東北大・院工, <sup>4</sup> 岩手大・農)	2pD08 Rubisco組み換えイネにおけるRubisco activase含量について 菅波眞史, 鈴木雄二, 牧野周 (東北大学大学院農学研究科)	2pE08 ㊦ The Role Of Glucosinolate-Derived Isothiocyanates In The Onset Of Internal Defense Mechanisms In <i>Arabidopsis thaliana</i> Anders Overby, Ralph Kissen, Atle Magnar Bones (Norwegian University of Science and Technology, Department of Biology)
15:00	2pA09 ㊦ Regulation of free sphingobases and their role in plant cell death induction René Glenz, Martin J. Mueller, Frank Waller (Julius-von-Sachs Institute, Julius-Maximilians-University Wuerzburg, Wuerzburg, Germany)	2pB09 海洋性シアノバクテリアの時計タンパク質発現解析 森田朗嗣 <sup>1</sup> , 山口陽光 <sup>1</sup> , 北山陽子 <sup>2</sup> , 小山時隆 <sup>3</sup> , 近藤孝男 <sup>2</sup> , 沓名伸介 <sup>1</sup> (横市大・院生命ナノ, <sup>2</sup> 名大・院理, <sup>3</sup> 京大・院理)			2pE09 シロイヌナズナの過酸化水素応答のトランスクリプトーム解析 日恵野綾香 <sup>1</sup> , Naznin Hsuna Ara <sup>2</sup> , 花田耕介 <sup>3</sup> , 樋口美栄子 <sup>4</sup> , 松井南 <sup>4,5</sup> , 山本義治 <sup>1,2,4,5</sup> (岐阜大連農, <sup>2</sup> 岐阜大・応生, <sup>3</sup> 九工大・情報, <sup>4</sup> 理研 CSRS, <sup>5</sup> JST ALCA)
15:15	2pA10 ㊦ A Novel Root-knot Nematode Attractant Is Released From Seeds Through Seed Coat Mucilage Extrusion Allen Yi-Lun Tsai, 有田哲矢, 黒田凌, 澤進一郎 (熊本大学)	2pB10 クラミドモナス走光性における細胞レンズ効果の影響と眼点の役割 植木紀子 <sup>1</sup> , 井手隆広 <sup>1</sup> , 小林勇氣 <sup>1</sup> , 田中寛 <sup>1,2</sup> , 久堀徹 <sup>1,2</sup> , 若林憲一 <sup>1</sup> (東工大・資源研, <sup>2</sup> CREST, JST)			2pE10 過酸化水素応答を担う転写因子間の発現制御ネットワークの実験的同一性 日恵野綾香 <sup>1</sup> , Naznin Hushna Ara <sup>2</sup> , 長谷川桂子 <sup>2</sup> , 横川朋子 <sup>2</sup> , 小畑大地 <sup>2</sup> , 横川隆志 <sup>3</sup> , 野元美佳 <sup>4</sup> , 多田安臣 <sup>4</sup> , 山本義治 <sup>1,2,5,6</sup> (岐阜大・連農, <sup>2</sup> 岐阜大・応生, <sup>3</sup> 岐阜大・工, <sup>4</sup> 名大・遺伝子, <sup>5</sup> 理研 CSRS, <sup>6</sup> JST ALCA)
15:30	2pA11 質量分析によるシロイヌナズナからのアセチルコリン検出 村田純, 渡辺健宏, 菅原孝太郎, 山垣亮, 高橋俊雄 (サントリー生命科学財団 生有研)	2pB11 シアノバクテリオクロムによる細胞凝集の制御に関わる c-di-GMP シグナリング因子の定量的解析 榎本元 <sup>1</sup> , 奥田裕紀子 <sup>1,2</sup> , 池内昌彦 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 東大・院・総合文化, <sup>2</sup> JST CREST)			2pE11 基部陸上植物ゼニゴケのUV-B応答機構の解析 藤平健太 <sup>1</sup> , 森山亜沙美 <sup>1</sup> , 宮内渉 <sup>1</sup> , 森戸健 <sup>1</sup> , 西浜竜一 <sup>2</sup> , 石崎公庸 <sup>3</sup> , 河内孝之 <sup>2</sup> , 近藤陽一 <sup>1</sup> (関東学院大学, <sup>2</sup> 京大院・生命科学, <sup>3</sup> 神戸大・院理)
15:45	2pA12 シロイヌナズナにおけるプラスチドシグナルと植物ホルモンの相互作用の解析 廣澤嘉洗 <sup>1</sup> , 多田朱里 <sup>1</sup> , 稲葉靖子 <sup>1,2</sup> , 松浦恭和 <sup>3</sup> , 森泉 <sup>3</sup> , 稲葉丈人 <sup>1</sup> (宮崎大・農, <sup>2</sup> 宮崎大・テニュアトラック機構, <sup>3</sup> 岡山大・資植研)				2pE12 微細藻類ユーグレナのカロテノイド合成系の強光ストレス応答 加藤翔太 <sup>1</sup> , 高市真一 <sup>2</sup> , 石川孝博 <sup>3</sup> , 朝比奈雅志 <sup>1</sup> , 高橋宣治 <sup>1</sup> , 篠村知子 <sup>1</sup> (帝京大・理工, <sup>2</sup> 日本医科大学, <sup>3</sup> 鳥根大・生物資源)

F会場	G会場	H会場	I会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
<p>一次代謝 (糖質・脂質・補酵素)</p> <p>2pF08 シロイヌナズナの長鎖塩基1-リン酸代謝における長鎖塩基キナーゼ (LCBK1) の役割 柳川大樹<sup>1,2</sup>, 今井博之<sup>1,2</sup> (1甲南大学大学院・自然科学研究科・生命・機能科学専攻, 2甲南大学・統合ニューロバイオロジー研究所)</p> <p>2pF09 シメツリガネゴケに存在する2つのアスコルビン酸合成経路の機能評価 袖山翼, 丸田隆典, 澤嘉弘, 石川孝博 (鳥根大学 生物資源科学部 生命工学科 生物化学研究室)</p> <p>2pF10 シアノバクテリア <i>Synechocystis</i> sp. PCC6803におけるNADキナーゼ欠損による影響 石川優真<sup>1</sup>, 宮城敦子<sup>1</sup>, 金子康子<sup>2</sup>, 石川寿樹<sup>1</sup>, 長野稔<sup>1</sup>, 山口雅敏<sup>1</sup>, 日原由香子<sup>1</sup>, 川合真紀<sup>1</sup> (1埼玉大学理工学研究所, 2埼玉大学教育学部)</p> <p>2pF11 <i>nadk3</i> ノックアウト変異体における光呼吸経路の解析 鈴木渉太<sup>1</sup>, 宮城敦子<sup>1</sup>, 野口航<sup>2</sup>, 河野優<sup>3</sup>, 石川寿樹<sup>1</sup>, 長野稔<sup>1</sup>, 山口雅利<sup>1</sup>, 川合真紀<sup>1</sup> (1埼玉大・院・理工, 2東京薬科大・生命科学, 3東京大・院・理)</p> <p>2pF12 シロイヌナズナのフラビン代謝制御に関与する新規因子の探索 戸田結奈<sup>1</sup>, 西元里美<sup>2</sup>, 小川貴央<sup>2</sup>, 田茂井政宏<sup>1,2</sup>, 吉村和也<sup>3</sup>, 重岡成<sup>1,2</sup> (1近畿大院・農・バイオ, 2近畿大・農, 3中部大・応生)</p>		<p>植物微生物相互作用 (免疫3・共生)</p> <p>2pH08 ミヤコグサにエフェクター誘導免疫反応を誘導する <i>Bradyrhizobium elkanii</i> USDA61株のIII型分泌エフェクターの解析 日下部翔平<sup>1</sup>, 金子貴一<sup>2</sup>, 安田美智子<sup>3</sup>, 三輪大樹<sup>4</sup>, 岡崎伸<sup>5</sup>, 佐藤修正<sup>1</sup> (1東北大院・生命科学, 2京産大・総合生命, 3東京農工大・院農)</p> <p>2pH09 根粒原基形成を誘導するNIN下流転写因子の探索 征矢野敏, 林誠 (理研 CSRS)</p> <p>2pH10 ミヤコグサのクラスI植物ヘモグロビン LjHb1の高発現は冠水時および老化根粒のニトロゲナーゼ活性維持に寄与する 福留光孝<sup>1</sup>, 角友博<sup>1</sup>, 小薄健一<sup>1</sup>, 今泉隆次郎<sup>2</sup>, 青木俊夫<sup>2</sup>, 九町健一<sup>1</sup>, 内海俊樹<sup>1</sup> (1鹿児島大・院理工, 2日大・生物資源)</p> <p>2pH11 圃場環境下でのダイズ根からのインフラボン分泌と動態の解析 山崎由実<sup>1</sup>, 杉山暁史<sup>1</sup>, 高瀬尚文<sup>2</sup>, 矢崎一史<sup>1</sup> (1京都市大・生存研, 2京都学園大・バイオ環境)</p>	<p>転写・転写後制御</p> <p>2pI08 ゼニゴケにおけるDNAメチル化の機能解析 池田陽子<sup>1</sup>, 西浜竜一<sup>2</sup>, 山岡尚平<sup>2</sup>, 河内孝之<sup>2</sup>, 平山隆志<sup>1</sup> (1岡山大植物研, 2京都大・院生命科学)</p> <p>2pI09 苔類ゼニゴケにおけるmicroRNAの網羅的同定および機能解析 都筑正行<sup>1</sup>, 西浜竜一<sup>2</sup>, 石崎公庸<sup>3</sup>, 栗原志夫<sup>4</sup>, 松井南<sup>4</sup>, John Bowman<sup>5,6</sup>, 河内孝之<sup>2</sup>, 濱田隆宏<sup>4</sup>, 渡邊雄一郎<sup>1</sup> (1東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻生命環境科学系, 2京都大学大学院生命科学研究所統合生命科学専攻, 3神戸大学大学院理学研究科生物学専攻, 4理研 CSRS, 5モナシュ大学, 6カリフォルニア州立大学デイヴィス校)</p>	<p>シンポジウムの10 Learning the Functions of the Plant Cell Wall (13:00 - 15:45)</p>		<p>データベース講習会 (13:00 - 16:00)</p>	<p>14:45</p> <p>15:00</p> <p>15:15</p> <p>15:30</p> <p>15:45</p>

● 第3日 3月20日(日) 午前(9:00-12:15)

時 間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	植物ホルモン/シグナル伝達物質		膜交通	電子伝達系・炭酸同化	環境応答/非生物ストレス応答 (イオン・塩・金属)
9:00	3aA01 ヒメツリガネゴケにおけるABAシグナル伝達経路のリン酸化プロテオーム解析 本多慶匡 <sup>1</sup> , 杉山直幸 <sup>2</sup> , 桑村麻由里 <sup>3</sup> , 寺尾亮佑 <sup>4</sup> , 石塚梢 <sup>5</sup> , 坂田洋一 <sup>6</sup> , 竹澤大輔 <sup>7</sup> , 石濱泰 <sup>8</sup> , 篠崎一雄 <sup>9</sup> , 梅澤泰史 <sup>10</sup> ( <sup>1</sup> 農工大・院・BASE, <sup>2</sup> 京大・薬, <sup>3</sup> 東農大・バイオ, <sup>4</sup> 埼玉大・院理工, <sup>5</sup> 理研 CSRS, <sup>6</sup> JST さきがけ)		3aC01 ㊦ ホウ酸チャネルNIP5;1の細胞膜内偏在はリン酸に依存しホウ酸の効率的な吸収に寄与する Shelling Wang <sup>1</sup> , 三谷奈見季 <sup>2</sup> , 馬建鋒 <sup>3</sup> , 内藤哲 <sup>4</sup> , 高野順平 <sup>5</sup> ( <sup>1</sup> 北大・院農, <sup>2</sup> 北大・院生命科学, <sup>3</sup> 岡大・資源植物科学研)	3aD01 ㊦ A Fine-tuned Regulation of the K <sup>+</sup> /H <sup>+</sup> Antiporter KEA3 is Required to Optimize Photosynthesis during Induction Caijuan Wang, 山本宏, 鹿内利治 (京都大学・理学部)	3aE01 <i>Mesembryanthemum crystallinum</i> を用いた植物耐塩性分子機構の解明 西山航輔 <sup>1</sup> , 鈴木孝征 <sup>2,4</sup> , 石黒遼衛 <sup>1</sup> , 東山哲也 <sup>3,5</sup> , 東江栄 <sup>6</sup> , 塚越啓史 <sup>7,8</sup> ( <sup>1</sup> 名古屋大・院生命農, <sup>2</sup> 中部大・応用生物学, <sup>3</sup> 名古屋大・院生命科学, <sup>4</sup> JST ERATO, 東山ライブホロニクス, <sup>5</sup> 名古屋大・WPI-ITbM, <sup>6</sup> 香川大・農, <sup>7</sup> 名古屋大・遺伝子実験施設, <sup>8</sup> さきがけ, JST)
9:15	3aA02 シロイヌナズナの機能未知タンパク質SNS1の栄養生長期における機能解析 鈴木梨沙 <sup>1</sup> , 石塚梢 <sup>1</sup> , 古崎利紀 <sup>2</sup> , 石井一夫 <sup>2</sup> , 梅澤泰史 <sup>1,3</sup> ( <sup>1</sup> 東京農工大学生物システム応用科学府 梅澤研究室, <sup>2</sup> 東京農工大学, <sup>3</sup> JST さきがけ)		3aC02 BOR1の細胞膜上での偏在にはクラスリンアダプターAP2が必須であるものの, ホウ素に反応した分解にAP2は不要である 吉成晃 <sup>1</sup> , 藤本優 <sup>2</sup> , 天野太郎 <sup>1</sup> , 山岡尚平 <sup>3</sup> , 嶋田知生 <sup>4</sup> , 西村いくこ <sup>4</sup> , 上田貴志 <sup>5</sup> , 内藤哲 <sup>1,6</sup> , 高野順平 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 北大院農, <sup>2</sup> 東大院農学生命, <sup>3</sup> 京大院生命, <sup>4</sup> 京大院理, <sup>5</sup> 東大院理, <sup>6</sup> 北大院生命)	3aD02 シアノバクテリア <i>Synechocystis</i> sp. PCC 6803における翻訳関連遺伝子の破壊がクロロフィル蛍光に与える影響 小川敦子, 鈴木健太, 園池公毅 (早稲田大・教育)	3aE02 ㊦ 植物の塩ストレス耐性に関する機能性ペプチドの解析 中南健太郎 <sup>1</sup> , 大橋千広 <sup>2</sup> , 田中真帆 <sup>1</sup> , 田耕介 <sup>2,3</sup> , 関原明 <sup>1,4,5</sup> ( <sup>1</sup> 理研 CSRS・植物ゲノム発現, <sup>2</sup> 理研 CSRS・機能開発, <sup>3</sup> 九州工大・若手フロンティア, <sup>4</sup> 横浜市大・木原生研, <sup>5</sup> JST CREST)
9:30	3aA03 コムギ無細胞系を基盤としたハイスクリーンスクリーニング技術による新規ABAアゴニスト化合物の同定 香川真貴子 <sup>1</sup> , 根本圭一郎 <sup>1</sup> , 林実 <sup>2</sup> , 富井健太郎 <sup>3</sup> , 今井賢一郎 <sup>3</sup> , 篠崎一雄 <sup>4</sup> , 澤崎達也 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 愛媛大・PROS, <sup>2</sup> 愛媛大・院理工, <sup>3</sup> 産総研・創薬基盤, <sup>4</sup> 理研・CSRS)		3aC03 AP-1 複合体は種皮細胞におけるムシレージの輸送と蓄積に関わる炭素くら, 國枝正, 河本恭子, 西村いくこ, 嶋田知生 (京大院・理)	3aD03 葉緑体レドックスネットワークにおける還元力伝達の複雑さ: シロイヌナズナFTRヘテロ二量体は10種のTrxを異なる効率で還元する 吉田啓亮 <sup>1,2</sup> , 久堀徹 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 東工大・資源研, <sup>2</sup> JST・CREST)	3aE03 Calcium deficiency causes Cadmium accumulation in root apoplast of <i>Athyrium yokoscense</i> 涌井裕子 <sup>1</sup> , 鶴岡優子 <sup>1</sup> , 島田浩章 <sup>1</sup> , 吉原利一 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京理科大学大学院 基礎工学研究科, <sup>2</sup> 電中研 環境科学)
9:45	3aA04 TPST deficient mutant reveals the involvement of sulfated-peptide signaling in protonema and gametophore development in <i>Physcomitrella patens</i> 垣田遼 <sup>1</sup> , 壁谷幸子 <sup>2</sup> , 長谷部光泰 <sup>3</sup> , 松林嘉克 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 名古屋大・理, <sup>2</sup> 基礎生物学研究所)		3aC04 Domain localization of PI(3,5)P2 and PI(4,5)P2 平野朋子, 佐藤雅彦 (京都府立大学生命環境科学研究所)	3aD04 海洋性珪藻類における無機炭素獲得モードの比較解析 辻敬英, Anggara Mahardika, 松田祐介 (関西学院大学・理工・生命)	3aE04 ㊦ 26S proteasome represses impairment of chromatin integrity induced by boron overload stress 坂本卓也 <sup>1,2</sup> , 乾弥生 <sup>1,2</sup> , 反田直之 <sup>2</sup> , 平川健 <sup>1</sup> , 松永朋子 <sup>1</sup> , 藤原正幸 <sup>3,4</sup> , 深尾陽一郎 <sup>5,6</sup> , 松永幸大 <sup>1</sup> , 藤原徹 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 東理大・理工・応用生物学, <sup>2</sup> 東大院・農生命科学, <sup>3</sup> 奈良先端大・バイオ・植物グローバル, <sup>4</sup> 慶應大・先端研, <sup>5</sup> 立命館大・生命科学)
10:00	3aA05 窒素欠乏時における植物の長距離シグナル 田畑亮, 松林嘉克 (名古屋大学・大学院理学研究科)		3aC05 PI(3,5)P2が根毛の先端成長に関与する細胞膜SNARE, SYP123の機能に及ぼす影響 山本美奈 <sup>1</sup> , 平野朋子 <sup>2</sup> , 佐藤雅彦 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 京都府立大学生命環境学部, <sup>2</sup> 京都府立大学大学院生命環境科学研究所)	3aD05 ㊦ Calcium sensing receptor homologue CrCAS is essential for induction of carbon-concentrating mechanism in <i>Chlamydomonas reinhardtii</i> 王連勇 <sup>1</sup> , 山野隆志 <sup>1</sup> , 高根俊輔 <sup>1</sup> , 津田高佑 <sup>1</sup> , 新川友貴 <sup>1</sup> , 豊川知華 <sup>1</sup> , 得津隆太郎 <sup>2</sup> , 皆川純 <sup>3</sup> , 廣野雅文 <sup>3</sup> , 福澤秀哉 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 京都大学大学院 生命科学研究所 微生物細胞機構学分野, <sup>2</sup> 基礎生物学研究所, <sup>3</sup> 法政大学 生命科学部)	3aE05 ㊦ Hunting of the cesium accumulators for improved phytoremediation of radiocesium アダムス英里 <sup>1</sup> , 宮崎崇枝 <sup>1</sup> , 早石綾 <sup>1</sup> , Minwoo Han <sup>2</sup> , Himanshu Khandelwal <sup>2</sup> , Ryoung Shin <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 理研・環境資源科学研究センター, <sup>2</sup> 南アフリカ共和国・ピルネンマーク大学)
10:15	3aA06 ㊦ CLE (CLAVATA3/ESR-like) 9 controls cell proliferation in stomatal cell lineage 銭平平 <sup>1</sup> , Ayako Minobe <sup>1</sup> , 石田喬志 <sup>2</sup> , 澤進一郎 <sup>2</sup> , 楠本辰男 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 大阪大学大学院理学研究科生物科学専攻, <sup>2</sup> 熊本大学大学院自然科学研究科)		3aC06 シロイヌナズナにおけるHOPS/CORVET複合体の解析 竹元廣大 <sup>1</sup> , 海老根一生 <sup>1</sup> , 郷達明 <sup>2</sup> , 井藤純 <sup>3</sup> , 中野明彦 <sup>4</sup> , 上田貴志 <sup>1,5</sup> ( <sup>1</sup> 東大・院理学系, <sup>2</sup> 神戸大・院・理学, <sup>3</sup> 奈良先端大・院・バイオサイエンス, <sup>4</sup> 理研・光子量子工学, <sup>5</sup> さきがけ)	3aD06 気孔が閉じるとクチクラが細胞間隙CO <sub>2</sub> 濃度の計算に影響する 富永淳, 川満芳信 (琉球大学農学部)	3aE06 シロイヌナズナの転写因子SPL7は局所的に銅の恒常性を制御する 荒木良一 <sup>1</sup> , Mélanie Mermoud <sup>1,2</sup> , 山崎広顕 <sup>3</sup> , 神谷岳洋 <sup>4</sup> , 藤原徹 <sup>4</sup> , 鹿内利治 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 京大院・理, <sup>2</sup> JST, CREST, <sup>3</sup> 基生研, <sup>4</sup> 東大院・農学生命)

F会場	G会場	H会場	I会場	X会場	Y会場	Z会場	時間	
新技術開発	エピジェネティック制御	植物微生物相互作用 (免疫4)	オルガネラ/細胞骨格/ 細胞周期・分裂	シンポジウムS11	シンポジウムS12			
3aF01 高速シーケンサー・データから SSRマーカーを作成するためのバ イオインフォマティクス・ツール 開発 小林正明, 矢野健太郎 (明治大・農)	3aG01 ㊦ Histone Methylation-mediated Control for Systemic Priming and Resistance in <i>Arabidopsis</i> Eva-Maria Reimer-Michalski <sup>2</sup> , Eliza Po-lian Loo <sup>1</sup> , 田島由理, Barbara Kracher <sup>2</sup> , Franziska Turck <sup>2</sup> , 西條雄 介 <sup>1,2,3</sup> (1奈良先端大, 2MPIPZ, 3JST PRESTO)	3aH01 ㊦ The identification of novel regulators of NADPH oxidase RBOHD during plant immunity 門田康弘 <sup>1</sup> , 後藤幸久 <sup>1</sup> , Jan Sklenar <sup>2</sup> , Paul Derbyshire <sup>2</sup> , Frank Menke <sup>2</sup> , Cyril Zipfel <sup>1</sup> , 白須賢 <sup>1</sup> (1理研 CSRS, 2The Sainsbury Laboratory)	3aI01 リン酸化を介した小胞体膜融合因 子RHD3の活性調節 上田晴子 <sup>1</sup> , 植田悦雄 <sup>2</sup> , 桑田啓子 <sup>3</sup> , 真野昌二 <sup>4</sup> , 嶋田知生 <sup>1</sup> , 田村謙太郎 <sup>1</sup> , 深尾陽一郎 <sup>1</sup> , 新免輝男 <sup>2</sup> , 西村幹夫 <sup>1</sup> , 西村いくこ <sup>1</sup> (1京大・院理, 2兵 県大・院生命理学, 3名大・ WPI-ITbM, 4基生研・細胞生物, 5立命大・生命科学)	光合成生物の多様な呼吸の世界〜O <sub>2</sub> 利用戦略をとらえろ〜 (9:00-11:50)	Evolution and diversity of glucosinolate/myrosinase systems (9:00-12:00)		9:00	
3aF02 高光度発光性植物による新規イ メージングシステムの開発 岩野恵 <sup>1</sup> , 西浜竜一 <sup>2</sup> , 鈴木和志 <sup>1</sup> , 末次憲之 <sup>2</sup> , 石田咲子 <sup>2</sup> , 加来友美 <sup>1</sup> , 河内孝之 <sup>2</sup> , 永井健治 <sup>1</sup> (1大阪大・ 産研, 2京大・院・生命科学)	3aG02 ポリコム群タンパク質は植物免 疫を正に制御する 田島由理 <sup>1</sup> , 西條雄介 <sup>1,2</sup> (1奈良先端 大, 2さきかけ)	3aH02 イネWRKY62は病害応答と低酸素 応答の切替を制御する 福島詠子 <sup>1,2</sup> , 森昌樹 <sup>1</sup> , 高辻博志 <sup>1,2</sup> (1生物研, 2筑波大・院生命環境)	3aI02 小胞体タンパク質LOA1はファイ トステロールが葉に異常蓄積す るのを防ぐ 島田貴士 <sup>1,2,3</sup> , 嶋田知生 <sup>1</sup> , 岡咲洋 三 <sup>4</sup> , 東浩司 <sup>5</sup> , 斎藤和季 <sup>4,6</sup> , 中野明 彦 <sup>2,7</sup> , 上田貴志 <sup>2,8</sup> , 高野義孝 <sup>2</sup> , 西村 いくこ <sup>1</sup> (1京大・院理・植物分子細 胞生物, 2京大・院農, 3東大・院理, 4理研・CSRS, 5京大・院理・植物系 統分類, 6千葉大, 7理研・量子工 学, 8JST, 9さきかけ)					9:15
3aF03 ㊦ Apple latent spherical virus vector-induced flowering for shortening the juvenile phase in Japanese gentian and lisianthus plants フエキリム, 山岸紀子, 吉川信幸 (岩手大学農学部植物病理学研究 室)	3aG03 Molecular genetic analysis of epigenetic inhibitor-induced tolerance to high salinity stress in <i>Arabidopsis</i> 上田実 <sup>1,2</sup> , 松井章浩 <sup>1</sup> , 田中真帆 <sup>1</sup> , 佐 古香織 <sup>1</sup> , 佐々木卓 <sup>1,2</sup> , 金鍾明 <sup>1</sup> , 伊藤 昭博 <sup>2</sup> , 西野憲和 <sup>3</sup> , 吉田稔 <sup>3</sup> , 関原明 <sup>2</sup> (1理研 環境資源科学 植物ゲノム 発現研究チーム, 2JST, CREST, 3理 研 環境資源科学 ケミカルゲノミ クス研究グループ)	3aH03 シロイヌナズナと内生糸状菌の相 互作用における自然変異 種田有加里 <sup>1</sup> , 晝間敬 <sup>1</sup> , Paul Schulze-Lefert <sup>2</sup> , 西條雄介 <sup>1,3</sup> (1奈良 先端大, 2Max Planck Institute, 3JST PRESTO)	3aI03 植物細胞におけるゴルジ体形成・ 維持機構の解析 伊藤容子 <sup>1</sup> , 植村知博 <sup>2</sup> , 湖城恵 <sup>3,4</sup> , 馳 澤盛一郎 <sup>1</sup> , 上田貴志 <sup>2,5</sup> , 中野明彦 <sup>2</sup> (1理研・光子工学研究領域, 2東 京大・院・理, 3東京大・院・新領域, 4エルビクセル(株), 5さきかけ)					9:30
3aF04 酵母や植物細胞を利用して特定の DNAやタンパク質と相互作用する 転写因子をスクリーニングする実 験系の開発 光田展隆 <sup>1</sup> , 坂本真吾 <sup>1</sup> , 戸部文絵 <sup>1</sup> , 瀧口裕子 <sup>1</sup> , 堀井陽子 <sup>2</sup> , 石塚徹 <sup>1</sup> , 市 川裕章 <sup>3</sup> , 松井南 <sup>2</sup> , 高木優 <sup>1,4</sup> (1産業 技術総合研究所生物プロセス研究 部門, 2理化学研究所環境資源科学 研究センター, 3農業生物資源研究 所植物科学研究領域, 4埼玉大学理 工学研究科)	3aG04 ㊦ Functional analysis of an HDAC inhibitor in plant salinity stress tolerance Mai Huong Nguyen <sup>1,2</sup> , Kaori Sako <sup>1</sup> , Minoru Ueda <sup>1,3</sup> , Akihiro Matsui <sup>1</sup> , Maho Tanaka <sup>1</sup> , Norikazu Nishino <sup>4</sup> , Minoru Yoshida <sup>1</sup> , Motoaki Seki <sup>1,2,3</sup> (1理研・CSRS, 2横浜市大・木原, 3CREST, JST, 4九工大・生命)	3aH04 シロイヌナズナの根におけるリン 栄養条件に依存した免疫制御 李泰洪 <sup>1</sup> , 久保田裕生 <sup>1</sup> , 種田有加 里 <sup>1</sup> , 晝間敬 <sup>1</sup> , 西條雄介 <sup>1,2</sup> (1奈良先 端大学 バイオ, 2さきかけ)	3aI04 ㊦ Dynamics of Golgi Apparatus under Sucrose Starvation Moses Olabiyi Abiodun <sup>1</sup> , Ken Matsuoka <sup>1,2</sup> (1Laboratory of Plant Nutrition, Dept of Bioscience and Biotech, Kyushu University, 2Biotron Application Centre, Kyushu University, Japan)					9:45
3aF05 PPRタンパク質におけるDNA結 合能に関する研究 小林健人, 八木祐介, 野口久代, 中村崇裕 (九州大 農学研究院)	3aG05 HDAC阻害剤であるKy-2は塩耐性 を付与する 佐古香織 <sup>1</sup> , 金鍾明 <sup>1</sup> , 松井章浩 <sup>1</sup> , 中 村浩太郎 <sup>2</sup> , 田中真帆 <sup>1</sup> , 小林誠 <sup>1</sup> , 斎 藤和季 <sup>1,2</sup> , 西野憲和 <sup>4</sup> , 草野都 <sup>1,5</sup> , 太 治輝昭 <sup>2</sup> , 吉田稔 <sup>1</sup> , 関原明 <sup>1,6,7</sup> (1理研 ・CSRS, 2東農大・応生, 3千葉大・院 薬, 4九工大・生命, 5筑波・院生命, 6横浜市大・木原, 7CREST・JST)	3aH05 ㊦ シロイヌナズナと炭疽病菌の相互 作用における共受容体キナーゼ BAK1の除去とPEPRによるデン ジャーシグナリング 晝間敬 <sup>1</sup> , 北川のぞみ <sup>1</sup> , 平瀬大志 <sup>1</sup> , 井ノ口貴彬 <sup>1</sup> , 山田晃嗣 <sup>2</sup> , 西條雄 介 <sup>1,2,3</sup> (1奈良先端科学技術大学院 大学 バイオサイエンス研究科, 2マックスプランク植物育種研究 所, 3JST さきかけ)	3aI05 シロイヌナズナを用いた後期促進 複合体APC/Cの新奇標的因子の同 定 鈴木俊哉 <sup>1,2</sup> , 桑田啓子 <sup>3</sup> , 伊藤正樹 <sup>1,2</sup> (1名古屋大学大学院 生命農学研究 科, 2JST・CREST, 3名古屋大学 ト ランスフォーメティブ生命分子研 究所)					10:00
3aF06 PPRタンパク質を利用した標的的 特異的なmRNA翻訳制御ツールの開 発 八木祐介, 中村崇裕 (九州大学農 学研究院)	3aG06 ㊦ Molecular analysis of enhanced high-salinity stress tolerance caused by a HDAC-inhibitor treatment in cassava Onsava Patanun <sup>1,2</sup> , Minoru Ueda <sup>2,4</sup> , Yoshinori Utsumi <sup>2</sup> , Akihiro Matsui <sup>2</sup> , Maho Tanaka <sup>2</sup> , Chikako Utsumi <sup>2,4</sup> , Minoru Yoshida <sup>1</sup> , Jarunya Narangajavana <sup>1</sup> , Motoaki Seki <sup>2,4</sup> (1マヒド大 理学, 2理研 環境資源科 学, 3理研 環境資源科学, 4CREST, JST)	3aH06 ㊦ シロイヌナズナにおけるデンジャー シグナルの病原体エフェクターおよ び細胞死依存的な産生と放出 平瀬大志 <sup>1</sup> , 井ノ口貴彬 <sup>1</sup> , 山田晃 嗣 <sup>2</sup> , 西條雄介 <sup>1,3</sup> (1NAIST・バイオ, 2京大・農, 3さきかけ, JST)	3aI06 ㊦ シロイヌナズナ RETINOBLASTOMA-RELATED PROTEIN 1に着目したG1-S期制 御機構の解析 原島洋文 <sup>1</sup> , Daniel Bouyer <sup>2</sup> , Arp Schnittger <sup>2</sup> , 杉本慶子 <sup>1</sup> (1理化学研 究所 環境資源科学研究センター, 2CNRS, IBENS, 3University of Hamburg)			10:15		

㊦ = 発表の言語は英語

● 第3日 3月20日(日) 午前(9:00-12:15)

時 間	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
	植物ホルモン/シグナル伝達物質		膜交通	電子伝達系・炭酸同化	環境応答/非生物ストレス応答 (イオン・塩・金属)
10:30	3aA07 Analysis of CLEN3 in CLAVATA signaling pathway 元瀧文音 <sup>1</sup> , 重信秀治 <sup>2</sup> , 長谷部光泰 <sup>2,4</sup> , 山口勝司 <sup>2</sup> , 山田昌史 <sup>3</sup> , 石田喬志 <sup>1</sup> , 澤進一郎 <sup>1</sup> (熊大院・理, <sup>2</sup> 基生研・機能解析セ, <sup>3</sup> デューク大, <sup>4</sup> 総研大)		3aC07 シロイヌナズナにおけるトランスゴルジネットワーク (TGN) のダイナミクスとドメイン構造の解析 小松大和 <sup>1</sup> , 植村知博 <sup>1</sup> , 伊藤容子 <sup>2</sup> , 黒川量雄 <sup>2</sup> , 上田貴志 <sup>1,2</sup> , 中野明彦 <sup>1,2</sup> (東京大・院・理, <sup>2</sup> 理研 光子工学研究領域, <sup>3</sup> さきかけJST)	3aD07 ㊦ アフリカイネCG14とアジアイネ Koshihikari の気孔開口制御能力に着目した比較解析 北岡拓也 <sup>1</sup> , 戸田陽介 <sup>1</sup> , 河合優弥 <sup>1</sup> , 縣歩美 <sup>2</sup> , 保浦徳昇 <sup>3</sup> , 黒羽剛 <sup>4</sup> , 北野秀巳 <sup>5</sup> , 芦荻基行 <sup>3</sup> , 木下俊則 <sup>1,4</sup> (名大・理, <sup>2</sup> 名大・トランスフォーマティブ生命分子研究所, <sup>3</sup> 東北大・生命)	3aE07 イネ鉄欠乏応答の初期にジャスモン酸経路が活性化される 小林高範 <sup>1,2</sup> , 板井玲子 <sup>3</sup> , 瀬野浦武志 <sup>1</sup> , 及川貴也 <sup>4</sup> , 石丸泰寛 <sup>4</sup> , 上田実 <sup>4</sup> , 中西啓仁 <sup>3</sup> , 西澤直子 <sup>1</sup> (石川県大・生物資源工学, <sup>2</sup> 科学技術振興機構 さきかけ, <sup>3</sup> 東大院・農, <sup>4</sup> 東北大院・理)
10:45	3aA08 ERECTA 受容体ファミリーによるシロイヌナズナ胚軸の二次成長制御機構 池松朱夏 <sup>1</sup> , 田坂昌生 <sup>2</sup> , 鳥居啓子 <sup>1,3,4</sup> , 打田直行 <sup>1</sup> (名古屋大・WPI-ITbM, <sup>2</sup> NAIST・バイオ, <sup>3</sup> ワシントン大, <sup>4</sup> HHMI)		3aC08 Plant-unique RAB5 effector 2はARA6の機能と保存型RAB5の制御する液胞輸送を統御する制御因子である 伊藤瑛海 <sup>1</sup> , 上田貴志 <sup>1,2</sup> , 中野明彦 <sup>1,2</sup> (東大・院・理・生物科学, <sup>2</sup> さきかけ, <sup>3</sup> 理研・光子工学)		3aE08 イネのCd解毒機構におけるファイトケラチンとグルタチオン合成の検討 山崎真二, 向井彩, 上田洋介, 落合久美子, 間藤徹 (京都市大・院・農)
11:00	3aA09 EPFL2ペプチドによる葉の周縁でのオーキシン応答パターン制御 爲重才登 <sup>1</sup> , 岡本智史 <sup>2</sup> , Jin Suk Lee <sup>3</sup> , 相田光宏 <sup>2</sup> , 田坂昌生 <sup>2</sup> , Keiko Torii <sup>1,3,4</sup> , 打田直行 <sup>1</sup> (名古屋大・WPI-ITbM, <sup>2</sup> 奈良先端大, <sup>3</sup> ワシントン大, <sup>4</sup> ハーワード・ヒューズ医学研究所)		3aC09 ゼニゴケのSVP1メンバーの機能の多様化 金澤建彦 <sup>1</sup> , 恵良厚子 <sup>1,2</sup> , 南野尚紀 <sup>1</sup> , 森中初音 <sup>1</sup> , 法月拓也 <sup>1</sup> , 藤本優 <sup>1</sup> , 植村知博 <sup>1</sup> , 西浜竜一 <sup>4</sup> , 大和勝幸 <sup>4</sup> , 石崎公庸 <sup>4</sup> , 西山智明 <sup>2</sup> , 河内孝之 <sup>4</sup> , 中野明彦 <sup>1,2</sup> , 上田貴志 <sup>1,2</sup> (東大院・理, <sup>2</sup> 遺伝研, <sup>3</sup> 東大院・農, <sup>4</sup> 京大院・生命科学, <sup>5</sup> 近大・生物理工, <sup>6</sup> 神戸大院・理, <sup>7</sup> 金沢大・学際科学実験センター, <sup>8</sup> 理研・光子工学, <sup>9</sup> JST・さきかけ)		3aE09 オオムギアルミニウム耐性遺伝子 HvAACT1の新規発現調節機構の解析 柏野 (藤井) 美帆, 山地直樹, 山根美樹, 最相大輔, 佐藤和広, 馬建鋒 (岡山大学資源植物科学研究所)
11:15	3aA10 二種の異なるCLE活性を示す人工ペプチド 平川右宇樹 <sup>1</sup> , 篠原秀文 <sup>2</sup> , 松林嘉克 <sup>2</sup> , 鳥居啓子 <sup>1,3,4</sup> , 打田直行 <sup>1</sup> (名古屋大・ITbM, <sup>2</sup> 名古屋大・院・理, <sup>3</sup> ワシントン大・生物, <sup>4</sup> HHMI)		3aC10 小胞体から液胞へのKDELタンパク質の大量輸送にERポディンが関与する〜ギガピクセルTEM像を用いて〜 橋本恵 <sup>1</sup> , 成川苗子 <sup>1</sup> , 若崎真由美 <sup>1</sup> , 佐藤蘭子 <sup>1</sup> , 永田典子 <sup>1</sup> , 岡本龍史 <sup>2</sup> , 豊岡公徳 <sup>1</sup> (理研CSRS, <sup>2</sup> 日本女子大・理, <sup>3</sup> 首都大・理工)		3aE10 ネの1番染色体のAl耐性QTLはOsFRDL4の発現の違いに由来する 植正健剛, 山地直樹, 馬建鋒 (岡山大学植物研)
11:30	3aA11 ブラシノステロイドのシグナル伝達を阻害する短いペプチドの機能解析 大林智 <sup>1</sup> , 吉積毅 <sup>2</sup> , 原口武士 <sup>3</sup> , 岡本昌憲 <sup>4</sup> , 樋口美栄子 <sup>2</sup> , 清水みなみ <sup>2</sup> , 野元美佳 <sup>5</sup> , 多田安臣 <sup>5</sup> , 軸丸裕介 <sup>6</sup> , 神谷勇治 <sup>2</sup> , 篠崎一雄 <sup>2</sup> , 花田耕介 <sup>1,2</sup> (九工大・若手フロンティア, <sup>2</sup> 理研・CSRS, <sup>3</sup> 千葉大・院・理, <sup>4</sup> 鳥取大・乾燥地研, <sup>5</sup> 名古屋大・遺伝子実験施設, <sup>6</sup> アジレントテクノロジー)		3aC11 シロイヌナズナのオーキシン排出タンパク質の制御におけるBEN2/VPS45の役割について 松浦友紀, 柿本辰男, 田中博和 (大阪大・院・理・生)		3aE11 Al処理高シユウ酸植物におけるイオンーム解析 宮城敦子 <sup>1</sup> , 橋田慎之介 <sup>2</sup> , 川合真紀 <sup>1</sup> (埼玉大・院・理工, <sup>2</sup> 電中研・環境研)
11:45	3aA12 新規カルシウム結合タンパク質CCaP3の機能欠損株の表現型解析 奥田祥平, 大内雄矢, 井出悠葵, 前島正義 (名古屋大学大学院生命農学研究科 生物機構・機能科学専攻 細胞ダイナミクス研究分野)		3aC12 ウイルス移行タンパク質の持つ低い転移効率のシグナルペプチドは原形質連絡への局在に不可欠である 石川一也, 難波成任 (東大・院農)		3aE12 ルシフェラーゼレポーター遺伝子を用いたアルミニウム (Al) 応答変異株の単離と解析 佐藤峻輔, 藤原徹, 神谷岳洋 (東大院・農)
12:00	3aA13 シクン能強化のためのサツマイモ由来不定根原基形成因子の単離 伊藤アカネ <sup>1</sup> , 田部記章 <sup>2,4</sup> , 田茂井政宏 <sup>1,2,4</sup> , 横田明穂 <sup>3,4</sup> , 重岡成 <sup>1,2,4</sup> (近畿大・院・バイオ, <sup>2</sup> 近畿大・農・バイオ, <sup>3</sup> 奈良先端大・先端科技推進セ, <sup>4</sup> JST・CREST)				

F会場	G会場	H会場	I会場	X会場	Y会場	Z会場	時間
新技術開発	エピジェネティック制御	植物微生物相互作用 (免疫4)	オルガネラ/細胞骨格/ 細胞周期・分裂	シンポジウムS11	シンポジウムS12		
<p>3aF07 種子貯蔵タンパク質の蓄積機構を利用した効率的な組換えタンパク質生産 金井雅武, 真野昌二, 西村幹夫 (基生研)</p> <p>3aF08 ゼニゴケにおける高効率ゲノム編集ベクターの開発 菅野茂夫<sup>1</sup>, 西浜竜<sup>2</sup>, 白川一<sup>2</sup>, 松田頼子<sup>2</sup>, 高木純平<sup>3</sup>, 西村いくこ<sup>3</sup>, 刑部敬史<sup>4</sup>, 河内孝之<sup>2</sup> (徳大・農工商, <sup>2</sup>京大・院生命科学, <sup>3</sup>京大・院理)</p> <p>3aF09 CRISPR/Cas9によるシロイヌナズナ環境ストレス応答性遺伝子のゲノム編集 刑部祐里子<sup>1</sup>, 菅野茂夫<sup>1</sup>, 渡辺崇人<sup>1</sup>, 上田梨紗<sup>1</sup>, 石原諒典<sup>1</sup>, 篠崎一雄<sup>2</sup>, 刑部敬史<sup>1</sup> (徳大・農商工連携セ, <sup>2</sup>理研・環境資源科学セ)</p> <p>3aF10 高効率 CRISPR/Cas9による SIIAA9 ノックアウトトマトの作出 上田梨紗, 阿部千尋, 石原諒典, 渡辺崇人, 菅野茂夫, 宮脇克行, 野地澄晴, 刑部祐里子, 刑部敬史 (徳島大学農工商連携センター)</p> <p>3aF11 ㊦ Evaluation on genetic variation and pathogen resistance among Sulawesi cacao (Theobroma cacao L.) I Nengah Suwastika<sup>1</sup>, Nurul Aisyah<sup>1</sup>, Rifka Mochtar<sup>1</sup>, Rahmansyah Rahmansyah<sup>1</sup>, Muslimin Muslimin<sup>2</sup>, Yoko Ishizaki<sup>3</sup>, Andre Freire Cruz<sup>2</sup>, Zainuddin Basri<sup>4</sup>, Takashi Shiina<sup>3</sup> (1)Dept. of Biology Fac. of Sciences Tadulako Univ., (2)Fac. Of Forestry, Tadulako University, (3)Graduate School of Life and Environmental Sciences, Kyoto Prefectural University, (4)Fac. Of Agricultural, Tadulako University)</p>	<p>3aG07 シロイヌナズナとアブラナの発生分化における DCL3 および DCL4 の活性の解析 田原緑<sup>1</sup>, 大谷美沙都<sup>2,3</sup>, 古崎利紀<sup>1</sup>, 石井一夫<sup>1</sup>, 森山裕充<sup>1</sup>, 福原敏行<sup>1</sup> (1)東京農工大学・院・農, (2)奈良先端大・バイオ, (3)理研・CSRS)</p> <p>3aG08 シロイヌナズナの葉の向背軸形成におけるエピジェネティックレギュレーター AS1-AS2 と TOP1α の役割の解明 中川彩美<sup>1</sup>, ヴィアルーブラダレシモン<sup>1</sup>, 高橋広夫<sup>2</sup>, 小島晶子<sup>1</sup>, 町田泰則<sup>3</sup>, 町田千代子<sup>1</sup> (1)中部大学大学院 応用生物学研究科, (2)千葉大学大学院 園芸学研究科, (3)名古屋大学大学院 理学研究科)</p> <p>3aG09 6倍性コムギにおける花器官形成クラス B MADS-box 遺伝子の同祖遺伝子特異的エピジェネティック制御 村井耕二<sup>1</sup>, 桑原翼<sup>1</sup>, 梅北耕典<sup>1</sup>, 田中美久<sup>1</sup>, 長岐清孝<sup>2</sup>, 村田稔<sup>2</sup> (1)福井県大・生物資源, (2)岡山大学・資源植物科学研究科)</p>	<p>3aH07 シロイヌナズナにおける BAK1 除去時の PEPR シグナル制御に関する遺伝学的解析 古畑岳<sup>1</sup>, 大谷幸一<sup>1</sup>, 村田岳<sup>1</sup>, 山田晃嗣<sup>2</sup>, 晝間敬<sup>1</sup>, 西條雄介<sup>1,3</sup> (1)奈良先端大・バイオ, (2)京大農, (3)JST PRESTO)</p> <p>3aH08 シロイヌナズナの根における Pep 応答の遺伝学および細胞生物学的解析 久保田裕生<sup>1</sup>, 晝間敬<sup>1</sup>, 西條雄介<sup>1,2</sup> (1)奈良先端大, (2)JST PRESTO)</p> <p>3aH09 シロイヌナズナのパターン認識受容体 EFR と FLS2 は小胞体の糖スクレオチド輸送体の要求性が異なる 井ノ口貴穂<sup>1</sup>, 金原和江<sup>2</sup>, Xunli Lu<sup>2</sup>, Samantha Kurz<sup>2</sup>, Paul Schulze-Lefert<sup>2</sup>, Cyril Zipfel<sup>4</sup>, Andreas Weber<sup>2</sup>, 西條雄介<sup>1,2,3</sup> (1)NAIST, (2)Max Planck Institute for Plant Breeding Research, (3)JST PRESTO, (4)The Sainsbury Laboratory, (5)Institute of Plant Biochemistry Heinrich-Heine University)</p>	<p>3aI07 シロイヌナズナにおける DNA 損傷応答と SOG1 のリン酸化の関係 原山(園本)穂<sup>1,2</sup>, 木村成介<sup>1</sup> (1)京産大 総合生命, (2)日本学術振興会)</p> <p>3aI08 植物再生の細胞増殖に関わるエピジェネティック因子の解析 勝山雄喜<sup>1</sup>, 杉本薫<sup>1</sup>, 角倉慧<sup>1</sup>, 長谷川淳子<sup>2</sup>, 石橋和樹<sup>2</sup>, 金鍾明<sup>2</sup>, 関原明<sup>2</sup>, 松永幸大<sup>1</sup> (1)東理大理工応生, (2)東理大理工院 応生, (3)理研 CSRS)</p> <p>3aI09 ゲノム編集を用いたクロマチン・ライプイメーシング 松永幸大<sup>1</sup>, 藤本聡<sup>1</sup>, 菅野茂夫<sup>2</sup>, 桑田啓子<sup>3</sup>, 刑部敬史<sup>4</sup> (1)東京理科大学 理工学部応用生物科学科, (2)徳島大学農工商連携センター, (3)名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所)</p> <p>3aI10 植物深部イメージング手法, TOMEI 長谷川淳子<sup>1</sup>, 坂本勇貴<sup>1</sup>, 中上知<sup>2</sup>, 相田光宏<sup>2</sup>, 澤進一郎<sup>2</sup>, 松永幸大<sup>1,4</sup> (1)東京理科大・院・理工・応用生物科学, (2)熊本大・院・自然科学, (3)NAIST・バイオ, (4)CREST, JST)</p>	シンポジウムS11 光合成生物の多様な呼吸の世界〜O <sub>2</sub> 利用戦略をとらえる〜 (9:00-11:50)	シンポジウムS12 Evolution and diversity of glucosinolate/myrosinase systems (9:00-12:00)		10:30  10:45  11:00  11:15  11:30  11:45  12:00

㊦ = 発表の言語は英語



## 一般講演（ポスター）プログラム

---

## ポスター【前半】 第1日 3月18日(金)

---

### ■ 成長調節物質

- PF-001 エチレン様活性を示す化合物の開発  
鈴木優志<sup>1</sup>, 堅固山裕子<sup>1</sup>, 水野翼<sup>1</sup>, 今村優作<sup>1</sup>, 北畑信隆<sup>1,2</sup>, 阿部啓子<sup>1</sup>, 岡田晋治<sup>1</sup>, 浅見忠男<sup>1</sup> (東大院・農生科, <sup>2</sup>東京理科大・理・応用生物科学科)
- PF-002 Ethylene is a major regulator of root apical meristem development in *Arabidopsis thaliana*  
Mohammad Arif Ashraf, Yukie Kobayashi, Abidur Rahman (Cryobiofrontier Research Center, Iwate University)
- PF-003 Roles of auxin in controlling chromatin structure  
Aida Nazlyn Nazari<sup>1</sup>, 高塚大知<sup>1</sup>, 梅田正明<sup>1,2</sup> (奈良先端科学技術大学院大学, <sup>2</sup>JST, CREST, JAPAN)
- PF-004 SCF<sup>TIR1</sup> 複合体を介したオーキシン生合成のフィードバック制御機構  
高藤晋<sup>1</sup>, 三井麻利江<sup>1,2</sup>, 石田遥介<sup>1</sup>, 鈴木優志<sup>1</sup>, 寛雄介<sup>1</sup>, 山崎千秋<sup>1</sup>, 石井貴広<sup>3</sup>, 林謙一郎<sup>4</sup>, 藤岡昭三<sup>2</sup>, 中村郁子<sup>1</sup>, 持田恵一<sup>1,2</sup>, 添野和雄<sup>3</sup>, 嶋田幸久<sup>1</sup> (横浜市大・木原生研, <sup>2</sup>理研, <sup>3</sup>農研機構・近中農研, <sup>4</sup>岡山理科大)
- PF-005 Characterization of novel genes that regulate Indole-3-butyric acid response in *Arabidopsis thaliana*  
吉田美織<sup>1</sup>, 半澤大輝<sup>1</sup>, 小倉岳彦<sup>2</sup>, Wolfgang Busch<sup>2</sup>, Abidur Rahman<sup>1</sup> (岩手大学農学部附属寒冷バイオフロンティア研究センター, <sup>2</sup>Gregor Mendel Institute, Austrian Academy of Sciences, Vienna Biocenter)
- PF-006 トマト果実形成・成熟におけるアブシジン酸シグナル伝達系の役割  
ト滋慶<sup>1,2</sup>, 及川鉄男<sup>2</sup>, 永利友佳理<sup>2</sup>, 小賀田拓也<sup>2</sup>, 岡部佳弘<sup>1</sup>, 有泉亨<sup>1</sup>, 江面浩<sup>1</sup>, 藤田泰成<sup>1,2</sup> (筑波大院・生命環境, <sup>2</sup>国際農研・生物資源利用)
- PF-007 オーキシン応答遺伝子発現における ABA シグナル伝達系の役割  
永利友佳理<sup>1</sup>, ト滋慶<sup>1,2</sup>, 小賀田拓也<sup>1</sup>, 藤田泰成<sup>1,2</sup> (国際農研 生物資源・利用, <sup>2</sup>筑波大・生命環境)
- PF-008 Functional analysis of MAP kinase cascade in ABA signaling  
廣谷美咲<sup>1</sup>, 吉村亮<sup>3</sup>, 野元美佳<sup>3</sup>, 高橋史憲<sup>2</sup>, 多田安臣<sup>3</sup>, 梅澤泰史<sup>1</sup> (東京農工大学大学院 生物システム応用科学府 (BASE), <sup>2</sup>理化学研究所, <sup>3</sup>名古屋大学 大学院理学研究科)
- PF-009 YUCCA を標的としたオーキシン生合成阻害剤~作用機構解析の続報  
寛雄介<sup>1</sup>, 山崎千秋<sup>1</sup>, 鈴木優志<sup>1</sup>, 中村郁子<sup>1</sup>, 佐藤明子<sup>1</sup>, 石田遥介<sup>1</sup>, 菊池理絵<sup>1,4</sup>, 東昌市<sup>2</sup>, 國土祐未子<sup>3</sup>, 石井貴広<sup>3</sup>, 添野和雄<sup>3</sup>, 嶋田幸久<sup>1</sup> (横浜市大・木原生研, <sup>2</sup>横浜市大, <sup>3</sup>農研機構・近中四農研, <sup>4</sup>神奈川大)
- PF-010 シロイヌナズナ雄ずい発達時におけるジャスモン酸応答性輸送体 GTR1 の機能解析  
金森(佐藤)美有<sup>1</sup>, 佐々木(関本)結子<sup>2</sup>, 斉藤洗<sup>1</sup>, 下嶋美恵<sup>1</sup>, 太田啓之<sup>1,2</sup> (東工大・院・生命理工, <sup>2</sup>東工大・地球生命研)
- PF-011 植物細胞形態形成における PIP5K 遺伝子の機能重複性と制御的役割  
亘真智子, Romain Blanc-Mathieu, 加藤真理子, 柘植知彦, 緒方博之, 青山卓史 (京都大学化学研究所)
- PF-012 イネのジベレリンシグナル伝達抑制因子 SLR1 の下流で働く bHLH 型転写因子の機能解析  
氷上卓磨<sup>1</sup>, 木下俊介<sup>1</sup>, 吉田英樹<sup>1</sup>, 光田展隆<sup>2</sup>, 毛利真由<sup>1</sup>, 高木優<sup>3</sup>, 松岡信<sup>1</sup>, 上口(田中)美弥子<sup>1</sup> (名大・生物機能研究センター, <sup>2</sup>産総研・生物プロセス, <sup>3</sup>埼玉大・環境科学)
- PF-013 器官サイズを制御する CYP78 の基質同定に向けた取り組み  
水野泉, 伊藤純一, 桧原健一郎 (東大院・農学生命)
- PF-014 *Streptocarpus rexii* におけるサイトカイニン合成遺伝子の発現解析  
西井かなえ<sup>1,2</sup>, Yun-Yu Chen<sup>3,5</sup>, Frank Wright<sup>4</sup>, Katrin MacKenzie<sup>4</sup>, Alberto Spada<sup>6</sup>, Chun-Neng Wang<sup>5</sup>, Michael Möller<sup>2</sup> (東京学芸大, <sup>2</sup>エジンバラ植物園, <sup>3</sup>エジンバラ大, <sup>4</sup>スコットランド生物数理統計研, <sup>5</sup>国立台湾大, <sup>6</sup>ミラノ大)
- PF-015 野生イネの地下茎形成におけるストリゴラクトンの影響  
北岡直樹<sup>1,2</sup>, 久間木孝史<sup>1</sup>, 梅原三貴久<sup>3</sup>, 芦荻基行<sup>2,4</sup>, 瀬戸義哉<sup>1,2</sup>, 山口信次郎<sup>1,2</sup> (東北大院・生命科学, <sup>2</sup>JST/CREST, <sup>3</sup>東洋大院・生命科学, <sup>4</sup>名古屋大・生物機能開発利用研究センター)
- PF-016 根における B-type ARR の空間的発現を制御する KISS ME DEADLY 遺伝子の発現解析  
野口博史<sup>1</sup>, 高塚大知<sup>1</sup>, 梅田正明<sup>1,2</sup> (奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科, <sup>2</sup>JST CREST)

- PF-017 Nitrogen stimulates rhizome growth via the cytokinin biosynthesis in *Oryza lonsistaminata*  
柴崎杏平, 竹林有理佳, 上田七重, 横田庸絵, 竹林裕美子, 小嶋美紀子, 榊原均 (国立研究開発法人理化学研究所・環境資源科学研究センター)
- PF-018 シロイヌナズナのカリキニン受容体 KAI2/HTL の機能に重要なアミノ酸残基の同定  
赤津友基, 森本優, 瀬戸義哉, 増口潔, 山口信次郎 (東北大学・院・生命科学)
- PF-019 レーザーマイクロダイセクション法を用いたシロイヌナズナ切断花茎の組織癒合過程における時空間的遺伝子発現解析  
中野渡幸<sup>1</sup>, 小倉健太郎<sup>2</sup>, 伴瀬真麻<sup>2</sup>, 佐藤忍<sup>3</sup>, 朝比奈雅志<sup>1,2</sup> (1帝京大・院・理工, 2帝京大・理工・バイオ, 3筑波大・生命環境)
- PF-020 Elucidation of plant morphogenesis mechanism by interactions between SET DOMAIN GROUP and auxin  
佐伯健, 角谷侑香, 山口暢俊, 伊藤寿朗 (奈良先端科学技術大学院大学)

## ■ 植物ホルモン/シグナル伝達物質

- PF-021 A study on CLE peptide-mediated environmental signaling in *Arabidopsis thaliana*  
馬笛超, 下遠野明恵, 近藤侑貴, 福田裕穂 (東大・院理学)
- PF-022 CRISPR/Cas9 システムを用いたシロイヌナズナの CLE16 および CLE17 の機能解析  
島岡知恵<sup>1</sup>, 山口泰華<sup>2</sup>, 澤進一郎<sup>2</sup>, 石田喬志<sup>2</sup> (1熊大・理, 2熊大・院自然科学)
- PF-023 CRISPR/spCas9 システムを利用した CLE ペプチドの機能欠失変異体コレクションの作出  
山口泰華<sup>1</sup>, 吉村美香<sup>1</sup>, 今村悠子<sup>1</sup>, 島岡知恵<sup>2</sup>, 立石亮太<sup>2</sup>, 澤進一郎<sup>1,2</sup>, 石田喬志<sup>1</sup> (1熊本大・院・自然科学, 2熊本大・理学)
- PF-024 Functional Analysis of the GA-GID1-DELLA Signaling Module in the Liverwort *Marchantia polymorpha*  
Rui Sun, 井上佳祐, 楠龍之介, 西浜竜一, 山岡尚平, 河内孝之 (京大・院・生命科学)
- PF-025 モウソウチクにおけるストリゴラクトン受容体の同定と特徴付け  
高橋郁夫<sup>1</sup>, 李国棟<sup>2</sup>, 中村英光<sup>1</sup>, 浅見忠男<sup>1</sup> (1東大院・農生科, 2浙江農林大)
- PF-026 ABA 受容体を利用したコムギの乾燥ストレス耐性の向上  
岡本昌憲<sup>1,2</sup>, 安倍史高<sup>3</sup>, 金俊植<sup>1</sup>, 辻本壽<sup>1</sup>, 花田耕介<sup>4</sup>, 妻鹿良亮<sup>1</sup> (1鳥取大・乾燥地研, 2科学技術振興機構 さきがけ, 3農研機構・作物研, 4九工大・若手研究者フロンティア研究アカデミー)
- PF-027 ヒメツリガネゴケの ABA シグナル伝達における Raf 様キナーゼ ARK アミノ末端領域の役割  
猿橋正史<sup>1</sup>, 石崎優美子<sup>1</sup>, 萩原和哉<sup>1</sup>, 小松憲治<sup>2</sup>, 梅澤泰史<sup>3</sup>, 坂田洋一<sup>4</sup>, 竹澤大輔<sup>1</sup> (1埼玉大・院・理工学, 2東農大・短・生物生産, 3農工大・院・BASE, 4東農大・院・バイオ)
- PF-028 オオムギの休眠種子および後熟種子のリン酸化プロテオーム解析  
石川慎之祐<sup>1</sup>, 高橋史憲<sup>2</sup>, 水門佐保<sup>2</sup>, Jose Maria Barrero<sup>3</sup>, Frank Gubler<sup>3</sup>, 梅澤泰史<sup>1</sup> (1東京農工大学 大学院生物システム応用科学府 梅澤研究室, 2理研・CSRS, 3CSIRO Plant Industry, Australia)
- PF-029 オーキシン誘導性 H<sup>+</sup>-ATPase リン酸化調節機構の薬理学的解析  
寺本昂平<sup>1</sup>, 高橋宏二<sup>1</sup>, 井上晋一郎<sup>1</sup>, 木下俊則<sup>2</sup> (1名古屋大・院 理学 生命理学, 2名古屋大 WPI-ITbM)
- PF-030 植物免疫の転写補助因子 NPR1 と JAZ は転写コンテキスト依存的に機能転換する  
野元美佳<sup>1</sup>, 塚越啓史<sup>2,3</sup>, 森毅<sup>1</sup>, 鈴木孝征<sup>4,5</sup>, Michael Skelly<sup>6</sup>, 岡和<sup>1</sup>, 松下智直<sup>3,7</sup>, 時澤睦朋<sup>8</sup>, 山本義治<sup>8</sup>, 東山哲也<sup>1,4,9</sup>, Steven Spoel<sup>6</sup>, 多田安臣<sup>1,2</sup> (1名古屋大・院生命理学, 2名古屋大・遺伝子, 3JST・さきがけ, 4JST・ERATO東山ライブホロニクス, 5中部大・応用生物学, 6Sch. Biol. Sci., Univ. of Edinburgh, 7九州大・農学, 8岐阜大・応用生物科学, 9名古屋大・WPI-ITbM)
- PF-031 Signaling pathway involving *SOG1* and *SnRK1* controls *Arabidopsis* development via mitochondrial ATP  
濱崎英史<sup>1,2,5</sup>, 栗原志夫<sup>1</sup>, 黒森崇<sup>3</sup>, 小林恵<sup>4</sup>, 井村優子<sup>3</sup>, 永田典子<sup>4</sup>, 島田浩章<sup>2</sup>, 山本義治<sup>5</sup>, 松井南<sup>1</sup> (1理研 CSRS 合成ゲノミクス研究チーム, 2東理大 基礎工 生物工, 3理研 CSRS 機能開発研究グループ, 4日本女子大 理, 5岐阜大 応用生物科学)
- PF-032 傷害応答性転写因子 RERJ1 のジャスモン酸シグナル伝達因子との相互作用  
Ioana Valca<sup>1</sup>, 五味剣二<sup>2</sup>, 野尻秀昭<sup>1</sup>, 岡田憲典<sup>1</sup> (1東京大学 生産生物工学研究センター 環境保全工学研究室, 2香川大学 農学部 植物ゲノム・遺伝子源解析センター)
- PF-033 ダイズ道管液における長距離移行性ペプチドの探索  
岡本暁<sup>1,2</sup>, 鈴木孝征<sup>2,3</sup>, 川口正代司<sup>4</sup>, 東山哲也<sup>2,3,5</sup>, 松林嘉克<sup>2</sup> (1理化学研究所 環境資源科学研究センター, 2名古屋大院・理, 3ERATO 東山ライブホロニクスプロジェクト, 4基礎生物学研究所, 5名古屋大・WPI-ITbM)

- PF-034 単細胞紅藻 *Cyanidioschyzon merolae* における ABA の機能  
小川勇気<sup>1</sup>, 安藤洗幸<sup>2</sup>, 華岡光正<sup>2</sup>, 田中寛<sup>1,3</sup> (1東京工業大学資源化学研究所, 2千葉大学大学院園芸学研究所, 3JST, CREST)
- PF-035 イネの転写因子 OsMYC2 を介したサクラネチン合成酵素遺伝子の転写制御機構  
小川哲史<sup>1</sup>, 宮本皓司<sup>2</sup>, 山根久和<sup>2</sup>, 野尻秀昭<sup>1</sup>, 岡田憲典<sup>1</sup> (1東大・生物生産工学研究センター, 2帝京大・理工・バイオ)

## ■ 栄養成長

- PF-036 シロイヌナズナで植物体の発生に関わる膜貫通型ロイシンリッチリピート受容体様キナーゼ STRUBBELIG のヒメツリガネゴケでの機能解析  
添石清貴<sup>1</sup>, 向井裕貴<sup>1</sup>, 瀧尾進<sup>1,2</sup>, 武智克彰<sup>1</sup>, 高野博嘉<sup>1,3</sup> (1熊大・院・自然科学, 2熊大・沿岸域, 3熊大・パルス研)
- PF-037 メロンの巻きひげ形成を制御する候補遺伝子  
中野慎也<sup>1</sup>, 園田雅俊<sup>1</sup>, 西野栄正<sup>1</sup>, 鈴木秀幸<sup>2</sup>, 佐藤隆英<sup>1</sup>, 大泉利勝<sup>3,4</sup>, 水野真二<sup>3,5</sup> (1千葉大・院・園芸, 2かずさDNA研, 3千葉農林総研セ, 4園芸植物育種研, 5日大・生物資源科学)
- PF-038 シロイヌナズナの維管束形成層の分裂活性を調節するサイトカイニン情報伝達  
 今村美友<sup>1</sup>, 島田由里菜<sup>1</sup>, 光田展隆<sup>2,3</sup>, 高木優<sup>2,4</sup>, 竹林裕美子<sup>5</sup>, 榊原均<sup>5</sup>, 山篠貴史<sup>1</sup> (1名大院・生命農, 2産総研・生物プロセス, 3埼大院・理工, 4埼大・環境セ, 5理研・CSRS)
- PF-039 YUCCA 阻害剤を用いたイネの葉の形態形成におけるオーキシン作用の解析  
久保文香, 安居佑季子, 平野博之 (東大・院理)
- PF-040 シロイヌナズナの AS1・AS2-ETT 経路を介した葉の発生・分化における *AtIPT3* とその相同遺伝子の解析  
香田佳那<sup>1</sup>, 石橋奈々子<sup>2</sup>, 小嶋美紀子<sup>3</sup>, 中川彩美<sup>1</sup>, 高橋広夫<sup>4</sup>, 榊原均<sup>3,5</sup>, 町田泰則<sup>2</sup>, 町田千代子<sup>1</sup>, 小島晶子<sup>1</sup> (1中部大・応用生物, 2名大院・理・生命理学, 3理研・CSRS, 4千葉大院・園芸, 5名大院・生命農学)
- PF-041 ケミカルバイオロジーによるシロイヌナズナの葉の向背軸分化と細胞分裂における AS1-AS2 の役割の解析  
玉井元樹<sup>1</sup>, 中川彩美<sup>1</sup>, 小島晶子<sup>1</sup>, 町田泰則<sup>2</sup>, 町田千代子<sup>1</sup> (1中部大学院・応用生物, 2名古屋大学大学院 理学研究科)
- PF-042 シロイヌナズナの成長の促進または阻害に関わる新規低分子化合物の探索  
川嵩和明<sup>1</sup>, 中川彩美<sup>2</sup>, 渥美有香<sup>1</sup>, 車炳允<sup>1</sup>, 禹済泰<sup>1</sup>, 永井和夫<sup>1</sup>, 小島晶子<sup>1</sup>, 三輪錠司<sup>3</sup>, 町田千代子<sup>1</sup> (1中部大院・応用生物, 2株式会社朝霧アグリカルチャー, 3中部大学 研究推進機構)
- PF-043 Epigenetic regulator AS1-AS2 and modifiers control the level of DNA methylation of the ETTIN locus in establishment of leaf adaxial-abaxial polarity in *Arabidopsis thaliana*  
 町田千代子<sup>1</sup>, Simon Vial-Pradel<sup>1</sup>, 中川彩美<sup>1</sup>, 伊藤卓馬<sup>1</sup>, 岩崎まゆみ<sup>1</sup>, 町田泰則<sup>2</sup>, 小島晶子<sup>1</sup> (1中部大学応用生物学部, 2名古屋大学大学院理学研究科生命理学専攻)
- PF-044 メタボローム解析によるシロイヌナズナの生長および発達におけるアブシシン酸の役割の解明  
吉田拓也<sup>1,2</sup>, 藤田泰成<sup>3,4</sup>, Alisdair R. Fernie<sup>2</sup>, 篠崎和子<sup>1</sup> (1東大院・農学生命科学, 2Max Planck Institute of Molecular Plant Physiology, 3国際農研・生物資源利用, 4筑波大院・生命環境)
- PF-045 蛍光色素を用いた道管流の可視化  
岩井由実, 福田裕穂 (東大・院理学)
- PF-046 シロイヌナズナ気孔変異体 *bagel3* の解析  
 山田千聖<sup>1</sup>, 鈴木孝征<sup>2</sup>, 東山哲也<sup>3,4,5</sup>, 中川強<sup>1</sup> (1島根大・総科セ遺伝子, 2中部大・応用生物, 3名大・WPI-ITbM, 4JST・ERATO, 5名大院・理)
- PF-047 形態形成関連ペプチド ROT4 の相互作用タンパク質の探索  
古谷朋之<sup>1</sup>, Pin Guo<sup>1,2</sup>, 森友子<sup>3</sup>, 重信秀治<sup>3</sup>, 塚谷裕一<sup>1,4</sup> (1東大・院・理, 2武漢大・生命科学, 3基生研・機能解析セ, 4岡崎統合バイオ)
- PF-048 ゼニゴケの杯状体形成に必須な R2R3-MYB 転写因子 GCAM1 の機能解析  
塚本成幸<sup>1</sup>, 菅谷友美<sup>2</sup>, 大和勝幸<sup>3</sup>, 西浜竜一<sup>4</sup>, 久保浩義<sup>5</sup>, 深城英弘<sup>1</sup>, 三村徹郎<sup>1</sup>, 河内孝之<sup>4</sup>, 石崎公庸<sup>1</sup> (1神戸大・院・理, 2総研大・生命科学・基礎生物, 3近畿大・生物理工, 4京大・院・生命科学, 5信州大・院・理工学系)
- PF-049 水生シダ *Microsorium pteropus* とその変種の葉の形態に関わる分岐構造の多様性について  
三好彩央里<sup>1</sup>, 中益朗子<sup>2</sup>, 木村成介<sup>1</sup> (1京産大・総合生命, 2九大・医学研究院)
- PF-050 ゼニゴケにおける *LATERAL SUPPRESSOR* 相同遺伝子の機能解析  
宇野真里奈<sup>1</sup>, 塚本成幸<sup>2</sup>, 深城英弘<sup>2</sup>, 三村徹郎<sup>2</sup>, 石崎公庸<sup>2</sup> (1神戸大・理, 2神戸大・院・理)

- PF-051 ゼニゴケの杯状体形成に関与する遺伝子 *GCAM2* の解析  
高見英幸<sup>1</sup>, 塚本成幸<sup>1</sup>, 増田晃秀<sup>2</sup>, 深城英弘<sup>1</sup>, 三村徹郎<sup>1</sup>, 河内孝之<sup>2</sup>, 石崎公庸<sup>1</sup> (1神戸大・院・理, 2京大・院・生命科学)
- PF-052 有用形質を制御する植物転写因子の探索  
山形翼<sup>1</sup>, 池田美穂<sup>2</sup>, 高木優<sup>2</sup> (1埼玉大・理, 2埼玉大・院理工)
- PF-053 新規ダイズ矮性変異体の原因遺伝子候補の同定  
平賀勲<sup>1</sup>, 山田哲也<sup>1</sup>, 西村実<sup>2</sup>, 小松節子<sup>1</sup> (1農研機構・作物研, 2新潟大・農)
- PF-054 形態形成を制御する転写因子 *HR0109* の機能的解析  
高橋未来哉, 池田美穂, 高木優 (埼玉大・院理工学)
- PF-055 ゼニゴケにおいて無性芽形成に必要な遺伝子、*KARAPPO* の特色  
樋渡琢真<sup>1</sup>, 山口勝司<sup>2</sup>, 重信秀治<sup>2</sup>, 澤進一郎<sup>3</sup>, 桐田啓如<sup>4</sup>, 深城英弘<sup>1</sup>, 三村徹郎<sup>1</sup>, 河内孝之<sup>4</sup>, 石崎公庸<sup>1</sup> (1神戸大・院・理, 2基生研, 3熊本大・院・自然科学, 4京都大・院・生命科学)
- PF-056 シロイヌナズナ側根形成に関わる *TOLS2* ペプチドによる遺伝子の発現制御に異常を示す変異体の解析  
青木優佳, 豊倉浩一, 篠田明德, 郷達明, 石崎公庸, 三村徹郎, 深城英弘 (神戸大・院・理)
- PF-057 ゼニゴケの表皮組織の発達に関わる *R2R3-MYB* の解析  
守越彩乃<sup>1</sup>, 石崎公庸<sup>2</sup>, 久保浩義<sup>1</sup> (1信州大理, 2神戸大院理)
- PF-058 ゼニゴケにおけるサーモスペルミンの応答解析  
古本拓也<sup>1</sup>, 大谷健人<sup>1</sup>, 石崎公庸<sup>2</sup>, 河内孝之<sup>3</sup>, 本瀬宏康<sup>1</sup>, 高橋卓<sup>1</sup> (1岡山大・院・自然科学, 2神戸大・院・理, 3京都大・院・生命科学)
- PF-059 *ERECTA* シグナルは茎頂の幹細胞維持を層特異的に制御する  
木村友香<sup>1,2</sup>, 田坂昌生<sup>3</sup>, 鳥居啓子<sup>4,5</sup>, 打田直行<sup>2</sup> (1名古屋大・院理学, 2名古屋大・ITbM, 3奈良先端大・バイオ, 4ワシントン大, 5HHMI)
- PF-060 *cop1* の矮化抑制変異 *emc1* の解析  
中川繭<sup>1</sup>, 鈴木孝征<sup>2,3</sup>, 東山哲也<sup>3,4,5</sup>, 石黒澄衛<sup>6</sup>, 鈴木均<sup>1</sup> (1石巻専修大・理工, 2中部大・応用生物, 3JST・ERATO, 4名大・ITbM, 5名大院・理, 6名大院・生命農)
- PF-061 *KORPOKKUR* 遺伝子は正常な細胞の発達と栄養生長期の相転換に必須である  
佐藤(永澤) 奈美子<sup>1</sup>, 永澤信洋<sup>1</sup>, 上田健治<sup>1</sup>, 長戸康郎<sup>2</sup>, 我彦広悦<sup>1</sup> (1秋田県立大・生物資源科学部, 2東大・院農学生命科学)
- PF-062 イネ老化特異的遺伝子 *OsNY37* によって制御される遺伝子の探索  
Yousra El mannaï, 金野菜穂, 上田健治, 佐藤(永澤) 奈美子, 我彦広悦 (秋田県立大学・生物資源科学部)
- PF-063 ゼニゴケ無性芽の発芽に関連する *bHLH* 遺伝子の同定と機能解析  
吉川実樺子<sup>1</sup>, 塚本成幸<sup>2</sup>, 深城英弘<sup>2</sup>, 三村徹郎<sup>2</sup>, 石崎公庸<sup>2</sup> (1神戸大・理, 2神戸大・院・理)
- PF-064 イネグルタレドキシシン *OsGRXC2;2* による発芽と初期生長の抑制  
森田重人<sup>1,2</sup>, 足立哲<sup>1</sup>, 中村淳一<sup>1</sup>, 足立聖佳<sup>1</sup>, 増村威宏<sup>1,2</sup>, 佐藤茂<sup>3</sup> (1京都府大院・生命環境, 2京都農技セ生資セ, 3龍谷大・農)
- PF-065 シロイヌナズナの *PI3P* 結合タンパク質 *AtFYVE* の変異体は葉の早期老化を示す  
藤木友紀<sup>1,2</sup>, 金澤夏美<sup>1</sup>, 永嶋宇<sup>1</sup>, Youngsook Lee<sup>3</sup>, 西田生郎<sup>1,2</sup> (1埼玉大・理・分子生物, 2埼玉大・院・理工, 3浦項工科大・生命科学)
- PF-066 リンゴカラムナー候補遺伝子 *91071* の根での発現解析  
和田雅人, 岡田和馬, 森谷茂樹, 花田俊男, 守谷(田中) 友紀, 本多親子, 岩波宏, 阿部和幸 (農研機構 果樹研リンゴ)

## ■ 生殖成長

- PF-067 ゼニゴケ *ALOG* ドメイン遺伝子 *MpTAW1* の機能解析  
植本悟史<sup>1</sup>, 石崎公庸<sup>2</sup>, 嶋村正樹<sup>3</sup>, 徳永浩樹<sup>1</sup>, 吉田明希子<sup>1</sup>, 塚本成幸<sup>2</sup>, 高見英幸<sup>2</sup>, 西浜竜一<sup>4</sup>, 河内孝之<sup>4</sup>, 経塚淳子<sup>1</sup> (1東北大・院・生命科学, 2神戸大・院・理, 3広島大・院・理, 4京都大・院・生命科学)
- PF-068 *TAW1* と *BOP* によるイネのメリステム相転換の制御  
徳永浩樹<sup>1</sup>, 吉田明希子<sup>1</sup>, 山崎諒<sup>2</sup>, 経塚淳子<sup>1</sup> (1東北大学大学院・生命科学研究所, 2東京大学大学院・農学生命科学研究科)

- PF-069 イネの花粉・種子形成および代謝制御におけるオートファジーの役割  
来須孝光<sup>1,2</sup>, 陶文紀<sup>3</sup>, 瀬良ゆり<sup>3</sup>, 坂本真吾<sup>4</sup>, 花俣繁<sup>2,3</sup>, 小野聖二郎<sup>5</sup>, 岡咲洋三<sup>6</sup>, 二平耕太郎<sup>3</sup>, 北畑信隆<sup>2,3</sup>, 小嶋美紀子<sup>6</sup>, 榊原均<sup>6</sup>, 斉藤和季<sup>6</sup>, 野々村賢一<sup>5</sup>, 光田展隆<sup>4</sup>, 多田雄一<sup>1</sup>, 朽津和幸<sup>2,3</sup> (1東京工科大・応用生物, 2東京理科大・イメージングフロンティアセンター, 3東京理科大・理工・応用生物科学, 4産総研・生物プロセス, 5遺伝研・実験圃場, 6理研・環境資源科学)
- PF-070 Functional Characterization of PeMADS28, a B-sister MADS-box Gene, From *Phalaenopsis equestris*  
Ching-Yu Shen<sup>1</sup>, You-Yi Chen<sup>1</sup>, Shien-Wen Lin<sup>2</sup>, Wen-Chieh Tsai<sup>1</sup> (1Institute of Tropical Plant Sciences, National Cheng Kung University, 2Lin Family Biotechnology Co.)
- PF-071 シロイヌナズナ雌しべの柱頭毛は周囲の湿度を感じて開花後に伸長する  
武田征士<sup>1,2</sup>, 落合功輝<sup>1</sup>, 坂園聡美<sup>3</sup>, 渡辺正夫<sup>3</sup>, 諏訪部圭太<sup>4</sup> (1京都府立大学, 2京都府生物資源研究センター, 3東北大学, 4三重大学)
- PF-072 単為結果性を制御する転写因子  
林陽葉莉<sup>1</sup>, 池田美穂<sup>2</sup>, 高木優<sup>2</sup> (1埼玉大・理, 2埼玉大・院理工)
- PF-073 ガンマ線で誘発したイネ閉花受粉性変異体 H193mt における複雑なゲノム再編成  
大森伸之介<sup>2</sup>, 吉田均<sup>1</sup> (1農研機構・作物研究所・稲研究領域, 2農研機構・中央農研・作物開発研究領域)
- PF-074 イネ種子形成初期における subtilisin-like protease 遺伝子の発現機能解析  
東海林愛美, 佐藤大地, 堤賢一, 斎藤靖史 (寒冷バイオフロンティア研究センター)
- PF-075 シロイヌナズナの開花時の花弁伸長におけるアクチン繊維の機能解析  
菊池駿<sup>1</sup>, 小島治世<sup>1</sup>, 松垣匠<sup>2</sup>, 豊倉浩一<sup>3</sup>, 鈴木孝征<sup>4,5</sup>, 東山哲也<sup>5,6,7</sup>, 岡田清孝<sup>8</sup>, 馳澤盛一郎<sup>2</sup>, 榊原均<sup>1,9</sup>, 石黒澄衛<sup>1</sup> (1名大院・生命農, 2東京大・院・新領域, 3神戸大・院・理, 4中部大・応用生物, 5JST・ERATO, 6名大・WPI-ITbM, 7名大院・理, 8龍谷大・農, 9理研・CSRS)
- PF-076 イネ球状型胚発生突然変異体 *odm-192* の解析  
石本聖絵, 佐藤豊 (名古屋大学大学院生命農学研究科植物遺伝育種学研究分野)
- PF-077 環境条件でトマトの花成が遅延するメカニズムに関する研究  
福井康祐, 榊原均 (理化学研究所 環境資源科学研究センター 生産機能研究グループ)
- PF-078 Self-incompatibility signaling starts from the plasma membrane in the Brassicaceae  
山本雅也<sup>1</sup>, 西尾剛<sup>1</sup>, June Nasrallah<sup>2</sup> (1東北大学大学院農学研究科植物遺伝育種分野, 2Section of Plant Biology, Cornell University)
- PF-079 花粉で発現するシステインリッチタンパク質 CR3 の機能解析  
森本大晶<sup>1</sup>, 荒川知穂<sup>1</sup>, 江草亘<sup>1</sup>, 増子-鈴木潤美<sup>2</sup>, 松嶋舞<sup>1</sup>, 鈴木剛<sup>3</sup>, 渡辺正夫<sup>2</sup>, 諏訪部圭太<sup>1</sup> (1三重大学生物資源学部, 2東北大学大学院生命科学研究科, 3大阪教育大学自然研究専攻)
- PF-080 シロイヌナズナのプライミング処理後の種子寿命に関する QTL 解析  
佐野直人, 瀬尾光範 (理研・CSRS)
- PF-081 ワサビ種子における休眠および発芽制御遺伝子の発現解析  
堀金智貴, 岡本千晶, 野末はつみ, 野川優洋, 野末雅之 (信州大学繊維学部)
- PF-082 ナス科植物ベチュニアの *Cullin1* 遺伝子群の同定と、自家不和合性反応に関する機能解析  
久保健一<sup>1</sup>, 塚原麻衣<sup>1</sup>, 円谷徹之<sup>2</sup>, 村瀬浩司<sup>1</sup>, 高山誠司<sup>1</sup> (1NAIST・バイオ, 2阪大・産業科学研)

## ■ 花成/時計

- PF-083 炭素/窒素栄養バランスに応答した花成制御機構の解析  
青山翔紀<sup>1</sup>, 森田嘉恵<sup>1</sup>, 野村有子<sup>2</sup>, 中神弘史<sup>2</sup>, 伊藤照悟<sup>3</sup>, 阿部光知<sup>4</sup>, 今泉貴登<sup>5</sup>, 佐藤長緒<sup>1</sup>, 山口淳二<sup>1</sup> (1北大院・生命, 2理研・CSRS, 3京大・院・理・植物, 4東大院・理, 5Dept. Biol., Univ. Washington)
- PF-084 イネの花序形成制御におけるフロリゲン Hd3a とアンチフロリゲン RCN の競合  
鈴木美穂<sup>1</sup>, 岡田健一郎<sup>1</sup>, 石川理恵<sup>2</sup>, 寺川千晶<sup>2</sup>, 米山桃子<sup>3</sup>, 児島長次郎<sup>3</sup>, 島本功<sup>2</sup> (1横浜市大・木原生研, 2奈良先端大・バイオ, 3阪大・蛋白研)
- PF-085 Regulation of plant growth and flowering by SET DOMAIN GROUP in light environmental response  
角谷侑香, 佐伯健, 山口暢俊, 伊藤寿朗 (奈良先端科学技術大学院大学)
- PF-086 トマトのチューベリジェンホモログ *SP6A* の分子遺伝学的解析  
山田瑞樹, 森谷智恵, 後藤弘爾 (岡山生物研)

- PF-087 ブナ *FT* 遺伝子の単離と発現解析  
大宮泰徳<sup>1</sup>, 杉山泰澄<sup>3</sup>, 松田修一<sup>4</sup>, 井頭千明<sup>3</sup>, 宮本尚子<sup>2</sup>, 赤田辰治<sup>3</sup> (1(研) 森林総合研究所, 2(研) 森林総合研究所 林木育種センター 東北育種場, 3弘前大・農学生命科学, 4岩手大・農・附属寒冷バイオフロンティア研究センター)
- PF-088 シロイヌナズナの脱アデニル化酵素 AtCCR4 による概日リズムの制御  
南雲亜希子<sup>1</sup>, 鈴木悠也<sup>2</sup>, 平井優美<sup>3</sup>, McClung C. Robertson<sup>4</sup>, Pamela J. Green<sup>5</sup>, 山口淳二<sup>2,6</sup>, 千葉由佳子<sup>2,6,7</sup> (1北大 理, 2北大 院・生命, 3理研 CSRS, 4Dept. Biol. Sci., Dartmouth Coll., 5Delaware Biotech. Inst., Univ. Delaware, 6北大 院・理, 7JST・さきがけ)

## ■ バイオリソース

- PF-089 NAD キナーゼを過剰発現した *Synechocystis* sp. PCC 6803 による PHB 生産  
長井一晃<sup>1,2</sup>, 小関良宏<sup>1,2</sup>, 山田晃世<sup>1,2</sup> (1東京農工大学大学院 工学府 生命工学専攻 小関山田研究室, 2JST-CREST)
- PF-090 シロイヌナズナ野生系を用いた研究をサポートするバイオリソース  
井内聖, 川村節子, 井内敦子, 小林正智 (理化学研究所実験植物開発室)
- PF-091 理研 BRC における平成 28 年度の植物培養細胞リソース関連事業について  
小林俊弘, 小林正智 (理研・BRC)

## ■ 光受容体/光応答

- PF-092 phot1 と phot2 による BLUS1 のリン酸化能の違いが気孔開口の光応答性を制御する  
武宮淳史, 島崎研一郎 (九州大・院理)
- PF-093 ホウライシダ青色光受容体クリプトクロムの機能同定  
野口久美子, 鐘ヶ江健 (首都大・院理工・生命科学)
- PF-094 ホウライシダ光受容体フィトクロム 3 による遺伝子発現変動の解明  
木村優希, 鐘ヶ江健 (首都大・院理工・生命科学)
- PF-095 青色光依存の気孔開口に働く AHA1C-末のリン酸化部位の機能解析  
山内翔太<sup>1</sup>, 武宮淳史<sup>2</sup>, 木下俊則<sup>3</sup>, 島崎研一郎<sup>2</sup> (1九州大学・システム生命, 2九州大学・理, 3名古屋大学・WPI-ITbM)
- PF-096 ヒメツリガネゴケの葉緑体光定位運動にともなうアクチンメッシュワーク形成とその役割  
石井遙<sup>1</sup>, 笠原賢洋<sup>2</sup>, 門田明雄<sup>1</sup> (1首都大 院・理工・生命, 2立命館大 院・生命科学・生物工学)
- PF-097 サンゴ共生藻“褐虫藻”の走光性の波長特異性と意義  
相原悠介<sup>1</sup>, 菊池彩花<sup>1,2</sup>, 丸山真一郎<sup>3</sup>, 高橋俊一<sup>1,2</sup>, 皆川純<sup>1,2</sup> (1基生研, 2総研大, 3東北大・院・生命)
- PF-098 LED 光源藻類培養装置の開発及びラン藻 *Synechococcus elongatus* PCC7942 の生育および光合成特性に及ぼす照射光波長の影響  
三根彩佳<sup>1</sup>, 木口洋輔<sup>1</sup>, 江口雄己<sup>1</sup>, 原田京一<sup>1</sup>, 田茂井政宏<sup>2</sup>, 重岡成<sup>2</sup>, 雉鼻一郎<sup>1</sup> (1(株) 日本医化器械製作所, 2近畿大・農・バイオ)
- PF-099 ヒメツリガネゴケの CDKA による光応答の制御  
Liang Bao<sup>1</sup>, 井上夏実<sup>1</sup>, 川田慎也<sup>1</sup>, 巻口勇馬<sup>1</sup>, 石橋充浩<sup>1</sup>, 野田なつみ<sup>2</sup>, 石川雅樹<sup>3,4</sup>, 比嘉毅<sup>5</sup>, 日渡祐二<sup>6</sup>, 関根政実<sup>7</sup>, 長谷部光泰<sup>3,4</sup>, 和田正三<sup>5</sup>, 藤田知道<sup>2</sup> (1北大・院生命, 2北大・院理, 3基生研・生物進化, 4総研大・生命科学, 5九大・院理, 6宮城大・食産業, 7石川県立大・生産科学)
- PF-100 シアノバクテリアの BLUF タンパク質 PixD に依存した光シグナル伝達機構  
杉本優希<sup>1</sup>, 増田真二<sup>2</sup> (1東京工業大学大学院生命理工学研究科生体システム専攻, 2東京工業大学バイオ研究基盤支援総合センター)
- PF-101 トウモロコシ幼葉鞘における Zmphot1 のリン酸化状態への青色光の影響  
鈴木洋弥<sup>1</sup>, 磯辺俊明<sup>2</sup>, 藤田千春<sup>2</sup>, 田岡万悟<sup>2</sup>, 岡本龍史<sup>1</sup>, 小柴共一<sup>1</sup> (1首都大・院生命科学, 2首都大・院分子物質化学)
- PF-102 青色光受容体フォトリピンと相互作用するプロテインキナーゼの同定と機能解析  
井上晋一郎<sup>1</sup>, Eirini Kaiserli<sup>2</sup>, 高橋宏隆<sup>3</sup>, 澤崎達也<sup>3</sup>, 木下俊則<sup>4</sup>, John M Christie<sup>2</sup>, Zhang Xiao<sup>5</sup>, 武宮淳史<sup>6</sup>, 島崎研一郎<sup>6</sup> (1名古屋大学 理学部 生命理学科, 2グラスゴー大, 3愛媛大 プロテオサイエンスセンター, 4名古屋大 トランスフォーマティブ生命分子研究所, 5河南大, 6九州大 理学部 生物学科)

- PF-103 気孔運動における PP2C-D の機能解析  
杉本穂高<sup>1</sup>, 高橋洋平<sup>1,2</sup>, 林優紀<sup>1</sup>, 高橋宏二<sup>1</sup>, 井上晋一郎<sup>1</sup>, Mee Yeon Park<sup>3</sup>, William.M Gray<sup>3</sup>, 木下俊則<sup>1,4</sup> (1名古屋大学大学院理学研究科, 2カリフォルニア大学, 3ミネソタ大学, 4名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所)
- PF-104 光環境応答による葉老化制御機構の生理学的解析  
小塚俊明<sup>1</sup>, 下野起将<sup>1</sup>, 井上良平<sup>1</sup>, 草場信<sup>1,2</sup> (1広島大・院理学, 2CREST)
- PF-105 トウモロコシ幼根の重力屈性には光照射による IAA の新規合成が必要である  
陽川憲<sup>1,2</sup>, 鈴木洋弥<sup>1</sup>, 中野紗佑里<sup>1</sup>, 吉田侑里子<sup>1</sup>, 岡本龍史<sup>1</sup>, Frantisek Baluska<sup>2</sup>, 小柴共一<sup>1</sup> (1首都大学東京理工学研究科生命科学専攻, 2ボン大学植物細胞生物学専攻)
- PF-106 苔類ゼニゴケにおける細胞核光定位運動  
岩淵功誠<sup>1</sup>, 小松愛乃<sup>2</sup>, 酒井友希<sup>2</sup>, 田村謙太郎<sup>1</sup>, 高木慎吾<sup>3</sup>, 河内孝之<sup>2</sup>, 西村いくこ<sup>1</sup> (1京都大・院理, 2京都大・院生命, 3大阪大・院理)

## ■ オルガネラ/細胞骨格

- PF-107 NMCP1-Tail ドメインと相互作用する核タンパク質の同定  
望月遼太, 津釜大侑, 藤野介延, 増田清 (北大・院農)
- PF-108 フラグモプラスト局在キネシン様タンパク質 NtPAKRP2 の BY-2 細胞における機能  
安原裕紀, 井上真以美, 矢田昌敏, 大西夏佳, 仲舟井舞子, 中井英太, 吉本智 (関西大 化学生命工学部)
- PF-109 シロイヌナズナ CRUMPLED LEAF タンパク質と相互作用するタンパク質の同定と解析  
柴田奨悟<sup>1</sup>, 村田綾<sup>1</sup>, 青木雄哉<sup>1</sup>, 氏原麻衣<sup>1</sup>, 野元美佳<sup>2</sup>, 多田安臣<sup>2</sup>, 吉岡泰<sup>1</sup> (1名大院・理・生命理, 2名大・遺伝子)
- PF-110 クラミドモナスとゼニゴケのタンパク質性 RNase P の解析  
杉田千恵子<sup>1</sup>, 松尾拓哉<sup>1</sup>, 西浜竜一<sup>2</sup>, 河内孝之<sup>2</sup>, 杉田護<sup>1</sup> (1名大・遺伝子, 2京大・院生命科学)
- PF-111 ヒメツリガネゴケ葉緑体の pre-RNA のスプライシングに関与する PPR タンパク質  
後藤誠也<sup>1</sup>, 一瀬瑞穂<sup>1,2</sup>, 杉田千恵子<sup>1</sup>, 杉田護<sup>1</sup> (1名大遺伝子, 2名大トランスフォーマティブ生命分子研)
- PF-112 ヒメツリガネゴケ PPR タンパク質の RNA 塩基認識の解析  
松田拓也<sup>1</sup>, 一瀬瑞穂<sup>1,2</sup>, 杉田護<sup>1</sup> (1名大・遺伝子, 2名大・WPI-ITbM)
- PF-113 シロイヌナズナ葉緑体 ABC トランスポーターの解析  
西村健司, 加藤裕介, 坂本亘 (岡山大・植物研)
- PF-114 老化葉で発現するヌクレアーゼ DPD1 は RNA ではなく二本鎖および一本鎖 DNA を分解する  
大西紀和, 高見常明, 坂本亘 (岡山大・植物研)
- PF-115 ゼニゴケミトコンドリア mRNA ポリ A 尾部長制御因子の解析  
金澤まい<sup>1</sup>, 池田陽子<sup>2</sup>, 西浜竜一<sup>3</sup>, 山岡尚平<sup>3</sup>, 河内孝之<sup>3</sup>, 平山隆志<sup>2</sup> (1岡大・院環境生命, 2植物研, 3京大・院生命科学)
- PF-116 オルガネラヌクレアーゼ DPD1 の欠損は成長に影響する  
高見常明, 坂本亘 (岡山大・植物研)
- PF-117 プラスチドシグナル伝達における CONSTANS-LIKE タンパク質の役割  
川尻果林<sup>1</sup>, 矢津美美子<sup>1</sup>, 安達ふみ<sup>1</sup>, 西田文香<sup>1</sup>, 稲葉靖子<sup>1,2</sup>, 柿崎智博<sup>3</sup>, 稲葉丈人<sup>1</sup> (1宮崎大・農, 2宮崎大・テニウアトラック機構, 3農研機構・野茶研)
- PF-118 Myosin XI-F specifically expressed in sink tissues and responsible for cytoplasmic streaming  
渋谷優乃<sup>1</sup>, 段中瑞<sup>1</sup>, 原口武士<sup>2</sup>, 中野明彦<sup>3,4</sup>, 伊藤光二<sup>2</sup>, 富永基樹<sup>1</sup> (1早稲田大・教育, 2千葉大・院生物, 3東大・院生物科学, 4理研・光量子高価研究領域)
- PF-119 Comparative analysis of tissue-specific expression in different myosin XI members  
萩野奈々子<sup>1</sup>, 段中瑞<sup>1</sup>, 原口武士<sup>2</sup>, 塚谷裕一<sup>3</sup>, 中野明彦<sup>3,4</sup>, 伊藤光二<sup>2</sup>, 富永基樹<sup>1</sup> (1早稲田大・教育, 2千葉大・院生物, 3東大・院生物科学, 4理研・光量子工学研究領域)
- PF-120 テオフィリン依存型人工リボスイッチを用いた葉緑体遺伝子発現誘導系の開発  
中平洋一<sup>1</sup>, 小川教司<sup>2</sup>, 戸澤譲<sup>3</sup>, 椎名隆<sup>4</sup> (1茨大・農学, 2愛媛大・PROS, 3埼玉大・院理工学, 4京府大・生命環境)
- PF-121 シロイヌナズナにおけるミトコンドリア Ca<sup>2+</sup>制御因子の解析  
泉田颯太<sup>1</sup>, 艾原佐紀<sup>1</sup>, 濱谷昭寿<sup>1</sup>, ヤマモト洋子<sup>2</sup>, 椎名隆<sup>1</sup> (1京府大・生命環境, 2岡山大・植資研)
- PF-122 Involvement of a RNA-binding protein, NUS1, in the maintenance of chloroplast rRNA at low temperature in *Arabidopsis*  
江原涼美, 射場厚, 楠見健介 (九州大学・理・生物科学)

- PF-123 トウモロコシにおける細胞種特異的な葉緑体 *ndh* 遺伝子発現機構の解析  
矢野晴菜, 福田裕也, 石橋幸大, 西村芳樹, 鹿内利治 (京大・院理学)
- PF-124 器官のねじれ形質への各細胞層の寄与  
加藤壮英<sup>1</sup>, 市村朋子<sup>1</sup>, 平井祐貴<sup>1</sup>, 足立侑実子<sup>1</sup>, 寶金佐和子<sup>1</sup>, 藤田智史<sup>2</sup>, 八木慎宜<sup>3</sup>, 橋本隆<sup>1</sup> (1奈良先端大・バイオ, <sup>2</sup>ローザンヌ大, <sup>3</sup>東京理科大・理工学・応用生物科)
- PF-125 ゼニゴケの胞子発芽に伴うオルガネラと細胞骨格の動態  
酒井友希<sup>1</sup>, 西浜竜一<sup>2</sup>, 河内孝之<sup>2</sup>, 馳澤盛一郎<sup>1</sup>, 桧垣匠<sup>1</sup> (1東大・院・新領域・先端生命, <sup>2</sup>京大・院・生命科学)
- PF-126 葉の葉緑体と根の白色体におけるストレス誘導 Ca<sup>2+</sup>シグナル  
小谷美穂, 岩城宇律, 椎名隆 (京府大・院生命環境)
- PF-127 イネ科植物のプラスチド形質転換  
西村明日香<sup>1,2</sup>, 大熊二郎<sup>2</sup>, 広瀬佳嗣<sup>2</sup>, 廣瀬文昭<sup>3</sup>, 田部井豊<sup>3</sup>, 堤伸浩<sup>1</sup>, 近藤康弘<sup>2</sup> (1東京大学大学院農学生命科学研究科, <sup>2</sup>株式会社ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン, <sup>3</sup>農業生物資源研究所)

## ■ 細胞壁

- PF-128 Analysis Of Dof transcription Factors Regulating Property Of Secondary Cell Walls  
Yasagi Ramachandran<sup>1</sup>, Misato Ohtani<sup>1,2</sup>, Taku Demura<sup>1,2</sup> (1Graduate school of Biological Sciences, NAIST, <sup>2</sup>RIKEN,CSRS)
- PF-129 シロイヌナズナの低カルシウム感受性変異株から得られた復帰変異株の解析  
浅田真由, 鹿内勇佑, 神谷岳洋, 藤原徹 (東大・院農学生命科学)
- PF-130 シロイヌナズナにおける低カルシウム感受性変異株の発現プロファイルの解析  
鹿内勇佑<sup>1</sup>, 浅田真由<sup>1</sup>, 山上睦<sup>2</sup>, 神谷岳洋<sup>1</sup>, 藤原徹<sup>1</sup> (1東大院・農, <sup>2</sup>環技研)
- PF-131 シロイヌナズナ リプロース-5-リン酸イソメラーゼ候補遺伝子の解析  
野口瑞木, 小林優, 間藤徹 (京都大・院農)
- PF-132 仮道管形成分子機構理解に向けたテータマツ VNS 遺伝子の解析  
秋吉信宏<sup>1</sup>, 中野仁美<sup>1</sup>, 榎田雄佑<sup>1</sup>, 大谷美沙都<sup>1,2</sup>, 出村拓<sup>1,2</sup> (1奈良先端科学技術大学院大学, <sup>2</sup>理研CSRS)
- PF-133 冬期ポプラの導管液中に豊富に含まれる 25 kDa タンパク質の発現に対する環境要因の効果  
青原勉, 古川純, 佐藤忍 (筑波大学 生命環境系)
- PF-134 サルフアメチゾールによる表層微小管配向の攪乱は本部道管細胞分化における二次細胞壁パターン形成異常を引き起こす  
家門絵理<sup>1</sup>, Edouard Pesquet<sup>2</sup>, 米田新<sup>1</sup>, 出村拓<sup>1</sup> (1奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科, <sup>2</sup>Department of Ecology, Environment and Plant Science, Stockholm university)
- PF-135 Structure and function of xylan blocks involved in exine formation in Arabidopsis developing pollen grains  
竹村駿介<sup>1</sup>, 速水彩子<sup>1</sup>, 江崎恭子<sup>1</sup>, 鈴木孝征<sup>2,3</sup>, 佐藤良勝<sup>4</sup>, 東山哲也<sup>3,4,5</sup>, 榎原均<sup>1,6</sup>, 石黒澄衛<sup>1</sup> (1名大院・生命農学, <sup>2</sup>中部大・応用生物, <sup>3</sup>JST・ERATO, <sup>4</sup>名大・WPI-ITbM, <sup>5</sup>名大院・理, <sup>6</sup>理研・CSRS)
- PF-136 タンパク質質量分析と CRISPR/Cas9 ゲノム編集を用いたゼニゴケ離生細胞間隙形成制御因子の探索  
水谷未耶<sup>1</sup>, 石崎公庸<sup>1,2</sup>, 深尾陽一朗<sup>3</sup>, 藤原正幸<sup>4</sup>, 増田晃秀<sup>1</sup>, 西浜竜一<sup>1</sup>, 河内孝之<sup>1</sup> (1京大・院・生命, <sup>2</sup>神戸大・院・理, <sup>3</sup>立命館大・生命, <sup>4</sup>慶応大・先端生命研)
- PF-137 ホウ素欠除に対するシロイヌナズナ根の初期応答の生成メカニズムの解析  
宮本真亜子, 小林優, 間藤徹 (京都大学大学院 農学研究科 応用生命科学専攻)
- PF-138 特異的分解酵素を導入した植物の生体内アラビノガラクトサン-プロテイン糖鎖の分解  
吉見圭永<sup>1</sup>, 吉村真美<sup>1</sup>, 八鍬頼誠<sup>1</sup>, 芝野誠二<sup>2</sup>, 出崎能丈<sup>3</sup>, 澁谷直人<sup>3</sup>, 円谷陽一<sup>1</sup>, 小竹敬久<sup>1</sup> (1埼玉大・院理工, <sup>2</sup>埼玉大・理, <sup>3</sup>明治大・農)
- PF-139 シロイヌナズナ切断花茎の組織癒合における原形質連絡カロール結合タンパク質の関与  
吉原さくら<sup>1</sup>, 青原勉<sup>1</sup>, 松岡啓太<sup>2</sup>, 朝比奈雅志<sup>2</sup>, 佐藤忍<sup>1</sup> (1筑波大学, <sup>2</sup>帝京大学)
- PF-140 Deep-imaging of cell wall reconstruction process during cyst nematode induced-syncytium formation  
大津美奈<sup>1</sup>, 寿崎拓哉<sup>2</sup>, 佐藤良勝<sup>3</sup>, 栗原大輔<sup>1,4</sup>, 川口正代司<sup>5</sup>, 丸山大輔<sup>3</sup>, 東山哲也<sup>1,3,4</sup> (1名大・院・理, <sup>2</sup>筑波大・遺伝子実験センター, <sup>3</sup>名大・WPI-ITbM, <sup>4</sup>JST・ERATO, <sup>5</sup>基生研)
- PF-141 茎寄生植物ネナシカズラの寄生過程において宿主境界面で見られる細胞壁成分の変化  
穂積亮敬<sup>1</sup>, 横山隆亮<sup>2</sup>, 西谷和彦<sup>2</sup>, 青木考<sup>1</sup> (1大阪府立大・院生命環境科学, <sup>2</sup>東北大・生命科学)

- PF-142 ポプラの二次木部細胞において表層微小管の空間構造を制御する転写因子の同定  
高田直樹<sup>1</sup>, 谷口亨<sup>1,2</sup> (1(研) 森林総研・森林バイオ, 2(研) 森林総研・林木育セ)
- PF-143 低カルシウム感受性変異株の解析により明らかになったカスパー線とスベリンによるアポプラスト障壁の協調した形成  
李保海<sup>1</sup>, 神谷岳洋<sup>1</sup>, Lothar Kalmbach<sup>2</sup>, 山上睦<sup>3</sup>, 山口勝司<sup>4</sup>, 重信秀治<sup>4</sup>, 澤進一郎<sup>5</sup>, John M.C. Danku<sup>6</sup>, David E. Salt<sup>6</sup>, Niko Geldner<sup>2</sup>, 藤原徹<sup>1</sup> (1東大院・農, 2ローザンヌ大, 3環境研, 4基生研, 5熊本大, 6アバディーン大)

## ■ 免疫

- PF-144 イネの細胞膜マイクロドメインに局在する NADPH オキシダーゼは自然免疫に関与する  
長野稔<sup>1</sup>, 島本功<sup>2</sup>, 川合真紀<sup>1</sup> (1埼玉大・院・理工, 2奈良先端大・バイオ)
- PF-145 Two U-box ubiquitin ligases positively contribute to MAMP-responsive MEKK1 - MKK1/MKK2 - MPK4 pathway in *Arabidopsis*  
小林孝博<sup>1</sup>, 久保佑太<sup>1</sup>, 樋尾隼平<sup>1</sup>, 溝口剛<sup>2</sup>, Alexander Graf<sup>3</sup>, 高橋史憲<sup>4</sup>, 篠崎一雄<sup>4</sup>, 白須賢<sup>4</sup>, 市村和也<sup>1</sup> (1香大農, 2ICU教養自然科学, 3Sainsbury Lab., JIC, UK, 4理研CSRS)
- PF-146 シロイヌナズナ *mekk1* 変異体において誘導される防御反応活性化と *R* 遺伝子 *SMN1* の関与  
高木桃子<sup>1</sup>, Alexander Graf<sup>2</sup>, David Greenshields<sup>3</sup>, 高木宏樹<sup>4</sup>, 篠崎一雄<sup>3</sup>, 寺内良平<sup>4</sup>, 白須賢<sup>3</sup>, 市村和也<sup>1</sup> (1香大院・農, 2Sainsbury Lab., JIC, UK, 3理研CSRS, 4岩手生工研)
- PF-147 シロイヌナズナ *mekk1* 経路変異体表現型に関与する *R* 遺伝子 *SMN1* の解析  
濱野康平<sup>1</sup>, 高木桃子<sup>1</sup>, Alexander Graf<sup>2</sup>, David Greenshields<sup>3</sup>, 高木宏樹<sup>4</sup>, 篠崎一雄<sup>3</sup>, 寺内良平<sup>4</sup>, 白須賢<sup>3</sup>, 市村和也<sup>1</sup> (1香大院農, 2Sainsbury Lab., JIC, UK, 3理研CSRS, 4岩手生工研)
- PF-148 *Pseudomonas fluorescens* による植物生長促進作用メカニズムの解析  
大浦麻里<sup>1</sup>, 奥野圭祐<sup>2</sup>, 田中雄矢<sup>2</sup>, 中岡知則<sup>2</sup>, 阿野貴司<sup>1,2</sup>, 岡南政宏<sup>1,2</sup> (1近畿大学大学院生物工学専攻, 2近畿大学生物理工学部生物工学科)

## ■ バイオインフォーマティクス

- PF-149 AtCAST3.1: トランスクリプトームデータ解析 Web サーバーのアップデート・遺伝子が発現変動している実験の検索機能追加  
笥雄介, 嶋田幸久 (横浜市立大学木原生物学研究所植物応用ゲノム科学部門)
- PF-150 GC-MS/MS を利用した植物メタボロミクス  
Yutaka Yamada<sup>1</sup>, 岡本真美<sup>1</sup>, 高信淳子<sup>1</sup>, 澤田有司<sup>1</sup>, 櫻井哲也<sup>1,2</sup>, 平井優美<sup>1</sup> (1国立研究開発法人 理化学研究所 環境資源科学研究センター, 2高知大・複合)
- PF-151 被子植物および藻類におけるタンパク質の翻訳後修飾部位とディスプレイ領域の関係  
黒谷篤之<sup>1</sup>, トクマコフアレクサンダー<sup>2</sup>, 山田豊<sup>1</sup>, 黒田裕<sup>3</sup>, 篠崎一雄<sup>1</sup>, 櫻井哲也<sup>1,4</sup> (1理研・CSRS, 2神戸大・自然, 3東京農工大・工, 4高知大・複合)
- PF-152 シロイヌナズナおよび作物植物の RNA-seq データを用いた遺伝子発現解析用リファレンス遺伝子の探索  
工藤徹<sup>1</sup>, 佐々木陽平<sup>1</sup>, 寺島伸<sup>1</sup>, 松田(今井)典子<sup>1</sup>, 高野知之<sup>1</sup>, 齋藤美沙<sup>1</sup>, 菅野真麻<sup>1</sup>, 諏訪部圭太<sup>2</sup>, 鈴木剛<sup>3</sup>, 渡辺正夫<sup>4</sup>, 松岡誠<sup>5</sup>, 高山誠司<sup>6</sup>, 矢野健太郎<sup>1</sup> (1明治大・農, 2三重大・院生物資源学, 3大阪教育大・自然研究, 4東北大・院生命科学, 5名古屋大・生物機能開発利用, 6奈良先端大・院バイオサイエンス)

## ■ ゲノム

- PF-153 RIL を用いたソルガムステイグリーン QTL の解析  
ワヒンヤフィオナワセラ<sup>1</sup>, 小童谷利恵<sup>1</sup>, 鐘ヶ江弘美<sup>2</sup>, 高梨秀樹<sup>2</sup>, 藤本優<sup>2</sup>, 石森元幸<sup>2</sup>, 小林正明<sup>4</sup>, 矢野健太郎<sup>4</sup>, 大西紀和<sup>1</sup>, 岩田洋佳<sup>2</sup>, 草場信<sup>3</sup>, 堤伸浩<sup>2</sup>, 坂本亘<sup>1</sup> (1岡山大学 資源植物科学研究所, 2東京大学 農学生命科学研究科, 3広島大学 理学研究科, 4明治大学 農学部)
- PF-154 ソルガム RIL の高密度マップデータの作製とステイグリーン他 QTL の解析  
坂本亘<sup>1</sup>, Fiona Wacera<sup>1</sup>, 小童谷利恵<sup>1</sup>, 高梨秀樹<sup>2</sup>, 藤本優<sup>2</sup>, 鐘ヶ江弘美<sup>2</sup>, 石森元幸<sup>2</sup>, 小林正明<sup>3</sup>, 矢野健太郎<sup>3</sup>, 大西紀和<sup>1</sup>, 岩田洋佳<sup>2</sup>, 草場信<sup>4</sup>, 堤伸浩<sup>2</sup> (1岡山大・植物研, 2東京大・院・農学生命, 3明治大・農, 4広島大・院・理)
- PF-155 植物由来アミノアシル tRNA 合成酵素の二次機能の探索  
川島萌華<sup>1</sup>, 佐賀裕亮<sup>1</sup>, 伊藤耕一<sup>2</sup>, 川上直人<sup>1</sup>, 久城哲夫<sup>1</sup> (1明治大・院農, 2東大・院新領域)

- PF-156 組換え自殖系統のリシーケンスによるミヤコゲサゲノム情報の高度化  
佐藤修正<sup>1,2</sup>, Niraj Shah<sup>3</sup>, Mikkel Heide Schierup<sup>4</sup>, 日下部翔平<sup>1</sup>, 平川英樹<sup>2</sup>, Jens Stougaard<sup>3</sup>, Stig Uggerhoj Andersen<sup>3</sup>  
(<sup>1</sup>東北大・院生命科学, <sup>2</sup>かずさDNA研, <sup>3</sup>Dept. Mol. Biol. Genet., Aarhus Univ., <sup>4</sup>Bioinfo. Res. Cent., Aarhus Univ.)

## ■ システム生物学

- PF-157 CATchUP: 大規模遺伝子発現データに基づく特異的発現遺伝子の網羅的探索とデータベース構築  
中村幸乃, 工藤徹, 寺島伸, 菅野真麻, 齋藤美沙, 松田典子, 浅野さとみ, 矢野健太郎 (明治大学 農学部 バイオインフォマティクス研究室)
- PF-158 De novo assembly and characterization of insect gall transcriptome in *Litsea acuminata*  
林斯賢<sup>1,2</sup>, 黄盟元<sup>3</sup>, 施廷翰<sup>1</sup>, 張永達<sup>2</sup>, 孫智雯<sup>2</sup>, 楊棋明<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Biodiversity Research Center, Academia Sinica, Taiwan, <sup>2</sup>Department of Life Science, National Taiwan Normal University, Taiwan, <sup>3</sup>Department of Horticulture and Biotechnology, Chinese Culture University, Taiwan)
- PF-159 ダイコンのメタボローム解析における前処理方法—凍結乾燥処理を中心とした解析—  
西村光平<sup>1,2</sup>, 若山正隆<sup>1,3</sup>, 曾我朋義<sup>1,2,3</sup>, 富田勝<sup>1,2,3</sup> (慶大・先端生命研, <sup>2</sup>慶大・環境情報, <sup>3</sup>慶大・院・政策・メディア)
- PF-160 玄米の発芽に伴う代謝変動の解析  
松田りら<sup>1,2</sup>, 若山正隆<sup>1,3</sup>, 曾我朋義<sup>1,2,3</sup>, 富田勝<sup>1,2,3</sup> (慶大・先端生命研, <sup>2</sup>慶大・環境情報, <sup>3</sup>慶大・院・政策・メディア)

## ■ 膜交通

- PF-161 分泌経路を介して葉緑体タンパク質輸送に関与する TMPs の解析  
及川和聡<sup>1</sup>, 猪俣拓也<sup>2</sup>, 中山勇希<sup>2</sup>, 伊藤七実子<sup>2</sup>, 石山隆一<sup>2</sup>, 谷内智子<sup>2</sup>, 高松壮<sup>2</sup>, 古賀彩<sup>1</sup>, 金古堅太郎<sup>2</sup>, 三ツ井俊明<sup>1,2</sup> (新潟大学 農学部 応用生物化学科, <sup>2</sup>新潟大学 自然科学)
- PF-162 ホウ酸チャネルの ER exit に重要な因子 KNS3/SPOT1 の同定  
中村俊介<sup>1</sup>, 上原匡貴<sup>1</sup>, 竹村駿介<sup>3</sup>, 石黒澄衛<sup>3</sup>, 神谷岳洋<sup>4</sup>, 藤原徹<sup>4</sup>, 内藤哲<sup>1,2</sup>, 高野順平<sup>1</sup> (北北大・院農, <sup>2</sup>北大・院生命科学, <sup>3</sup>名大・院生命農, <sup>4</sup>東大・院農生命科学)
- PF-163 イネの登熟種子における RNA 顆粒輸送の解析  
Ai Terayama<sup>1</sup>, Kota Abe<sup>1</sup>, Wakako Sugimoto<sup>1</sup>, Toshihiro Kumamaru<sup>3</sup>, Thomas Okita<sup>4</sup>, Andy Crofts<sup>1,2</sup> (国際教養大学, 国際教養学部, <sup>2</sup>秋田県立大学, 生物生産科学科, <sup>3</sup>九州大学, 植物遺伝子資源学分野, <sup>4</sup>Washington St. Univ., Inst. of Biol. Chem.)
- PF-164 シロイヌナズナにおけるクラスリン被覆タンパク質の積荷認識配列の機能解析  
高畑周平<sup>1</sup>, 吉田昇平<sup>2</sup>, 松波絵里香<sup>2</sup>, 山内淳司<sup>3,4</sup>, 地阪光生<sup>1</sup>, 長屋敦<sup>1</sup>, 横田一成<sup>1</sup>, 中川強<sup>2</sup>, 西村浩二<sup>2</sup> (島根大・生物資源, <sup>2</sup>島根大・総科セ・遺伝子, <sup>3</sup>国立成育セ研・薬剤治療研, <sup>4</sup>東京医歯大院・医歯総研)
- PF-165 シロイヌナズナ PLD $\zeta$  の細胞生物学的機能  
島村亮太<sup>1</sup>, 谷口 (山本) 幸美<sup>2</sup>, 加藤真理子<sup>1</sup>, 柘植知彦<sup>1</sup>, 青山卓史<sup>1</sup> (京大・化研, <sup>2</sup>関西学院大・院理工学)

## ■ 生体膜/イオン・物質輸送

- PF-166 シロイヌナズナミトコンドリアキャリアタンパク質の輸送活性に対するカルジオリピンの影響  
井上寛之<sup>1</sup>, 戸澤讓<sup>2</sup>, 野澤彰<sup>1</sup> (愛媛大学プロテオサイエンスセンター, <sup>2</sup>埼玉大学大学院理工学研究科)
- PF-167 ホウ酸輸送体 BORI の液胞輸送制御に重要なアミノ酸残基の同定と機能解析  
荻野由香<sup>1</sup>, 三浦弓佳<sup>2</sup>, 和久田真司<sup>1,4</sup>, 内藤哲<sup>3</sup>, 高野順平<sup>1</sup> (北北大・院農, <sup>2</sup>北大・院農, <sup>3</sup>北大・院・生命, <sup>4</sup>ヤンマー株式会社)
- PF-168 海洋性珪藻リン酸輸送体候補タンパク質  
福地庸平, 杉山俊樹, 木村奈々恵, 中島健介, 松田祐介 (関西学院大学 理工学部)
- PF-169 シロイヌナズナにおけるシアノバクテリアの重炭酸イオン輸送体 SbtA の葉緑体内包膜へのターゲティング  
上原晋<sup>1</sup>, 安達ふみ<sup>2</sup>, 稲葉靖子<sup>2,3</sup>, 稲葉丈人<sup>2</sup> (宮崎大・院農・植生, <sup>2</sup>宮崎大・農・植生, <sup>3</sup>宮崎大・テニユアトラック推進機構)
- PF-170 根における安定したホウ素吸収には輸送体の素早い環境応答が重要である  
反田直之<sup>1,3</sup>, 藤原徹<sup>1</sup>, Athanasius F.M. Marée<sup>2</sup>, Verónica A. Grieneisen<sup>2</sup> (東大院・農学生命科学, <sup>2</sup>CSB, John Innes Centre, <sup>3</sup>日本学術振興会特別研究員DC)

- PF-171 キメラ ALMT 輸送体の三価陽イオンへの応答促進  
佐々木孝行<sup>1</sup>, 土屋善幸<sup>1</sup>, 有吉美智代<sup>1</sup>, Peter Ryan<sup>2</sup>, 山本洋子<sup>1</sup> (1岡山大学 資源植物科学研究所, <sup>2</sup>CSIRO Agriculture)
- PF-172 Rice stomatal closure requires guard cell plasma membrane ATP-binding cassette transporter RCN1/OsABCG5  
松田修一<sup>1</sup>, 高野翔<sup>2</sup>, 佐藤萌子<sup>2</sup>, 長澤秀高<sup>2</sup>, 吉川祥子<sup>2</sup>, 得字圭彦<sup>2</sup>, 矢崎一史<sup>3</sup>, 中園幹生<sup>4</sup>, 高牟禮逸郎<sup>5</sup>, 加藤清明<sup>2</sup>  
(<sup>1</sup>岩手大学 寒冷バイオフィロンティア研究センター, <sup>2</sup>帯広畜産大学, <sup>3</sup>京都大学生存圏研究所, <sup>4</sup>名古屋大学大学院生命農学研究科, <sup>5</sup>北海道大学大学院農学研究院)
- PF-173 LC5 はイネにおいて複数の金属輸送を制御する  
田中伸裕<sup>1</sup>, 浦口晋平<sup>2</sup>, 大森良弘<sup>1</sup>, 斎藤彰宏<sup>3</sup>, 梶川昌孝<sup>4</sup>, 藤原徹<sup>1</sup> (1東大院・農, <sup>2</sup>北里大・公衆衛生, <sup>3</sup>東農大・生応化, <sup>4</sup>京大院・生命科学)
- PF-174 イネ細胞膜型アクアポリン OsPIP1;1 の細胞内輸送  
高橋永暉<sup>1</sup>, 松本直<sup>2</sup>, 岩崎郁子<sup>1</sup> (1秋田県立大学大学院 生物資源科学専攻 細胞機能学研究室, <sup>2</sup>農研機構 中央農研)
- PF-175 インド型品種タカナリと日本型品種コシヒカリの安定セシウム (<sup>137</sup>Cs) の吸収と体内蓄積に及ぼすカリウム施肥の影響  
村井(羽田野)麻理<sup>1</sup>, 林秀洋<sup>1</sup>, 富永陽子<sup>1</sup>, 松波麻耶<sup>1,3</sup>, 石川淳子<sup>2</sup>, 藤村恵人<sup>1</sup>, 戸上和樹<sup>1</sup>, 三浦憲蔵<sup>1</sup>, 近藤始彦<sup>4</sup>  
(1農研機構東北農業研究センター, <sup>2</sup>農研機構作物研究所, <sup>3</sup>日本学術振興会特別研究員, <sup>4</sup>名古屋大学大学院生命農学研究科)
- PF-176 イネ根におけるアクアポリンの局在性, およびイネ根の形態変化がアクアポリンの遺伝子発現量におよぼす影響について  
林秀洋<sup>1</sup>, 村井(羽田野)麻理<sup>1</sup>, 石川(櫻井)淳子<sup>2</sup>, 富永陽子<sup>1</sup>, 松波麻耶<sup>1,3</sup> (1農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター, <sup>2</sup>農業・食品産業技術総合研究機構 作物研究所, <sup>3</sup>日本学術振興会 特別研究員)
- PF-177 Physiological effects of loss-of-function mutations of enzymes involved in pyrophosphate metabolism depending on nitrogen  
福田菜由<sup>1</sup>, 瀬上紹嗣<sup>1</sup>, 巴山貴晶<sup>1</sup>, 郡司玄<sup>2</sup>, Ali Ferjani<sup>2</sup>, 前島正義<sup>1</sup> (1名古屋大・院生命農, <sup>2</sup>東京学芸大・教育・生命)
- PF-178 オオムギとイネの過酸化水素輸送性アクアポリン  
且原真木<sup>1</sup>, 中原由揮<sup>1</sup>, 堀江智明<sup>2</sup>, Jiye Rhee<sup>3</sup>, 柴坂三根夫<sup>1</sup> (1岡山大・植物研, <sup>2</sup>信州大・繊維, <sup>3</sup>Leibniz Inst. Plant Genet. Crop Plant Res., Germany)
- PF-179 落葉木本植物 (*Populus alba*) における葉内リン代謝の季節変動  
岩村青子<sup>1</sup>, 栗田悠子<sup>1</sup>, 馬場啓一<sup>2</sup>, 大西美輪<sup>1</sup>, 小菅桂子<sup>1</sup>, 石崎公庸<sup>1</sup>, 深城英弘<sup>1</sup>, 三村徹郎<sup>1</sup> (1神戸大院・理, <sup>2</sup>京大・生存研)

## ■ 光捕集系・光合成色素

- PF-180 クラミドモナスのステート遷移における光捕集タンパク質の移動を極低温顕微分光法で検証する  
伊藤稚菜<sup>1</sup>, 鷲山研人<sup>2</sup>, 福村裕史<sup>2</sup>, 柴田穰<sup>2</sup> (1東北大学理学部, <sup>2</sup>東北大学理学研究科)
- PF-181 【演題取り下げ】
- PF-182 緑色硫黄細菌の光捕集器官クロロソーム変異株の糖脂質組成解析  
塚谷祐介<sup>1,2</sup>, 溝口正<sup>3</sup>, 民秋均<sup>3</sup> (1東工大・地球生命研, <sup>2</sup>JST・さきがけ, <sup>3</sup>立命館大院・生命科学)
- PF-183 ケトカロテノイドを有する色素タンパク質複合体における超高速エネルギー移動  
秋本誠志<sup>1</sup>, 三室守<sup>2</sup>, 村上明男<sup>3</sup> (1神戸大学分子フォトサイエンス研究センター, <sup>2</sup>京都大学大学院人間・環境学研究科, <sup>3</sup>神戸大学内海域環境教育研究センター)
- PF-184 RNA 編集によるアミノ酸残基改変の暗所作動型プロトクロロフィリド還元酵素活性への影響  
山川壽伯<sup>1</sup>, 山本治樹<sup>2</sup>, 藤田祐一<sup>3</sup> (1名大・院・物質科学, <sup>2</sup>インディアナ大・分子細胞生化学, <sup>3</sup>名大・院・生命農)
- PF-185 珪藻 *Chaetoceros calcitrans* のクロロフィル-a の構造と機能  
溝口正<sup>1</sup>, 伊佐治恵<sup>1</sup>, 原田二郎<sup>2</sup>, 山野奈美<sup>3</sup>, 藤井律子<sup>3,4,5</sup>, 民秋均<sup>1</sup> (1立命館大・院生命科学, <sup>2</sup>久留米大・医, <sup>3</sup>阪市大・院理, <sup>4</sup>阪市大・複合先端研, <sup>5</sup>JST・さきがけ)
- PF-186 Ultrafast excitation energy transfer pathways in divinyl chlorophyll *a/b*-containing cyanobacterium, *Prochlorococcus marinus*  
浜田文哉<sup>1</sup>, 村上明男<sup>1,2</sup>, 秋本誠志<sup>1,3</sup> (1神戸大・院理, <sup>2</sup>神戸大・内海域セ, <sup>3</sup>神戸大・分子フォト)
- PF-187 ラマン散乱スペクトル顕微鏡・蛍光寿命顕微鏡を用いた *Anabaena variabilis* の細胞ごとの解析  
玉水公人, 福田真土, 寺嶋正秀, 熊崎茂一 (京大・院光物理化学)
- PF-188 シロイヌナズナの SGR によるクロロフィル分解制御  
大野滉平<sup>1</sup>, 下田洋輔<sup>1</sup>, 伊藤寿<sup>1,2</sup>, 田中歩<sup>1,2</sup> (1北大 低温研, <sup>2</sup>JST CREST)
- PF-189 葉緑体プロテアーゼ FtsH の相互作用候補因子 EngA の機能解析  
加藤裕介, 森満莉恵, 坂本亘 (岡山大・植物研)

- PF-190 Chl-binding ability and photoconvertibility of *Chenopodium album* water-soluble chlorophyll-binding protein mutants  
高橋重一<sup>1</sup>, 内田朗<sup>2</sup>, 佐藤浩之<sup>2</sup> (1東洋大・生命科学部, 2東邦大・理学部)

## ■ 電子伝達系・炭酸同化

- PF-191 CRR9 は、葉緑体 NDH 複合体サブコンプレックス A の会合因子である。  
山本宏<sup>1,2</sup>, Xiangyuan Fan<sup>3</sup>, 杉本和彦<sup>1</sup>, Lianwei Peng<sup>3</sup>, 鹿内利治<sup>1,2</sup> (1京大大学院理学研究科生物科学専攻植物学系植物分子遺伝学研究室, 2CREST, JST, 3中国科学院植物研究所)
- PF-192 緑色硫黄細菌 ferredoxin-NAD(P)<sup>+</sup>還元酵素と NADP<sup>+</sup>/H との酸化還元反応  
瀬尾悌介, 岡戸健, 櫻井武 (金沢大院・理工・物質化学)
- PF-193 葉緑体 NAD(P)H dehydrogenase 様複合体における PsbQ-Like(PQL)3 タンパク質の局在と分子機能  
横江友貴<sup>1</sup>, 仲村涉<sup>2</sup>, 藪田真也<sup>1</sup>, 佐藤文彦<sup>1,2</sup>, 伊福健太郎<sup>1,2</sup> (1京大大学生命科学研究科, 2京都大学農学部)
- PF-194 ヘリオバクテリア由来の 1 型光合成反応中心の活性測定  
安田亜矢<sup>1,2</sup>, 武藤梨沙<sup>1</sup>, 大岡宏造<sup>2</sup>, 浅井智広<sup>3</sup>, 栗栖源嗣<sup>1,2</sup> (1阪大・蛋白質, 2阪大・院生物物理学, 3立命館大・生命情報学科)
- PF-195 Isolation of novel pyrenoid components from the marine diatom, *Phaeodactylum tricorutum*  
森島菜摘, 菊谷早絵, 松田祐介 (関西学院大学・理工・生命)

## ■ 新技術開発

- PF-196 ハイグロマイシン B ホスホトランスフェラーゼの改良  
田中裕之, 児玉豊 (宇都宮大・バイオセンター)
- PF-197 *Synechococcus* sp. NKBG15041c 由来の新規増殖関連遺伝子の解析  
田中崇彬<sup>1,2</sup>, 小関良宏<sup>1,2</sup>, 山田晃世<sup>1,2</sup> (1東京農工大学, 2JST-CREST)
- PF-198 除草剤抵抗性セイヨウアブラナ分布の国道 23 号線沿いにおける定点モニタリング  
西沢徹<sup>1,2</sup>, 中嶋信美<sup>1</sup>, 玉置雅紀<sup>1</sup>, 青野光子<sup>1</sup>, 久保明弘<sup>1</sup>, 佐治光<sup>1</sup> (1国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター, 2福井大学 教育地域科学部)
- PF-199 キクにおける導入遺伝子の高発現を目的としたプロモーター活性の比較解析  
加星光子, 間竜太郎, 佐々木克友 (農研機構・花き研)
- PF-200 CRISPR/Cas9 による複数アレル同時変異導入を目的とした 6 倍体栽培ギクにおけるゲノム編集技術の開発  
加星光子, 間竜太郎, 佐々木克友 (農研機構・花き研)
- PF-201 DNA 相同組換え頻度定量可能なモニタリング遺伝子を持つシロイヌナズナカルスを用いた低線量放射線影響の定量的な検出  
高橋真哉<sup>1,2</sup>, 玉置雅紀<sup>3</sup> (1筑波大・北アフリカ研究センター, 2筑波大・ライフイノベーション, 3国環研・生物センター)
- PF-202 植物細胞内において外来 RNA ウイルス遺伝子上で機能する可能性のあるウイルスゲノム内のポリ A シグナル様配列  
木村貴志<sup>1</sup>, 瀧尾進<sup>2</sup> (1農研機構・九沖農研, 2熊本大・沿岸域セ)

## ■ 光合成・呼吸の環境応答

- PF-203 葉緑体カルシウムセンシングレセプターのホモログであるクラミドモナスの CrCAS は CO<sub>2</sub> 欠乏条件で 5 つの遺伝子の mRNA の蓄積に関与する  
新川友貴<sup>1</sup>, 王連勇<sup>1</sup>, 山野隆志<sup>1</sup>, 兼崎友<sup>2</sup>, 吉川博文<sup>3</sup>, 福澤秀哉<sup>1</sup> (1京大・院生命科学, 2東京農大・NGRC, 3東京農大・バイオ)
- PF-204 緑藻クラミドモナスにおける CO<sub>2</sub> 濃縮機構 (CCM) を制御する新規因子 CrCAS の細胞内局在  
豊川知華, 王連勇, 山野隆志, 福澤秀哉 (京大大学院 生命科学研究科 統合生命科学専攻)
- PF-205 緑藻クラミドモナスにおいて CO<sub>2</sub> 濃縮機構の誘導は循環的電子伝達ではなく葉緑体カルシウムセンシングタンパク質 CAS に依存する  
津田高佑, 王連勇, 山野隆志, 福澤秀哉 (京大・院生命科学)
- PF-206 シロイヌナズナを用いた非光化学的消光に関与する新規因子の解析  
有菌昂駿<sup>1</sup>, 増田真二<sup>2</sup> (1東工大・院生命理工, 2東工大・バイオセンター)
- PF-207 シロイヌナズナ変異体 *psbO1* における光阻害防御機構の解析  
安原咲希<sup>1</sup>, 佐藤文彦<sup>1,2</sup>, 伊福健太郎<sup>1,2</sup> (1京大大学農学部, 2京大大学院生命科学研究科)

- PF-208 シロイヌナズナ葉緑体翻訳因子 EF-G と EF-Tu の酸化ストレス応答  
熊木裕香<sup>1</sup>, 濱川菜桜<sup>2</sup>, 米山拓<sup>1</sup>, 西山佳孝<sup>1</sup> (1埼玉大院・理工, 2埼玉大・理・分子生物)
- PF-209 強光順化に関与する遺伝子 *LAPI* の機能解析  
佐藤諒一<sup>1,2</sup>, 高市真一<sup>3</sup>, 太田啓之<sup>1</sup>, 増田真二<sup>4</sup> (1東工大・院生命理工, 2学振DC, 3日本医大・生物, 4東工大・バイオセンター)
- PF-210 変動光環境における油脂産生緑藻 *Chlamydomonas* JSC4 株の光合成能力の季節間変化  
山崎広顕<sup>1</sup>, 石原光輝<sup>2</sup>, 太郎田博之<sup>2</sup>, 皆川純<sup>1</sup> (1基生研, 2DIC (株))
- PF-211 *Nostoc commune* における GC/MS を用いた光合成特性の解析  
楠本明日香, 小杉真貴子, 諏訪裕一, 高橋大貴, 小池裕幸 (中央大学理工学部生命科学科)
- PF-212 CO<sub>2</sub> Responsive CCT protein alters the chain-length distribution of starch from leaf sheath in rice by regulating the expression of multiple starch synthesis related enzymes  
森田隆太郎<sup>1</sup>, クロフツ尚子<sup>2</sup>, 畠中知子<sup>1</sup>, 三十尾修司<sup>1</sup>, 藤田直子<sup>2</sup>, 深山浩<sup>1</sup> (1神戸大・院農学, 2秋県大・生物資源科学)
- PF-213 光合成電子伝達系の高温傷害を緩和する化合物の同定  
明賀史純, 篠崎一雄 (理研・環境資源科学)
- PF-214 トランスポゾンベクターによる窒素固定性シアノバクテリア *Leptolyngbya boryana* のランダム変異導入  
巨松千映<sup>1</sup>, 土屋徹<sup>2,3</sup>, 藤田祐一<sup>4</sup> (1名大・農, 2京大・院地球環境, 3京大・院人間環境, 4名大・院生命農)
- PF-215 シアノバクテリア光化学系 II の光防御機構におけるオレンジカロテノイドプロテインの機能解析  
高橋拓子<sup>1</sup>, 草間友里<sup>1</sup>, 李新祥<sup>2</sup>, 西山佳孝<sup>1</sup> (1埼玉大学理工学研究科分子生物学領域, 2埼玉大学理学部分子生物学科)

## ■ 窒素

- PF-216 インタラクトーム解析による核局在 BTB タンパク質の C/N 応答制御における機能解析  
前田遙名<sup>1</sup>, 佐々木勇樹<sup>1</sup>, 深尾陽一郎<sup>2</sup>, 柳澤修一<sup>3</sup>, 佐藤長緒<sup>1</sup>, 山口淳二<sup>1</sup> (1北大院・生命, 2立命館大・生命, 3東大・生物生産工学研究センター)
- PF-217 Proteome analysis of novel targets of 14-3-3 proteins in ripening tomato fruit  
陸宇<sup>1</sup>, 李星文<sup>1</sup>, 安田盛貴<sup>1</sup>, 深尾陽一郎<sup>2</sup>, 松倉千昭<sup>3</sup>, 江面浩<sup>3</sup>, 佐藤長緒<sup>1</sup>, 山口淳二<sup>1</sup> (1北大院・生命, 2立命館大・生命, 3筑波大・院・生命環境科学)
- PF-218 硝酸応答性転写因子 NLP6, NLP7 と相互作用する因子  
小西美穂子, 柳澤修一 (東京大・生物生産工学研究センター)
- PF-219 シロイヌナズナの窒素栄養利用におけるオーキシン情報伝達の役割の解明  
齋藤雅英, 小西範幸, 菅野圭一, 小島創一 (東北大・院農学)
- PF-220 シロイヌナズナにおけるグルタミンセンサー候補 ACR11 遺伝子の発現と局在解析  
並木優樹, 金澤優太, 山田昌治, 杉山健二郎 (工学院大・院工)
- PF-221 ラン藻におけるアンモニア耐性機構とそれに関わる P<sub>II</sub> タンパク質の未知機能の解析  
坂本貴之<sup>1</sup>, Yajun Chang<sup>1,2</sup>, 高谷信之<sup>1,2</sup>, 上坂一馬<sup>1,2</sup>, 井原邦夫<sup>3</sup>, 小俣達男<sup>1,2</sup> (1名古屋大院・生命農, 2JST CREST, 3名古屋大・遺伝子)
- PF-222 低窒素栄養応答を制御する GARP 型転写因子の機能解析  
木羽隆敏<sup>1</sup>, 光田展隆<sup>2</sup>, 瀧口裕子<sup>2</sup>, 高木優<sup>2,3</sup>, 近藤陽一<sup>4</sup>, 吉積毅<sup>1</sup>, 松井南<sup>1</sup>, 榊原均<sup>1</sup> (1理研・CSRS, 2産総研・生物プロセス, 3埼玉大・環境科学, 4関東学院大・理工)
- PF-223 窒素固定ラン藻 *Anabaena* sp. PCC7120 によるアンモニア生産  
肥後明佳<sup>1,2</sup>, 井須敦子<sup>1,2</sup>, 深谷佑紀<sup>1,2</sup>, 久堀徹<sup>1,2</sup> (1東工大・資源研, 2JST・CREST)
- PF-224 Root-type FNR2 detoxifies nitrite in *A. thaliana* roots  
蜂谷卓士<sup>1</sup>, 上田七重<sup>1</sup>, Guy Hanke<sup>2</sup>, Akira Suzuki<sup>3</sup>, 長谷俊治<sup>4</sup>, 榊原均<sup>1</sup> (1Yokohama Inst., Riken, 2Univ. Osnabruck, 3INRA, 4Univ. Osaka)

## ■ 糖質・脂質

- PF-225 車軸藻植物門クレブソルミディウムにおけるオリゴ糖脂質およびその生合成経路の解析  
渡邊汀<sup>1</sup>, 堀孝一<sup>1,2</sup>, 円由香<sup>1</sup>, 信澤岳<sup>1,2</sup>, 下嶋美恵<sup>1</sup>, 太田啓之<sup>1,2,3</sup> (1東京工業大学 大学院生命理工学研究科, 2JST, CREST, 3東京工業大学 地球生命研究所 ELSI)

- PF-226 好気/嫌気条件に応答した微細藻類ユーグレナの比較プロテオーム解析  
栗原佳恵子<sup>1,2</sup>, 玉木峻<sup>1,2</sup>, 丸田隆典<sup>1,2</sup>, 澤嘉弘<sup>1</sup>, 石川孝博<sup>1,2</sup> (1島根大・生資科・生命工, 2JST/CREST)
- PF-227 ラン藻 *Synechococcus elongatus* PCC 7942 を用いた脂肪酸生産株の生育に対する明暗周期の影響  
吉田和裕<sup>1</sup>, 松浦美祥<sup>2</sup>, 鶴瀬和秀<sup>2</sup>, 加藤明宏<sup>2</sup>, 高谷信之<sup>2,6</sup>, 若山正隆<sup>3,6</sup>, 池田和貴<sup>4,6</sup>, 小島幸治<sup>2,6</sup>, 愛知真木子<sup>5,6</sup>, 前田真一<sup>2,6</sup>, 小俣達男<sup>2,6</sup> (1名大・農, 2名大・院生命農, 3慶大・先端生命研, 4理研・IMS, 5中部大・応用生物, 6JST CREST)
- PF-228 微細藻類ユーグレナの好気/嫌気条件下におけるパラミロン合成/分解関連酵素の探索  
後藤京<sup>1</sup>, 田中優史<sup>1,2</sup>, 丸田隆典<sup>1,2</sup>, 澤嘉弘<sup>1</sup>, 石川孝博<sup>1,2</sup> (1島根大学生物資源科学部生物化学研究室, 2JST/CREST)
- PF-229 培養細胞を用いた油脂合成制御メカニズムの解明  
小林将哉, 木寄暁子 (静岡大・院生物)
- PF-230 オレオシン発現クラミドモナスの解析  
石塚嵩広<sup>1</sup>, 栗田朋和<sup>1,2</sup>, 西田生郎<sup>1</sup> (1埼玉大・院・理工, 2JST.CREST)
- PF-231 An attempt to improve homologous recombination efficiency and its application to construction of DGTS synthase gene, *BTAI* suppression mutants in *Chlamydomonas reinhardtii*  
栗田朋和<sup>1,3</sup>, 石塚嵩広<sup>1</sup>, Won-Yong Song<sup>2</sup>, Sunghoon Jang<sup>2</sup>, Youngsook Lee<sup>2</sup>, 西田生郎<sup>1</sup> (1埼玉大・院理工, 2浦項工科大学, 3JST, CREST)
- PF-232 紅藻シアニディオシゾンのスルホ脂質合成系遺伝子  
佐藤典裕, 小林里美, 青木元秀, 小林功, 都筑幹夫 (東京薬科大・生命)
- PF-233 緑藻クラミドモナスにおける脂質蓄積異常変異株の単離  
新川はるか, 小川真梨菜, 梶川昌孝, 福澤秀哉 (京大・院生命科学)
- PF-234 Novel Lipid Droplet-Associated GDSL-Lipase Possesses Sterol Esterase Activity  
Chih-Chung Yen<sup>1,4</sup>, Chia-Yun Ko<sup>2</sup>, Sheau-Shyang Chen<sup>3</sup>, Sheau-ShyangChien-Ta<sup>2</sup>, Guang-Yuh Jauh<sup>2,4</sup>, Jei-Fu Shaw<sup>1,3,4</sup>  
(<sup>1</sup>Institute of Genomics and Bioinformatics, National Chung Hsing University, Taiwan, <sup>2</sup>Institute of Plant and Microbial Biology, Academia Sinica, Taiwan, <sup>3</sup>Department of Biological Science & Technology, I-Shou University, Taiwan, <sup>4</sup>Agricultural Biotechnology Center, National Chung Hsing University, Taiwan)

## ■ 一次代謝

- PF-235 Cysteine biosynthesis in Arabidopsis: functions of the serine acetyltransferase (*SERAT*) and *O*-acetylserine (thiol)lyase (*OASTL*) gene families  
渡邊むつみ, Rainer Hoefgen (マックスプランク研究所)
- PF-236 A Novel Recombinant Chlorophyllase I from *Chlamydomonas reinhardtii* for the Production of Chlorophyllide Derivatives  
Yi-Li Chou<sup>1</sup>, Chia-Yun Ko<sup>2</sup>, Chih-Chung Yen<sup>3,4</sup>, Long-Fang Chen<sup>2</sup>, Jei-Fu Shaw<sup>1,4</sup> (1Department of Biological Science and Technology, I-Shou University, Taiwan., 2Institute of Plant and Microbial Biology, Academia Sinica, Taiwan., 3Institute of Genomics and Bioinformatics, National Chung Hsing University, Taiwan, 4Agricultural Biotechnology Center, National Chung Hsing University, Taiwan)
- PF-237 高 CO<sub>2</sub> 環境を伝達するシグナルの探索：糖添加の効果  
金谷賢<sup>1</sup>, 今野雅恵<sup>2</sup>, 徳富 (宮尾) 光恵<sup>1</sup> (1農業生物資源研, 2名工大・院工)
- PF-238 鉄欠乏オオムギの代謝適応と SnRK1 活性の関係  
川村知代<sup>1</sup>, 藤咲朋恵<sup>2</sup>, 齋藤彰宏<sup>2</sup>, 樋口恭子<sup>2</sup> (1東農大・院・農化, 2東農大・応生)

## ■ 環境応答/非生物ストレス応答

- PF-239 Molecular responses of extracellular matrix to cold and sub-zero acclimation in *Arabidopsis*  
Daisuke Takahashi, Michal Gorka, Alexander Erban, Alexander Graf, Joachim Kopka, Ellen Zuther, Dirk K. Hincha (Max-Planck-Institute of Molecular Plant Physiology)
- PF-240 水生ヒルムシロ属植物における低温ストレスの比較解析  
小萱桂子, 飯田聡子 (神戸大・院理)
- PF-241 セイヨウハコヤナギの枝で低温脱馴化および馴化過程に起こるタンパク質の変動  
春日純<sup>1</sup>, 茅野光範<sup>1</sup>, 高橋大輔<sup>2</sup>, 河村幸男<sup>3</sup>, 上村松生<sup>3</sup> (1帯畜大・GAMRC, 2Max-Planck Inst. Mol. Plant Physiol., 3岩手大・寒冷バイオ)

- PF-242 オートファジー関連遺伝子の発現抑制がタバコ培養細胞のニッケル過剰耐性に及ぼす影響  
齋藤彰宏, 石井千寛, 友野みのり, 西崎諒, 樋口恭子 (東農大・生物応用化学)
- PF-243 イネの高温登熟障害に関わるカタラーゼ遺伝子  
山口武志, 黒田昌治, 山川博幹, 中田克 (中央農業総合研究センター)
- PF-244 鉄欠乏イネ科植物における SOD (スーパーオキシドジスムターゼ) 活性の比較  
尾畑玲<sup>1</sup>, 齋藤彰宏<sup>2</sup>, 樋口恭子<sup>2</sup> (1東農大・院・農化, 2東農大・化学)
- PF-245 シアノバクテリア *Synechocystis* sp. PCC6803 の FoF1 ATPase は、酸耐性の獲得に關与する  
上妻美菜<sup>1</sup>, 田崎理澄<sup>1</sup>, 石川晴菜<sup>2</sup>, 船水健斗<sup>1</sup>, 松橋歩<sup>1</sup>, 伊藤雄太郎<sup>3</sup>, 内山純爾<sup>2</sup>, 兼崎友<sup>4</sup>, 吉川博文<sup>5</sup>, 太田尚孝<sup>2</sup>  
(1東理大・科学教育, 2東理大・理, 3東理大・基礎工, 4東農大・ゲノム解析セ, 5東農大・応生科・バイオ)
- PF-246 Ssl2616 は、*Synechocystis* sp. PCC6803 の酸性ストレス耐性に關与する  
内山純爾<sup>1</sup>, 船水健斗<sup>2</sup>, 田崎理澄<sup>2</sup>, 上妻美菜<sup>2</sup>, 兼崎友<sup>3</sup>, 吉川博文<sup>4</sup>, 太田尚孝<sup>1,2</sup> (1東理大・理, 2東理大・科学教育, 3東農大・NGRC, 4東京農大・応生化・バイオ)
- PF-247 Interactions between Nitrogen and Copper homeostasis in *Arabidopsis thaliana*  
Mélanie Mermoud<sup>1</sup>, Teruyuki Kurata<sup>2</sup>, Takehiro Kamiya<sup>3</sup>, Toru Fujiwara<sup>3</sup>, Toshiharu Shikanai<sup>1</sup> (1Grad. Sch. Sci., Kyoto Univ., 2Grad. Sch. Agric., Kyushu Univ., 3Grad. Sch. Agric. Life Sci., Univ. of Tokyo)
- PF-248 耐塩性ダイズからクローニングした Na<sup>+</sup>/H<sup>+</sup>-アンチポーター遺伝子 *qNaCl3* の機能解析  
庄野真理子<sup>1</sup>, 山田哲也<sup>2</sup>, 許東河<sup>3</sup> (1国際農研・熟研, 2北大・農院, 3国際農研・生物資源)
- PF-249 Cryo SEM を用いたシロイヌナズナ根におけるナトリウムイオンの分布の解析  
小笠原希実<sup>1,2</sup>, 金子康子<sup>4</sup>, 徳永誠<sup>5</sup>, 東山哲也<sup>1,3</sup> (1ERATO東山ライブホロニクスプロジェクト, 2名古屋大学大学院理学研究科, 3名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所, 4埼玉大学・院理学研究科, 5埼玉大学研究機構総合技術支援センター)
- PF-250 新規シグナル変換分子 PCaP1 は根の水分屈性に關与する  
田中奈月<sup>1</sup>, 小林啓恵<sup>2</sup>, 高橋秀幸<sup>2</sup>, 前島正義<sup>1</sup> (1名大院・生命農, 2東北大院・生命)
- PF-251 高 pH 水耕液に対する応答の植物種間差  
樋口恭子, 荒木怜, 牧島平, 上杉哲哉, 中村正悟, 須恵雅之 (東京農大 応用生物科学)
- PF-252 ヒメツリガネゴケの赤色光に依存した葉緑体運動における SnRK2 の役割  
藤山翔子<sup>1</sup>, 大竹亮子<sup>1</sup>, 篠澤章久<sup>1</sup>, 友井拓実<sup>2</sup>, 藤田知道<sup>4</sup>, Andrew C. Cuming<sup>3</sup> (1東京農大・バイオ, 2北大・院・生命, 3University of Leeds, UK, 4北大・院理)
- PF-253 ルシフェラーゼを用いた AtWRK40 のプロモーター解析  
吉永洸, 安田大佑, 橋本俊介, 古川健一, 佐藤隆英, 園田雅俊 (千葉大・院生物資源利用学)
- PF-254 米品質向上のための高温感受性および不活性型  $\alpha$ -アミラーゼ変異の探索  
山川博幹, 平井理恵子, 中田百理子, 中田克, 黒田昌治, 山口武志 (中央農業総合研究センター)
- PF-255  $\alpha$ -アミラーゼ遺伝子過剰発現イネにおける玄米品質  
中田克, 宮下朋美, 羽方誠, 黒田昌治, 山口武志, 山川博幹 (農研機構・中央農研北陸センター)
- PF-256 シロイヌナズナのカルシウム欠乏耐性変異体の解析  
中村愛海<sup>1</sup>, 森谷薫平<sup>1</sup>, 山上睦<sup>2</sup>, 神谷岳洋<sup>3</sup>, 藤原徹<sup>3</sup>, 木村健太<sup>1</sup>, 榎本裕介<sup>1</sup> (1広尾学園高等学校, 2環境研, 3東大院・農)
- PF-257 ahg2-1 変異の転写物解析により示されたミトコンドリア - 細胞質機能の關係  
平山隆志 (岡山大学資源植物科学研究所)
- PF-258 Dissecting an opportunistic relationship between parasitic plant and host  
市橋泰範<sup>1</sup>, 若竹崇雅<sup>1</sup>, 吉田明希子<sup>2</sup>, 横紀子<sup>1</sup>, 柴田ありさ<sup>1</sup>, 経塚淳子<sup>2</sup>, 白須賢<sup>1</sup> (1理化学研究所 環境資源科学研究センター, 2東北大学大学院 生命科学研究科)
- PF-259 *Synechococcus elongatus* PCC 7942 の脂肪酸耐性遺伝子の探索  
上坂一馬<sup>1,4</sup>, 加藤明宏<sup>1,4</sup>, 高谷信之<sup>1,4</sup>, 前田真一<sup>1,4</sup>, 愛知真木子<sup>2,4</sup>, 井原邦夫<sup>3,4</sup>, 小俣達男<sup>1,4</sup> (1名大・院・生命農学, 2中部大・応用生物, 3名大・遺伝子, 4JST-CREST)
- PF-260 イネのストレス誘導的なジャスモン酸生産への活性カルボニルの関与  
宮本皓司<sup>1</sup>, 石田翼<sup>1</sup>, 田代裕也<sup>1</sup>, 鶴見明彦<sup>1</sup>, 見目凌<sup>1</sup>, 酒澤智子<sup>1</sup>, 湯元絵美<sup>1</sup>, 柴田恭美<sup>1</sup>, 朝比奈雅志<sup>1</sup>, 横田孝雄<sup>1</sup>, 飯野盛利<sup>2</sup>, 岡田憲典<sup>3</sup>, 山根久和<sup>1</sup> (1帝京大・バイオ, 2大阪市大院・理, 3東大・生物工学セ)
- PF-261 シロイヌナズナ種子発芽において高温による発芽阻害効果を高める化合物の選抜と解析  
岸川智紀, 山口源貴, 亀岡音羽, 小城静香, 近松誠也, 川上直人 (明大・農)

PF-262 イネの bZIP 型転写因子 OsTGAP1 は根におけるジテルペン型ファイトアレキシン生産に必要である  
吉田悠里<sup>1</sup>, 宮本皓司<sup>2</sup>, 山根久和<sup>2</sup>, 野尻秀昭<sup>1</sup>, 岡田憲典<sup>1</sup> (1東大・生物工学セ, 2帝京大・パイオ)

## ■ 二次代謝

PF-263 シロイヌナズナの MATE トランスポーター FFT/DTX35 は種皮のアントシアニン蓄積に関与する  
北村智<sup>1</sup>, 大野豊<sup>1</sup>, 鳴海一成<sup>1,2</sup> (1国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 イオンビーム変異誘発グループ, 2現: 東洋大学生命科学部)

---

## ポスター【後半】 第3日 3月20日(日)

---

### ■ 重力

- PL-001 黄化トウモロコシ芽生えにおけるオーキシン極性移動と重力応答反応  
林直哉<sup>1</sup>, 宮本健助<sup>2</sup>, 上田英二<sup>3</sup>, 上田純一<sup>3</sup>, 岡真理子<sup>4</sup> (1鳥取大・院農学, 2大阪府大・高等教育推進機構, 3大阪府大・院理学, 4鳥取大・農学)
- PL-002 シダ植物リチャードミズワラビ配偶体の重力センシングには原形質膜への葉緑体のアンカリングが必要である  
蒲池浩之, 玉置大介, 唐原一郎 (富山大・院理工)

### ■ イオン・塩・金属

- PL-003 塩生植物アッケシソウから単離したペプチド SeNN43 は植物の耐塩性を向上させる機能を持つ  
開沼健太<sup>1</sup>, 中原由揮<sup>2</sup>, 且原真木<sup>2</sup>, 柴坂三根夫<sup>2</sup>, 小栗秀<sup>1</sup>, 坂本光<sup>1</sup> (1東農大・生物産業, 2岡大・植物研)
- PL-004 シダ植物ヘビノネゴザの銅蓄積におけるプロアントシアニジンの関与について  
藤井一真, 岡本彩可, 蒲池浩之 (富山大・院理工)
- PL-005 緑藻クラミドモナスにおける脱性分化機構  
中西純代, 佐々木里佳, 大坪蘭子, 田村典明 (福岡女子大・人間環境科学)
- PL-006 Genome-wide survey of lincRNAs responding to nutrient deficiencies in *Arabidopsis* roots  
西田翔<sup>1</sup>, 箕雄介<sup>2</sup>, 福田牧葉<sup>3</sup>, 嶋田幸久<sup>2</sup>, 藤原徹<sup>3</sup> (1広大・院生物圏, 2横浜市大・木原生研, 3東大・院農学生命)
- PL-007 塩ストレス下での成長抑制に必須なシロイヌナズナ MYB3R 転写抑制因子  
奥村徹<sup>1</sup>, 鈴木孝征<sup>2,3</sup>, 東山哲也<sup>3,4</sup>, 伊藤正樹<sup>1,5</sup> (1名古屋大・院生命農, 2中部大・応用生物, 3JST ERATO東山, 4名古屋大・院理, 5JST CREST)
- PL-008 アブラナの根に与えたグルタチオンが根からのカドミウム排出に及ぼす影響  
中村進一<sup>1</sup>, 鈴木伸郎<sup>2</sup>, 尹永根<sup>2</sup>, 石井里美<sup>2</sup>, 河地有木<sup>2</sup>, 頼泰樹<sup>1</sup>, 服部浩之<sup>1</sup>, 藤巻秀<sup>2</sup> (1秋田県立大学・生物資源, 2原子力機構・量子ビーム)
- PL-009 ホンモンジゴケにおける Copper-transporting P-type ATPase の銅耐性能への貢献  
野村俊尚<sup>1</sup>, 井藤賀操<sup>1</sup>, 櫻井哲也<sup>1</sup>, 馳澤盛一郎<sup>2</sup>, 榎原均<sup>1,3</sup> (1理研・CSRS, 2東京大・院・新領域, 3名古屋大・院・生命農)
- PL-010 ナンノクロロプシスにおけるベタイン脂質の役割の解析  
村上博紀<sup>1</sup>, 信澤岳<sup>1,2</sup>, 堀孝一<sup>1,2</sup>, 下嶋美恵<sup>1</sup>, 太田啓之<sup>1,2,3</sup> (1東工大・院生命理工学, 2JST CREST, 3地球生命研究所・東工大)
- PL-011 シロイヌナズナにおいて Mg<sup>2+</sup>感受性を調節する CIPK プロテインキナーゼの下流標的因子  
最上博郎<sup>1</sup>, 相馬史幸<sup>1</sup>, 篠崎一雄<sup>2</sup>, 篠崎和子<sup>1</sup> (1東大院・農学生命科学, 2理研・環境資源科学研究セ)
- PL-012 シロイヌナズナのリン応答性遺伝子の解析  
菅野里美<sup>1,2</sup>, 岡田和哉<sup>2</sup>, 大西美輪<sup>2</sup>, 石田哲也<sup>1</sup>, 前川修吾<sup>1</sup>, ヌソム ローラン<sup>3</sup>, 深城英弘<sup>2</sup>, 中西友子<sup>4</sup>, 柳澤修一<sup>1</sup>, 三村哲郎<sup>2</sup> (1東京大学生物生産工学研究センター, 2神戸大学大学院理学研究科, 3CEA Cadarache France, 4東京大学大学院農学生命科学研究科)
- PL-013 Elucidating the correlation between macronutrient limitation and disease resistance for the improvement of rice yield using FOX (Full-length cDNA Over-eXpresser) gene-hunting system  
滝口壘<sup>1</sup>, Jongpil Hong<sup>1</sup>, Heyran Moon<sup>2</sup>, Chang-Jin Park<sup>2</sup>, 市川裕章<sup>3</sup>, Ryoung Shin<sup>1</sup> (1国立研究開発法人理化学研究所環境資源研究センター, 2Department of Molecular Biology, Sejong University, Seoul, 143-747, Republic of Korea, 3Division of Genome and Biodiversity Research, National Institute of Agrobiological Sciences, Tsukuba, 305-8602, Japan)
- PL-014 タバコのアルミニウムおよび低 pH 耐性転写因子 NtSTOP1 転写制御機構に関する研究  
伊藤弘樹<sup>1</sup>, 小林佑理子<sup>1,2</sup>, 時澤睦朋<sup>1</sup>, 多田安臣<sup>3</sup>, 山本義治<sup>1,2</sup>, 小山博之<sup>1,2</sup> (1岐阜大学 連合農学, 2岐阜大学 応用生物, 3名古屋大学 遺伝子実験施設)
- PL-015 ビスマスによるシロイヌナズナおよびトマトの生育に及ぼす影響  
長田武, 栗崎亮平, 大島嵩弘 (摂南大学理工学部生命科学科)
- PL-016 シロイヌナズナにおいてリン酸欠乏応答を制御する AP2/ERF 転写因子の特定  
中村麻由子, Chuan-Ming Yeh, 高木優 (埼玉大・院理工学)

- PL-017 Comparison of Leaf Sheath Transcriptome Profiles with Physiological Traits of Bread Wheat Cultivars under Salinity Stress  
高橋史憲<sup>1,2</sup>, Joanne Tilbrook<sup>3</sup>, Christine Trittermann<sup>3</sup>, Bettina Berger<sup>2</sup>, Stuart Roy<sup>3</sup>, 関原明<sup>4</sup>, 篠崎一雄<sup>1</sup>, Mark Tester<sup>2,3,5</sup> (理研 CSRS バイオマス研究基盤チーム, <sup>2</sup>アデレード大学 The Plant Accelerator, <sup>3</sup>アデレード大学 ACPFG, <sup>4</sup>理研 CSRS 植物ゲノム発現研究チーム, <sup>5</sup>KAUST)

## ■ 乾燥・水分・浸透圧

- PL-018 Genome-Wide Identification and Expression Analysis of the CaNAC Family Members in Chickpea cultivars with contrasting drought tolerance during Development, Dehydration and ABA Treatments  
Kien Huu Nguyen<sup>1,2</sup>, Chien Van Ha<sup>1,2</sup>, Yasuko Watanabe<sup>1</sup>, Uyen Thi Tran<sup>1</sup>, Maryam Nasr Esfahani<sup>3</sup>, Dong Van Nguyen<sup>2</sup>, Lam-Son Phan Tran<sup>1</sup> (<sup>1</sup>Signaling Pathway Research Unit, RIKEN Center for Sustainable Resource Science, Yokohama, Japan, <sup>2</sup>National Key Laboratory for Plant Cell Technology, Agricultural Genetics Institute, Vietnam Academy of Agricultural Sciences, Hanoi, Vietnam, <sup>3</sup>Department of Biology, Lorestan University, Khorramabad, Iran)
- PL-019 浮き稲における深水応答性遺伝子の網羅的解析  
南杏鶴<sup>1</sup>, 矢野憲司<sup>1</sup>, 永井啓祐<sup>1</sup>, 綾野まどか<sup>1</sup>, 中森将齊<sup>1</sup>, 黒羽剛<sup>1</sup>, 小池正哉<sup>1</sup>, 桑田啓子<sup>2</sup>, 鈴木孝征<sup>3,4,5</sup>, 芦苺基行<sup>1</sup>, ロイシャ シュテファン<sup>1</sup> (名古屋大・生物機能, <sup>2</sup>名古屋大・WPI-ITbM, <sup>3</sup>名古屋大・理, <sup>4</sup>ERATO東山ライブホロニクスプロジェクト, <sup>5</sup>中部大・応用生物)
- PL-020 Expression and functional analyses of rice two genes for transcription factors, OsMYB55/61 and OsbHLHa up-regulated in response to mild drought stress  
趙宇, 戸高大輔, 工藤まどか, 城所聡, 篠崎和子 (東京大学大学院 農学生命科学研究科 応用生命化学専攻 植物分子生理学研究室)
- PL-021 シロイヌナズナの水分屈性に必須のタンパク質 MIZ2 と相互作用するタンパク質の同定  
田桑菜津子<sup>1</sup>, 久家徳之<sup>2</sup>, 高橋大輔<sup>3</sup>, 河村幸男<sup>4</sup>, 上村松生<sup>4</sup>, 宮沢豊<sup>5</sup> (山形大・院・理工, <sup>2</sup>生物研, <sup>3</sup>Max-Planck Institute of Molecular Plant Physiology, <sup>4</sup>岩手大・農・寒冷バイオ, <sup>5</sup>東北大・院・生命科学, <sup>6</sup>山形大・理・生物)
- PL-022 ウイルス誘導遺伝子サイレンシング法を利用したダイズ GmNRA1 遺伝子の乾燥耐性における機能解析  
小賀田拓也<sup>1</sup>, 永利友佳理<sup>1</sup>, 山岸紀子<sup>2</sup>, 吉川信幸<sup>2</sup>, 藤田泰成<sup>1,3</sup> (国際農研・生物資源利用, <sup>2</sup>岩手大・農, <sup>3</sup>筑波大・生命環境)
- PL-023 シロイヌナズナモリブデン補酵素硫化酵素 ABA3 による統合的なストレス適応応答の解明  
渡邊俊介<sup>1</sup>, 坂本敦<sup>2</sup>, 瀬尾光範<sup>1</sup> (理研 CSRS, <sup>2</sup>広島大・院理)
- PL-024 経時的な乾燥ストレスに応答した植物ホルモン合成とシグナリング解析  
浦野薫<sup>1</sup>, 圓山恭之進<sup>2</sup>, 軸丸祐輔<sup>3</sup>, 神谷勇治<sup>1</sup>, 篠崎和子<sup>4</sup>, 篠崎一雄<sup>1</sup> (理化学研究所環境資源科学研究センター, <sup>2</sup>国際農林水産業研究センター, <sup>3</sup>アジレントテクノロジー, <sup>4</sup>東大院・農)
- PL-025 キュウリ根の水分屈性および重力屈性時の網羅的遺伝子発現解析  
宮林彩智子<sup>1</sup>, 藤井伸治<sup>1</sup>, 小林啓恵<sup>1</sup>, 山崎千秋<sup>2,3</sup>, 宮沢豊<sup>1,4</sup>, 鎌田源司<sup>5</sup>, 笠原春夫<sup>6</sup>, 長田郁子<sup>6</sup>, 嶋津徹<sup>2</sup>, 伏島康男<sup>2</sup>, 東端晃<sup>7</sup>, 山崎丘<sup>7,8</sup>, 石岡憲昭<sup>7</sup>, 高橋秀幸<sup>1</sup> (東北大・院・生命科学, <sup>2</sup>JSF, <sup>3</sup>横浜市大・木原生研, <sup>4</sup>山形大・理・生物, <sup>5</sup>AES, <sup>6</sup>JAMSS, <sup>7</sup>JAXA, <sup>8</sup>帝京大・院・宇宙環境医学)
- PL-026 小胞体におけるストレス誘導的なアブシジン酸生成に関する細胞生物学的解析  
韓邑平<sup>1</sup>, 渡邊俊介<sup>2</sup>, 木下大地<sup>1</sup>, 高木絃<sup>1</sup>, 島田裕士<sup>1</sup>, 坂本敦<sup>1</sup> (広島大・院理, <sup>2</sup>理研・CSRS)
- PL-027 In Planta Functional Analysis of the Drought-responsive GmCKX13 Gene from Soybean  
渡邊泰子<sup>1</sup>, Chien Van Ha<sup>1,2</sup>, Dung Tien Le<sup>2</sup>, 西山りゑ<sup>1</sup>, Uyen Tran<sup>1</sup>, 榎原均<sup>1</sup>, アダムス英里<sup>1</sup>, 申怜<sup>1</sup>, Lam-Son Phan Tran<sup>1</sup> (理化学研究所 環境資源科学研究センター, <sup>2</sup>AGI., Hanoi, Vietnam)
- PL-028 シロイヌナズナの核-細胞質往復タンパク質 VIP1 のリン酸化に関する解析  
津釜大侑<sup>1</sup>, 高野哲夫<sup>2</sup> (北大・院農, <sup>2</sup>東大アジアセンター)
- PL-029 シロイヌナズナ野生株を用いた植物耐乾性におけるゲノムワイド関連解析法の模索  
金俊植<sup>1</sup>, 妻鹿良亮<sup>1</sup>, 岡本昌憲<sup>1,2</sup>, 辻本壽<sup>1</sup> (鳥取大学・乾燥地研, <sup>2</sup>科学技術振興機構・さきがけ)

## ■ 酸化・レドックス制御

- PL-030 *Anabaena* sp. strain PCC 7120 の鉄硫黄クラスター運搬蛋白質 Nfu は Trx と相互作用する  
野亦次郎<sup>1,2</sup>, 井須敦子<sup>2</sup>, 久堀徹<sup>1,2</sup> (東工大・資源, <sup>2</sup>CREST, JST)

- PL-031 シロイヌナズナ Nudix hydrolase, AtNUDX6, 7 の相互作用因子の同定  
中川奨也<sup>1</sup>, 小川貴央<sup>2</sup>, 吉村和也<sup>3</sup>, 重岡成<sup>1,2</sup> (1近畿大院・農・バイオ, 2近畿大・農・バイオ, 3中部大・応生・食栄)
- PL-032 酸化還元応答蛍光タンパク質を利用した光合成生物の細胞内酸化還元状態変化の観察  
杉浦一徳<sup>1,2</sup>, 肥後明佳<sup>1,2</sup>, 久堀徹<sup>1,2</sup> (1東京工業大学資源科学研究所, 2CREST・JST)
- PL-033 オゾンによるイネ玄米の品質低下への *SSIIIa* 遺伝子の関与  
澤田寛子<sup>1,2</sup>, 塚原啓太<sup>3</sup>, 河野吉久<sup>4</sup>, 鈴木啓太郎<sup>5</sup>, 永澤信洋<sup>6</sup>, 玉置雅紀<sup>1</sup> (1国環研・生物センター, 2学振RPD, 3食総研, 4電中研, 5作物研, 6秋田県立大)
- PL-034 シロイヌナズナのデヒドロアスコルビン酸還元酵素群の包括的な機能解析  
野志昌弘<sup>1</sup>, 畑中理佐<sup>2</sup>, 田茂井政宏<sup>1,2</sup>, 丸田隆典<sup>3</sup>, 重岡成<sup>1,2</sup> (1近畿大・農・バイオ, 2近畿大院・農・バイオ, 3島根大・生資科・生命工)
- PL-035 糸状生シアノバクテリア *Anabaena* sp. PCC 7120 における TrxA の生理学・生化学的解析  
若尾瞳<sup>1,2</sup>, 杉浦一徳<sup>1,2</sup>, 肥後明佳<sup>1,2</sup>, 宮城敦子<sup>3</sup>, 川合真紀<sup>3</sup>, 久堀徹<sup>1,2</sup> (1東工大・資源研, 2CREST, JST, 3埼玉大・院理工学)
- PL-036 HY5 依存的な葉緑体発達は照射下のアスコルビン酸合成酵素 VTC2 の発現に必要である  
城間咲希<sup>1</sup>, 丸田隆典<sup>1</sup>, 吉村和也<sup>2</sup>, 澤嘉弘<sup>1</sup>, 石川孝博<sup>1</sup> (1島根大・生資科・生命工, 2中部大・応生・食栄)
- PL-037 シロイヌナズナにおけるメタカスパーゼ遺伝子破壊体の葉緑体ストレスによる細胞死誘導解析  
太田康訓, 鈴木寛, 林潤 (福井県立大学・生物資源学部)
- PL-038 シロイヌナズナの ROS 生成酵素 RbohA-J の Ca<sup>2+</sup>濃度依存性と発現部位の網羅的解析  
船木洋一<sup>1</sup>, 中内愛由子<sup>1</sup>, 橋本研志<sup>1</sup>, 大井雄貴<sup>1</sup>, 村上祐樹<sup>1</sup>, 森恭一郎<sup>1</sup>, 河原崎朋子<sup>1</sup>, 飯塚文子<sup>1</sup>, 木村幸恵<sup>1</sup>, 賀屋秀隆<sup>1</sup>, 北畑信隆<sup>1,2</sup>, 朽津和幸<sup>1,2</sup> (1東京理科大学 理工応用生物科学, 2東京理科大学 イメージングフロティアセンター)
- PL-039 *Synechocystis* sp. PCC6803 の酸性順化におけるフィコビリソームへの影響  
船水健斗<sup>1</sup>, 内山純爾<sup>2</sup>, 松橋歩<sup>1</sup>, 上妻美菜<sup>1</sup>, 伊藤雄太郎<sup>3</sup>, 兼崎友<sup>4</sup>, 吉川博文<sup>5</sup>, 太田尚孝<sup>1,2</sup> (1東理大・科教研, 2東理大・理, 3東理大・生物工, 4東農大・生物資源, 5東農大・応生・バイオ)
- PL-040 *Synechocystis* sp. PCC6803 の *slI276* 変異株は酸性ストレス耐性が低下する  
松橋歩<sup>1</sup>, 伊藤雄太郎<sup>2</sup>, 上妻美菜<sup>1</sup>, 船水健斗<sup>1</sup>, 内山純爾<sup>3</sup>, 太田尚孝<sup>3</sup> (1東理大・科学教育, 2東理大・基礎工, 3東理大・理)
- PL-041 *Synechocystis* sp. PCC6803 における酸性ストレスに対する Sll1558 の発現解析  
伊藤雄太郎<sup>1</sup>, 松橋歩<sup>2</sup>, 上妻美菜<sup>2</sup>, 相原岳明<sup>2</sup>, 船水健斗<sup>2</sup>, 内山純爾<sup>3</sup>, 島田浩章<sup>1</sup>, 太田尚孝<sup>2,3</sup> (1東理大・生物工, 2東理大・科教研, 3東理大・理)

## ■ 温度

- PL-042 コシヒカリの高温登熟種子におけるタンパク質及び遺伝子の発現解析  
白矢武士<sup>1</sup>, 佐藤徹<sup>1</sup>, 東聡志<sup>1</sup>, 三ツ井敏明<sup>2,3</sup> (1新潟農総研・作物研, 2新潟大院・自然科学, 3新潟大農・応生化)
- PL-043 シロイヌナズナ転写調節因子 DPB3-1 によるイネの高温ストレス耐性向上  
佐藤輝<sup>1</sup>, 戸高大輔<sup>2</sup>, 工藤まどか<sup>2</sup>, 溝井順哉<sup>2</sup>, 城所聡<sup>2</sup>, 趙宇<sup>2</sup>, 篠崎一雄<sup>1</sup>, 篠崎和子<sup>2</sup> (1理研・環境資源科学研究セ, 2東大・院農学生命科学)
- PL-044 高温ストレス下における植物の生長制御機構の解明  
小泉慎也<sup>1</sup>, 城所聡<sup>1</sup>, 大濱直彦<sup>1</sup>, 中嶋正敏<sup>1</sup>, 篠崎一雄<sup>2</sup>, 篠崎和子<sup>1</sup> (1東大院・農学生命科学, 2理研・環境資源科学研究センター)
- PL-045 ジャガイモ (*Solanum tuberosum* L.) cold responsive *ERF-like gene* の単離と特性解析  
遠藤司<sup>1</sup>, 島崎高嘉<sup>2</sup>, 渡邊和男<sup>2</sup>, 菊池彰<sup>2</sup> (1筑波大・院生命環境, 2筑波大・遺伝子実験センター)
- PL-046 ICE1 が制御する低温耐性に PIF4 がネガティブレギュレーターとして機能する  
奥田大貴<sup>1</sup>, 野澤理恵子<sup>1</sup>, 古本強<sup>2</sup>, 三浦謙治<sup>1</sup> (1筑波大学・生命環境科学, 2龍谷大学・農)
- PL-047 セントポーリアの温度感受性機構の解析  
成田裕貴<sup>1</sup>, 大西美輪<sup>1</sup>, 角浜憲明<sup>1</sup>, 鈴木祥弘<sup>2</sup>, 飯田秀利<sup>3</sup>, 石崎公庸<sup>1</sup>, 深城英弘<sup>1</sup>, 三村徹郎<sup>1</sup> (1神戸大院・理, 2神奈川大・理, 3東京学芸大・教育・生命科学)
- PL-048 Low-Temperature Tolerance via Carbohydrate Metabolism in rice  
細沼信孝, 小田晋, 友田文, 寺西美佳, 東谷篤志 (東北大学大学院生命科学研究所科ゲノム継承システム分野)

- PL-049 Functional Analysis of 70 kDa Heat Shock Proteins in *Arabidopsis*.  
趙蕙美<sup>1</sup>, 大濱直彦<sup>1</sup>, 小泉慎也<sup>1</sup>, 草壁和也<sup>1</sup>, 溝井順哉<sup>1</sup>, 城所聡<sup>1</sup>, 篠崎一雄<sup>2</sup>, 篠崎和子<sup>1</sup> (1東大・院農学生命科学, 2理研・環境資源科学研究センター)
- PL-050 A Role of Autophagy in Vegetative and Reproductive Growth under High-temperature Condition in *Arabidopsis thaliana*  
邵震華<sup>1</sup>, 泉正範<sup>1,2</sup>, 東谷篤志<sup>1</sup> (1東北大学大学院生命科学研究科, 2東北大学学際フロンティア研究所)
- PL-051 シロイヌナズナの熱ショック耐性に与えるアラントイン蓄積の影響  
田中翔真<sup>1</sup>, 渡邊俊介<sup>2</sup>, 高木紘<sup>1</sup>, 韓邑平<sup>1</sup>, 島田裕士<sup>1</sup>, 坂本敦<sup>1</sup> (1広島大・院理, 2理研・CSRS)
- PL-052 高温ストレス条件下におけるシロイヌナズナ VOZ2 の機能解析  
高口美早紀, 山崎加奈子, 佐藤雅彦 (京都府立大学 生命環境科学研究科)
- PL-053 葉緑体リボソーム結合タンパク質 PSPR1 の機能解析  
鈴木大貴, 安藤博洲, 原田千鶴, 境俊介, 小山友紀, 高良美帆, 関根靖彦 (立教大・院生命理学)
- PL-054 低温シグナル伝達因子 ICE1 と相互作用するカルモジュリン様タンパク質の解析  
三浦謙治, 芝勇人, 中澤真知子, 奥田大貴 (筑波大学生命環境系生物科学専攻)
- PL-055 Functional redundancy of aquaporins during cold acclimation and freeze tolerance  
Arifa Rahman<sup>1</sup>, Yukio Kawamura<sup>2</sup>, Masayoshi Maeshima<sup>3</sup>, Abidur Rahman<sup>2</sup>, Matsuo Uemura<sup>2</sup> (1岩手大学連合農学研究科, 2岩手大学, 3名古屋大学)
- PL-056 PHD finger ドメインを持つシロイヌナズナ aHiTAP1 の機能解析  
横山悠理<sup>1</sup>, 木藤新一郎<sup>1,2</sup> (1名古屋市立大学大学院 システム自然科学研究科 木藤研究室, 2名古屋市大・生物多様性研究センター)
- PL-057 オオムギから単離した新規低温応答遺伝子の解析  
應夢超<sup>1</sup>, 木藤新一郎<sup>1,2</sup> (1名古屋市大・システム自然科学, 2名古屋市大・生物多様性研究センター)

## ■ 環境応答/非生物ストレス応答

- PL-058 トマトの連続光障害は概日リズムの攪乱を伴って発症する  
森谷智恵, 後藤弘爾 (岡山県生物科学研究所)
- PL-059 シロイヌナズナにおける機械刺激と防御応答遺伝子発現の関係  
山岡征矢, 石崎陽子, 下谷紘司, 田中志整, 椎名隆 (京府大・院生命環境)
- PL-060 【演題取り下げ】
- PL-061 気孔開度を制御する分子および遺伝因子の探索  
井上心平<sup>1</sup>, 戸田陽介<sup>1</sup>, 佐藤綾人<sup>2</sup>, 木下俊則<sup>1,2</sup> (1名古屋大・院理・生命理学, 2名古屋大・WPI-ITbM)
- PL-062 *Euglena gracilis* におけるフィトエン合成酵素遺伝子の抑制が及ぼす細胞増殖およびカロテノイド合成への影響  
曾篠美花<sup>1</sup>, 加藤翔太<sup>2</sup>, 高市真一<sup>3</sup>, 石川孝博<sup>4</sup>, 朝比奈雅志<sup>1,2</sup>, 高橋宣治<sup>1,2</sup>, 篠村知子<sup>1,2</sup> (1帝京大・院理工学, 2帝京大・理工学, 3日本医科大, 4島根大・生物資源)
- PL-063 DNA 損傷応答における NAC 転写因子の機能解析  
大野暢也<sup>1</sup>, 荻田伸夫<sup>1</sup>, 沢邊翔吾<sup>1</sup>, 高橋直紀<sup>1</sup>, 梅田正明<sup>1,2</sup> (1奈良先端大・バイオ, 2JST CREST)
- PL-064 Phosphoinositide-specific phospholipase C2, AtPLC2, in phosphoinositide metabolism and the endoplasmic reticulum stress response  
金原和江<sup>1,2</sup>, Chao-Yuan Yu<sup>1</sup>, Yueh Cho<sup>1</sup>, Wei-Fun Cheong<sup>3</sup>, Federico Torta<sup>3</sup>, Guanghou Shui<sup>3</sup>, Markus Wenk<sup>3</sup>, 中村友輝<sup>1</sup> (1中央研究院 植微研, 2室工大, 3シンガポール国立大学)
- PL-065 ケミカルバイオロジーによる植物の根への機械的刺激伝達に関わる因子の探索  
岡本崇<sup>1</sup>, 能年義輝<sup>2</sup> (1岡山大・院自然科学, 2岡山大・院環境生命)

## ■ 免疫

- PL-066 栄養応答と免疫応答に関わる新規受容体型キナーゼの機能解析  
李星文<sup>1</sup>, 安田盛貴<sup>1</sup>, 陸宇<sup>1</sup>, 野村有子<sup>2</sup>, 中神弘史<sup>2</sup>, 佐藤長緒<sup>1</sup>, 山口淳二<sup>1</sup> (1北大院・生命, 2理研・CSRS)
- PL-067 RNA-seq based transcriptome analysis of MAPK-WRKY pathway responsive genes to explore cell death regulatory networks  
安達広明<sup>1</sup>, 佐藤昌直<sup>2</sup>, 吉岡博文<sup>1</sup> (1名大院生農, 2慶應義塾大学先端生命科学研究科)
- PL-068 WIPK/SIPK 抑制体においてはベルオキシソームのβ酸化遺伝子がサリチル酸の蓄積と相関して傷害により誘導される  
加藤新平<sup>1</sup>, 光原一郎<sup>2</sup>, 瀬尾茂美<sup>2</sup> (1信州大学・農, 2農業生物資源研)

- PL-069 新規植物免疫活性化剤・抑制剤候補化合物の感染防御応答に対する効果の解析  
中野正貴<sup>1</sup>, 北畑信隆<sup>2,3</sup>, 吉川岳史<sup>2</sup>, 吉田亜祐美<sup>2</sup>, 末次真悠<sup>2</sup>, 来須孝光<sup>3,4</sup>, 平塚和之<sup>5</sup>, 浅見忠男<sup>6</sup>, 朽津和幸<sup>1,2,3</sup> (1東京理科大学・総合研究院, 2東京理科大・理工・応用生物学, 3東京理科大・イメージングフロンティアセンター, 4東京工科大学・応用生物, 5横浜国大大学院・環境情報研究院, 6東京大学大学院・農学生命科学)
- PL-070 シロイヌナズナ受容体キナーゼ CERK1 のリン酸化部位の同定と機能解析  
須藤健吉, 鈴木丸陽, 渋谷匡俊, 島田日加瑠, 元山記子, 高橋昌平, 吉田一誠, 松井紗樹, 中島正登, 大西美帆子, 紀藤圭治, 出崎能丈, 賀来華江, 渋谷直人 (明治大学・農・生命科学)
- PL-071 シロイヌナズナの MAMP 応答性カロース蓄積に関与する膜交通系因子の解析  
八嶋航平<sup>1</sup>, 小針政輝<sup>1</sup>, 上田貴志<sup>2</sup>, 西村いくこ<sup>3</sup>, 出崎能丈<sup>1</sup>, 賀来華江<sup>1</sup>, 渋谷直人<sup>1</sup> (1明治大・農・生命科学, 2東大院・理・生物学, 3京大院・理)
- PL-072 シロイヌナズナのユビキチンリガーゼ PUB4 は CERK1 との相互作用を介して免疫応答を制御する  
高橋昌平<sup>1</sup>, 小泉春樹<sup>1</sup>, 三浦駿希<sup>1</sup>, 八嶋航平<sup>1</sup>, 石橋裕子<sup>1</sup>, 紀藤圭治<sup>1</sup>, 鳴坂真理<sup>2</sup>, 鳴坂義弘<sup>2</sup>, 出崎能丈<sup>1</sup>, 賀来華江<sup>1</sup>, 渋谷直人<sup>1</sup> (1明治大農 生命科学, 2岡山生科研)
- PL-073 イネキチン受容体 CEBiP の構造と生物活性との相関解析  
白坂昂<sup>1</sup>, 栗原渉<sup>1</sup>, 早船真広<sup>1</sup>, 西澤洋子<sup>2</sup>, 澁谷直人<sup>1</sup>, 賀来華江<sup>1</sup> (1明治大学農学部生命科学科, 2農業生物資源研究所)
- PL-074 シロイヌナズナにおける防御遺伝子発現応答の循環的電子伝達の関与の可能性  
田中志整, 下谷紘司, 山岡征矢, 石崎陽子, 椎名隆 (京府大・院生命環境)
- PL-075 転写因子キメラリプレッサー過剰発現シロイヌナズナ系統における植物免疫応答性の解析  
高林宏樹<sup>1</sup>, 市田佳菜絵<sup>2</sup>, 光田展隆<sup>3</sup>, 高木優<sup>4</sup>, 多田雄一<sup>1</sup>, 来須孝光<sup>1,5</sup> (1東京工科大・応用生物学部, 2東京工科大院・バイオニクス, 3産総研・生物プロセス, 4埼玉大院・理工, 5東京理科大・イメージングフロンティアセンター)
- PL-076 イネにおける EF-Tu エピトープ部位である EFa50 の認識機構  
古川岳人<sup>1</sup>, 武岡啓伍<sup>2</sup>, 平井洋行<sup>1</sup>, 蔡晃植<sup>1,2</sup> (1長浜バイオ大学バイオサイエンス学部, 2長浜バイオ大学大学院バイオサイエンス研究科)
- PL-077 変異型 cryptogein を用いたタバコ培養細胞の二段階の免疫応答機構の解析  
花俣繁<sup>1,2</sup>, 竹内希枝<sup>1</sup>, 大島知樹<sup>1</sup>, 岡田全朗<sup>1</sup>, 来須孝光<sup>2,3</sup>, 北畑信隆<sup>1,2</sup>, 朽津和幸<sup>1,2</sup> (1東京理科大・理工・応用生物学, 2東京理科大・イメージングフロンティアセンター, 3東京工科大・応用生物)
- PL-078 デュアル抵抗性タンパク質システムを構成する RRS1 の機能解析  
鳴坂真理, 鳴坂義弘 (岡山生科研)
- PL-079 ハイスループットスクリーニングシステムによる新規プラントアクティベーターの開発  
鳴坂義弘<sup>1</sup>, 山次康幸<sup>2</sup>, 鳴坂真理<sup>1</sup> (1岡山生物研, 2東京大・院農生)
- PL-080 OsNTF1 転写因子による OsPR7 と OsPR8 を介したイネ免疫反応の誘導  
平井洋行<sup>1</sup>, 宇野雄太<sup>1</sup>, 堀家史哉<sup>1</sup>, 奥山愛梨<sup>1</sup>, 國枝拓哉<sup>1</sup>, 仲下英雄<sup>2</sup>, 蔡晃植<sup>1</sup> (1長浜バイオ大院・バイオ, 2福井県立大院・資源)
- PL-081 コアエフェクター候補遺伝子 CCE1 は植物病原糸状菌の Colletotrichum 属菌に保存され、細胞死を誘導する  
津島綾子<sup>1,2</sup>, 鳴坂真理<sup>3</sup>, Pamela Gan<sup>1</sup>, 熊倉直祐<sup>1</sup>, 浅井秀太<sup>1</sup>, 門田康弘<sup>1</sup>, 高野義孝<sup>4</sup>, 鳴坂義弘<sup>3</sup>, 白須賢<sup>1,2</sup> (1理研・CSRS, 2東大・院理, 3岡山生物研, 4京大・院農)
- PL-082 植物免疫応答を標的とする低分子阻害剤の同定とその作用機作の解析  
石濱伸明<sup>1</sup>, 能年義輝<sup>2</sup>, 崔勝媛<sup>1</sup>, Ivana Saska<sup>1</sup>, 野村有子<sup>1</sup>, 中神弘史<sup>1</sup>, 近藤恭光<sup>1</sup>, 長田裕之<sup>1</sup>, 白須賢<sup>1</sup> (1理化学研究所・CSRS, 2岡山大院・環境生命)
- PL-083 植物病原性糸状菌である炭疽病菌における比較ゲノム解析を用いた病原性エフェクターの探索  
熊倉直祐<sup>1</sup>, Pamela Gan<sup>1</sup>, 津島綾子<sup>1,2</sup>, 浅井秀太<sup>1</sup>, 門田康弘<sup>1</sup>, 鳴坂真理<sup>3</sup>, 鳴坂義弘<sup>3</sup>, 高野義孝<sup>4</sup>, 白須賢<sup>1</sup> (1理研・CSRS, 2東大・院理, 3岡山生物研, 4京大・院農)
- PL-084 イネにおける免疫反応に関与する転写因子の解析  
森野和子, 木水真由美 ((独) 農研機構・中央農業総合研究センター)
- PL-085 R タンパク質である Pit-1 および Pit-2 による免疫応答制御機構の解明  
石川和也, 李玉管, 河野洋治 (中国科学院上海逆境生物学研究センター)
- PL-086 光合成阻害剤 DBMIB の遺伝子発現パターンへの影響  
岩城宇律, 山崎加奈子, 石崎陽子, 下谷紘司, 椎名隆 (京府大・院生命環境)

## ■ 共生

- PL-087 水生植物由来 PGPR MRB3 のシロイヌナズナにおける作用メカニズム解析  
井坂菜<sup>1,2</sup>, 大島良美<sup>2</sup>, 玉木秀幸<sup>2</sup>, 光田展隆<sup>2</sup> (1東京バイオテクノロジー専門学校, 2(国研) 産業技術総合研究所生物プロセス研究部門)
- PL-088 アーバスキュラー菌根菌の宿主依存的胞子形成機構の解析  
亀岡啓<sup>1,3</sup>, 前田太郎<sup>1,3</sup>, 武田直也<sup>1,2,3</sup>, 山口勝司<sup>4</sup>, 重信秀治<sup>2,4</sup>, 川口正代司<sup>1,2,3</sup> (1基生研・共生システム, 2総研大, 3JST ACCEL, 4基生研・分析室)
- PL-089 根粒形成を負に制御する新たな CLE ペプチドの同定  
西田帆那<sup>1,2</sup>, 半田佳宏<sup>2</sup>, 田中幸子<sup>2</sup>, 寿崎拓哉<sup>3</sup>, 川口正代司<sup>1,2</sup> (1総研大・生命科学, 2基生研, 3筑波大・生命環境)
- PL-090 アーバスキュラー菌根菌 *Rhizophagus irregularis* のゲノム解析  
小林裕樹<sup>1,2</sup>, 前田太郎<sup>1,2</sup>, 尾納隆大<sup>3</sup>, 山口勝司<sup>3</sup>, 重信秀治<sup>3,4</sup>, 川口正代司<sup>1,2,4</sup> (1基生研・共生システム, 2JST ACCEL, 3基生研・分析室, 4総研大)
- PL-091 ACC deaminase を産生するエンドファイトの接種がニンジンの揮発性成分に及ぼす影響  
大脇良成<sup>1</sup>, 松岡宏明<sup>1</sup>, 塔野岡(寺門)純子<sup>1,2</sup>, 田中福代<sup>1</sup> (1中央農業総合研究センター, 2佐賀大学)
- PL-092 hmp 遺伝子を導入したミヤコグサ根粒菌の共生能  
新原広大, 右田真也, 九町健一, 内海俊樹(鹿児島大・院理工)
- PL-093 地衣類共生シアノバクテリアの共生および非共生状態における光合成特性  
佐藤知樹<sup>1</sup>, 北條楽<sup>1</sup>, 小村理行<sup>2</sup>, 原光二郎<sup>1</sup>, 小峰正史<sup>1</sup>, 山本好和<sup>1</sup>, 伊藤繁<sup>3</sup>, 岩崎郁子<sup>1</sup> (1秋県大・院・生物資源, 2名古屋市立大・院・医, 3名古屋大・遺伝子実験)

## ■ 植物微生物相互作用

- PL-094 サツマイモネコブセンチュウに対する植物由来誘引物質の探索  
大田守造<sup>1</sup>, 吉村華夏<sup>1</sup>, 石川勇人<sup>2</sup>, 橋口正嗣<sup>3</sup>, 明石良<sup>3</sup>, 石田喬志<sup>2</sup>, 澤進一郎<sup>2</sup> (1熊大・理, 2熊大院・自然科学, 3宮崎大・農)
- PL-095 イネ病害防御システムにおけるジャスモン酸応答性揮発性物質の多面的な役割  
谷口しづく<sup>1</sup>, 細川(篠永)有美<sup>2</sup>, 田中啓一郎<sup>2</sup>, 三好正花<sup>2</sup>, 山田祥子<sup>2</sup>, 宇治雄也<sup>2</sup>, 秋光和也<sup>1,2</sup>, 五味剣二<sup>1,2</sup> (1愛媛連大・農, 2香川大・農)
- PL-096 ジャスモン酸によって誘導されるイネ白葉枯病抵抗性における OsMYC2 の役割  
宇治雄也<sup>1</sup>, 谷口しづく<sup>2</sup>, 玉置大介<sup>1</sup>, 宍戸穂高<sup>1</sup>, 山田祥子<sup>1</sup>, 秋光和也<sup>1,2</sup>, 五味剣二<sup>1,2</sup> (1香川大学・農, 2愛媛連大・農)
- PL-097 Interaction between plant and nematode through WOX transcription factors  
金丸由実, Thi Ngan Bui, 中上知, 山口泰華, 石田喬志, 澤進一郎(熊大・院自然科学)
- PL-098 シロイヌナズナ及びトマトにおける直鎖ジテルペンアルコール化合物処理によるサツマイモネコブセンチュウ感染数抑制  
藤本岳人<sup>1</sup>, 安部洋<sup>2</sup>, 水久保隆之<sup>3</sup>, 瀬尾茂美<sup>4</sup> (1北海道農業研究センター, 2理化学研究所バイオリソースセンター, 3中央農業総合研究センター, 4農業生物資源研究所)
- PL-099 植食性昆虫の食害により誘導されるイネのフェノールアミド生合成  
田邊公章, 北條優子, 新屋友規, ガリス イワン(岡山大学資源植物科学研究所)
- PL-100 イネのフラボノイド型ファイトアレキシンであるサクラネチンの生物学的ストレスに対する防御応答における役割  
石田明大<sup>1,4</sup>, 小川哲史<sup>1</sup>, 西澤洋子<sup>2</sup>, 南栄一<sup>2</sup>, 山根久和<sup>3</sup>, 有村源一郎<sup>4</sup>, 野尻秀昭<sup>1</sup>, 岡田憲典<sup>1</sup> (1東大・生物工学セ, 2生物研・遺伝子組換えセンター, 3帝京大・理工・バイオ, 4東京理科大・基礎工)
- PL-101 新規害虫抵抗性誘導物質 loliolide の作用機構の解析  
中井勇介<sup>1</sup>, 村田未果<sup>2</sup>, 釘宮総一<sup>3</sup>, 望月淳<sup>3</sup>, 光原一朗<sup>1</sup>, 瀬尾茂美<sup>1</sup> (1(国研) 生物研・植微ユニット, 2農研機構・野菜茶業研究所, 3(国研) 農環研)
- PL-102 自然環境下でハクサンハタザオに感染するカブモザイクウイルスの複製と遺伝子発現の季節動態  
本庄三恵<sup>1</sup>, 永野惇<sup>1,2,3</sup>, 川越哲博<sup>1</sup>, 工藤洋<sup>1</sup> (1京都大・生態研セ, 2龍谷大・農, 3JST さきがけ)
- PL-103 Determining how myrmecophytic species *Callicarpha saccata* develops domatia  
Emma Sarah<sup>1</sup>, 塚谷裕一<sup>1,2</sup> (1東京大学, 2OIIB, NINS)

## ■ エピジェネティック制御

- PL-104 シロイヌナズナにおける、de novo shoot 再生に関与するエピジェネティック因子の解析  
石原弘也<sup>1</sup>, 杉本薫<sup>1</sup>, 坂本卓也<sup>1</sup>, 佐々木卓<sup>2</sup>, 関原明<sup>2</sup>, Elliot Meyelowitz<sup>3</sup>, 松永幸大<sup>1,3</sup> (1東京理科大学理工学部応用生物科学科, 2理化学研究所環境資源科学研究センター, 3カリフォルニア工科大学生物学科)
- PL-105 シロイヌナズナにおける JUMONJI を介したエピジェネティックな制御による熱耐性機構の解析  
平井光, 松原聡, 山口暢俊, 伊藤寿朗 (奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科花発生分子遺伝学研究室)
- PL-106 ゼニゴケ X 染色体に存在する REPRESSOR OF SILENCING 1 遺伝子ホモログ MpROSIX の解析  
十川太輔<sup>1</sup>, 原田大士朗<sup>1</sup>, 塚本成幸<sup>2</sup>, 石崎公庸<sup>2</sup>, 丹羽優喜<sup>3</sup>, 荒木崇<sup>3</sup>, 山口勝司<sup>4</sup>, 重信秀治<sup>4</sup>, 河内孝之<sup>3</sup>, 大和勝幸<sup>1</sup> (1近畿大・生物理工, 2神戸大・院理学, 3京都大・院生命科学, 4基生研)

## ■ 転写・転写後制御

- PL-107 タバコ葉緑体 rps16 mRNA の翻訳抑制は上流 ORF が関与する  
中野真之, 杉浦昌弘 (名古屋大学遺伝子実験施設)
- PL-108 葉緑体に局在する脱アデニル化酵素 AtCCR4c の機能解析  
宮島直記<sup>1</sup>, 鈴木悠也<sup>1</sup>, 千葉由佳子<sup>1,2</sup> (1北海道大学大学院生命科学院, 2JST さきがけ)
- PL-109 Identification of Transcription Factors Involved in Utilization of Organic Phosphorus in Arabidopsis  
Chuan-Ming Yeh<sup>1</sup>, 光田展隆<sup>2</sup>, 高木優<sup>1,2</sup> (1埼玉大・院理工学, 2産総研・生物プロセス)
- PL-110 Analysis on the relationship between the two LysR-type transcriptional factors RbcR and CcmR in *Synechococcus elongatus* PCC7942  
Lulu Pan<sup>1</sup>, Kiyoshi Onai<sup>2</sup>, Takumi Natsume<sup>1</sup>, Tatsuo Omata<sup>1</sup> (1名大・院・生命農, 2名大・遺伝子)
- PL-111 単細胞紅藻類において暗誘導される R1 型 MYB 転写因子 MYB2 の機能解析  
河瀬泰子<sup>1</sup>, 今村壮輔<sup>1,2</sup>, 田中寛<sup>1,2</sup> (1東工大・資源研, 2CREST, JST)
- PL-112 シロイヌナズナ NSR1/MYR2 の機能解析  
中野仁美<sup>1</sup>, 内藤由紀<sup>1,2</sup>, 中野年継<sup>1,3</sup>, 大槻並枝<sup>1,4</sup>, 鈴木馨<sup>1</sup> (1産総研・生物プロセス, 2物質・材料研究機構, 3Vietnam National University of Agriculture, 4生物研)
- PL-113 シロイヌナズナ植物体におけるプロモーター獲得プロセスの Ex-TRIP 法を用いたエピジェネティック解析  
高田直東, 畑貴之, 立川誠, 松尾充啓, 佐藤壮一郎, 小保方潤一 (京都府立大院・生命環境)
- PL-114 転移遺伝子の転写活性化は, その周辺領域の転写状態及びエピゲノムの攪乱を伴う  
畑貴之, 高田直東, 立川誠, 松尾充啓, 佐藤壮一郎, 小保方潤一 (京都府大院・生命環境)
- PL-115 顕微鏡を基盤とした植物初期発生における mRNA 分解機構の解析  
元村一基<sup>1</sup>, 栗原大輔<sup>2,3</sup>, 丸山大輔<sup>1</sup>, 渡邊雄一郎<sup>4</sup>, 東山哲也<sup>1,2,3</sup> (1名大・WPI-ITbM, 2名大・院・理, 3JST・ERATO, 4東大・院総合文化)
- PL-116 ARR14 の色素体内イソペンテニル二リン酸代謝経路酵素の制御機構の解析  
進藤雅志<sup>1</sup>, 橋川博一<sup>2</sup>, 高林佑輔<sup>2</sup>, 萬年一斗<sup>2</sup>, 高橋征司<sup>2</sup>, 中山亨<sup>2</sup> (1東北大・工, 2東北大学院・工)
- PL-117 イネ由来新規翻訳エンハンサーを用いた物質生産系の構築  
今村智弘, 青木裕美, 草野博彰, 島田浩章 (東京理科大学)
- PL-118 5-アミノレブリン酸による遺伝子発現調節とストレス耐性向上  
金丸研吾<sup>1</sup>, 段塵<sup>1</sup>, 田中節彦<sup>2</sup>, 中來田琢磨<sup>2</sup>, 齊藤優<sup>3</sup>, 藤本尚則<sup>3</sup>, 宇野知秀<sup>1</sup>, 山形裕士<sup>1</sup> (1神戸大・院農, 2神戸大・農, 3コスモ石油 (株))

## ■ タンパク質修飾・分解

- PL-119 ゼニゴケにおける SUMO 関連遺伝子の発現解析  
勝又結実子, 久保浩義 (信州大・院総合工学)
- PL-120 OsHrd3 はイネの胚乳におけるプロテインボディの品質管理に関与している  
太田賢<sup>1,2</sup>, 高岩文雄<sup>2</sup> (1農業生物資源研究所作物ゲノム研究ユニット, 2農業生物資源研究所遺伝子組換え研究センター)
- PL-121 シロイヌナズナ CBL5 の発現解析と脂質修飾による細胞内局在調節機構の解析  
竹林昂亮<sup>1</sup>, 齋藤俊也<sup>1</sup>, 内海俊彦<sup>2</sup>, 守屋康子<sup>2</sup>, 加藤恵<sup>1</sup>, 佐藤陽子<sup>1</sup>, 武藤潤<sup>1</sup>, 越智直樹<sup>1</sup>, 橋本研志<sup>3</sup>, Katrin Held<sup>3</sup>, Jörg Kudla<sup>3</sup>, 上田実<sup>4</sup>, 横山隆亮<sup>5</sup>, 西谷和彦<sup>5</sup>, 浜本晋<sup>1</sup>, 魚住信之<sup>1</sup> (1東北大・院工, 2山口大・院医, 3ミュンスター大・植物生命工, 4東北大・院理, 5東北大・院生命)

PL-122 A putative methyltransferase physically interacts with magnesium transporter MRS2-2 and is required for magnesium homeostasis in *Arabidopsis*

Zhihang Feng, Hiroshi Nagao, Takehiro Kamiya, Baohai Li, Toru Fujiwara (Gra. Sch. Agr., Univ. Tokyo)

PL-123 ブロコリー花蕾からの AtMC4 タイプ・メタカスパーゼの部分精製と解析

南淳, 真山泰治 (鶴岡高専)

## ■ 光化学系

PL-124 ヘリオバクテリア光合成反応中心の低温蛍光解析

大岡宏造<sup>1</sup>, 小島理沙<sup>1</sup>, 浅井智広<sup>2</sup>, 武藤梨沙<sup>3</sup>, 栗栖源嗣<sup>3</sup>, 伊藤繁<sup>4</sup> (1大阪大学・院理・生物科学, 2立命館大・生命科学, 3大阪大・蛋白研, 4名古屋大・遺伝子)

PL-125 除草剤を結合させた PsbA3 - PSII の結晶構造

熊崇宏<sup>1</sup>, 秋田総理<sup>2</sup>, 鶴飼奈津美<sup>2</sup>, 菅倫寛<sup>1,2</sup>, 杉浦美羽<sup>3</sup>, 岩井雅子<sup>4</sup>, 池内昌彦<sup>4</sup>, 沈建仁<sup>1,2</sup> (1岡山大学・理学部・生物学科・生体超分子構造研究室, 2岡山大学・院自然科学研究科・光合成研究センター, 3愛媛大学・プロテオサイエンスセンター, 4東京大学・院総合文化研究科)

PL-126 光化学系 II 複合体 Cytb<sub>559</sub> の構造変化による光阻害への影響

中村誠<sup>1</sup>, プザック アラン<sup>2</sup>, 杉浦美羽<sup>1,3,4</sup> (1愛媛大・院理工, 2CEA Saclay, 3愛媛大・プロテオサイエンスセンター, 4JST-さきがけ)

PL-127 変動光による光化学系 I 光阻害のメカニズムと遠赤色光による阻害の抑制

河野優<sup>1</sup>, 北島正治<sup>2</sup>, 鈴木祥弘<sup>2</sup>, 井上和仁<sup>2</sup>, 寺島一郎<sup>1</sup> (1東大・院・理・植物生態, 2神奈川大・院・理・生物科学)

PL-128 Fluorescence Spectroscopy Of Single Photosystem I At Liquid Nitrogen Temperatures

杜テイ<sup>1</sup>, 長尾遼<sup>2</sup>, 野口巧<sup>2</sup>, 福村裕史<sup>1</sup>, 柴田穰<sup>1</sup> (1東北大学, 2名古屋大学)

PL-129 Growth light conditions and mechanisms that make *Alocasia odora* resistant to PSI photoinhibition induced by fluctuating light

松尾光敏<sup>1</sup>, 河野優<sup>1</sup>, 園池公毅<sup>2</sup>, 寺島一郎<sup>1</sup> (1東京大・院・理, 2早稲田大学教育総合科学学術院)

PL-130 蛍光寿命画像顕微鏡を用いた系統的な励起光強度依存性の測定による植物種間葉緑体機能差の解析

福田真士<sup>1</sup>, 安原咲希<sup>2</sup>, 伊福健太郎<sup>2</sup>, 椎名隆<sup>3</sup>, 山崎加奈子<sup>3</sup>, 寺嶋正秀<sup>1</sup>, 佐藤文彦<sup>2</sup>, 熊崎茂一<sup>1</sup> (1京大・院理学, 2京大・院生命科学, 3京府大・院生命環境)

PL-131 光化学系 II の酸素発生活性の耐久性に及ぼす電子受容体キノンの効果

池田有佑<sup>1</sup>, 野地智康<sup>2</sup>, 川上恵典<sup>2</sup>, 神谷信夫<sup>1,2</sup> (1大阪市大・理, 2大阪市大複合先端研)

PL-132 多孔質ガラス板に固定化した LHCII の蛍光寿命とメチルピオロゲン光還元活性

野地智康<sup>1</sup>, 多田幹彦<sup>2</sup>, 近藤政晴<sup>2</sup>, 神哲郎<sup>3</sup>, 南後守<sup>1</sup>, 神谷信夫<sup>1</sup>, 出羽毅久<sup>2</sup> (1大阪市立大・複合先端, 2名工大院工, 3産総研)

PL-133 【演題取り下げ】

PL-134 シロイヌナズナ *psr5* のチラコイド膜はやや脱共役状態にある？

寺島一郎<sup>1,2</sup>, 河野優<sup>1</sup> (1東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻, 2CREST)

PL-135 植物 PSI-LHCI 超複合体におけるエネルギー伝達の構造基盤

菅倫寛<sup>1</sup>, Xiaochun Qin<sup>1,2</sup>, Tingyun Kuang<sup>2</sup>, 沈建仁<sup>1,2</sup> (1岡山大学大学院自然科学研究科 (理), 2Key Laboratory of Photobiology, Institute of Botany, CAS, Beijing, China)

PL-136 蛍光寿命顕微鏡と蛍光スペクトル顕微鏡による糸状シアノバクテリア *Rivularia* の個別細胞解析

野末秀穂<sup>1</sup>, 片山光徳<sup>2</sup>, 玉水公人<sup>1</sup>, 福田真士<sup>1</sup>, 寺島正秀<sup>1</sup>, 熊崎茂一<sup>1</sup> (1京大・院理, 2日大・生産工)

PL-137 異なる二酸化炭素濃度下で培養されたシアノバクテリアの光合成初期過程の変化

池田志保<sup>1</sup>, 藍川晋平<sup>2</sup>, 近藤昭彦<sup>2</sup>, 秋本誠志<sup>1,3</sup> (1神戸大・院理, 2神戸大・院工, 3神戸大・分子フォト)

PL-138 光化学系 II における Mn クラスターと第一キノンの Q<sub>A</sub> の長距離相互作用: ATR-FTIR による解析

加藤祐樹, 石井里奈, 野口巧 (名古屋大学・院理)

PL-139 シロイヌナズナ個葉の寿命と成熟葉の延命を支える光化学系の特徴

猿田涼太<sup>1</sup>, 福田真士<sup>2</sup>, 野末はつみ<sup>1</sup>, 熊崎茂一<sup>2</sup>, 野末雅之<sup>1</sup> (1信州大学繊維学部, 2京都大学大学院理学研究科)

PL-140 PELDOR 法を用いた光化学系 II 表在性サブユニット PsbP の結合位置の解析

浅田瑞枝<sup>1</sup>, 西村大志<sup>2</sup>, 佐藤文彦<sup>2</sup>, 伊福健太郎<sup>2</sup>, 三野広幸<sup>1</sup> (1名古屋大学大学院理学研究科, 2京都大学大学院生命科学研究科)

- PL-141 NDH リンカータンパク質はどのように PSI と相互作用しているのか  
大谷卓人, 山本宏, 鹿内利治 (京都大・院理)
- PL-142 緑藻クラミドモナスにおける His タグ付加 PsbP タンパク質を用いた光化学系 II の機能相補と精製  
西村太志, 佐藤文彦, 伊福健太郎 (京都大学大学院生命科学研究所)

## ■ 光合成

- PL-143 Higher rates of diel photosynthesis of Kenaf could be supported by its stomatal responses to fluctuated light condition.  
川口ひかる<sup>1</sup>, 澤上航一郎<sup>2</sup>, 鈴木翔馬<sup>1</sup>, 鈴木祥弘<sup>1</sup> (1神奈川大学 大学院 理学研究科 生物科学専攻, 2東京大学院 理学系研究科 附属植物園 日光分園)
- PL-144 シアノバクテリア及び紅色細菌の光生物学的水素生産の活性向上とコスト低減  
櫻井英博<sup>1</sup>, 増川一<sup>2</sup>, 佐藤剛<sup>3</sup>, 花本光<sup>3</sup>, 北島正治<sup>3</sup>, 永島咲子<sup>3,4</sup>, 永島賢治<sup>1</sup>, Evgeny Shastik<sup>5</sup>, Tatyana Laurinavichene<sup>5</sup>, Anatoly Tyagankov<sup>5</sup>, 井上和仁<sup>1,3</sup> (1神奈川大学・光合成水素生産研, 2大阪市大・複合先端研, 3神奈川大・院理, 4首都大・都市教養, 5ロシア科学アカデミー・IBBP研)
- PL-145 ヘテロシスト高頻度化による光生物学的水素の増産  
増川一<sup>1</sup>, 櫻井英博<sup>2</sup>, 井上和仁<sup>2,3</sup> (1大阪市大・複合先端研, 2神奈川大・光合成水素生産研, 3神奈川大・理)

## ■ リズム

- PL-146 日本に分布する短日性アオウキクサにおける限界日長と概日リズム周期の相関  
村中智明, 小山時隆 (京都大・院理・植物)
- PL-147 単子葉植物のコウキクサにおける *CaMV35S* ならびに *ZmUBQ* プロモーターの転写活性の *LUCIFERASE* レポーターを用いた時空間解析  
伊藤照悟, 内海陽子, 小山時隆 (京都大・院・理・植物)
- PL-148 シアノバクテリア概日時計遺伝子の発現制御機構についての解析  
北山陽子, 太田早紀, 本間道夫, 近藤孝男 (名古屋大学理学研究科生命理学専攻)
- PL-149 一細胞生物発光イメージングによるシロイヌナズナ葉の細胞概日リズム測定  
岡田全朗, 小山時隆 (京都大・院・理・生物学)
- PL-150 シアノバクテリア時計タンパク質 KaiB の配列と機能の多様性  
小山時隆, 浅野宏幸, 北川徳明, 廣田周平 (京都大学大学院理学研究科生物科学専攻植物学教室)

## ■ 新技術開発

- PL-151 ラン藻と糸状菌の人工共生系を利用した脂肪酸高放出ラン藻のスクリーニング  
辻本良真, 速水響平, 小俣達男 (名古屋大学大学院生命農学研究科植物分子生理学研究室)
- PL-152 Base preference of 'T' at the 6th position of the SaCas9 PAM (5'-NNGRRT-3') sequence in rice  
三上雅史<sup>1,2</sup>, 賀屋秀隆<sup>2</sup>, 遠藤亮<sup>2</sup>, 遠藤真咲<sup>2</sup>, 土岐精一<sup>1,2,3</sup> (1横浜市大院・生命ナノ, 2生物研・ゲノム機能, 3横浜市大・木原生研)
- PL-153 *Staphylococcus aureus* 由来の新奇 Cas9 を用いたゲノム編集  
賀屋秀隆<sup>1</sup>, 三上雅史<sup>1,2</sup>, 遠藤亮<sup>1</sup>, 遠藤真咲<sup>1</sup>, 土岐精一<sup>1,2,3</sup> (1生物研 ゲノム機能, 2横浜市立大 院生命ナノシステム, 3横浜市立大 木原生研)
- PL-154 piggyBac トランスポゾンを利用した外来遺伝子のデリバリーシステムの構築  
横井彩子<sup>1</sup>, 土岐精一<sup>1,2</sup> (1生物研・ゲノム機能, 2横浜市大・木原生研)
- PL-155 植物ゲノム編集用 Emerald Gateway TALEN kit を用いた遺伝子構築とその評価  
小野寺瞳<sup>1</sup>, 紀平望帆<sup>1</sup>, 青木裕美<sup>1</sup>, 堀江峻晃<sup>1</sup>, 河野徳昭<sup>2</sup>, 吉松嘉代<sup>2</sup>, 近藤一成<sup>3</sup>, 松崎ひかる<sup>1</sup>, 板垣文子<sup>1</sup>, 草野博彰<sup>1</sup>, 島田浩章<sup>1</sup> (1東京理科大・生物工, 2医薬基盤・健康・栄養研, 3国立衛研)
- PL-156 CRISPR/Cas9 システムによるタバコ及びトレンニアの花色改変  
西原昌宏, 田崎啓介, 樋口敦美, 藤田晃平, 黒川良美, 高橋秀行, 佐々木伸大 ((公財) 岩手生物工学研究センター 園芸資源研究部)
- PL-157 CRISPR/Cas9 システムによるイネグルタミン酸脱炭酸酵素 (GAD1) の C 末端カルモジュリン結合ドメインの欠失  
赤間一仁<sup>1</sup>, 金崎雅子<sup>1</sup>, 三上雅史<sup>2,3</sup>, 遠藤真咲<sup>2</sup>, 土岐精一<sup>2,3,4</sup> (1島根大・生資・生物学, 2生物研・ゲノム機能改変, 3横浜市大院・生命ナノ, 4横浜市大・木原生研)

- PL-158 Development of Micrografting Device to Enhance Studies of Shoot-Root Communications  
野田口理孝<sup>1,2</sup>, 柳澤直樹<sup>1,2</sup>, 池松朱夏<sup>3</sup>, 新田英之<sup>1,2</sup>, 東山哲也<sup>1,2,3</sup> (1名古屋大学理学研究科, 2JST ERATO 東山ライブ  
ホロニクスプロジェクト, 3名古屋大学ITbM)
- PL-159 ミナトカモジグサにおける人工交配方法とアンプリコンシーケンスによるマッピング集団の遺伝子型決定方法  
恩田義彦<sup>1,2</sup>, 清水みなみ<sup>1</sup>, 高萩航太郎<sup>3</sup>, 加藤史子<sup>1</sup>, 中山梨紗<sup>1</sup>, 持田恵一<sup>1,2</sup> (1理研・CSRS, 2横浜市大・木原生研,  
3横浜市大院・生命ナノ)
- PL-160 大腸菌粗抽出液を用いた簡便かつ効率的な seamless DNA cloning 法とその応用  
本橋健, 桶川友季 (京都産業大学総合生命科学部)
- PL-161 ウキクサ遺伝資源の超低温保存法の開発  
田中久介<sup>1</sup>, 小山時隆<sup>2</sup> (1農業生物資源研究所遺伝資源センター, 2京都大学大学院理学研究科植物学研究室)
- PL-162 ゼニゴケとシロイヌナズナを用いた有用遺伝子を探索するための新たなシステムの構築  
寺澤拓弥<sup>1</sup>, 二瓶遼太<sup>1</sup>, 小林美由希<sup>1</sup>, 吉積毅<sup>2</sup>, 松井南<sup>2</sup>, 近藤陽一<sup>1</sup> (1関東学院大学・院物質生命, 2理研・CSRS)
- PL-163 4-PBA によるシロイヌナズナの根毛増加作用の検討  
佐藤貴大, 廣瀬翔太, 飯田博一, 近藤陽一 (関東学院大学)
- PL-164 油脂生産藻 *Nannochloropsis* における相同組換え系の検討  
清水信介<sup>1</sup>, 信澤岳<sup>1,2</sup>, 堀孝一<sup>1,2</sup>, 太田啓之<sup>1,2,3</sup> (1東工大・院 生命理工学研究科, 2JST・CREST, 3東工大 ELSI)
- PL-165 遺伝子工学的的手法によるラン藻 *Synechococcus elongatus* PCC 7942 のアルカン生産性の向上  
金子太樹, 福田寛史, 朝山宗彦, 中平洋一 (茨大・農学)
- PL-166 永年性植物に対する重イオンビーム照射が与える影響についての研究  
佐々木伸大<sup>1</sup>, 千葉恵美子<sup>1</sup>, 星伸枝<sup>2</sup>, 浅川知則<sup>2</sup>, 黒川良美<sup>1</sup>, 山田恵理<sup>1</sup>, 樋口敦美<sup>1</sup>, 岡村正愛<sup>3</sup>, 古澤佳也<sup>4</sup>, 下川卓  
志<sup>4</sup>, 西原昌宏<sup>1</sup> (1岩手生工研, 2岩手農研セ, 3(株)キリン, 4放医研)
- PL-167 Effect of FPX on callus induction, regeneration and transformation in *Brachypodium*  
氷室泰代<sup>1</sup>, 石山賀奈子<sup>2</sup>, 高橋史憲<sup>1</sup>, 田中翔太<sup>1</sup>, 中野雄司<sup>1</sup>, 小林正智<sup>2</sup>, 篠崎一雄<sup>1</sup> (1理研CSRS, 2理研BRC)

## ■ 細胞周期・分裂

- PL-168 Condensin II has a role in the chromatin dynamics during interphase  
山下朋恵<sup>1</sup>, 坂本卓也<sup>1</sup>, 坂本勇貴<sup>1</sup>, 佐藤裕太<sup>1</sup>, 松井章浩<sup>2</sup>, 金鍾明<sup>2</sup>, 関原明<sup>2</sup>, 松永幸大<sup>1</sup> (1東理大・理工・応用生物  
科学, 2理研・CSRS)
- PL-169 細胞化後の胚乳特異的に発現する ESOFB2 と CDK 阻害因子 *Orysa*:KRP4 との相互作用解析  
杉山輝樹, 藤原奈津美, 水谷征法, 松田修一, 堤賢一, 斎藤靖史 (岩手大学農学部附属寒冷バイオフィロンティア研究  
センター細胞遺伝応答研究分野)
- PL-170 植物の細胞分裂を制御するキネシンと相互作用する新規プロテインホスファターゼのシロイヌナズナホモログの解析  
大和田理恵<sup>1</sup>, 中田美果子<sup>1</sup>, 中野理恵<sup>2</sup>, 町田泰則<sup>2</sup>, 笹部美知子<sup>1</sup> (1弘前大・農学生命, 2名大・院・理)
- PL-171 Putative DNA/RNA helicase EMB2765 is essential for cell division and involves tolerance of excess-boron stress in *Arabidopsis*  
李克, 神谷岳洋, 藤原徹 (東京大・院農)
- PL-172 Control of the cell cycle in two distinct cell files of the root epidermis  
杉山輝樹<sup>1</sup>, 高塚大知<sup>1</sup>, 梅田正明<sup>1,2</sup> (1奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科, 2JST, CREST)
- PL-173 イネ種子形成初期における新規 F-box たんぱく質遺伝子 ESOFB1 の発現機能解析  
朝倉友香, 藤原奈津美, 原通子, 松田修一, 水谷征法, 斎藤靖史 (岩手大学農学部寒冷バイオフィロンティアセンター)
- PL-174 Division of shape-standardized tobacco cells reveals a limit to the occurrence of single-criterion-based selection of the plane of  
symmetric division  
浅田哲弘 (大阪大学大学院理学研究科)
- PL-175 シロイヌナズナの DNA 損傷応答における核内ボディーの解析  
平川健, 松永幸大 (東理大・院・理工学・応用生物科学)
- PL-176 群性性緑藻フタツノクンシヨウモの無性生殖サイクルに関与する光調節因子の解析  
宮本なるみ<sup>1</sup>, 加藤翔太<sup>2</sup>, 篠村知子<sup>1,2</sup> (1帝京大・院理工学, 2帝京大・理工学)

## ■ 発生・分化

- PL-177 シロツメクサにおける SLM1 遺伝子の機能解析  
大橋ほなみ, 瀬川香, 松田修一, 斎藤靖史 (岩手大学農学部寒冷バイオフィロンティア研究センター)
- PL-178 Transcription factors that may regulate phloem companion-cell development  
Miki Zaizen<sup>1</sup>, Sawa Kume<sup>1</sup>, Ye Zhang<sup>1</sup>, Nobutaka Mitsuda<sup>2</sup>, Takeshi Yoshizumi<sup>3</sup>, Yoichi Kondo<sup>3</sup>, Masaru Ohme-Takagi<sup>2,4</sup>, Minami Matsui<sup>3</sup>, Tatsuo Kakimoto<sup>1</sup> (1大阪大学大学院理学研究科, 2産業技術総合研究所, 3理研・横浜・植物科学研究センター, 4埼玉大・環境科学研究センター)
- PL-179 表皮分化のマスター転写因子 ATML1 の活性を決める多階層制御  
飯田浩行, 吉田彩香, 高田希, 高田忍 (大阪大・院・理)
- PL-180 シュート再生効率の高いエピジェネティック組換え自殖系統  
平沢翼<sup>1</sup>, 太田英恵<sup>1</sup>, 山本章子<sup>2</sup>, 鈴木孝征<sup>3,4</sup>, 東山哲也<sup>4,5,6</sup>, 武田真<sup>2</sup>, 服部束穂<sup>2</sup>, 西村泰介<sup>1,2</sup> (1長岡技術科学大学・工, 2名古屋大学・生物機能セ, 3中部大学, 4JST ERATO, 5名古屋大学・理, 6WPI-ITbM)

## ■ 核

- PL-181 シロイヌナズナにおける CRWN の相互作用解析  
佐藤裕太, 坂本勇貴, 松永幸大 (東理大・理工・応用生物科学)
- PL-182 CRWN は核ラミナタンパク質か?  
坂本勇貴<sup>1</sup>, 佐藤蘭子<sup>2</sup>, 佐藤裕太<sup>1</sup>, 豊岡公德<sup>2</sup>, 高木慎吾<sup>3</sup>, 松永幸大<sup>1</sup> (1東理大・理工・応用生物, 2理研・CSRS, 3大阪大・院・理)

## ■ 二次代謝

- PL-183 *Eruca vesicaria* における flavonoid 3'-hydroxylase のクローニングと機能解析  
大坪蘭子, 田崎愛, 張岩, 田村典明 (福岡女子大・人間環境科学)
- PL-184 *Arthrospira platensis* のカロテン異性化酵素 (Z-ISO および CrtH) 遺伝子の単離と機能解析  
杉山健二郎<sup>1</sup>, 高橋甲<sup>1</sup>, 鈴木秀幸<sup>2</sup>, 高市真一<sup>3</sup>, 山田昌治<sup>1</sup> (1工学院大・先進工, 2かずさDNA研, 3日本医大・生物)
- PL-185 オオバギから単離されたフラボノイド基質ゲラニル化酵素に関する研究  
伊達慶明<sup>1</sup>, 清水亮<sup>1</sup>, 前田容子<sup>1</sup>, 棟方涼介<sup>1</sup>, 杉山暁史<sup>1</sup>, 熊澤茂則<sup>2</sup>, 福本修一<sup>3</sup>, 矢崎一史<sup>1</sup> (1京都大学生存圏研究所 森林園遺伝子統御分野研究室, 2静岡県立大, 3ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社)
- PL-186 薬用植物カンゾウの UDP-グルコースデヒドロゲナーゼの機能解析  
川崎愛結美, 田村啓太, 關光, 村中俊哉 (阪大院・工・生命先端)
- PL-187 Molecular cloning and characterization of AP2/ERF transcription factors possibly involved in camptothecin biosynthesis in *Ophiorrhiza pumila*  
Nirin Udomsom<sup>1</sup>, Amit Rai<sup>1</sup>, 野老美喜<sup>1</sup>, 今井亮輔<sup>1</sup>, 斉藤和季<sup>1,2</sup>, 山崎真巳<sup>1</sup> (1千葉大院・薬, 2理研 CSRS)
- PL-188 *Botryococcus braunii* B 品種におけるスクアレンエポキシダーゼ様遺伝子群の単離と機能解析  
Chungyau Tsou<sup>1,3</sup>, 内田英伸<sup>1,3</sup>, 福永有佑<sup>1,3</sup>, Victor M.E. Ferriols<sup>1</sup>, 鍵和田聡<sup>2,3</sup>, 松永茂樹<sup>1,3</sup>, 岡田茂<sup>1,3</sup> (1東大院農, 2奈良女・化学生命環境, 3JST CREST)
- PL-189 インゲンマメのイソフラボノイドファイトアレキシン生合成系のプレニル基転移酵素遺伝子の同定と機能解析  
米山恵介, 内田開, 青木俊夫, 明石智義 (日本大・生物資源・応用生物)
- PL-190 シアノバクテリアのカロテノイドとその合成経路の由来  
高市真一 (日本医科大生物)
- PL-191 ニンニクにおけるシステインスルホキシド誘導体の生合成に関与する S-酸化酵素遺伝子の新規ホモログ *AsFMO2* の同定  
森直子<sup>1</sup>, 吉本尚子<sup>1</sup>, 小沼美沙都<sup>1</sup>, 鈴木秀幸<sup>2</sup>, 小寺幸広<sup>3</sup>, 恒吉唯充<sup>3</sup>, 斉藤和季<sup>1</sup> (1千葉大院・薬, 2かずさDNA研究所, 3湧永製薬)
- PL-192 ニチニチソウ異形細胞における TIA 代謝機構の解析  
山本浩太郎<sup>1</sup>, 大西美輪<sup>1</sup>, 高橋勝利<sup>2</sup>, 水野初<sup>3</sup>, 江崎剛史<sup>4</sup>, 石崎公庸<sup>1</sup>, 山崎真巳<sup>5</sup>, 深城英弘<sup>1</sup>, 升島努<sup>4</sup>, 三村徹郎<sup>1</sup> (1神戸大・院・理, 2産総研・創薬基盤研究部門, 3静岡県立大・薬, 4理研・生命システム研究センター, 5千葉大・院・薬)
- PL-193 【演題取り下げ】

- PL-194 ウラルカンゾウ由来  $\beta$  アミリン 28 位酸化酵素の同定  
田村啓太<sup>1</sup>, 關光<sup>1</sup>, 鈴木秀幸<sup>2</sup>, 高上馬希重<sup>3</sup>, 村中俊哉<sup>1</sup> (1阪大・院工・生命先端, 2かずさDNA研・バイオ, 3北海道医療大・薬)
- PL-195 ムラサキのシコニン合成経路の全容解明に向けたプロテオーム解析  
中川友喜美<sup>1</sup>, 高梨功次郎<sup>2</sup>, 油屋駿介<sup>3</sup>, 青木航<sup>3</sup>, 植田充美<sup>3</sup>, 矢崎一史<sup>1</sup> (1京大・生存研, 2信州大・山岳研, 3京大院・応用生命)
- PL-196 パラゴムノキのゴム粒子タンパク質群の相互作用解析  
和氣駿之<sup>1</sup>, 山下哲<sup>1</sup>, 山口晴彦<sup>2</sup>, 青木裕一<sup>1</sup>, 船木重由太<sup>1</sup>, 山家史大<sup>1</sup>, 井之上ゆき乃<sup>2</sup>, 伏原和久<sup>2</sup>, 中山亨<sup>1</sup>, 高橋征司<sup>1</sup> (1東北大院・工, 2住友ゴム工業)

## ■ 膜交通

- PL-197 シロイヌナズナ CaLB1 の機能解析  
筒井友和<sup>1</sup>, 中野明彦<sup>2</sup>, 上田貴志<sup>1,3</sup> (1東大院・理系, 2理研・光量子工学, 3さきがけ)
- PL-198 葉緑体包膜に局在する OsLACS9 の解析  
谷内智子<sup>1</sup>, 濱田有紀<sup>1</sup>, 高松壮<sup>1</sup>, 石山隆一<sup>1</sup>, 及川和聡<sup>2</sup>, 古賀彩<sup>2</sup>, 三ツ井敏明<sup>1,2</sup> (1新潟大学大学院 自然科学研究科, 2新潟大学 農学部)
- PL-199 単細胞紅藻 Cyanidioschyzon merolae における窒素欠乏応答低分子量 G タンパク質 CmRAB5 の機能解析  
竹村時空<sup>1</sup>, 小林勇氣<sup>1</sup>, 瀧景子<sup>1,2</sup>, 今村壮輔<sup>1,2</sup>, 田中寛<sup>1,2</sup> (1東工大 資源研, 2CREST, JST)
- PL-200 クチクラ関連輸送体の細胞膜局在に関わる制御因子の探索  
田井聡美, 柿本辰男, 田中博和 (大阪大・理・生物科学)

## ■ 光合成色素・光化学系

- PL-201 アスタキサンチン生産レタスにおける光化学系 II の光阻害と光保護  
藤井律子<sup>1,2,3</sup>, 山野奈美<sup>2</sup>, 橋本秀樹<sup>1,2,6</sup>, 三沢典彦<sup>4</sup>, 伊福健太郎<sup>5</sup> (1阪市大・複合先端研, 2阪市大・院理, 3JST・さきがけ, 4石川県大・生物資源工学研, 5京大・院生命科学, 6現所属: 関西学院大・理工)
- PL-202 カルボニルカロテノイドが結合した LHCII の構造と機能  
山野奈美<sup>1</sup>, 伊福健太郎<sup>2</sup>, 橋本秀樹<sup>1,3,6</sup>, 三沢典彦<sup>4</sup>, 藤井律子<sup>1,3,5</sup> (1阪市大・院理, 2京大・院生命科学, 3阪市大・複合先端研, 4石川県大・生物資源工学研, 5JST・さきがけ, 6現所属: 関西学院大・理工)